

豊橋市 都市交通計画 2026-2035 －別冊－



豊橋市都市交通計画 2026-2035

別冊目次

第1章 市民アンケート結果.....	3
1. 調査目的	3
1.1 市民アンケート調査	3
1.2 路面電車沿線地域アンケート調査.....	3
2. 実施概要.....	3
2.1 調査の企画	4
2.2 標本誤差の範囲の設定.....	41
3. 調査結果.....	42
3.1 回収結果	42
3.2 市民アンケート調査.....	43
3.3 路面電車沿線地域アンケート調査	110
3.4 公共交通に関する取組のあり方について.....	130
第2章 中京都市圏パーソントリップ調査の分析	139
1. 中京都市圏パーソントリップ調査の概要	139
2. 分析結果	140
2.1 都市圏全体の人々の動きの傾向	140
2.2 周辺市からみた豊橋市の人々の動き	141
2.3 豊橋市関連の流動の詳細分析	143

本資料は、「豊橋市都市交通計画 2026-2035」を策定するに当たり、実施した調査内容や結果の詳細、人の動きに関する詳細な分析内容を取りまとめたものです。



第1章 市民アンケート結果

1. 調査目的

1.1 市民アンケート調査

市民の日常的な交通行動及び交通まちづくりに対するニーズ・意識を把握するため、豊橋市民を対象に約5,000世帯に対して市民アンケート調査を実施した。

1.2 路面電車沿線地域アンケート調査

路面電車を活かしたまちづくり等の検討の基礎資料とするため、路面電車沿線の地域住民に対し、路面電車及び沿線のあり方についてのアンケート調査を実施した。

2. 実施概要

実施スケジュール及び対象者、調査規模、実施方法は以下のとおり。

また、いずれの調査も郵送・webの両方で回答可能としている。

表 1-1 実施概要

	市民 アンケート調査	路面電車沿線地域アンケート調査 (住民)
目的	● 交通実態・意識と都市・地域拠点に対する交通ニーズを地域別に分析	● 各立場からの路面電車の活性化・魅力向上の意見・考え方を把握
実施 スケジュール	● 発送：令和6年10月4日(金) ● 回収：令和6年10月21日(月)	● 発送：令和6年10月4日(金) ● 回収：令和6年10月21日(月)
対象者	● 15歳以上の市民	● 沿線約500m以内の沿線住民
調査規模	● 約5,000世帯に配布	● 沿線住民：約1,500世帯配布
実施方法	● 市民全体から無作為抽出 ● 郵送配布、郵送・web回収 ● 1世帯4人まで回答	● 無作為抽出 ● 郵送配布、郵送・web回収 ● 市民アンケートと同様に世帯アンケートの形式で実施

2.1 調査の企画

2.1.1 調査内容

調査目的に応じて、主な設問項目を以下のとおり設定した。

表 1-2 調査内容

	市民 アンケート調査	路面電車沿線地域アンケート調査 (住民)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通実態・意識と都市・地域拠点に対する交通ニーズを地域別に分析 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各立場からの路面電車の活性化・魅力向上の意見・考え方を把握
主な設問項目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 普段の使い方や変化 ➢ 移動に関する困りごと ➢ 道路・公共交通・自転車・徒歩交通施策に対する認識、満足度と重要度 ➢ 公共交通や路面電車に関する取組のあり方や価値 ➢ 路面電車に対する財政負担について 等 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 普段の使い方 ➢ 個人・地域にとっての路面電車の必要性 ➢ 公共交通や路面電車に関する取組のあり方や価値 ➢ 路面電車の満足度と重要度

2.1.2 調査票

各アンケートの調査票を以下より示す。なお、web回収のために、web回答フォームも作成した。

(1)市民アンケート調査

【対象者用】

豊橋市の交通に関するアンケートのお願い

平素より本市の都市交通行政に対しまして、ご理解、ご協力をいただき御礼申し上げます。現在、本市では、快適に過ごせるまちづくりを目指して、交通に関する計画づくりを進めています。

つきましては、計画づくりの基礎資料とするために、市民の皆様に対して、アンケート調査を実施いたします。

なお、アンケート調査票にご記入いただいた回答は統計的に処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。また、アンケート調査票の内容を他の目的に使用することは一切ございません。

ご協力をお願いいたします。

2024年10月 豊橋市

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、
【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【本アンケートについて】

- このアンケート調査用紙は、豊橋市に居住する方を対象に、住民基本台帳から無作為に抽出された方にお送りしています。
- アンケート調査用紙は、**【封筒の宛名のご本人様用】(本調査票) 1票、【家族用】 3票**を封入しています。15歳以上の同居の方全員のご回答をお願いします。
(15歳以上の方が5名様以上いらっしゃる場合は、封筒の宛名のご本人様と、外出機会の多い3名様までご記入をお願いします。)

【web 回答方法】

- 各調査票(本調査票は2ページ、家族用は1ページ)にあるQRコードを読み取り、回答フォームに沿ってお答えください。
- 回答にあたっては、**回答票番号(数字4桁)をご入力の上**、ご回答ください。
- ※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、お一人で何度も繰り返し回答された場合は、集計から除外する場合があります。

【紙の調査票の回答方法】

- この調査票の回答票番号によりwebで回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
- アンケートへのご回答は、2ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
- 回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の()に必要事項をご記入ください。
- 回答は、調査票に直接書き込んでください。
- ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、**切手を貼らずに2024年10月21日(月)までに**、お近くの郵便ポストに投函してください。

《問合せ先》
 豊橋市役所 都市計画部 都市交通課 (担当：加藤、高野)
 電話：(0532) 51-2620 (代表)

《調査委託先》
 中央復建コンサルタンツ株式会社 事業創生グループ (担当：須賀)
 電話：(03) 3511-2030

- 1 -

0001

豊橋市の交通に関するアンケート調査票【封筒の宛名のご本人様用】

《WEB フォームからご回答いただく場合》

右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし

以下の回答票番号(数字4桁)をご入力の上、ご回答ください。

回答票番号: 0001

https://questant.jp/q/koutsuu_taisyousya



※この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として
使用しないで下さい。

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、お一人で
何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

問1：世帯の状況について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
1-1	<p>お住まいの小学校区を選んでください。</p> <p>1. 西郷 2. 賀茂 3. 玉川 4. 嵩山 5. 石巻 6. 下条 7. 牛川 8. 東田 9. 旭 10. 鷹丘 11. 大村 12. 下地 13. 津田 14. 前芝 15. 松山 16. 新川 17. 向山 18. つつじが丘 19. 松葉 20. 八町 21. 花田 22. 羽根井 23. 岩田 24. 豊 25. 多米 26. 飯村 27. 岩西 28. 吉田方 29. 牟呂 30. 汐田 31. 福岡 32. 栄 33. 磯辺 34. 中野 35. 高師 36. 芦原 37. 幸 38. 天伯 39. 二川 40. 二川南 41. 谷川 42. 大崎 43. 植田 44. 大清水 45. 野依 46. 杉山 47. 老津 48. 小沢 49. 細谷 50. 高根 51. 豊南 52. 富士見</p> <p>99. 校区が分からない場合は、下記に住所をご記入ください 豊橋市()町・丁目 字() ※字名までご記入ください</p>
1-2	<p>ご家族の人数をご記入ください。</p> <p>() 人家族</p> <p>《内訳を教えてください》</p> <p>未就学児 () 人 中学生 () 人 小学生 () 人 高校生(15歳)以上 () 人 高齢者(65歳)以上 () 人</p>
1-3	<p>豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？</p> <p>1. 2年以内 2. 5年以内 3. 10年以内 4. 20年以内 5. 21年以上</p>
1-4	<p>世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください。</p> <p>1. 1台 2. 2台 3. 3台 4. 4台以上 5. 自動車を持っていない</p>
1-5	<p>世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。</p> <p>1. 1台 2. 2台 3. 3台 4. 4台以上 5. 自転車を持っていない</p>
1-6	<p>自宅の最寄のバス停および鉄道駅または路面電車電停の名称をご記入いただき、徒歩でのおおよその所要時間を選んでください。</p> <p>《最寄のバス停》 《所要時間の選択肢》</p> <p>1. () バス停 1. 1～2分 2. 3分以内 3. 5分以内 2. 場所は分かるが名称が分からない 4. 10分以内 5. 15分以内 6. 15分以上 3. バス停がどこにあるか知らない 4. 徒歩では行けない</p> <p>《最寄の鉄道駅または路面電車電停》 《所要時間の選択肢》</p> <p>1. () 駅・電停 1. 1～2分 2. 3分以内 3. 5分以内 2. 徒歩では行けない 4. 10分以内 5. 15分以内 6. 15分以上</p>

本アンケートにご回答いただくにあたって、

【公共交通をとりまく環境について】

- 長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ禍後も利用者数がコロナ禍以前の水準までには回復していない状況
- 全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
- 労働時間に関する規制変更に伴う「2024年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況です。

豊橋市は、交通事業者へ運行や設備投資への支援とともに利用促進を図っています。
令和7年3月に市内の路線バスで交通系ICカードが利用できるようになります。

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問2：回答者ご自身の日々の移動について、以下の設問にお答えください。

設問No	設問・選択肢						
2-1	目的ごとに、最もよく行く目的地へのお出かけの回数、主な移動手段、その移動手段を選ぶ理由をご記入ください。主な移動手段、その移動手段を選ぶ理由については、下記一覧より番号を選んでご記入ください。						
	目的	移動の有無	最もよく行く目的地	市内市外【選択】	目的地へのお出かけの回数 ※週1回未満の場合は「0」を記入	目的地への主な移動手段 下の【選択肢①】から複数選択	移動手段を選ぶ理由 下の【選択肢②】から1つ選択
	通勤・通学	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	日常の買い物	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	通院	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	その他 (レジャーなど)	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ	<input type="checkbox"/>		/	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
			豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅	—	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []	

【選択肢①：主な移動手段】（複数選択可）

- 1. 鉄道(JR線) 2. 鉄道(名鉄線) 3. 鉄道(豊鉄渥美線) 4. 路面電車 5. 路線バス 6. コミュニティバス
- 7. タクシー 8. 車(自分で運転) 9. 車(送迎) 10. バイク・原付 11. 自転車 12. 徒歩
- 13. その他

【選択肢②：移動手段を選ぶ理由】（目的ごとに1つ選択）

- 1. 早く行けるから 2. 楽だから 3. 交通費が安いから 4. 時間通りに行けるから 5. 自宅と目的地が近いから
- 6. 安全だから 7. 他に交通手段がないから 8. 駐車場がないから 9. 健康によいから 10. 環境によいから
- 11. 荷物があるから 12. ほかに立ち寄り場所があるから 13. 通勤・通学先から指定されているから 14. お酒を飲む機会があるから 15. その他

設問 No	設問・選択肢		
2-2	2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いやその内容について、選択肢の欄の内容を踏まえて、該当するものを選んでください。選択肢以外で困っていることがあれば、その他自由記述欄に記入してください。		
	目的	移動に関する困っている度合い 下の【 <u>選択肢③</u> 】の番号から1つ選択	移動に関する困りごと 下の【 <u>選択肢④</u> 】の番号から複数選択
	通勤・通学	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	日常の買い物	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	通院	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	その他 (レジャーなど)	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	豊橋駅周辺の まちなかへのお出かけ	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
豊橋駅周辺の まちなかへのお出かけ からの帰宅	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16	

【選択肢③：移動に関する困り度合い】 (1つのみ選択)

1. 困っている 2. やや困っている 3. どちらでもない 4. あまり困っていない 5. 困っていない

【選択肢④：移動に関する困りごと】 (複数選択可)

1. 徒歩で移動する距離が長い 2. 自転車で移動する距離が長い 3. 交通渋滞に巻き込まれる
4. 目的地に駐車場がない 5. 駐車場が混雑しており駐車できない 6. 送迎してくれる人がいない
7. 利用できる公共交通がない 8. 利用したい時間に公共交通の便がない 9. 公共交通の移動時間が長い
10. 公共交通の待ち時間が長い 11. 公共交通の乗り継ぎが悪い 12. 公共交通の運賃が高い
13. 公共交通が遅延する 14. 公共交通の使い方がわからない 15. 免許を返納すると利用できる移動手段がなくなる
16. 公共交通の駅・停留所と自宅や目的地が遠い

問3：外出する際の交通手段別の現在の利用状況について、以下の項目にそれぞれお答えください。

設問・選択肢

外出する際の交通手段別の利用状況について、「5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化」と、「その変化の主な理由」について、それぞれ選択肢の欄の内容を踏まえて、該当する番号に○をつけてください。

利用する 移動手段	5～10年くらい前と現在を 比べた利用の変化 (下の選択肢⑤から1つ選択)	その変化の主な理由 (下の選択肢⑥から複数選択可)	その他自由記述
鉄道	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
路面電車	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
路線バス	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
自動車・バイク	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
タクシー	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
コミュニティバス	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
自転車	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
徒歩	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	

【選択肢⑤：5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化】 (目的ごとに1つ選択)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大きく増えた
(概ね1週間で1回以上増加) | 2. やや増えた
(概ね1か月で2回程度増加) | 3. 以前と変わらない |
| 4. やや減った
(概ね1か月で2回程度減少) | 5. 大きく減った
(概ね1週間で1回以上減少) | 6. 以前からほとんど利用していない
または、歩いて外出していない |

【選択肢⑥：その変化の主な理由】 (複数選択可)

- | | | |
|--|---------------------|----------------------------|
| 1. 変化していない | 2. コロナ禍を経た生活様式の変化 | 3. 生活環境(就職・進学など)の変化 |
| 4. 子どもが生まれたから | 5. 外出する機会そのものが減ったから | 6. 免許を取得したから |
| 7. 免許を返納したから | 8. 便利になったから | 9. 不便になったから |
| 10. 移動に掛かる費用(運賃やガソリン代、車の維持費など)が高くなったから | 11. 健康によいから | 12. 環境にやさしい交通手段を使おうとしているから |
| 13. 特に理由はない | | |

問4：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
4-1	<p>豊橋市では、市民1人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」（平成29年4月1日施行）に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。</p> <p>このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。（1つ選択）</p> <p>1. 条例の内容に基づいて実際に行動している 2. 条例をつくったこともその内容も知っている 3. 条例をつくったことだけは知っている 4. 全く知らなかった</p>
4-2	<p>「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）</p> <p>※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。</p> <p>1. これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2. 今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3. 公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4. これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5. 今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6. 今後は、これまで自家用車を利用して移動を、公共交通に変えようと思う →具体的な移動： _____ から _____ への移動に公共交通を利用 7. 特に行動を変えようとは思わない</p>
4-3	<p>市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。（複数選択可）</p> <p>1. 市民全体に対する財源確保策（交通税）を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている同水準の支援を続ける 7. 市は支援する必要はない</p>
4-4	<p>過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか？（2つまで選択可）</p> <p>1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点※に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること ※地域拠点：南栄駅周辺、二川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和山辻停留所周辺 6. 新技術※を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること ※新技術：自動運転バスなど 7. その他（ _____ ）</p>

設問 No	設問・選択肢		
4-5	<p>●各公共交通の運営状況</p> <p>豊橋市の渥美線、路面電車、路線バスは民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。</p> <p>公共交通を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください。（それぞれ選択肢⑦から1つ選択）</p>		
	渥美線への支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)	路面電車への支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)	路線バスへの支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)
	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	6. その他 ()	6. その他 ()	6. その他 ()
<p>【選択肢⑦】</p> <p>1. 市がより積極的に支援してでも、利便性向上のための取組を行うべき</p> <p>2. 市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき</p> <p>3. 市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい</p> <p>4. 市の支援としては不要であり、公共交通を維持できないことは致し方ない</p> <p>5. わからない</p> <p>6. その他</p>			

問5：公共交通の利便性向上に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

豊橋市では、将来の都市像として「歩いて暮らせるまち」を目標の一つに掲げ、そのために「集約型都市構造」、「過度に自動車交通に依存しない都市交通体系の構築」を目指しています。このことを踏まえ、以下に示す公共交通それぞれの取組みについて、あなたの考えであてはまるものを選んでください。

設問	設問・選択肢	
5-1	豊橋駅の乗換え利便性 (1つ選択)	<p>豊橋駅の鉄道（JR線、名鉄名古屋本線、豊鉄渥美線）、路面電車、バス、タクシーの各公共交通機関相互の乗換えの分かりやすさについて選んでください。</p> <p>「4. 分かりにくい」を選んだ方は、お気づきの点をご記入ください。</p> <p>1. 分かりやすい 2. 豊橋駅で乗換えしない 3. 豊橋駅を利用しない</p> <p>4. 分かりにくい（お気づきの点：_____）</p>
5-2	路線バスの料金 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 150 円以下 2. 200 円程度 3. 250 円程度 4. 300 円程度</p> <p>5. 350 円程度 6. 400 円程度 7. 450 円程度 8. 500 円以上</p>
5-3	路線バスの所要時間 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、どのくらいの所要時間（乗換含む）が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 15 分以内 2. 30 分以内 3. 45 分以内 4. 60 分以内</p> <p>5. 75 分以内 6. 90 分以内 7. 90 分以上</p>
5-4	路線バスの運行本数 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、最低限どれくらいの運行本数（片道）が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 1 時間に 1 本 2. 1 時間に 2 本 3. 1 時間に 3 本</p> <p>4. 1 時間に 4 本 5. 1 時間に 5 本 6. 1 時間に 6 本</p> <p>7. それ以上（1 時間に【 本】）</p>

設問	設問・選択肢	
5-5	移動に関する アプリ (1つ選択)	<p>豊橋市では、公共交通の経路検索に加え、お得なフリー切符をキャッシュレスで購入可能なアプリがあります。 これらのサービスについて、どのように感じていますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 既に利用している 導入されていることは知っており、今後利用したい 導入されていることは知っているが、利用しようとは思わない 導入されていることは知らなかったが、今後利用したい 導入されていることは知らなかったし、利用しようとは思わない その他 ()
5-6	MaaS (1つ選択)	<p>現在、全国で「MaaS（マース）」と言われるサービスの導入が検討されています。「MaaS」が実現すると、1つのアプリで経路検索・様々な乗り物の予約や支払いを一括して行うことができます。 このようなサービスが実現することについて、どのように考えますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 実現に向けて、市が主体となって積極的に推進すべき 実現に向けて、民間企業の取組を市が積極的に支援すべき 実現すれば便利だが、積極的には推進しなくてもよい 特に困っていないので、実現しなくともよい その他 ()
5-7	自動運転バスの 実用化 (複数選択可)	<p>豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組みを行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて①期待することや②懸念することは何ですか？</p> <p>【①期待すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定時性の向上 公共交通のサービス水準向上（運行本数や運行ルートの増加） 既存の公共交通を代替するサービスの実現 過疎地など公共交通が不便な地域での移動支援 運行経費の削減 交通事故の減少 環境負荷の低減 交通渋滞の緩和 その他 () <p>【②懸念すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定時性の悪化 車両の信頼性（不具合など）悪化 交通事故の増加 事故の責任の不明確さ 交通渋滞の発生 行政負担の増加 その他 ()

問6：路面電車のあり方や価値について、以下の設問にお答えください。

設問	設問・選択肢
6-1	路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。(複数選択可)
	1. 日々の通勤通学などを支える移動手段 2. 駅までの大事な移動手段 3. 交通事故の抑制 4. 環境負荷の軽減 5. 賑わいの創出 6. まちづくりとしての交通網の形成 7. まちのシンボル 8. 特に感じない 9. その他()
6-2	物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？(1つ選択) ※2024年10月現在の乗車運賃は200円です。
	1. 10円値上げまでなら良い(約5%高) 2. 20円値上げまでなら良い(約10%高) 3. 30円値上げまでなら良い(約15%高) 4. 40円以上の値上げでも良い(約20%高) 5. 今と同じ運賃が良い(値上げ分は行政負担で賄うべき)
6-3	路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金(協賛金や支援金)を払うとしたら、毎月1人あたり、いくらなら支払うことができますか？(1つ選択)
	1. 100円未満 2. 100円～200円未満 3. 200円～500円未満 4. 500円～1,000円未満 5. 1,000円以上 6. 支払わない

問7：豊橋市の交通に関する取組みについて、以下の設問にお答えください。

設問	設問・選択肢
交通環境に対する現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、右の選択肢から該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。	【満足度の選択肢】 1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 6. わからない
	【重要度の選択肢】 1. 重要 2. やや重要 3. どちらでもない 4. あまり重要でない 5. 重要でない

【徒歩や自転車に関すること】	満足度	重要度
①自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②まちなか(豊橋駅周辺)の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④まちなか(豊橋駅周辺)の自転車の走りやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤まちなか(豊橋駅周辺)の自転車駐輪環境の向上への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【道路や自動車交通に関すること】	満足度	重要度
⑥道路の混雑・渋滞対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦道路の交通安全対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧まちなか(豊橋駅周辺)の駐車環境の向上へ向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【公共交通に関すること】	満足度	重要度
⑨ 自宅近くの路線バス（ルート・バス停位置）の現状、今後の路線再編などの取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩ 自宅近くの路線バスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪ 路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫ 路面電車電停の安全対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬ 自宅近くの鉄道駅のバリアフリー*化など、利用しやすい駅の整備 <small>※スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭ 路面電車の電停のバリアフリー*化など、利用しやすい電停の整備 <small>※スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮ バリアフリーな路面電車車両*（「ほっとラム」のような低床車両）の導入 <small>※電停と出入り口との段差のない車両。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯ 路面電車の混雑緩和に向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑰ 市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱ 鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲ 鉄道駅や路面電車電停付近の駐車場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳ 鉄道駅や路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑ 自宅近くのコミュニティバス（ルート・バス停位置）の現状、今後路線再編などの取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒ 自宅近くのコミュニティバスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓ タクシーの予約しやすさの向上	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔ タクシーの待ち時間短縮	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
【その他】	満足度	重要度
㉕ 交通安全に対する市民意識を高めるための取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖ まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性の向上へ向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗ 環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉘ 健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉙ 交通に関する子育て世帯が使いやすいようになるための取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

問8：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
8-1	あなたの性別・年齢を選んでください。
	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない 年齢：(____歳)
8-2	あなたの職業を選んでください。(1つ選択)
	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学・短大・専門学校生 4. 会社員・公務員 5. 自営業 6. 農林漁業 7. アルバイト・パート 8. 専業主婦(夫) 9. 無職 10. その他(____)
8-3	あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。(1つ選択)
	1. 免許証あり(自由に使える自動車などがある) 2. 免許証あり(自由に使える自動車などがない) 3. 免許証なし

その他、豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

《集計結果は統計的に処理しますので、個人情報公表されることは一切ありません。》

10月21日(月)までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

【家族用】

豊橋市の交通に関するアンケート調査票【家族用】

この調査票は、ご家族の方がご回答ください

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、
【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【web 回答方法】

○右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし
以下の回答票番号(数字 4 桁—数字 1 桁)をご入力の上、
ご回答ください。

回答票番号: 0001-1

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、
お一人で何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

[https://questant.jp/
q/koutsuu_kazoku](https://questant.jp/q/koutsuu_kazoku)



【紙の調査票の回答方法】

- この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
- アンケートへのご回答は、2 ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
- 回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の () に必要事項をご記入ください。
- 回答は、調査票に直接書き込んでください。
- ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、
切手を貼らずに 2024 年 10 月 21 日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

《問合せ先》

豊橋市役所 都市計画部 都市交通課 (担当: 加藤、高野)
電話: (0532) 51-2620 (代表)

《調査委託先》

中央復建コンサルタンツ株式会社 事業創生グループ (担当: 須賀)
電話: (03) 3511-2030

本アンケートにご回答いただくにあたって、、、

【公共交通をとりまく環境について】

- 長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ禍後も利用者数がコロナ禍以前の水準までには回復していない状況
- 全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
- 労働時間に関する規制変更に伴う「2024年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況です。

豊橋市は、交通事業者へ運行や設備投資への支援とともに利用促進を図っています。
令和7年3月に市内の路線バスで交通系ICカードが利用できるようになります。

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問1：回答者ご自身の日々の移動について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢						
1-1	目的ごとに、最もよく行く目的地へのお出かけの回数、主な移動手段、その移動手段を選ぶ理由をご記入ください。主な移動手段、その移動手段を選ぶ理由については、下記一覧より番号を選んでご記入ください。						
	目的	移動の有無	最もよく行く目的地	市内 市外 【選択】	目的地へのお出かけの回数 ※週1回未満の場合は「0」を記入	目的地への主な移動手段 下の【選択肢①】から複数選択	移動手段を選ぶ理由 下の【選択肢②】から1つ選択
	通勤・通学	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	日常の買い物	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	通院	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	その他 (レジャーなど)	<input type="checkbox"/>		1. 市内 2. 市外	週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
	豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ	<input type="checkbox"/>			週に [] 回	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []
			豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅		—	[] 番 その他 []	主に [] 番 その他 []

【選択肢①：主な移動手段】（複数選択可）

1. 鉄道(JR線)
2. 鉄道(名鉄線)
3. 鉄道(豊鉄渥美線)
4. 路面電車
5. 路線バス
6. コミュニティバス
7. タクシー
8. 車(自分で運転)
9. 車(送迎)
10. バイク・原付
11. 自転車
12. 徒歩
13. その他

【選択肢②：移動手段を選ぶ理由】（目的ごとに1つ選択）

1. 早く行けるから
2. 楽だから
3. 交通費が安いから
4. 時間通りに行けるから
5. 自宅と目的地が近いから
6. 安全だから
7. 他に交通手段がないから
8. 駐車場がないから
9. 健康によいから
10. 環境によいから
11. 荷物があるから
12. ほかに立ち寄り場所があるから
13. 通勤・通学先から指定されているから
14. お酒を飲む機会があるから
15. その他

設問 No	設問・選択肢		
1-2	1-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いやその内容について、選択肢の欄の内容を踏まえて、該当するものを選んでください。選択肢以外で困っていることがあれば、その他自由記述欄に記入してください。		
	目的	移動に関する困っている度合い 下の【 <u>選択肢③</u> 】の番号から1つ選択	移動に関する困りごと 下の【 <u>選択肢④</u> 】の番号から複数選択
	通勤・通学	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	日常の買い物	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	通院	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	その他 (レジャーなど)	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
	豊橋駅周辺の まちなかへのお出かけ	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16
豊橋駅周辺の まちなかへのお出かけ からの帰宅	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5・6・7・8 9・10・11・12・13・14・15・16	

【選択肢③：移動に関する困り度合い】 (1つのみ選択)
 1. 困っている 2. やや困っている 3. どちらでもない 4. あまり困っていない 5. 困っていない

【選択肢④：移動に関する困りごと】 (複数選択可)
 1. 徒歩で移動する距離が長い 2. 自転車で移動する距離が長い 3. 交通渋滞に巻き込まれる
 4. 目的地に駐車場がない 5. 駐車場が混雑しており駐車できない 6. 送迎してくれる人がいない
 7. 利用できる公共交通がない 8. 利用したい時間に公共交通の便がない 9. 公共交通の移動時間が長い
 10. 公共交通の待ち時間が長い 11. 公共交通の乗り継ぎが悪い 12. 公共交通の運賃が高い
 13. 公共交通が遅延する 14. 公共交通の使い方がわからない 15. 免許を返納すると利用できる移動手段がなくなる
 16. 公共交通の駅・停留所と自宅や目的地が遠い

問2：外出する際の交通手段別の現在の利用状況について、以下の項目にそれぞれお答えください。

設問・選択肢

外出する際の交通手段別の利用状況について、「5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化」と、「その変化の主な理由」について、それぞれ選択肢の欄の内容を踏まえて、該当する番号に○をつけてください。

利用する 移動手段	5～10年くらい前と現在を 比べた利用の変化 (下の選択肢⑤から1つ選択)	その変化の主な理由 (下の選択肢⑥から複数選択可)	その他自由記述
鉄道	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
路面電車	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
路線バス	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
自動車・バイク	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
タクシー	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
コミュニティバス	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
自転車	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	
徒歩	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5・6・7 8・9・10・11・12・13	

【選択肢⑤：5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化】 (目的ごとに1つ選択)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 大きく増えた
(概ね1週間で1回以上増加) | 2. やや増えた
(概ね1か月で2回程度増加) | 3. 以前と変わらない |
| 4. やや減った
(概ね1か月で2回程度減少) | 5. 大きく減った
(概ね1週間で1回以上減少) | 6. 以前からほとんど利用していない
または、歩いて外出していない |

【選択肢⑥：その変化の主な理由】 (複数選択可)

- | | | |
|--|---------------------|----------------------------|
| 1. 変化していない | 2. コロナ禍を経た生活様式の変化 | 3. 生活環境(就職・進学など)の変化 |
| 4. 子どもが生まれたから | 5. 外出する機会そのものが減ったから | 6. 免許を取得したから |
| 7. 免許を返納したから | 8. 便利になったから | 9. 不便になったから |
| 10. 移動に掛かる費用(運賃やガソリン代、車の維持費など)が高くなったから | 11. 健康によいから | 12. 環境にやさしい交通手段を使おうとしているから |
| 13. 特に理由はない | | |

問3：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
3-1	<p>豊橋市では、市民1人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」（平成29年4月1日施行）に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。</p> <p>このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。（1つ選択）</p> <p>1. 条例の内容に基づいて実際に行動している 2. 条例をつくったこともその内容も知っている 3. 条例をつくったことだけは知っている 4. 全く知らなかった</p>
3-2	<p>「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）</p> <p>※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。</p> <p>1. これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2. 今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3. 公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4. これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5. 今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6. 今後は、これまで自家用車を利用して移動を、公共交通に変えようと思う →具体的な移動： _____ から _____ への移動に公共交通を利用 7. 特に行動を変えようとは思わない</p>
3-3	<p>市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。（複数選択可）</p> <p>1. 市民全体に対する財源確保策（交通税）を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている同水準の支援を続ける 7. 市は支援する必要はない</p>
3-4	<p>過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか？（2つまで選択可）</p> <p>1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点※に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること ※地域拠点：南栄駅周辺、二川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和山辻停留所周辺 6. 新技術※を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること ※新技術：自動運転バスなど 7. その他（ _____ ）</p>

設問 No	設問・選択肢		
3-5	<p>●各公共交通の運営状況</p> <p>豊橋市の渥美線、路面電車、路線バスは民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。</p> <p>公共交通を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください。（それぞれ選択肢⑦から1つ選択）</p>		
	渥美線への支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)	路面電車への支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)	路線バスへの支援 (下の選択肢⑦から1つ選択)
	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	6. その他 ()	6. その他 ()	6. その他 ()
<p>【選択肢⑦】</p> <p>1. 市がより積極的に支援してでも、利便性向上のための取組を行うべき</p> <p>2. 市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき</p> <p>3. 市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい</p> <p>4. 市の支援としては不要であり、公共交通を維持できないことは致し方ない</p> <p>5. わからない</p> <p>6. その他</p>			

問4：公共交通の利便性向上に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

豊橋市では、将来の都市像として「歩いて暮らせるまち」を目標の一つに掲げ、そのために「集約型都市構造」、「過度に自動車交通に依存しない都市交通体系の構築」を目指しています。このことを踏まえ、以下に示す公共交通それぞれの取組みについて、あなたの考えであてはまるものを選んでください。

設問	設問・選択肢	
4-1	豊橋駅の乗換え利便性 (1つ選択)	<p>豊橋駅の鉄道（JR線、名鉄名古屋本線、豊鉄渥美線）、路面電車、バス、タクシーの各公共交通機関相互の乗換えの分かりやすさについて選んでください。</p> <p>「4. 分かりにくい」を選んだ方は、お気づきの点をご記入ください。</p> <p>1. 分かりやすい 2. 豊橋駅で乗換えしない 3. 豊橋駅を利用しない</p> <p>4. 分かりにくい（お気づきの点：_____）</p>
4-2	路線バスの料金 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 150円以下 2. 200円程度 3. 250円程度 4. 300円程度</p> <p>5. 350円程度 6. 400円程度 7. 450円程度 8. 500円以上</p>
4-3	路線バスの所要時間 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、どのくらいの所要時間（乗換含む）が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 15分以内 2. 30分以内 3. 45分以内 4. 60分以内</p> <p>5. 75分以内 6. 90分以内 7. 90分以上</p>
4-4	路線バスの運行本数 (1つ選択)	<p>自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、最低限どれくらいの運行本数（片道）が望ましいと思いますか？</p> <p>1. 1時間に1本 2. 1時間に2本 3. 1時間に3本</p> <p>4. 1時間に4本 5. 1時間に5本 6. 1時間に6本</p> <p>7. それ以上（1時間に【 本】）</p>

設問	設問・選択肢	
4-5	移動に関する アプリ (1つ選択)	<p>豊橋市では、公共交通の経路検索に加え、お得なフリー切符をキャッシュレスで購入可能なアプリがあります。 これらのサービスについて、どのように感じていますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 既に利用している 導入されていることは知っており、今後利用したい 導入されていることは知っているが、利用しようとは思わない 導入されていることは知らなかったが、今後利用したい 導入されていることは知らなかったし、利用しようとは思わない その他 ()
4-6	MaaS (1つ選択)	<p>現在、全国で「MaaS（マース）」と言われるサービスの導入が検討されています。「MaaS」が実現すると、1つのアプリで経路検索・様々な乗り物の予約や支払いを一括して行うことができます。 このようなサービスが実現することについて、どのように考えますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 実現に向けて、市が主体となって積極的に推進すべき 実現に向けて、民間企業の取組を市が積極的に支援すべき 実現すれば便利だが、積極的には推進しなくてもよい 特に困っていないので、実現しなくともよい その他 ()
4-7	自動運転バスの 実用化 (複数選択可)	<p>豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組みを行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて①期待することや②懸念することは何ですか？</p> <p>【①期待すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定時性の向上 公共交通のサービス水準向上（運行本数や運行ルートの増加） 既存の公共交通を代替するサービスの実現 過疎地など公共交通が不便な地域での移動支援 運行経費の削減 交通事故の減少 環境負荷の低減 交通渋滞の緩和 その他 () <p>【②懸念すること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定時性の悪化 車両の信頼性（不具合など）悪化 交通事故の増加 事故の責任の不明確さ 交通渋滞の発生 行政負担の増加 その他 ()

問5：路面電車のあり方や価値について、以下の設問にお答えください。

設問	設問・選択肢
5-1	路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。(複数選択可)
	1. 日々の通勤通学などを支える移動手段 2. 駅までの大事な移動手段 3. 交通事故の抑制 4. 環境負荷の軽減 5. 賑わいの創出 6. まちづくりとしての交通網の形成 7. まちのシンボル 8. 特に感じない 9. その他()
5-2	物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？(1つ選択) ※2024年10月現在の乗車運賃は200円です。
	1. 10円値上げまでなら良い(約5%高) 2. 20円値上げまでなら良い(約10%高) 3. 30円値上げまでなら良い(約15%高) 4. 40円以上の値上げでも良い(約20%高) 5. 今と同じ運賃が良い(値上げ分は行政負担で賄うべき)
5-3	路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金(協賛金や支援金)を払うとしたら、毎月1人あたり、いくらなら支払うことができますか？(1つ選択)
	1. 100円未満 2. 100円～200円未満 3. 200円～500円未満 4. 500円～1,000円未満 5. 1,000円以上 6. 支払わない

問6：豊橋市の交通に関する取組みについて、以下の設問にお答えください。

設問・選択肢		
交通環境に対する現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、右の選択肢から該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。	【満足度の選択肢】	【重要度の選択肢】
	1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 6. わからない	1. 重要 2. やや重要 3. どちらでもない 4. あまり重要でない 5. 重要でない

【徒歩や自転車に関すること】	満足度	重要度
①自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②まちなか(豊橋駅周辺)の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④まちなか(豊橋駅周辺)の自転車の走りやすさや安全面の取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤まちなか(豊橋駅周辺)の自転車駐輪環境の向上への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【道路や自動車交通に関すること】	満足度	重要度
⑥道路の混雑・渋滞対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦道路の交通安全対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧まちなか(豊橋駅周辺)の駐車環境の向上へ向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【公共交通に関すること】	満足度	重要度
⑨ 自宅近くの路線バス（ルート・バス停位置）の現状、今後の路線再編などの取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩ 自宅近くの路線バスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪ 路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫ 路面電車電停の安全対策	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬ 自宅近くの鉄道駅のバリアフリー*化など、利用しやすい駅の整備 <small>※スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭ 路面電車の電停のバリアフリー*化など、利用しやすい電停の整備 <small>※スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮ バリアフリーな路面電車車両*（「ほっとラム」のような低床車両）の導入 <small>※電停と出入り口との段差のない車両。</small>	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯ 路面電車の混雑緩和に向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑰ 市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱ 鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲ 鉄道駅や路面電車電停付近の駐車場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳ 鉄道駅や路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑ 自宅近くのコミュニティバス（ルート・バス停位置）の現状、今後路線再編などの取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒ 自宅近くのコミュニティバスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓ タクシーの予約しやすさの向上	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔ タクシーの待ち時間短縮	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
【その他】	満足度	重要度
㉕ 交通安全に対する市民意識を高めるための取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖ まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性の向上へ向けた取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗ 環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉘ 健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉙ 交通に関する子育て世帯が使いやすいするための取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

問7：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
7-1	あなたの性別・年齢を選んでください。
	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない 年齢：(____歳)
7-2	あなたの職業を選んでください。(1つ選択)
	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学・短大・専門学校生 4. 会社員・公務員 5. 自営業 6. 農林漁業 7. アルバイト・パート 8. 専業主婦(夫) 9. 無職 10. その他(____)
7-3	あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。(1つ選択)
	1. 免許証あり(自由に使える自動車などがある) 2. 免許証あり(自由に使える自動車などがない) 3. 免許証なし

その他、豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

《集計結果は統計的に処理しますので、個人情報公表されることは一切ありません。》

10月21日(月)までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

(2)路面電車沿線地域アンケート調査(住民)

【対象者用】

路面電車沿線住民アンケートのお願い

平素より本市の都市交通行政に対しまして、ご理解、ご協力をいただき御礼申し上げます。
現在、本市では、快適に過ごせるまちづくりを目指して、交通に関する計画づくりを進めています。

つきましては、計画づくりの基礎資料とするために、市民の皆様に対して、アンケート調査を実施いたします。

なお、アンケート調査票にご記入いただいた回答は統計的に処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。また、アンケート調査票の内容を他の目的に使用することは一切ございません。

ご協力をお願いいたします。

2024年10月 豊橋市

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、
【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【本アンケートについて】

- このアンケート調査用紙は、豊橋市に居住する方のうち路面電車の沿線にお住まいの方を対象に、住民基本台帳から無作為に抽出された方にお送りしています。
- アンケート調査用紙は、【封筒の宛名のご本人様用】1票(本調査票)、【家族用】3票を封入しています。15歳以上の同居の方全員のご回答をお願いします。
(15歳以上の方が5名様以上いらっしゃる場合は、封筒の宛名のご本人様と、外出機会の多い3名様までご記入をお願いします。)

【web 回答方法】

- 各調査票(本調査票は2ページ、家族用は1ページ)にあるQRコードを読み取り、回答フォームに沿ってお答えください。
回答の際には、**回答票番号(数字4桁)をご入力の上、ご回答ください。**
※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、おひとりでも何度も繰り返し回答された場合は、集計から除外する場合があります。

【紙の調査票の回答方法】

- この調査票の回答票番号によりwebで回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
- アンケートへのご回答は、2ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
- 回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の()に必要事項をご記入ください。
- 回答は、調査票に直接書き込んでください。
- ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、**切手を貼らずに2024年10月21日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。**

《問合せ先》

豊橋市役所 都市計画部 都市交通課 (担当:加藤、高野)

電話:(0532) 51-2620 (代表)

《調査委託先》

中央復建コンサルタンツ株式会社 事業創生グループ (担当:須賀)

電話:(03) 3511-2030

路面電車沿線住民アンケート調査票【封筒の宛名のご本人様用】

《WEB フォームからご回答いただく場合》

右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし

以下の回答票番号(数字4桁)をご入力の上、ご回答ください。

回答票番号: 0001

https://questant.jp/q/romen_taisyousya



※この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として
使用しないで下さい。

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、お一人で
何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

問1：世帯の状況について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
1-1	<p>ご自宅の住所をご記入ください。(町丁目単位まで記入)</p> <p>豊橋市 () 町・丁目 字 ()</p> <p>※字名までご記入ください。</p>
1-2	<p>お住まいの小学校区を選んでください。</p> <p>1. 東田 2. 旭 3. 鷹丘 4. 松山 5. 新川 6. 向山 7. 松葉 8. 八町 9. 岩田 10. 豊 11. 多米 12. 校区が分からない</p>
1-3	<p>ご家族の人数をご記入ください。</p> <p>() 人家族</p> <p>《内訳を教えてください》</p> <p>未就学児 () 人 中学生 () 人 小学生 () 人 高校生(15歳)以上 () 人 高齢者(65歳)以上 () 人</p>
1-4	<p>豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？</p> <p>1. 2年以内 2. 5年以内 3. 10年以内 4. 20年以内 5. 21年以上</p>
1-5	<p>世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください。</p> <p>1. 1台 2. 2台 3. 3台 4. 4台以上 5. 自動車を持っていない</p>
1-6	<p>世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。</p> <p>1. 1台 2. 2台 3. 3台 4. 4台以上 5. 自転車を持っていない</p>
1-7	<p>最寄の路面電車の電停を選んでください。</p> <p>1. 駅前 2. 駅前大通 3. 新川 4. 札木 5. 市役所前 6. 豊橋公園前 7. 東八町 8. 前畑 9. 東田坂上 10. 東田 11. 競輪場前 12. 井原 13. 赤岩口 14. 運動公園前</p>
1-8	<p>「1-7」で選んだ最寄の路面電車電停までの、徒歩での所要時間を選んでください。</p> <p>1. 1～2分 2. 3分以内 3. 5分以内 4. 10分以内 5. 15分以内 6. 15分以上 7. 分からない</p>

本アンケートにご回答いただくにあたって、

【公共交通をとりまく環境について】

- 長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ禍後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況
- 全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
- 労働時間に関する規制変更に伴う「2024年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況

豊橋市では、公共交通の運行や設備投資への支援をはじめ、利用促進を行っています

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問2：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
2-1	<p>あなたの性別・年齢を選んでください。</p> <p>1. 男性 2. 女性 3. 回答しない 年齢：(____)歳</p>
2-2	<p>あなたの職業を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 中学生 2. 高校生 3. 大学・短大・専門学校生 4. 会社員・公務員 5. 自営業 6. 農林漁業 7. アルバイト・パート 8. 専業主婦(夫) 9. 無職 10. その他(____)</p>
2-3	<p>あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 免許証を持っている(自由に使える自動車などがある) 2. 免許証を持っている(自由に使える自動車などがない) 3. 免許証を持っていない</p>

問3：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
3-1	<p>豊橋市では、市民1人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」(平成29年4月1日施行)に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。</p> <p>このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 条例の内容に基づいて実際に行動している 2. 条例をつくったこともその内容も知っている 3. 条例をつくったことだけは知っている 4. 全く知らなかった</p>
3-2	<p>「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。</p> <p>今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。(複数選択可)</p> <p>1. これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2. 今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3. 公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4. これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5. 今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6. 今後は、これまで自家用車を利用して移動を、公共交通に変えようと思う</p> <p>一具体的な移動： _____ から _____ への移動に公共交通を利用</p> <p>7. 特に行動を変えようとは思わない</p>

※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。

設問 No	設問・選択肢
3-3	<p>市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。(複数選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民全体に対する財源確保策(交通税)を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている支援を続ける 7. 市は支援する必要はない
3-4	<p>過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか?(2つまで選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点[※]に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること <small>※地域拠点：南栄駅周辺、川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和田辻停留所周辺</small> 6. 新技術[※]を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること <small>※新技術：自動運転バスなど</small> 7. その他()

問4：路面電車の利用について、以下の設問にお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
4-1	利用頻度 (1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほとんど毎日 2. 週2～3日程度 3. 週1日程度 4. 月に2～3日程度 5. 月に1日程度 6. 年に数回 7. 利用していない <p>→5頁目の問4-6へ進んでください</p>
4-2	利用目的 (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院・福祉サービス 5. 行政・金融サービス 6. レジャー・社交 7. 塾・習い事 8. 業務 9. その他()
4-3	最寄の電停のほかに、よく利用する電停 (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 駅前 2. 駅前大通 3. 新川 4. 札木 5. 市役所前 6. 豊橋公園前 7. 東八町 8. 前畑 9. 東田坂上 10. 東田 11. 競輪場前 12. 井原 13. 赤岩口 14. 運動公園前
4-4	主な目的地 (1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的地が豊橋市内の方：町・丁目単位までの住所をご記入いただくか、または目的地の住所が分からない場合は施設名や学校名などをご記入ください。 豊橋市()町・丁目 または、施設や学校名() 2. 目的地が豊橋市外の方：市町村単位までの住所をご記入ください。 ()市・町・村

設問 No	分類	設問・選択肢
4-5	路面電車を 使う理由 (複数選択可)	1. 目的地に速く行けるから 2. 運行本数が多いから 3. 運賃が安いから 4. 時間通りに行けるから 5. 自宅と電停が近いから 6. 電停を降りてからが便利だから 7. サイクル&ライド駐輪場があるから 8. 電停に駐車場があるから 9. 朝早い時間から運行しているから 10. 夜遅くまで運行しているから 11. 安全だから 12. 他に交通手段がないから 13. 目的地に駐車場がないから 14. 車を運転できないから 15. 他人の送迎に頼らないようにしているから 16. お酒を飲む機会があるから 17. 座れるから 18. 健康維持によいから 19. 環境によいから 20. 利用促進に貢献するため 21. その他 () →問5へ進んでください
4-6	路面電車を 使わない理由 (複数選択可)	1. 目的地に行くのに時間がかかるから 2. 運行本数が少ないから 3. 時間通りに来ないから 4. 運賃が高いから 5. 電車やバスを乗り継ぐと運賃が高くなるから 6. 自宅と電停が遠いから 7. 電停を降りてからが不便だから 8. 豊橋駅での乗換えが不便だから 9. 最寄の電停に駐輪場がない・足りないから 10. 最寄の電停に駐車場や車の待機場所がないから 11. 始発の時間が遅いから 12. 最終の時間が早いから 13. 電停で待ちにくい・危険だから 14. 他に利用できる交通手段があるから 15. 目的地に駐車場があるから 16. 自由に利用できる車があるから 17. 送迎してくれる家族や知人がいるから 18. 車両の乗り降りがしにくいから 19. 車内が混雑しているから 20. その他 ()

問5：路面電車の必要性についてお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
5-1	ご自身に ととの 必要性 (1つ)	1. 現在利用しているので、必要である 2. 現在は利用していないが、今後は必要と思う } →問5-1(1)へ進んでください 3. 現在も今後も不要である } →問5-1(2)へ進んでください 4. 分からない } →6頁目の問5-2へ進んでください
5-1 (1)	ご自身に 必要と思う 理由 (複数選択可)	1. 日常生活の外出を支えるもの 2. 気軽な外出を支えるもの 3. 安い運賃での外出を支えるもの 4. 時間通りの外出を支えるもの 5. 安心・安全な外出を支えるもの 6. 雨などの天気が悪い時の外出を支えるもの 7. 健康維持を支えるもの 8. 人との交流や出歩くために欠かせないもの 9. 車が使えない時の外出を支えるもの 10. 送迎者がいないときの外出を支えるもの 11. 将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの 12. その他 () →6頁目の問5-2へ進んでください
5-1 (2)	ご自身に 不要と思う 理由 (複数選択可)	1. 普段行きたい方向と路線の方向が合っていないから 2. 他の交通手段の方が便利だから 3. 将来、高齢になって車が運転できなくなることは想像できないから 4. その他 ()

設問 No	分類	設問・選択肢
5-2	地域にとっての必要性 (1つ)	1. 必要と思う →問5-2(1)へ進んでください 2. 不要と思う →問5-2(2)へ進んでください 3. 分からない →問6へ進んでください
5-2 (1)	地域に必要と思う理由 (複数選択可)	1. 地域のシンボルとして 2. 地域の活力を支えるものとして 3. 沿線の外からの来訪、来街を促進して交流を支えるものとして 4. 高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして 5. その他 () →問6へ進んでください
5-2 (2)	地域に不要と思う理由 (複数選択可)	1. 路面電車が走る道路が狭く、道路が混雑するから 2. 路面電車が走る道路が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから 3. 路面電車が走る道路では、沿道の出入りがしにくいから 4. 景観を損なっているから 5. 騒音や振動が気になるから 6. 行政負担がかかっているから 7. その他 ()

問6：路面電車に関する取組みのあり方や価値について、お答えください。

設問 No	設問・選択肢
6-1	<p>●路面電車の運営状況 豊橋市の路面電車は民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。</p> <p>路面電車を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 市が積極的に支援してでも、利便性向上のための取組みを行うべき 2. 市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき 3. 市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい 4. 市の支援としては不要であり、路面電車を維持できないことは致し方ない 5. わからない 6. その他 ()</p>
6-2	<p>豊橋市に路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。(複数選択可)</p> <p>1. 日々の通勤通学などを支える移動手段 2. 駅までの大事な移動手段 3. 交通事故の抑制 4. 環境負荷の軽減 5. 賑わいの創出 6. まちづくりとしての交通網の形成 7. まちのシンボル 8. 特に感じない 9. その他 ()</p>
6-3	<p>物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？(1つ選択) ※2024年10月現在の乗車運賃は200円です。</p> <p>1. 10円値上げまでなら良い(約5%高) 2. 20円値上げまでなら良い(約10%高) 3. 30円値上げまでなら良い(約15%高) 4. 40円以上の値上げでも良い(約20%高) 5. 今と同じ運賃が良い(値上げ分は行政負担で賄うべき)</p>

設問 No	設問・選択肢		
6-4	路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月1人あたり、いくらなら支払うことができますか？（1つ選択）		
	1. 100円未満	2. 100円～200円未満	3. 200円～500円未満
	4. 500円～1,000円未満	5. 1,000円以上	6. 支払わない

問7：路面電車に関する満足度と重要度について、お答えください。		
設問	選択肢	
あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、以降の①～⑯項目ごとに右の選択肢から該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。	【満足度の選択肢】	【重要度の選択肢】
	1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 6. わからない	1. 重要 2. やや重要 3. どちらでもない 4. あまり重要でない 5. 重要でない

【路面電車の利便性】	満足度	重要度
①運賃	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②運行間隔	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③運行の正確さ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④所要時間	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤電停の位置	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑥電停の安全性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦電停の待ちやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧電停のバリアフリー※状況 ※スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にすることなど。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑨車両のバリアフリー※状況（ほつトラム以外） ※電停と出入り口の段差のない車両。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩路面電車の混雑状況	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭他の交通手段との乗り換え	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮車両の快適性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯子育て世帯の利用のしやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【路面電車の魅力向上】	満足度	重要度
⑰騒音や振動	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱電停の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲車両の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳道路上の架線の削減	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓沿線の賑わい	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔人が集まるようなイベント開催	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉕環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

その他、路面電車に関するご意見や豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

<集計結果は統計的に処理しますので、個人情報公表されることは一切ありません。>

10月21日（月）までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

【家族用】

路面電車沿線住民アンケート調査票【家族用】

この調査票は、ご家族の方がご回答ください

web 回答、または、紙の調査票(郵送にて返送)のいずれかを選択して、
【2024年10月21日(月)まで】にご回答ください。

【web 回答方法】

○右の URL または二次元バーコードから、回答フォームにアクセスし
以下の回答票番号(数字 4 桁—数字 1 桁)をご入力の上、
ご回答ください。

回答票番号: 0001-1

※調査結果の正確性確保のため、同じ回答票番号を複数人で使い回したり、
お一人で何度も繰り返し回答された場合、集計から除外する場合があります。

[https://questant.jp/
q/romen_kazoku](https://questant.jp/q/romen_kazoku)



【紙の調査票の回答方法】

- この調査票の回答票番号により web で回答した場合、紙の調査票として使用しないで下さい。
- アンケートへのご回答は、2 ページ以降、調査票の各設問に沿ってお答えください。
- 回答欄の番号に○印をつけていただくか、回答欄の () に必要事項をご記入ください。
- 回答は、調査票に直接書き込んでください。
- ご回答いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、
切手を貼らずに 2024 年 10 月 21 日(月)までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

《問合せ先》

豊橋市役所 都市計画部 都市交通課 (担当: 加藤、高野)
電話: (0532) 51-2620 (代表)

《調査委託先》

中央復建コンサルタンツ株式会社 事業創生グループ (担当: 須賀)
電話: (03) 3511-2030

本アンケートにご回答いただくにあたって、

【公共交通をとりまく環境について】

- 長期的な利用者の減少、コロナ禍の影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化し、コロナ禍後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況
- 全国の多くの路線バス・地域鉄道事業者が赤字となっており、回復の見通しが厳しい
- 労働時間に関する規制変更に伴う「2024年問題」もあり、人手不足が深刻化する中で、路線の維持が課題

今後の安定的な公共交通サービスの提供が全国的な課題であり、豊橋市も同様の課題を抱えている状況

豊橋市では、公共交通の運行や設備投資への支援をはじめ、利用促進を行っています

上記を踏まえ、皆様の回答のご協力をお願いいたします。

問1：回答者ご自身のことについて、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
1-1	<p>あなたの性別・年齢を選んでください。</p> <p>1. 男性 2. 女性 3. 回答しない 年齢：(____)歳</p>
1-2	<p>あなたの職業を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 中学生 2. 高校生 3. 大学・短大・専門学校生 4. 会社員・公務員 5. 自営業 6. 農林漁業 7. アルバイト・パート 8. 専業主婦(夫) 9. 無職 10. その他(____)</p>
1-3	<p>あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 免許証を持っている(自由に使える自動車などがある) 2. 免許証を持っている(自由に使える自動車などがない) 3. 免許証を持っていない</p>

問2：公共交通に関する取組みのあり方について、以下の設問にお答えください。

設問 No	設問・選択肢
2-1	<p>豊橋市では、市民1人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」(平成29年4月1日施行)に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。</p> <p>このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 条例の内容に基づいて実際に行動している 2. 条例をつくったこともその内容も知っている 3. 条例をつくったことだけは知っている 4. 全く知らなかった</p>
2-2	<p>「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。</p> <p>今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。(複数選択可)</p> <p>※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットをご参照ください。</p> <p>1. これまでと同様に、公共交通への理解を深める 2. 今後は、公共交通への理解を深めようと思う 3. 公共交通の活性化に関するイベントなどがあれば積極的に参加する 4. これまでと同様に、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用する 5. 今後は、過度に自家用車に頼ることなく公共交通を積極的に利用しようと思う 6. 今後は、これまで自家用車を利用して移動を、公共交通に変えようと思う</p> <p>一具体的な移動： _____ から _____ への移動に公共交通を利用</p> <p>7. 特に行動を変えようとは思わない</p>

設問 No	設問・選択肢
2-3	<p>市民とともに公共交通を支える方策について、あなたのお考えを教えてください。(複数選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民全体に対する財源確保策(交通税)を設ける 2. 交通事業者の施設や設備を行政が保有するなど、市が主体的に関与する 3. 利用運賃を値上げする 4. 市民や利用者の有志が、利用運賃に加えて、公共交通維持のための費用を支払う 5. 現在の財源の中で公共交通に関する予算を増額して他の予算を減額し、より積極的に支援を行う 6. 現在市が公共交通に対して行っている支援を続ける 7. 市は支援する必要はない
2-4	<p>過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と思いますか?(2つまで選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること 2. 自転車の走行や駐輪の環境などを整備して、利用しやすくすること 3. ゆとりや憩いが感じられる歩道などを整備して、歩きやすくすること 4. 市民が自ら自家用車の利用を控える意識を高めること 5. 地域拠点[※]に、医療・福祉・商業など様々な都市機能を集約化したまちをつくること <small>※地域拠点：南栄駅周辺、二川駅周辺、井原停留場周辺、藤沢町周辺、大清水駅周辺、和山辻停留所周辺</small> 6. 新技術[※]を活用した新たなサービスを導入することで、自家用車以外の移動がしやすくなること <small>※新技術：自動運転バスなど</small> 7. その他 ()

問3：路面電車の利用について、以下の設問にお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
3-1	利用頻度 (1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほとんど毎日 2. 週2～3日程度 3. 週1日程度 4. 月に2～3日程度 5. 月に1日程度 6. 年に数回 7. 利用していない <p>→4頁目の問3-6へ進んでください</p>
3-2	利用目的 (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院・福祉サービス 5. 行政・金融サービス 6. レジャー・社交 7. 塾・習い事 8. 業務 9. その他 ()
3-3	最寄の電停のほかに、よく利用する電停 (複数選択可)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 駅前 2. 駅前大通 3. 新川 4. 札木 5. 市役所前 6. 豊橋公園前 7. 東八町 8. 前畑 9. 東田坂上 10. 東田 11. 競輪場前 12. 井原 13. 赤岩口 14. 運動公園前
3-4	主な目的地 (1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的地が豊橋市内の方：町・丁目単位までの住所をご記入いただくか、または目的地の住所が分からない場合は施設名や学校名などをご記入ください。 豊橋市 () 町・丁目 または、施設や学校名 () 2. 目的地が豊橋市外の方：市町村単位までの住所をご記入ください。 () 市・町・村

設問 No	分類	設問・選択肢
3-5	路面電車を 使う理由 (複数選択可)	1. 目的地に速く行けるから 2. 運行本数が多いから 3. 運賃が安いから 4. 時間通りに行けるから 5. 自宅と電停が近いから 6. 電停を降りてからが便利だから 7. サイクル&ライド駐輪場があるから 8. 電停に駐車場があるから 9. 朝早い時間から運行しているから 10. 夜遅くまで運行しているから 11. 安全だから 12. 他に交通手段がないから 13. 目的地に駐車場がないから 14. 車を運転できないから 15. 他人の送迎に頼らないようにしているから 16. お酒を飲む機会があるから 17. 座れるから 18. 健康維持によいから 19. 環境によいから 20. 利用促進に貢献するため 21. その他 () →問4へ進んでください
3-6	路面電車を 使わない理由 (複数選択可)	1. 目的地に行くのに時間がかかるから 2. 運行本数が少ないから 3. 時間通りに来ないから 4. 運賃が高いから 5. 電車やバスを乗り継ぐと運賃が高くなるから 6. 自宅と電停が遠いから 7. 電停を降りてからが不便だから 8. 豊橋駅での乗換えが不便だから 9. 最寄の電停に駐輪場がない・足りないから 10. 最寄の電停に駐車場や車の待機場所がないから 11. 始発の時間が遅いから 12. 最終の時間が早いから 13. 電停で待ちにくい・危険だから 14. 他に利用できる交通手段があるから 15. 目的地に駐車場があるから 16. 自由に利用できる車があるから 17. 送迎してくれる家族や知人がいるから 18. 車両の乗り降りがしにくいから 19. 車内が混雑しているから 20. その他 ()

問4：路面電車の必要性についてお答えください。

設問 No	分類	設問・選択肢
4-1	ご自身に ととの 必要性 (1つ)	1. 現在利用しているので、必要である 2. 現在は利用していないが、今後は必要と思う } →問4-1(1)へ進んでください 3. 現在も今後も不要である } →問4-1(2)へ進んでください 4. 分からない } →5頁目の問4-2へ進んでください
4-1 (1)	ご自身に 必要と思う 理由 (複数選択可)	1. 日常生活の外出を支えるもの 2. 気軽な外出を支えるもの 3. 安い運賃での外出を支えるもの 4. 時間通りの外出を支えるもの 5. 安心・安全な外出を支えるもの 6. 雨などの天気が悪い時の外出を支えるもの 7. 健康維持を支えるもの 8. 人との交流や出歩くために欠かせないもの 9. 車が使えない時の外出を支えるもの 10. 送迎者がいないときの外出を支えるもの 11. 将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの 12. その他 () →5頁目の問4-2へ進んでください
4-1 (2)	ご自身に 不要と思う 理由 (複数選択可)	1. 普段行きたい方向と路線の方向が合っていないから 2. 他の交通手段の方が便利だから 3. 将来、高齢になって車が運転できなくなることは想像できないから 4. その他 ()

設問 No	分類	設問・選択肢
4-2	地域に とっての 必要性 (1つ)	1. 必要と思う →問4-2(1)へ進んでください 2. 不要と思う →問4-2(2)へ進んでください 3. 分からない →問5へ進んでください
4-2 (1)	地域に 必要と思う 理由 (複数選択可)	1. 地域のシンボルとして 2. 地域の活力を支えるものとして 3. 沿線の外からの来訪、来街を促進して交流を支えるものとして 4. 高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして 5. その他() →問5へ進んでください
4-2 (2)	地域に 不要と思う 理由 (複数選択可)	1. 路面電車が走る道路が狭く、道路が混雑するから 2. 路面電車が走る道路が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから 3. 路面電車が走る道路では、沿道の出入りがしにくいから 4. 景観を損なっているから 5. 騒音や振動が気になるから 6. 行政負担がかかっているから 7. その他()

問5：路面電車に関する取組みのあり方や価値について、お答えください。

設問 No	設問・選択肢
5-1	<p>●路面電車の運営状況 豊橋市の路面電車は民間交通事業者が運営しており、運行経費が運賃収入を上回り運行の維持が厳しい状況です。</p> <p>路面電車を維持していくために、市が積極的に支援(行政負担など)を行うことについて、あなたの考えを選んでください。(1つ選択)</p> <p>1. 市が積極的に支援してでも、利便性向上のための取組みを行うべき 2. 市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき 3. 市の支援は最低限にとどめ、現状から大幅に低下しても最低限のサービスを維持できればよい 4. 市の支援としては不要であり、路面電車を維持できないことは致し方ない 5. わからない 6. その他()</p>
5-2	<p>豊橋市に路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。(複数選択可)</p> <p>1. 日々の通勤通学などを支える移動手段 2. 駅までの大事な移動手段 3. 交通事故の抑制 4. 環境負荷の軽減 5. 賑わいの創出 6. まちづくりとしての交通網の形成 7. まちのシンボル 8. 特に感じない 9. その他()</p>
5-3	<p>物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？(1つ選択) ※2024年10月現在の乗車運賃は200円です。</p> <p>1. 10円値上げまでなら良い(約5%高) 2. 20円値上げまでなら良い(約10%高) 3. 30円値上げまでなら良い(約15%高) 4. 40円以上の値上げでも良い(約20%高) 5. 今と同じ運賃が良い(値上げ分は行政負担で賄うべき)</p>

設問 No	設問・選択肢		
5-4	路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月1人あたり、いくらなら支払うことができますか？（1つ選択）		
	1. 100円未満	2. 100円～200円未満	3. 200円～500円未満
	4. 500円～1,000円未満	5. 1,000円以上	6. 支払わない

問6：路面電車に関する満足度と重要度について、お答えください。

設問	選択肢	
<p>あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度と、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、以降の①～⑰項目ごとに右の選択肢から該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。</p>	【満足度の選択肢】	【重要度の選択肢】
	1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満 6. わからない	1. 重要 2. やや重要 3. どちらでもない 4. あまり重要でない 5. 重要でない

【路面電車の利便性】	満足度	重要度
①運賃	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
②運行間隔	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
③運行の正確さ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
④所要時間	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑤電停の位置	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑥電停の安全性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑦電停の待ちやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑧電停のバリアフリー※状況 ※スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にすることなど。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑨車両のバリアフリー※状況（ほつトラム以外） ※電停と出入り口の段差のない車両。	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑩路面電車の混雑状況	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑪路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑫路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑬路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑭他の交通手段との乗り換え	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑮車両の快適性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑯子育て世帯の利用のしやすさ	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

【路面電車の魅力向上】	満足度	重要度
⑰騒音や振動	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑱電停の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑲車両の美化	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
⑳道路上の架線の削減	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉑車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉒歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉓沿線の賑わい	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉔人が集まるようなイベント開催	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉕環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉖健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5
㉗まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	1・2・3・4・5・6	1・2・3・4・5

その他、路面電車に関するご意見や豊橋市の交通全般に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

<集計結果は統計的に処理しますので、個人情報公表されることは一切ありません。>

10月21日（月）までに、返信用封筒に入れてポストへご投函ください。

2.2 標本誤差の範囲の設定

本来、アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果を得なければならない。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要であり、その精度は標本誤差を算出することで把握できる。標本誤差とは、ある設問の回答割合に対する誤差を示しており、これは以下の式で表すことができる。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

M：母集団 n：有効回答数 p：結果の比率
k：信頼度による定数 σ：標本誤差

※kは信頼度を決めると自動的に決まる定数で、信頼度は統計的な慣習として95%とすることが多く、信頼度95%ならばkは1.96となる。

本調査の回答結果について、回答者全体の標本誤差の範囲を設定すると、下表のようになる。例えば、本調査において、回答数1,500の設問を単純集計した場合、その設問で「A」という回答が全体の50%であったとすれば、市民アンケート調査の全母集団（市内在住の満15歳以上の方（日本国籍））に同じ設問をしても、統計学的には95%の確率で「A」は50±2.52%の範囲内となる。標本の大きさは、p（結果の比率）が50%の場合が最も安全に（最も大きく）なるため、市民アンケート調査の全体の回答結果が最も分散していた場合でも、全母集団から得られる結果と比べて、±2.52%以下の誤差しか生じないことになり、精度の高い結果といえる。ただし、年代別等では、それぞれの有効回答数は少なくなるため、結果については標本誤差の範囲が広いことを考慮して見るべきである。

表1-3 本調査における標本誤差の範囲

n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
2,000	±1.31	±1.75	±2.00	±2.14	±2.19
1,500	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.03	±3.09
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.66
100	±5.83	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80
20	±13.25	±17.53	±20.08	±21.47	±21.91

3. 調査結果

以下より、市民アンケート調査及び路面電車沿線地域アンケート調査(住民)の調査結果を示す。なお、公共交通に関する取組のあり方に関する設問(市民 4-1~5、6-1~3、沿線 3-1~4、6-1~4)は、両アンケートで同一の設問となっているため、「3.4 公共交通に関する取組のあり方について」で合わせて掲載する。

各調査結果を割合で示している場合は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、個々の値の合計が100にならない場合がある。

3.1 回収結果

各アンケートの回収結果は以下のとおり。

表 1-4 回収結果

調査	配布数 (通)	回収数 (通)	回収率	記入人数	
				総数(人)	1通あたり
市民アンケート調査	5,000	1,088	21.8%	1,904	1.75
路面電車沿線地域アンケート調査 (住民)	1,500	464	30.9%	836	1.80

3.2 市民アンケート調査

(1) 世帯の属性

1) 居住地

- すべての小学校区から 10 票以上の回答を得ている。
- 居住地を 12 地域別にみると、地域 4 中心部地域の割合が最も高く約 2 割、次いで地域 11 臨海部地域が約 1 割を占めている。

<市民 1-1 お住まいの小学校区を選んでください>

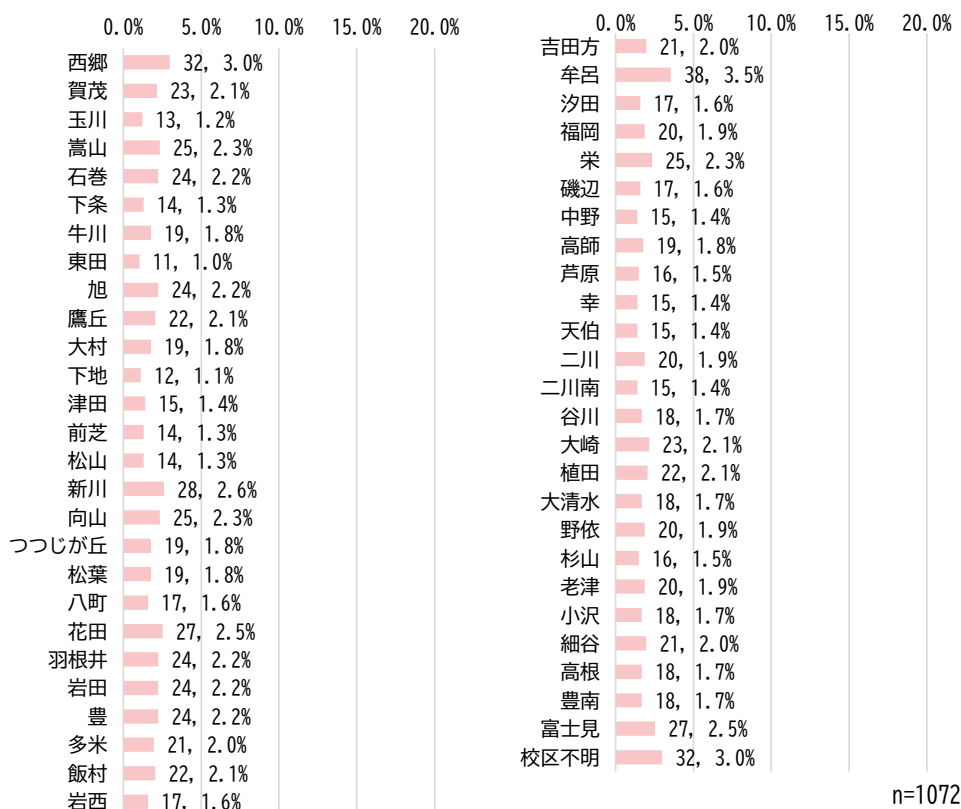


図 1-1 <市民> 小学校区別の居住地

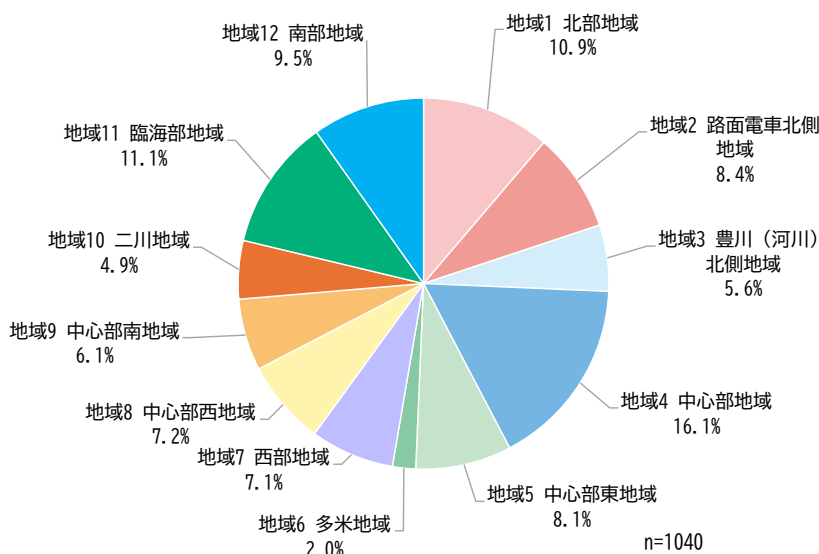


図 1-2 <市民> 地域別の居住地

表 1-5 参考 地域区分と設定の考え方

地域	地域区分	区分設定の考え方	含まれる小学校区
1	北部地域	市域北側の比較的人口が少ない市街化区域外一帯を設定	西郷、賀茂、玉川、嵩山、石巻
2	路面電車北側地域	路面電車の北側で市街化区域を多く含む校区を設定	下条、牛川、東田、旭、鷹丘
3	豊川（河川）北側地域	豊川（河川）の北側一帯を設定	大村、下地、津田、前芝
4	中心部地域	豊橋駅を中心とした人口・施設が集積する市中心部を設定	松山、新川、向山、つつしが丘、松葉、八町、花田、羽根井
5	中心部東地域	路面電車終点付近の南側～JR東海道本線の北側の市街化区域を多く含む地域一帯を設定	岩田、豊、飯村、岩西
6	多米地域	路面電車の東側の市街化区域外を多く含む地域を設定	多米
7	西部地域	市中心部より西側で、海岸線までの人口が低密度に広がる地域一帯を設定	吉田方、牟呂、汐田
8	中心部西地域	市中心部より南側で、市街化区域を多く含む豊鉄渥美線西側地域一帯を設定	福岡、栄、磯辺、中野
9	中心部南地域	市中心部より南側で、市街化区域を多く含む東海道本線の南側から豊鉄渥美線東側地域一帯を設定	高師、芦原、幸、天伯
10	二川地域	二川駅周辺と市東部の工業地域を含む地域一帯を設定	二川、二川南、谷川
11	臨海部地域	臨海部と豊鉄渥美線沿線の市街化区域外一帯を設定	大崎、植田、大清水、野依、杉山、老津
12	南部地域	市南側の人口が低密度に広がる地域一帯を設定	小沢、細谷、高根、豊南、富士見

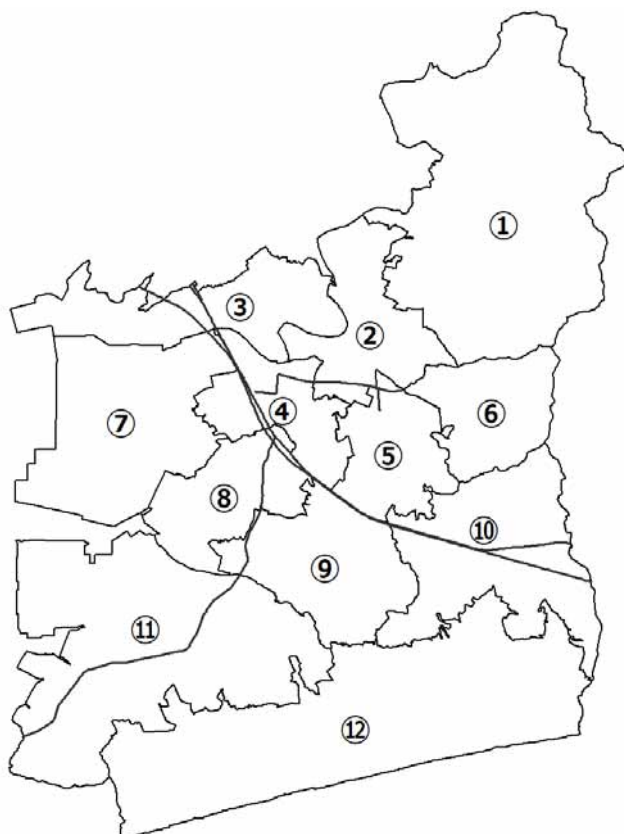


図 1-3 参考 地域区分

2) 家族人数

- 回答者世帯の家族の人数は、2人が最も高く約4割、次いで1人が約2割を占めている。
- 家族の年齢構成の内訳をみると、約6割の世帯が高齢者（65歳以上）が家族にいと回答している。

<市民 1-2 ご家族の人数を教えてください>

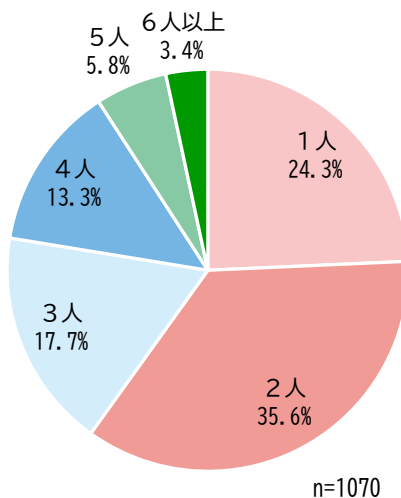
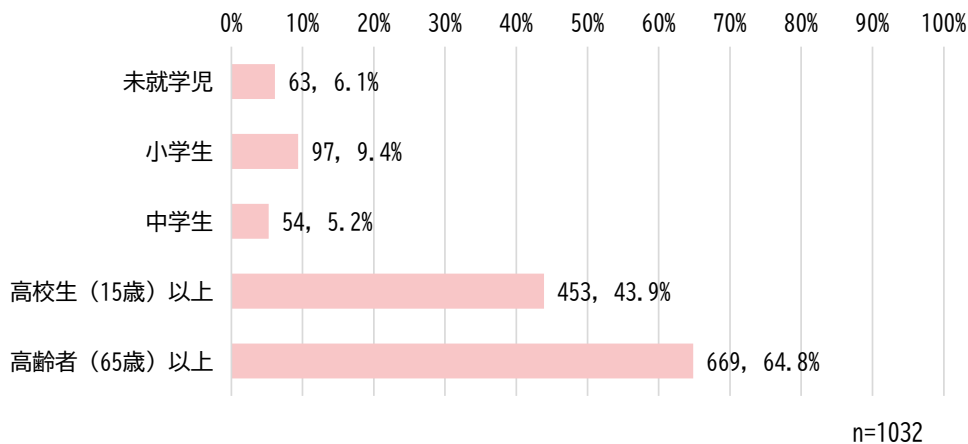


図 1-4 <市民>家族の人数

<市民 1-2 (ご家族の) 内訳を教えてください>



各世代がいると回答した世帯を集計

図 1-5 <市民>家族に含まれる世代

3) 居住歴

- 回答者（世帯）の居住歴は、21年以上の割合が最も高く約8割を占めている。
 <市民 1-3 豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？>

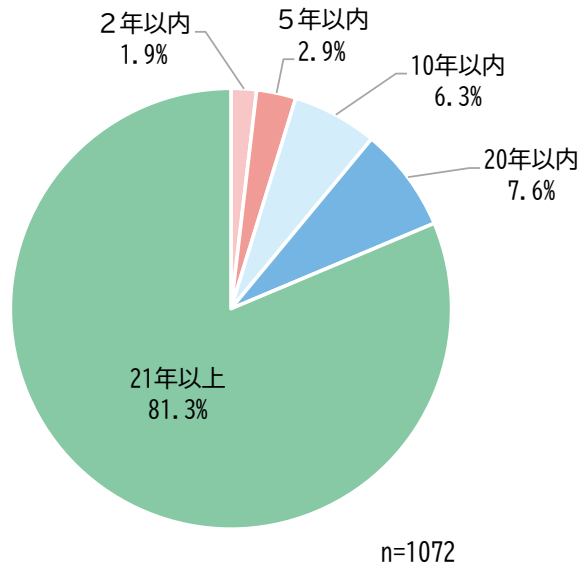


図 1-6 <市民> 居住歴

4) 自動車及び自転車の保有台数

- 回答者の世帯での自動車の保有台数は、1台の割合が最も高く約4割、次いで2台が約3割を占めている。
- 回答者の世帯での自転車の保有台数は、持っていないの割合が最も高く約4割、次いで1台が約3割を占めている。

<市民 1-4 世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください>

<市民 1-5 世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。>

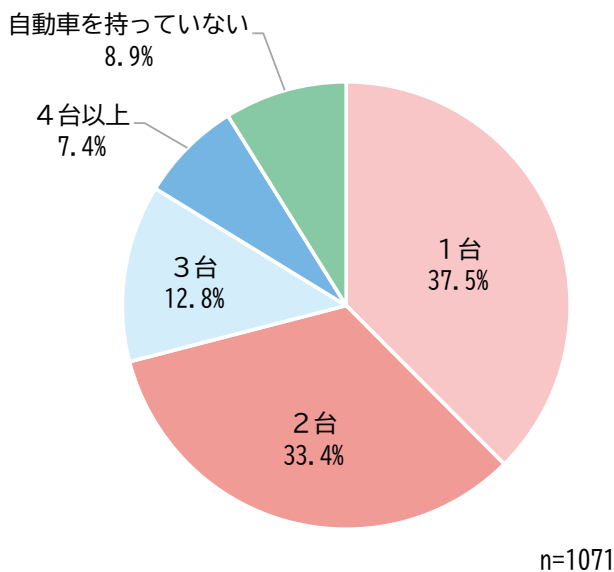


図 1-7 <市民> 自動車の保有台数

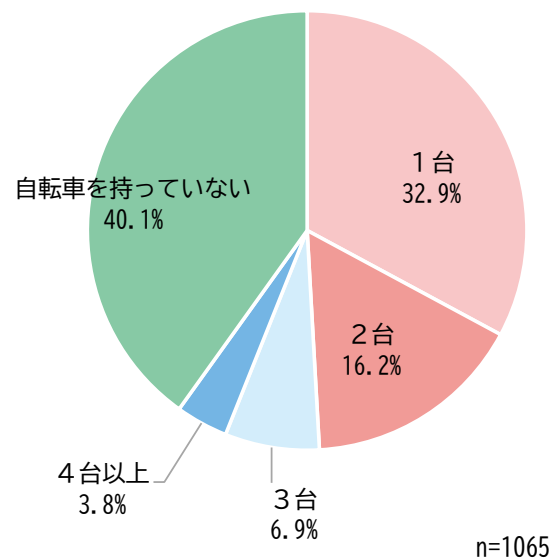


図 1-8 <市民> 自転車の保有台数

5) 駅・バス停の認知度

- 最寄り鉄道駅・電停について、知っているか徒歩では行けないかのいずれかを聞くと、回答者（世帯）の約7割が知っており、その他の約3割は徒歩では行けない。
- 最寄りバス停について、回答者（世帯）の約7割は最寄りバス停を知っている。一方、場所はわかるが名称がわからないが約2割、バス停がどこにあるかわからないが約1割となっている。

<市民 1-6 自宅の最寄り鉄道駅または路面電車電停を教えてください>

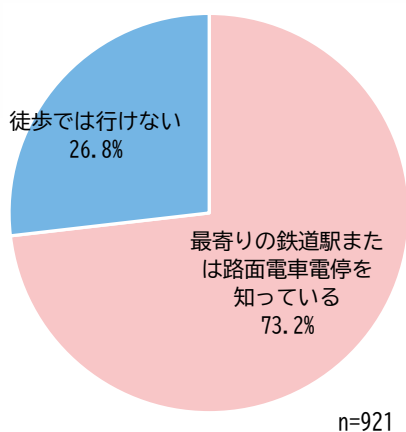


図 1-9 <市民>最寄り鉄道駅・電停の状況

<市民 1-6 自宅の最寄りバス停を教えてください>

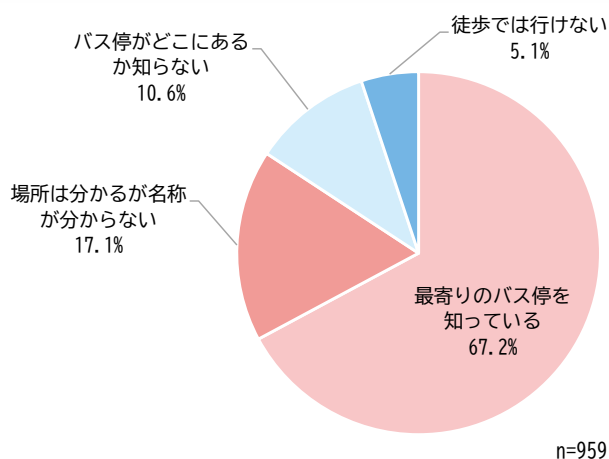


図 1-10 <市民>最寄りバス停の状況

6) 駅・バス停までの所要時間

- 最寄り鉄道駅・電停までの所要時間でみると、15分以上の割合が最も高く約4割、次いで5～10分以内が約2割を占めている。
- 最寄りバス停までの所要時間でみると、3～5分以内の割合が最も高く約3割、次いで5～10分以内が約2割を占めている。
- 最寄り鉄道駅・電停と最寄りバス停までの所要時間の関係性でみると、駅・電停まで10分以上かつバス停まで5～10分以内の割合が最も高く約4割、次いで駅・バス停まで15分以内かつバス停まで10分以内が4割を占めている。

<市民 1-6 自宅の最寄鉄道駅または路面電車電停までの徒歩でのおおよその所要時間を選んでください>

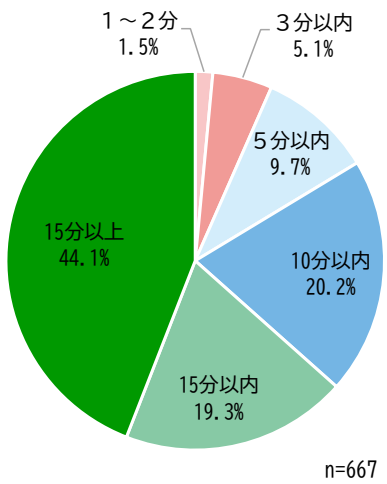


図 1-11 <市民>最寄り駅・電停までの所要時間

<市民 1-6 自宅の最寄バス停までの徒歩でのおおよその所要時間を選んでください>

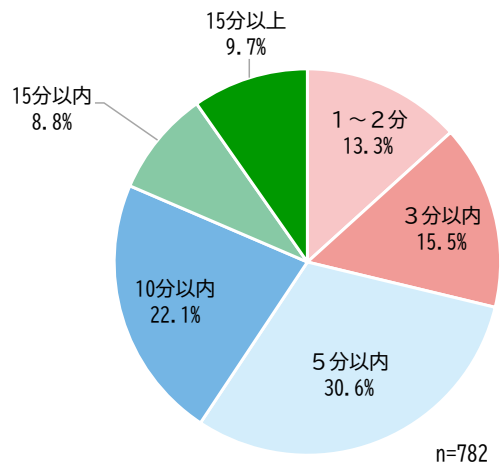


図 1-12 <市民>最寄りバス停までの所要時間

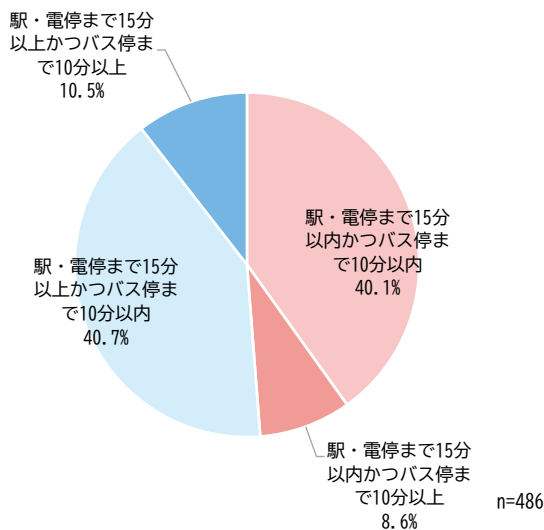


図 1-13 <市民>駅・電停及びバス停までの所要時間

7) 最寄り駅・電停

- 市民アンケートの居住地を最寄り駅・電停で見ると、豊橋駅・豊橋駅前の回答が最も多く約130件、次いで二川駅が約60件、大清水駅が約50件となっている。

<市民 1-6 自宅の最寄鉄道駅または路面電車電停の名称をご記入ください>

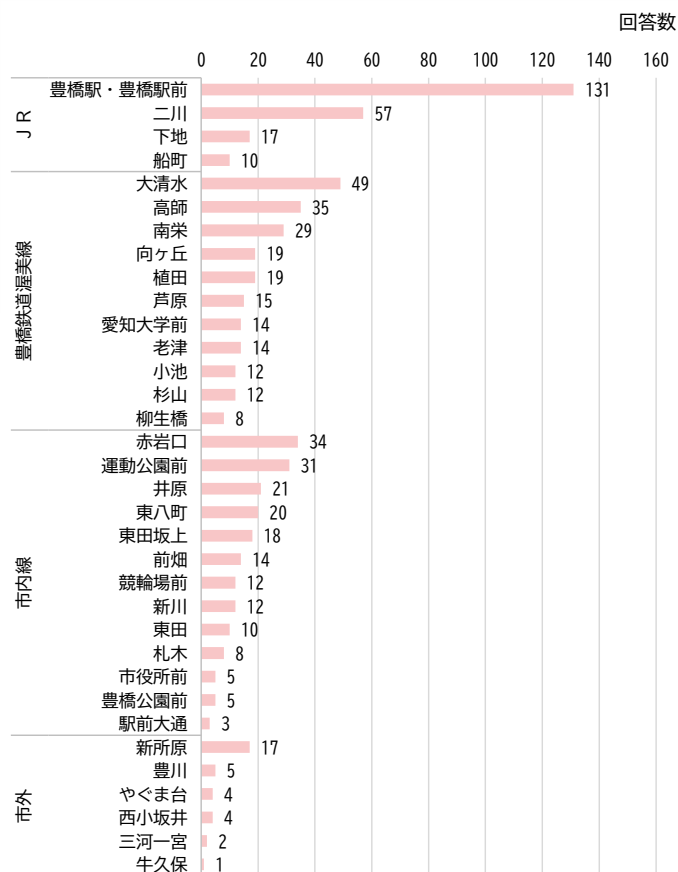


図 1-14 <市民>最寄り駅・電停

(2)移動実態

1)最もよく行く目的地

- 目的毎に最もよく行く目的地を市内外別にみると、通院では市内の割合が最も高く、9割以上となっている。一方、その他（レジャーなど）では、市外が約6割となっている。

<市民 2-1 目的ごとに、最もよく行く目的地（市内・市外）を教えてください>

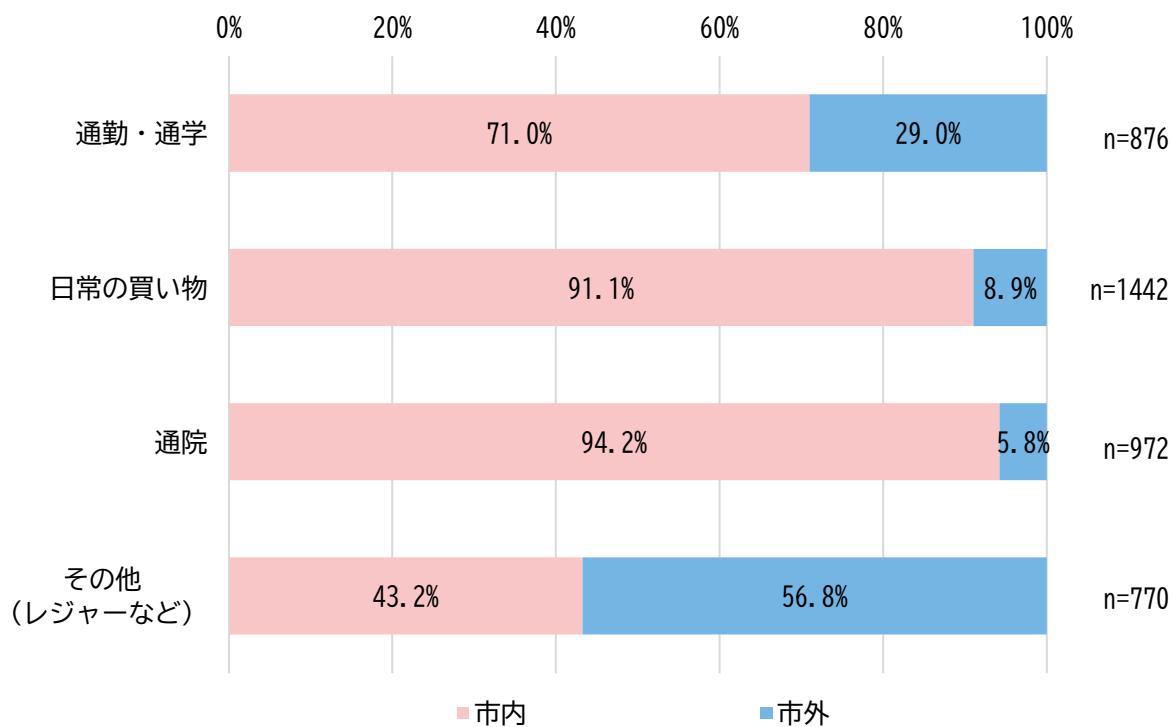
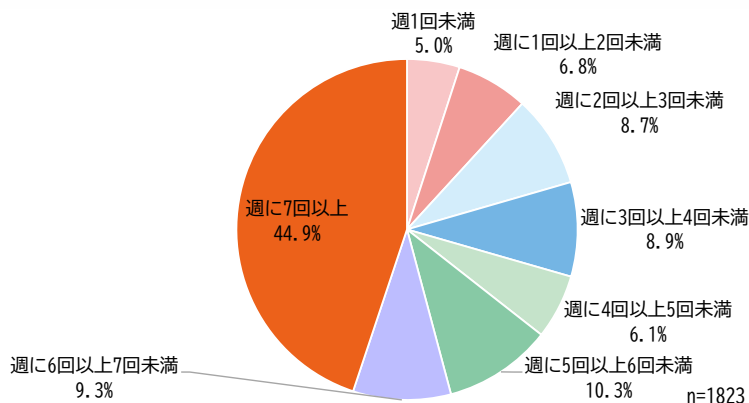


図 1-15 <市民>最もよく行く目的地（市内・市外）

2) 外出頻度

- 外出頻度は、週に7回以上の割合が最も高く、約4割を占めている。

<市民 2-1 目的ごとに、週あたりのお出かけの回数を教えてください>

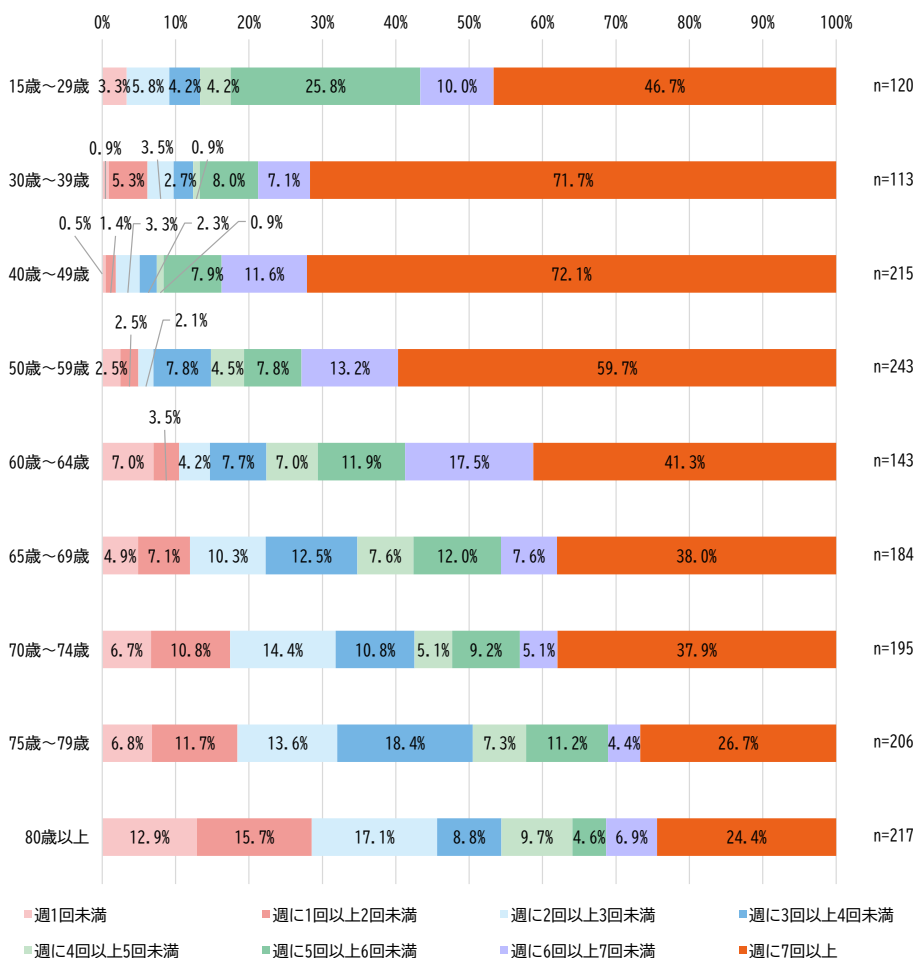


※外出頻度：目的別の週あたりのお出かけの回数の総計

図 1-16 <市民>外出頻度

年齢別の外出頻度

- 年齢別の外出頻度をみると、40～49歳で週に7回以上の割合が最も高く、50歳以降で低下している。

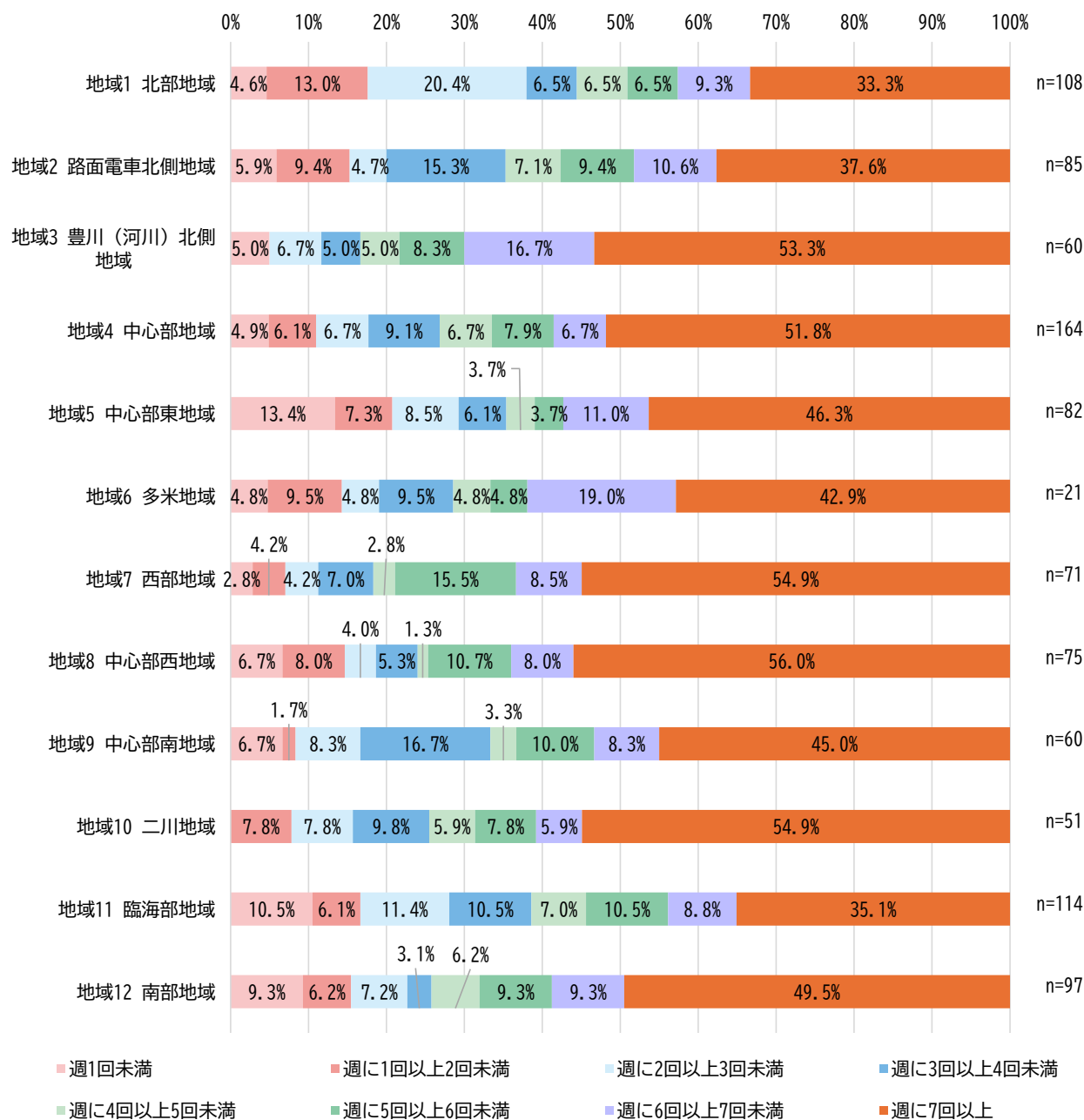


※外出頻度：目的別の週あたりのお出かけの回数の総計

図 1-17 <市民>年代別の外出頻度

地域別の外出頻度

- 地域別の外出頻度をみると、特に地域1，2，11で週に7回以上の割合が低くなっている。



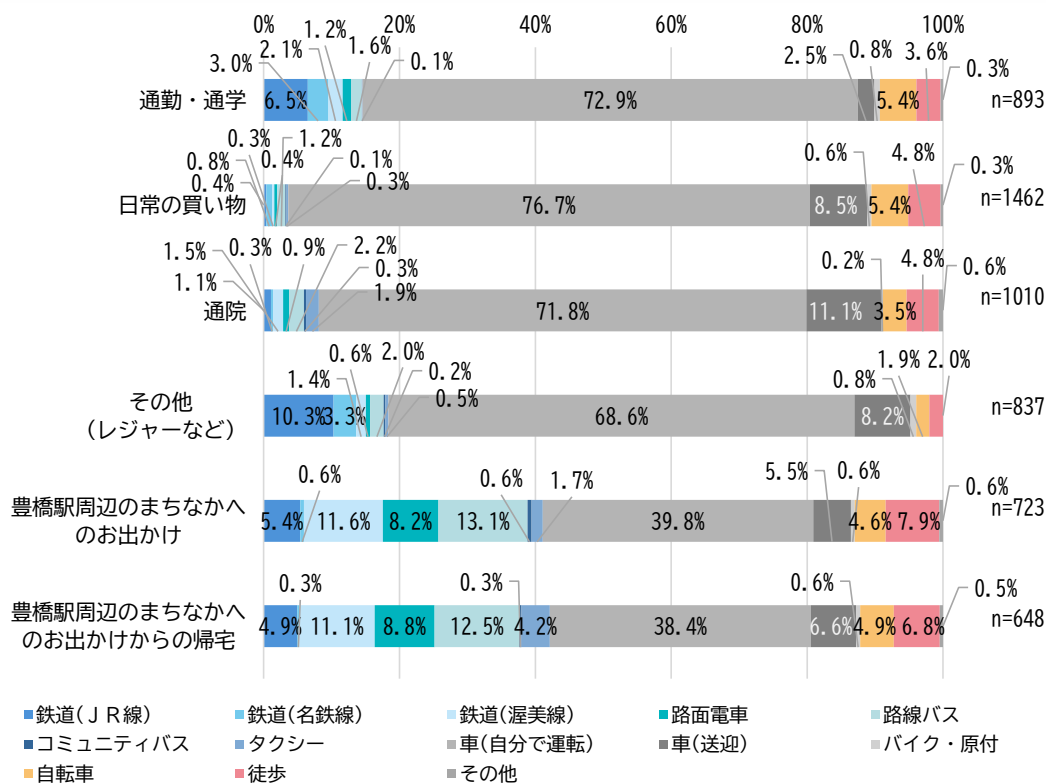
※外出頻度：目的別の週当たりのお出かけの回数の総計

図 1-18 <市民> 地域別の外出頻度

3) 目的別交通手段分担率

- 目的別交通手段分担率は、すべての目的で車（自分で運転）の割合が最も高く、特に日常の買い物では約8割を占めている。「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（及び帰宅）」では、車（自分で運転）が約4割となり、鉄道やバスなどの公共交通の利用が多くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>



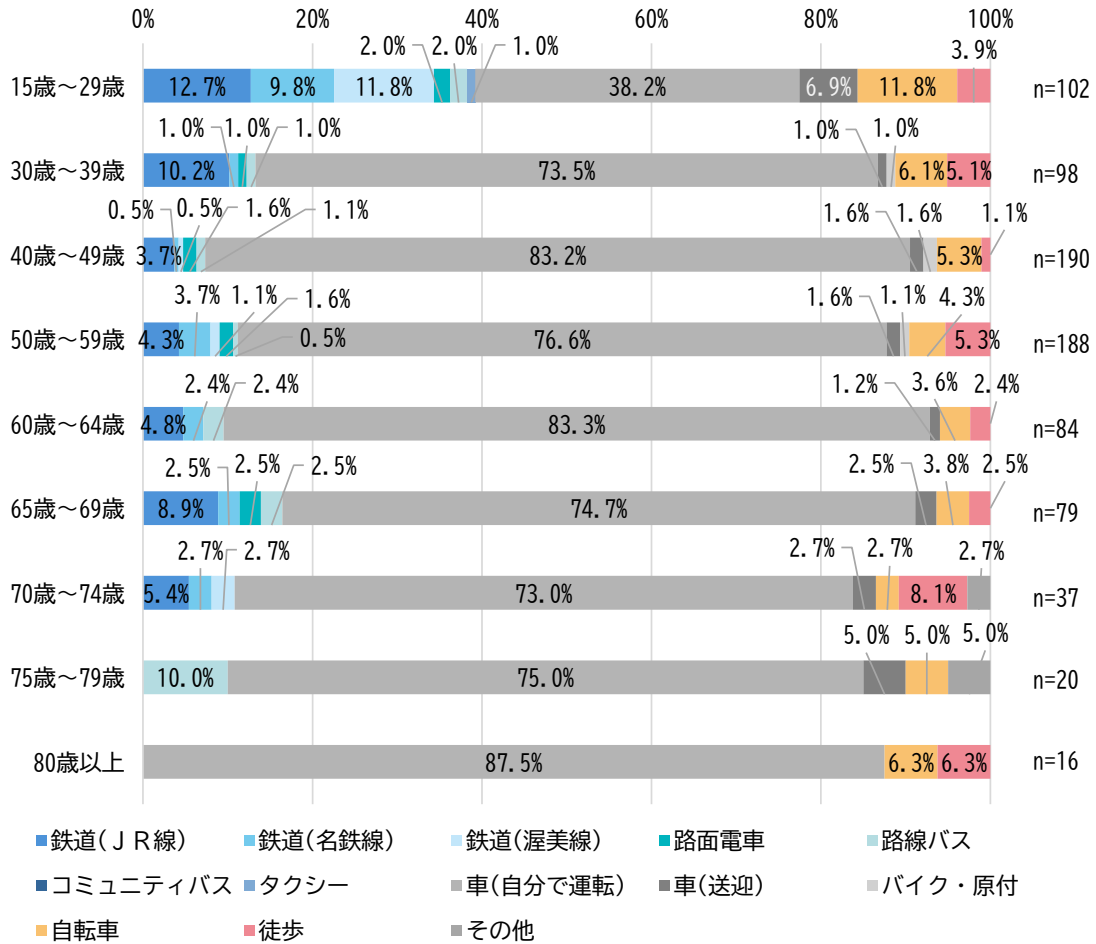
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-19 <市民> 目的別の主な交通手段

年代別の目的別交通手段分担率

- 通勤・通学の年代別の交通手段分担率をみると、「15～29歳」は、他の年代と比べて鉄道（JR線、名鉄線、豊鉄渥美線）や路面電車、車（送迎）の割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>
【通勤・通学】



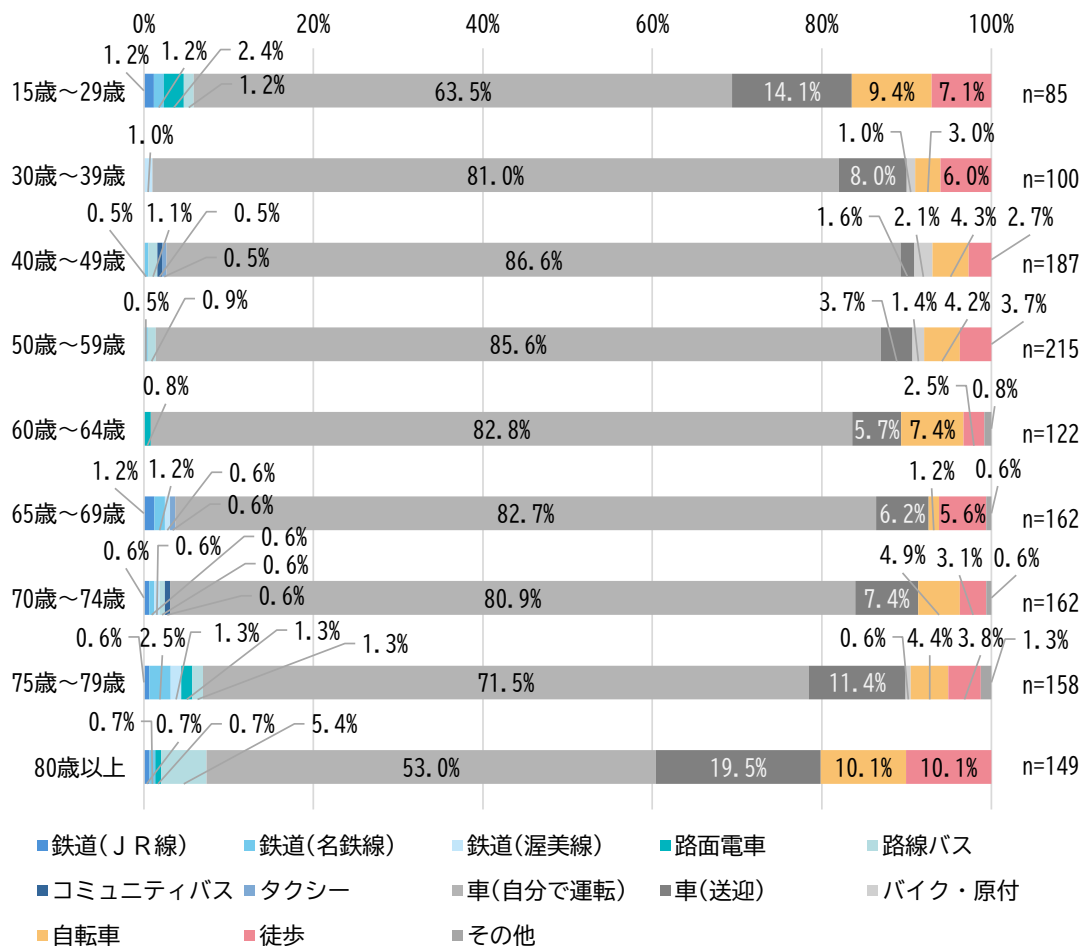
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-20 <市民>通勤・通学の年代別主な交通手段

- 日常の買い物をみると、「15～29歳」及び「80歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【日常の買い物】

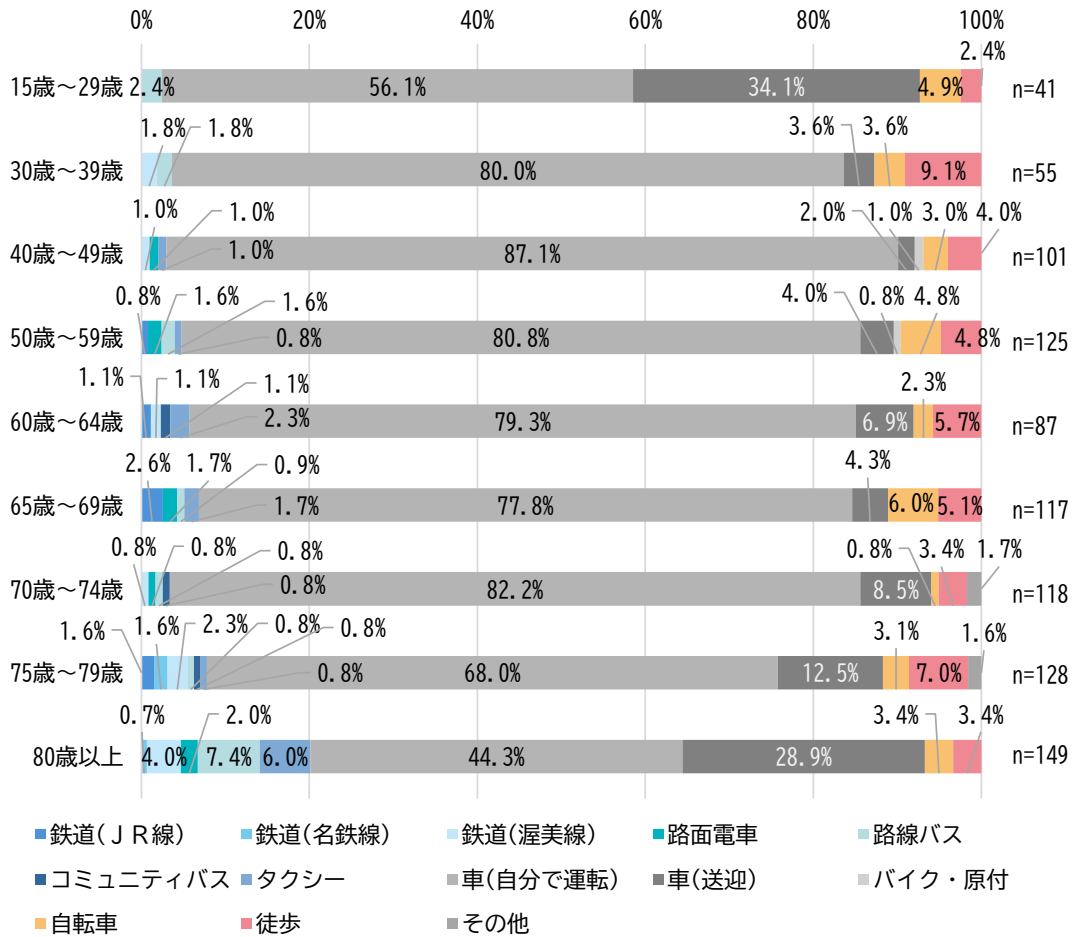


※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-21 <市民> 日常の買い物の年代別主な交通手段

- 通院をみると、「15～29歳」や「75歳以上」は、他の世代と比べて車（自分で運転）の割合が低く、車（送迎）の割合が高い。また、80歳以上は他の年代と比べて公共交通の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【通院】



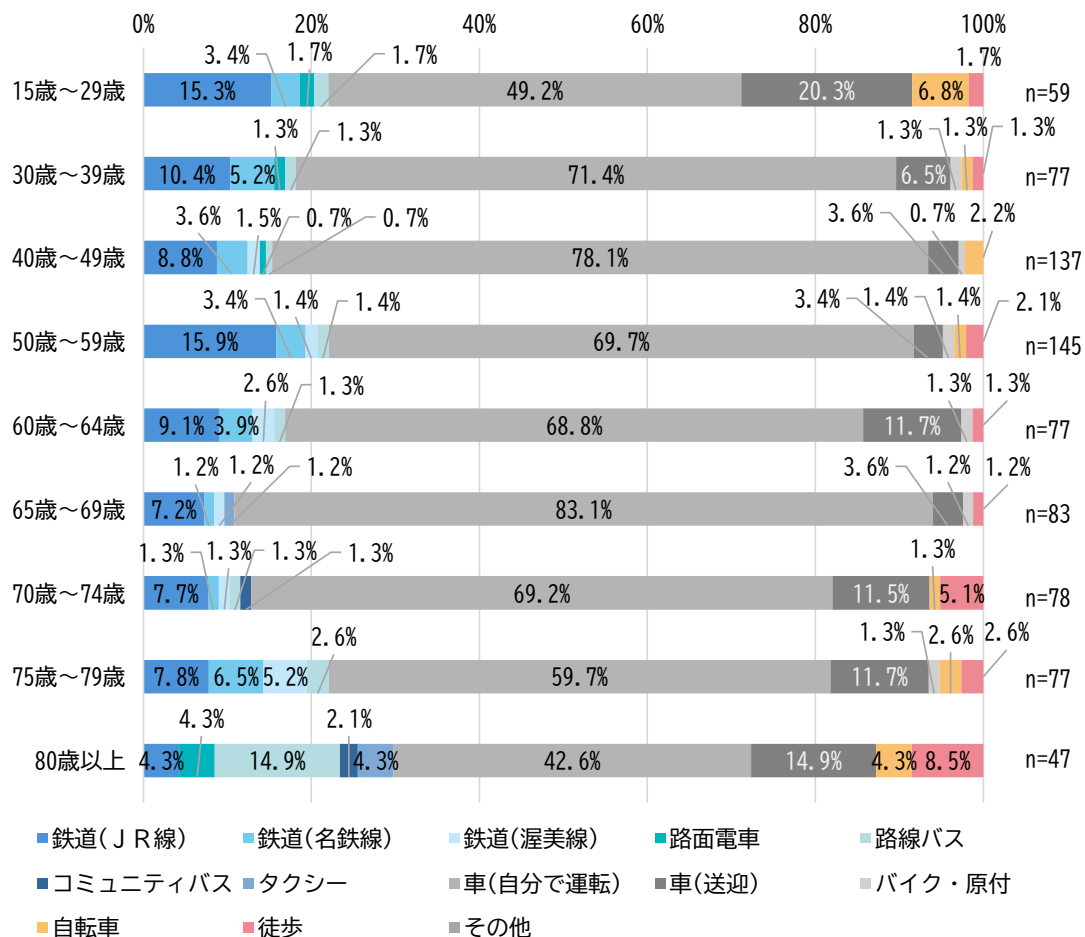
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-22 ＜市民＞通院の年代別主な交通手段

- その他（レジャーなど）をみると、「15～29歳」や「80歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【その他（レジャーなど）】



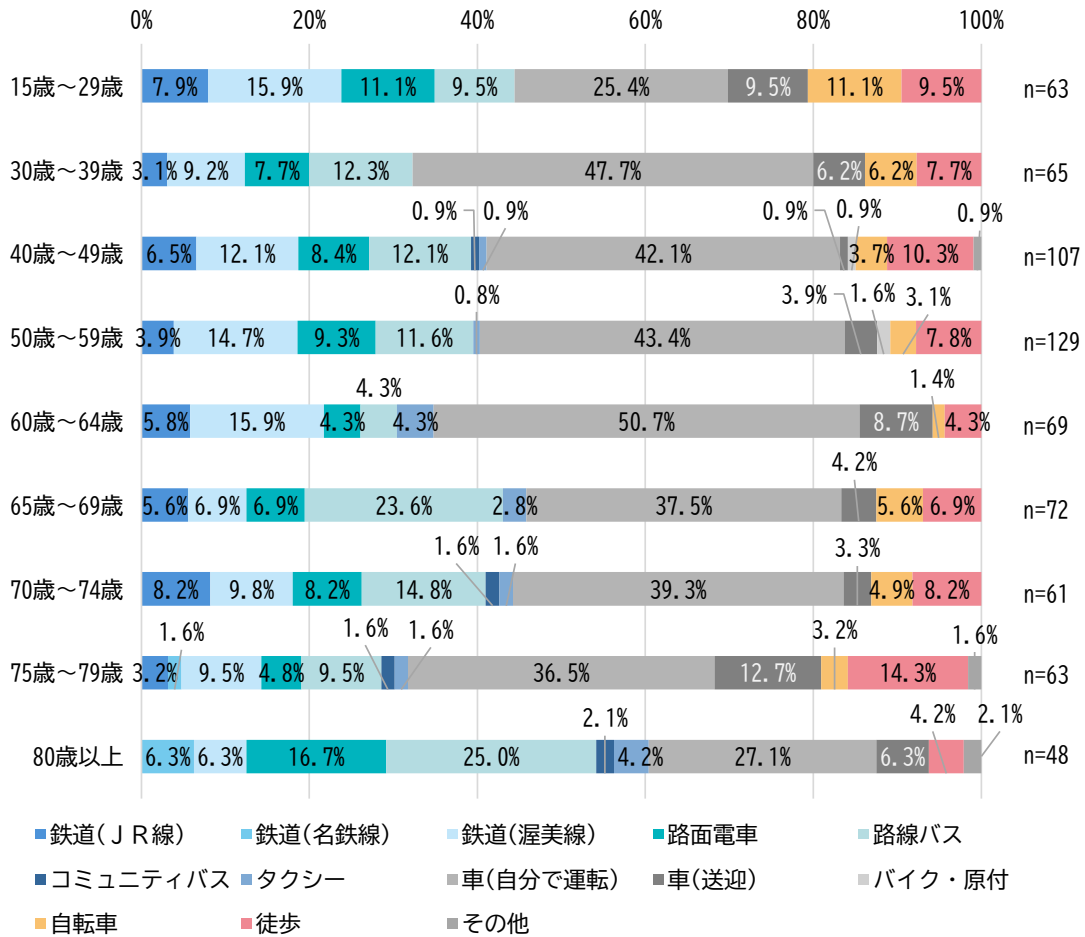
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-23 <市民>その他（レジャーなど）の年代別主な交通手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「15～29歳」や「80歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低い。また、「80歳以上」で路面電車や路線バスの割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】



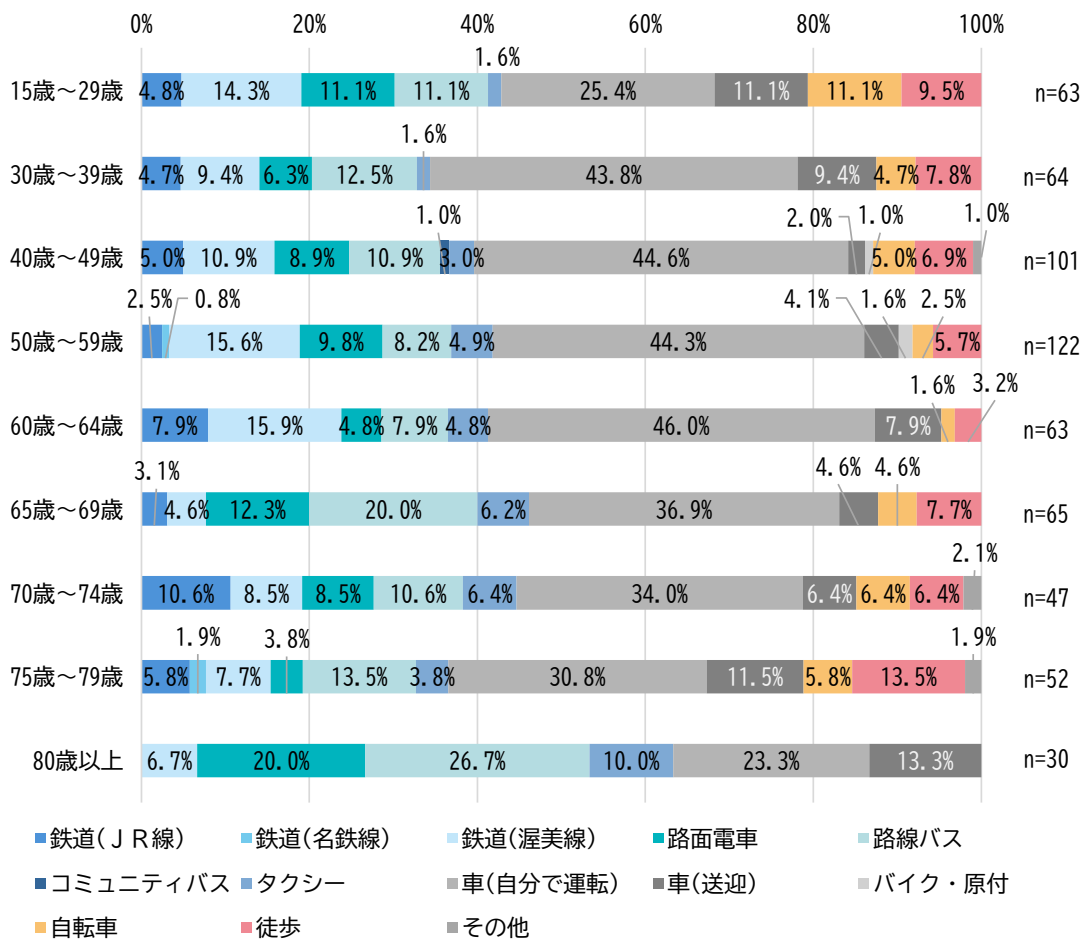
※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-24 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの年代別主な交通手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅をみると、「15～29歳」や「80歳以上」は、他の年代と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】



※複数選択から、代表交通手段を集計

図 1-25 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の年代別主な交通手段

地域別の目的別交通手段分担率

- 通勤・通学の地域別の交通手段分担率をみると、「地域4 中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、公共交通（鉄道、路面電車、バス、タクシー）や徒歩、自転車の割合が高くなっている。また、「地域2 路面電車北側地域」でも他の地域と比べて公共交通の割合が高くなっている。
- 一方、特に「地域3 豊川（河川）北側地域」「地域11 臨海部地域」「地域12 南部地域」では、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【通勤・通学】

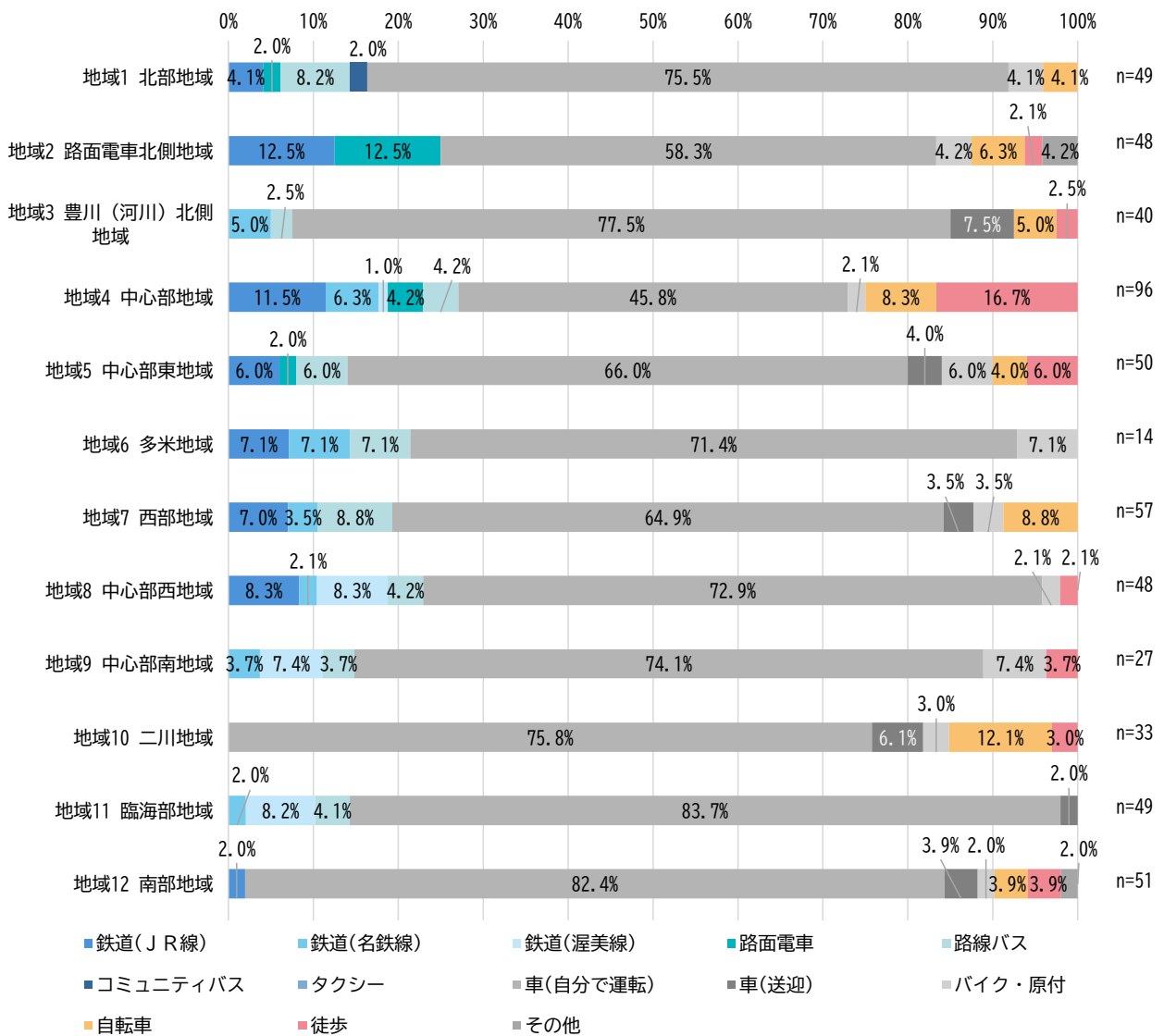


図 1-26 <市民>通勤・通学の地域別主な移動手段

- 日常の買い物をみると、「地域4 中心部地域」「地域7 西部地域」「地域8 中心部西地域」「地域9 中心部南地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車や徒歩の割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>
【日常の買い物】

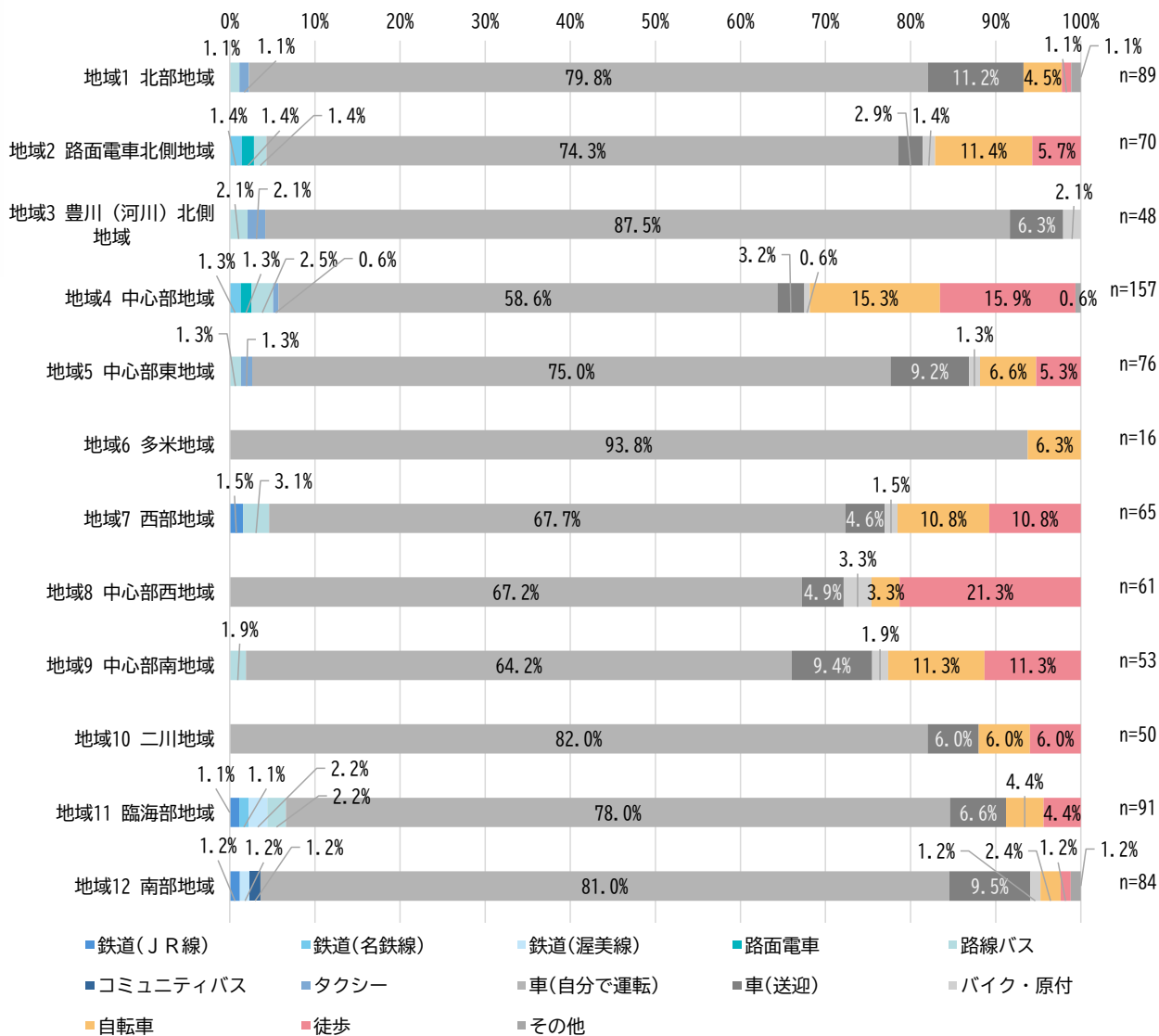


図 1-27 <市民> 日常の買い物の地域別主な移動手段

- 通院をみると、「地域4 中心部地域」「地域8 中心部西地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、徒歩の割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【通院】

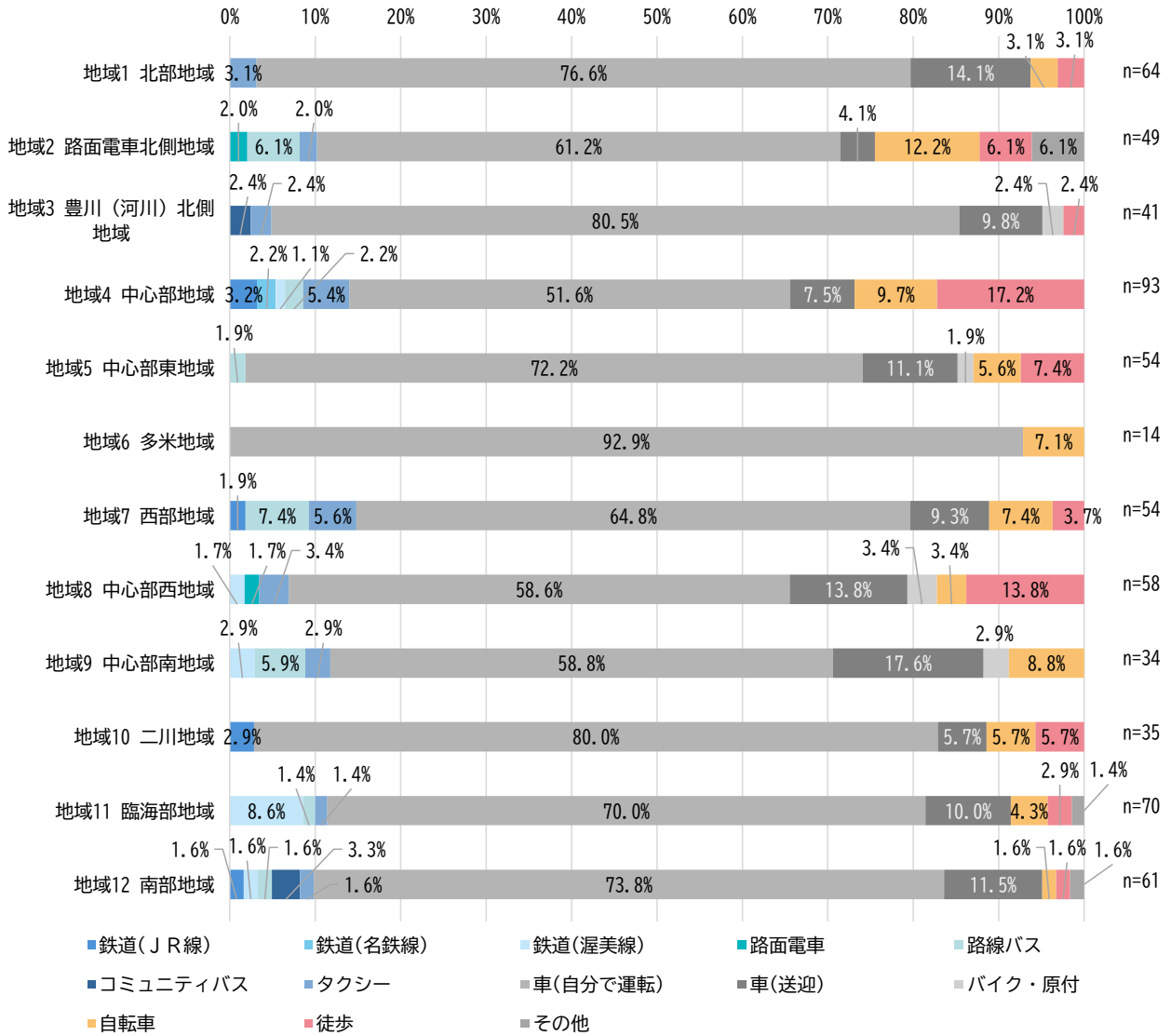


図 1-28 <市民> 通院の地域別主な移動手段

- その他（レジャーなど）をみると、「地域4 中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【その他（レジャーなど）】

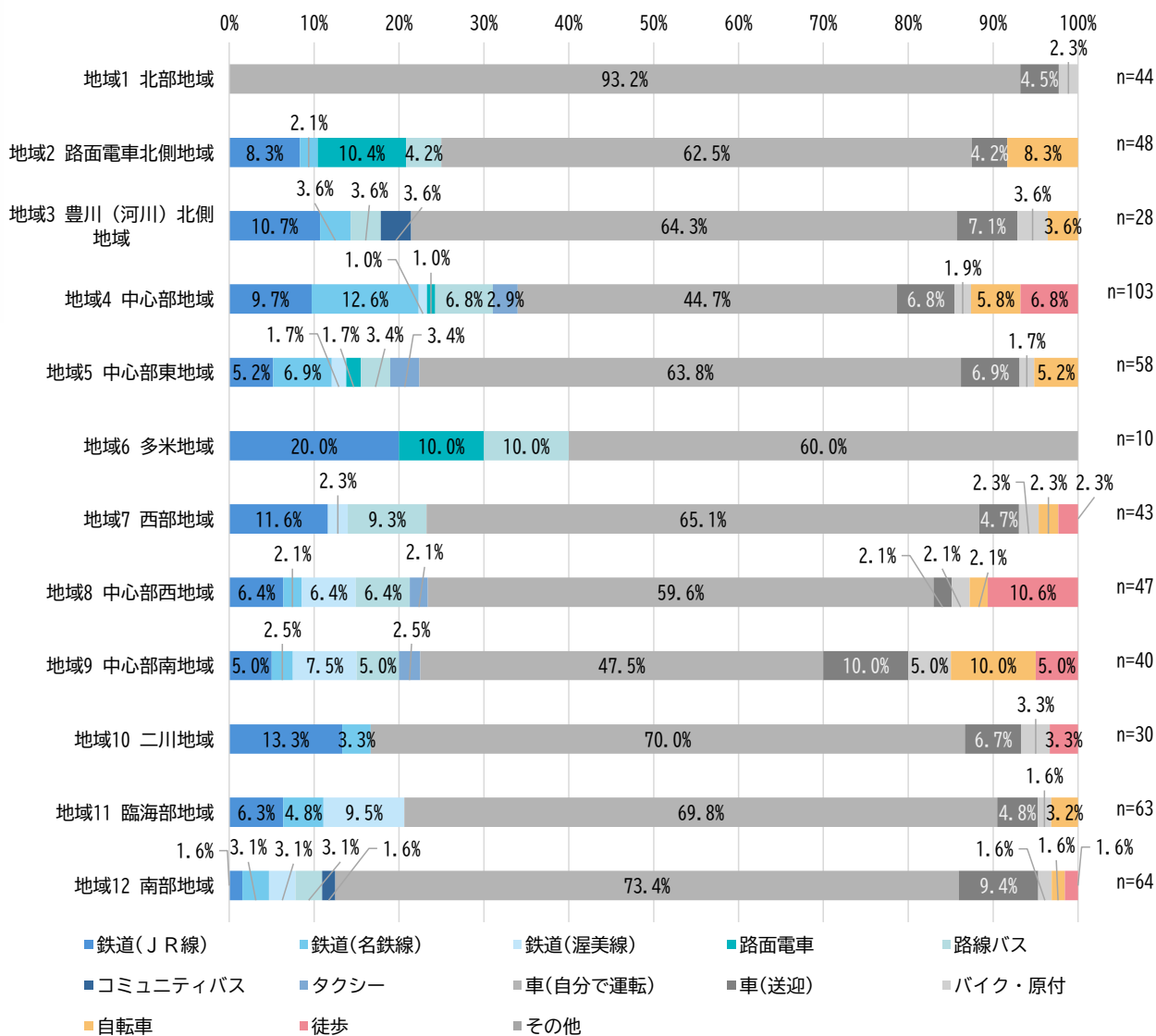


図 1-29 ＜市民＞その他（レジャーなど）の地域別主な移動手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「地域4 中心部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車と徒歩の割合は高くなっている。また、「地域5 中心部東地域」「地域8 中心部西地域」「地域9 中心部南地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、公共交通（鉄道、路面電車、バス、タクシー）の割合が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください>

【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

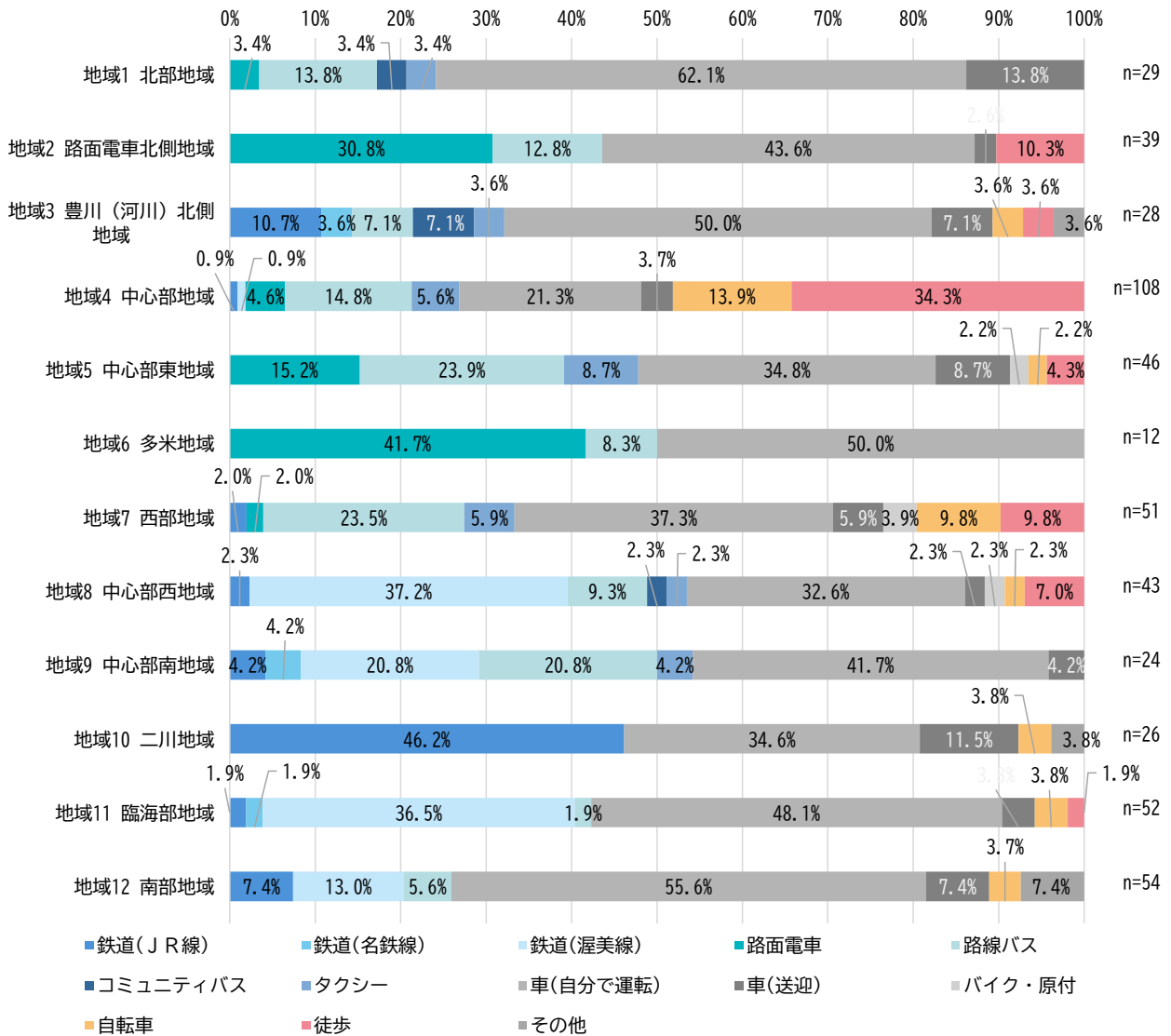


図 1-30 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの地域別主な移動手段

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅をみると、「地域4 中心部地域」「地域7 西部地域」は、他の地域と比べて車（自分で運転）の割合が低く、自転車と徒歩の割合が高くなっている。

＜市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選んでください＞
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

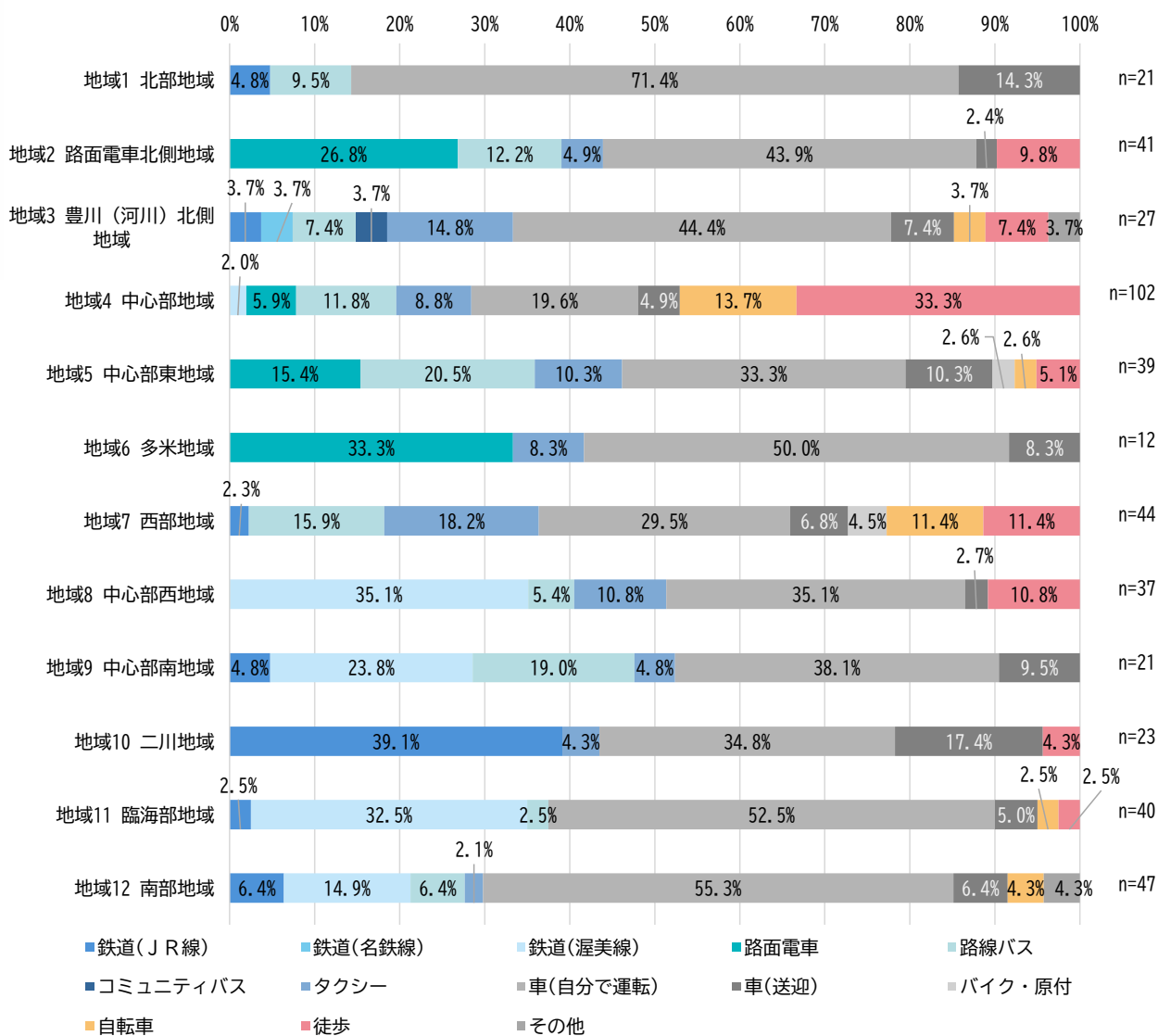


図 1-31 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の地域別主な移動手段

4) 交通手段を利用する理由

- 目的別の交通手段を利用する理由をみると、「通勤・通学」や「通院」では、他の目的と比べて「早くいけるから」「他に交通手段がないから」の割合が高くなっている。「日常の買い物」では「荷物があるから」、「その他（レジャーなど）」は「楽だから」、「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（帰宅）」では「お酒を飲む機会があるから」が高くなっている。

<市民 2-1 目的ごとに、主な移動手段を選ぶ理由を選んでください>

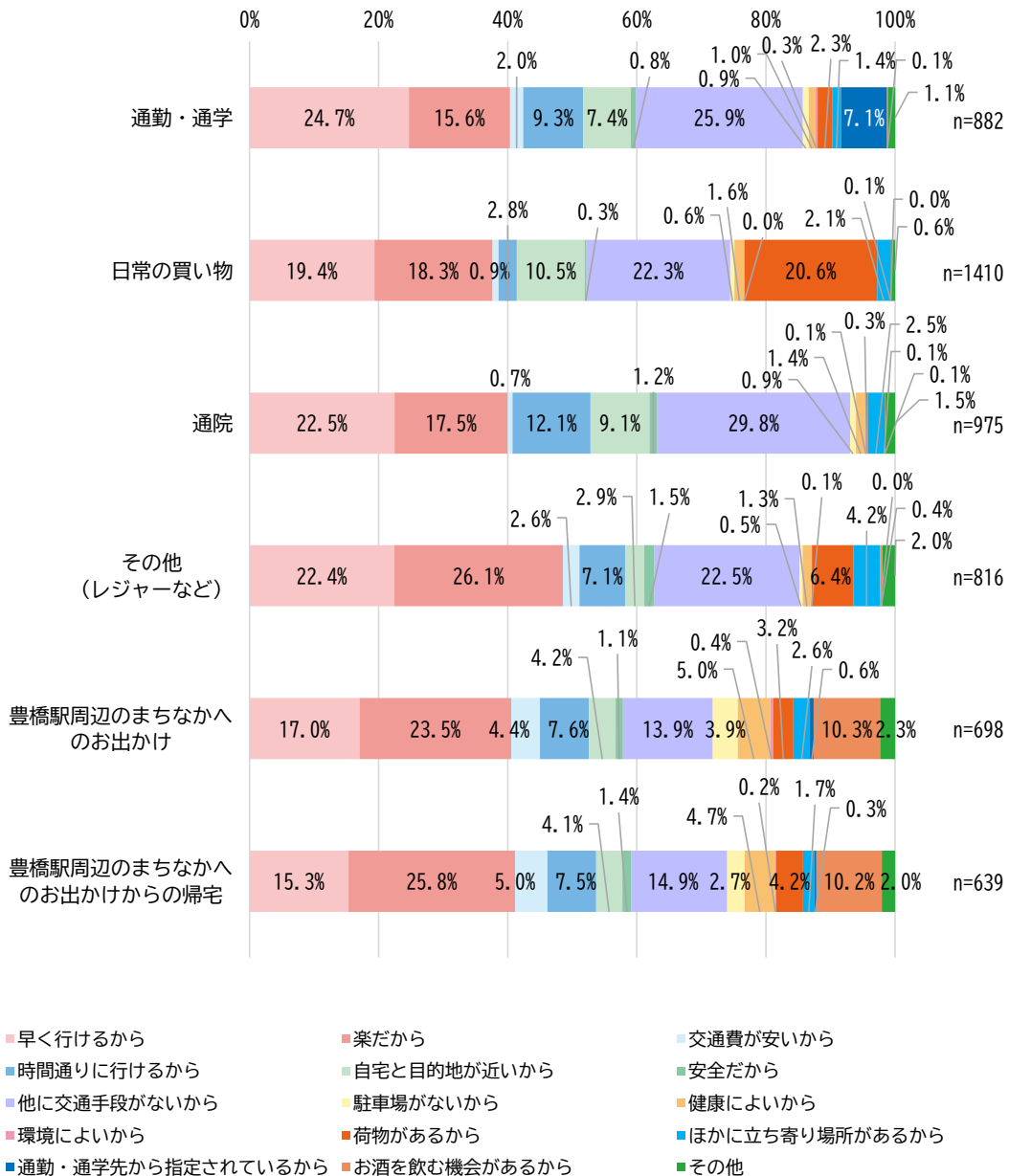


図 1-32 <市民> 目的別の主な交通手段を利用する理由

5) 移動に関する困りごとの度合い

- 目的別の困りごとの度合いは、「豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ（からの帰宅）」で困っているとやや困っているの割合が高く、それぞれ約2割を占めている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>

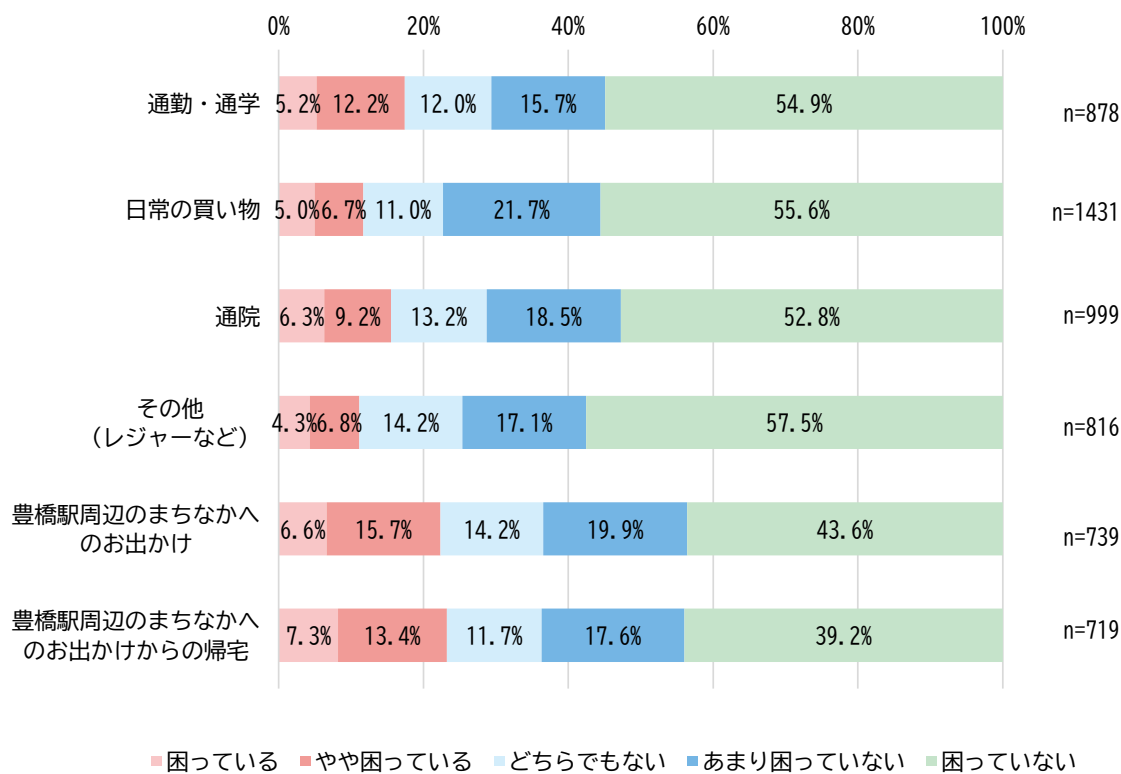


図 1-33 <市民> 目的別の困りごとの度合い

年代別の目的別困りごとの度合い

- 通勤・通学目的の年代別の困りごとをみると、「15～29歳」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高く、「65～69歳」では低くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【通勤・通学】

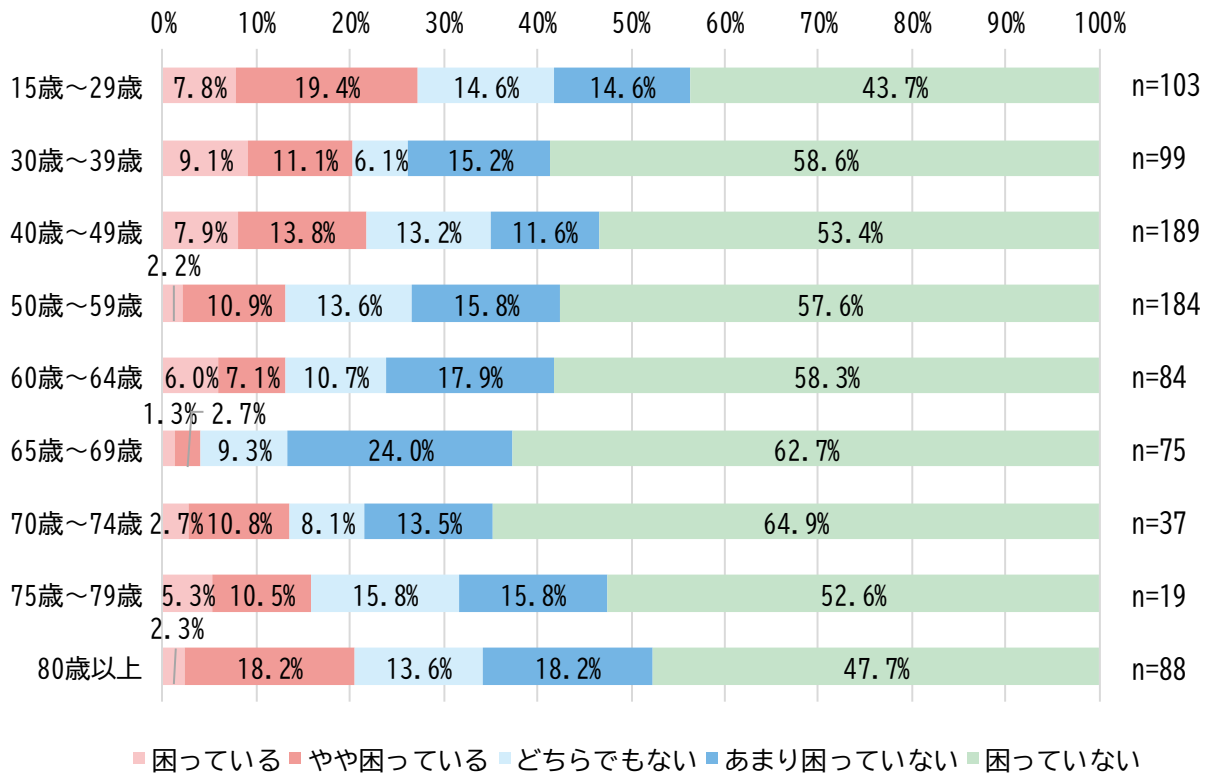
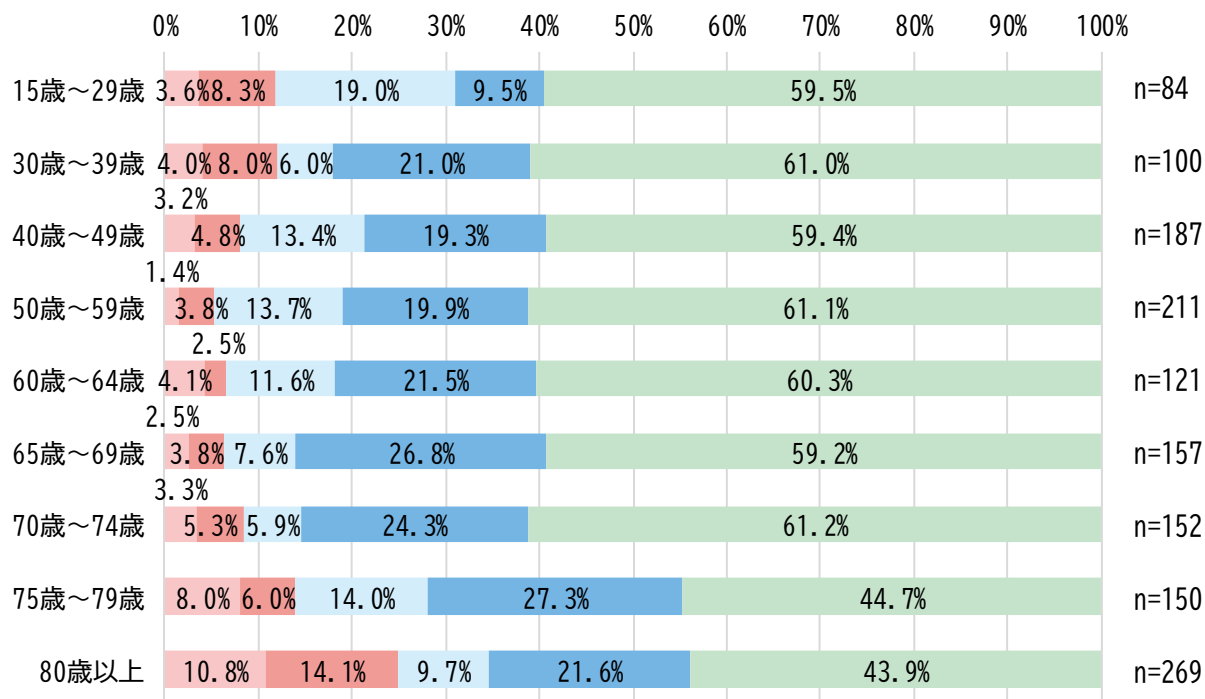


図 1-34 <市民>通勤・通学の年代別困りごとの度合い

- 日常の買い物目的をみると、「80歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【日常の買い物】



■ 困っている ■ やや困っている ■ どちらでもない ■ あまり困っていない ■ 困っていない

図 1-35 <市民> 日常の買い物の年代別困りごとの度合い

- 通院目的をみると、「80歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【通院】

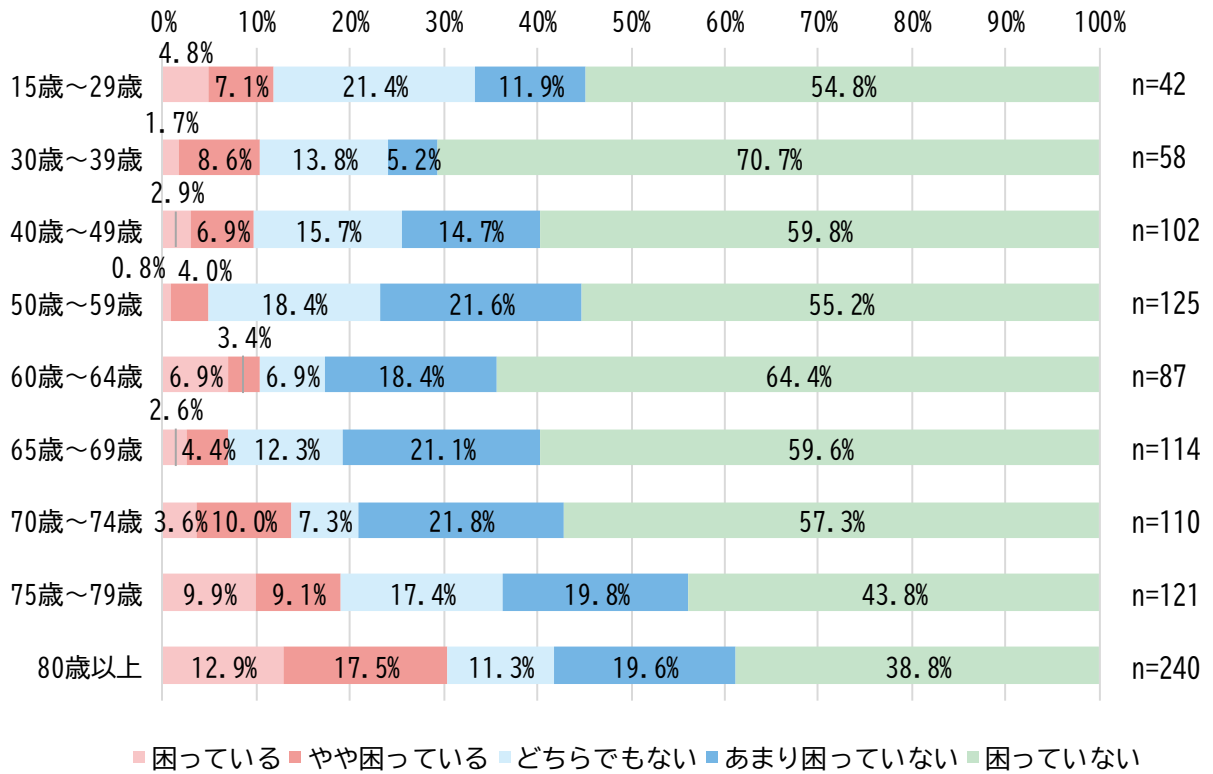
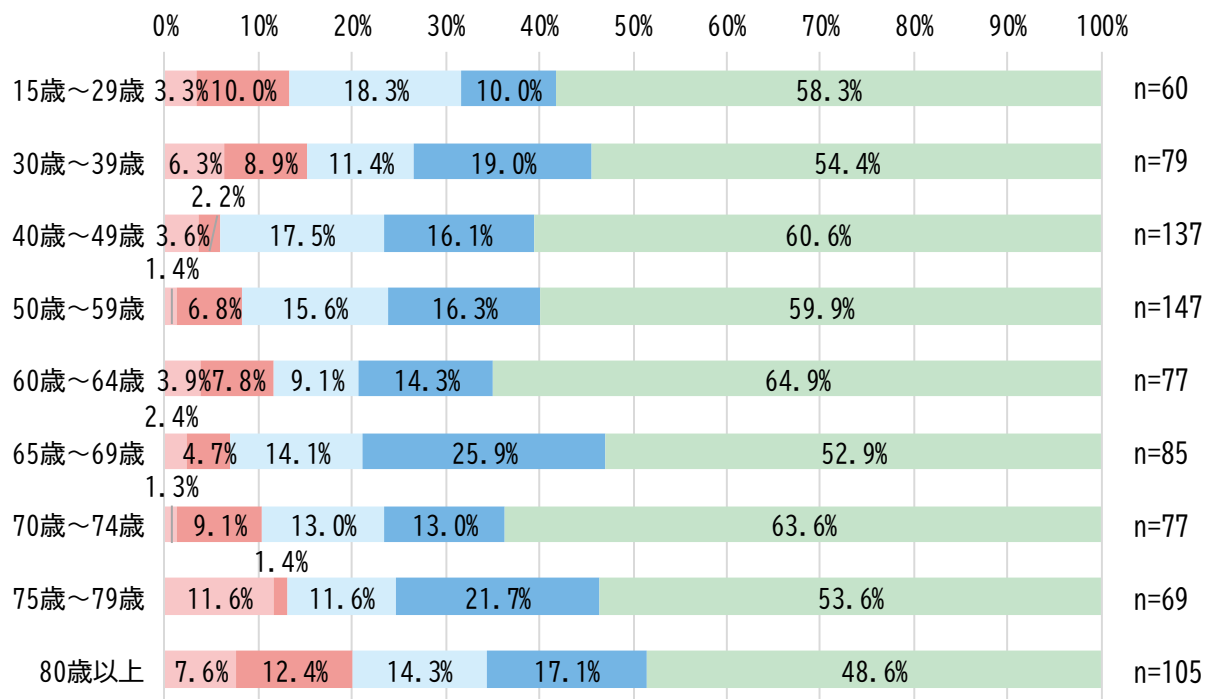


図 1-36 <市民>通院の年代別困りごとの度合い

- その他（レジャー）目的をみると、「80歳以上」は他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【その他（レジャー等）】



■ 困っている ■ やや困っている ■ どちらでもない ■ あまり困っていない ■ 困っていない

図 1-37 <市民>その他（レジャー等）の年代別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけをみると、「80歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「15～29歳」「60～64歳」「75～79歳」でも約3割となっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

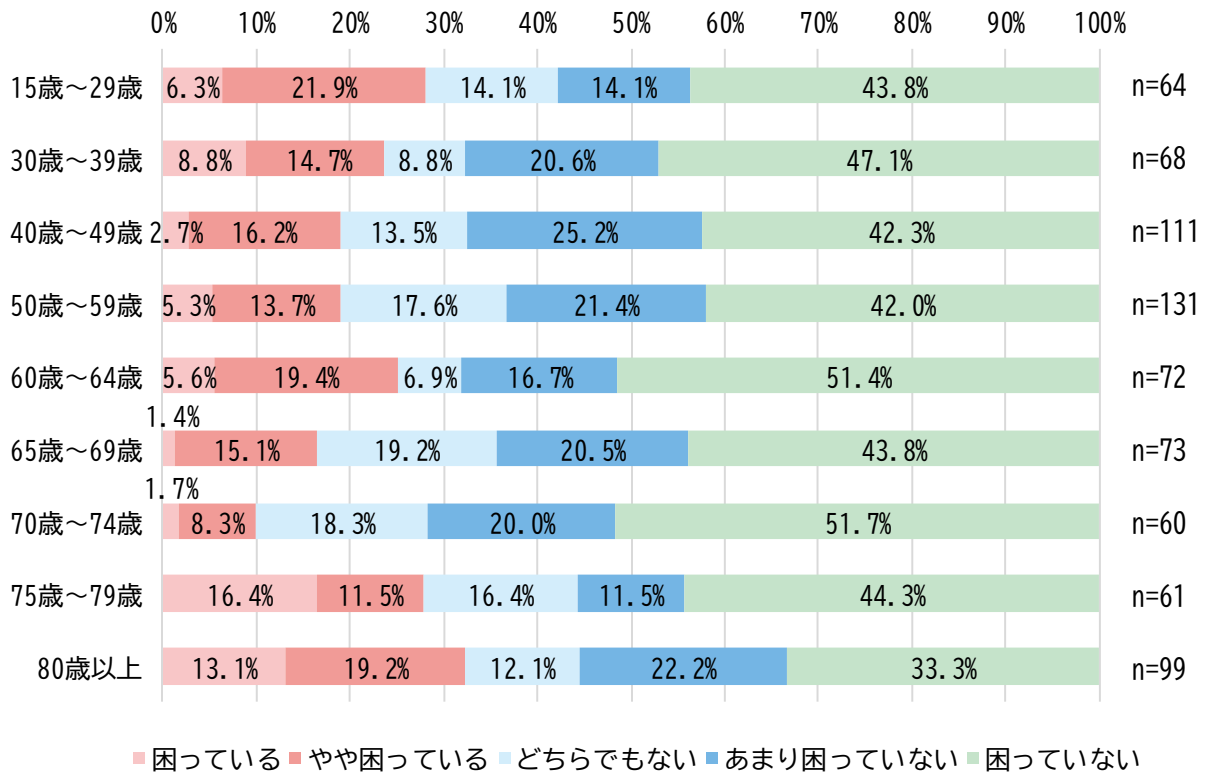


図 1-38 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの年代別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅目的をみると、「80歳以上」は、他の年代と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「15～29歳」「30～39歳」「60～64歳」でも約3割となっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
 【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

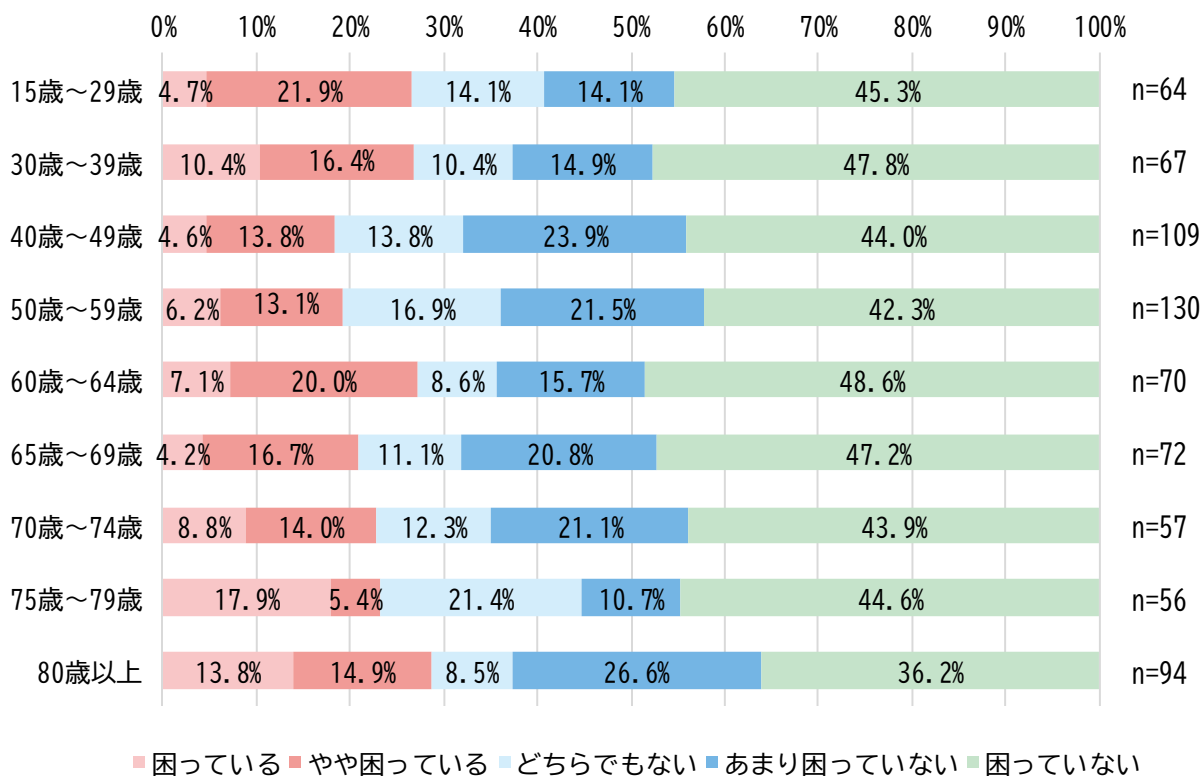


図 1-39 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の年代別困りごとの度合い

地域別の目的別困りごとの度合い

- 通勤・通学目的の地域別の困りごとをみると、「地域3 豊川（河川）北側地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>

【通勤・通学】

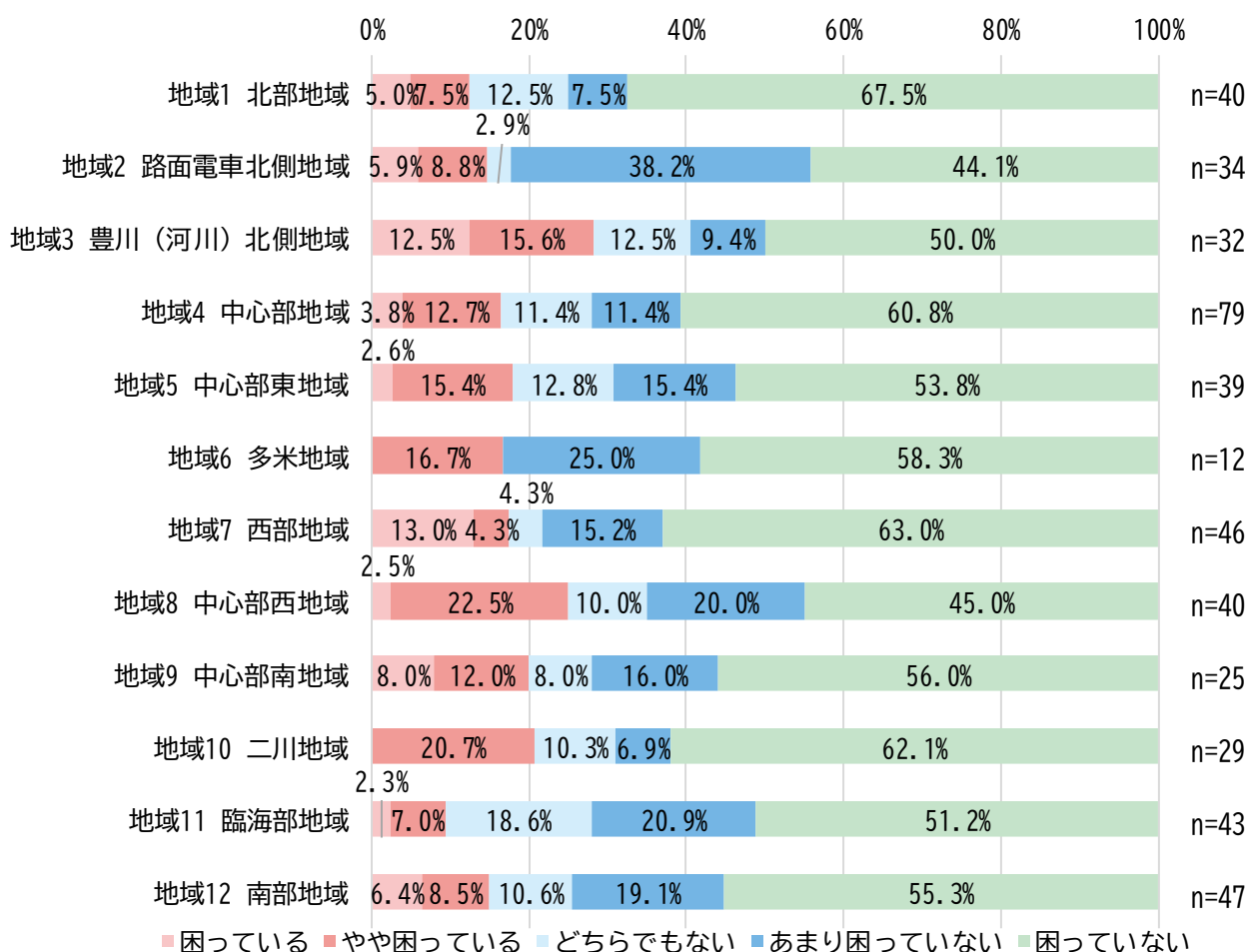


図 1-40 <市民>通勤・通学の地域別困りごとの度合い

- 日常の買い物目的をみると、「地域1 北部地域」「地域10 二川地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【日常の買い物】

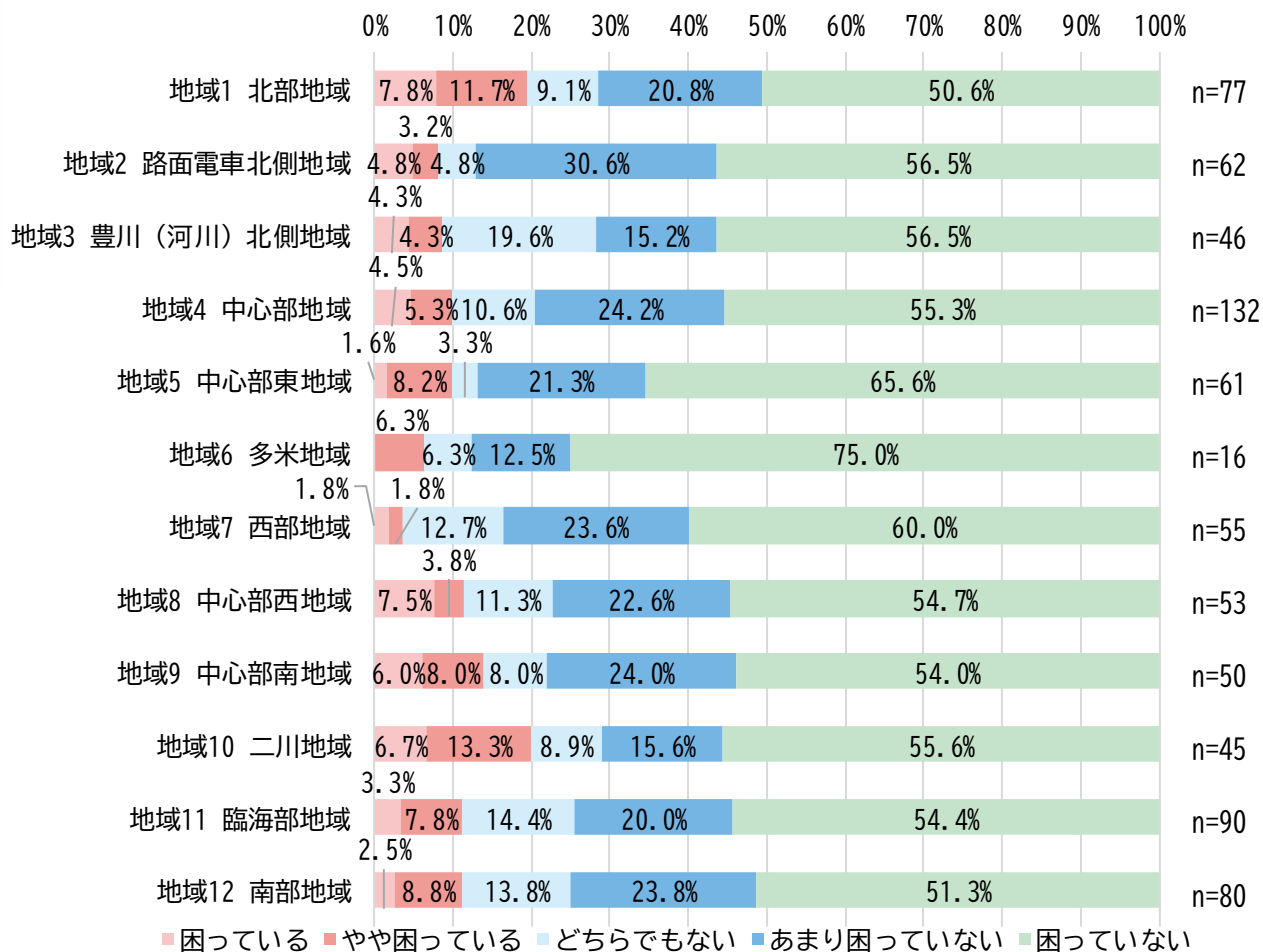


図 1-41 <市民> 日常の買い物の地域別困りごとの度合い

- 通院目的をみると、「地域1 北部地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【通院】

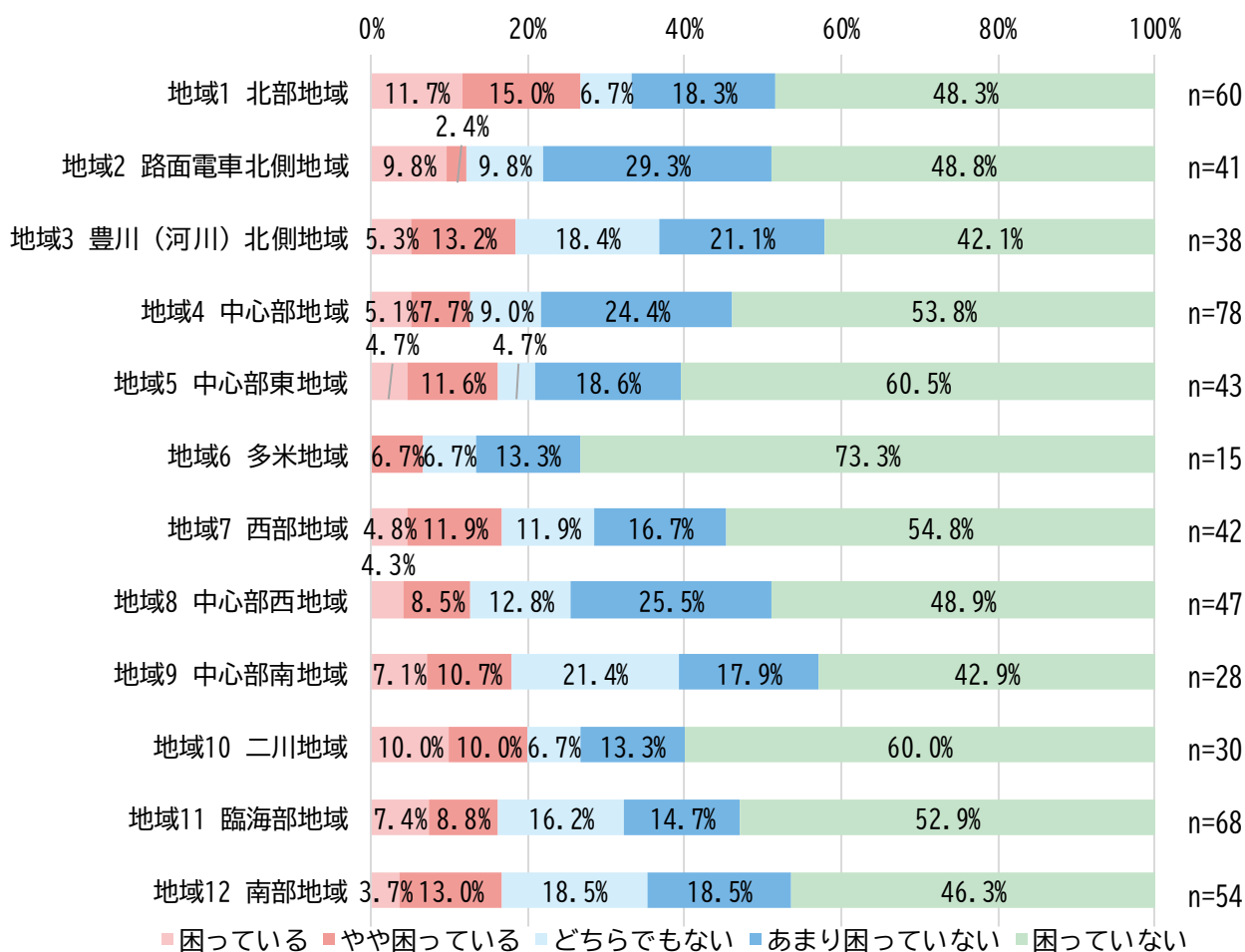


図 1-42 <市民>通院の地域別困りごとの度合い

- その他（レジャー）目的をみると、「地域6 多米地域」はサンプル数が8と少ないが、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【その他（レジャー等）】

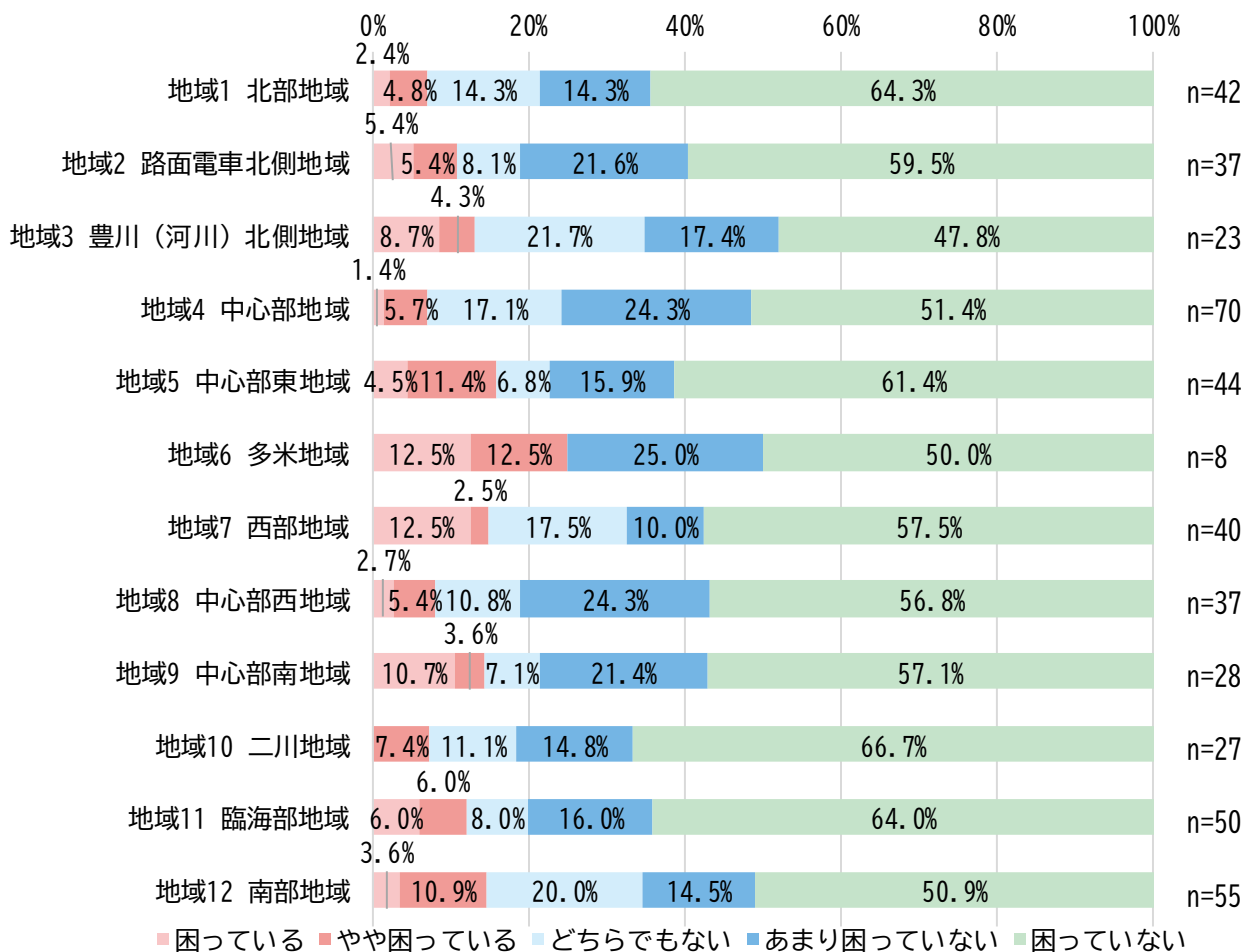


図 1-43 <市民>その他（レジャー等）の地域別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ目的をみると、「地域7 西部地域」「地域12 南部地域」、サンプル数が10と少ない「地域6 多米地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけ】

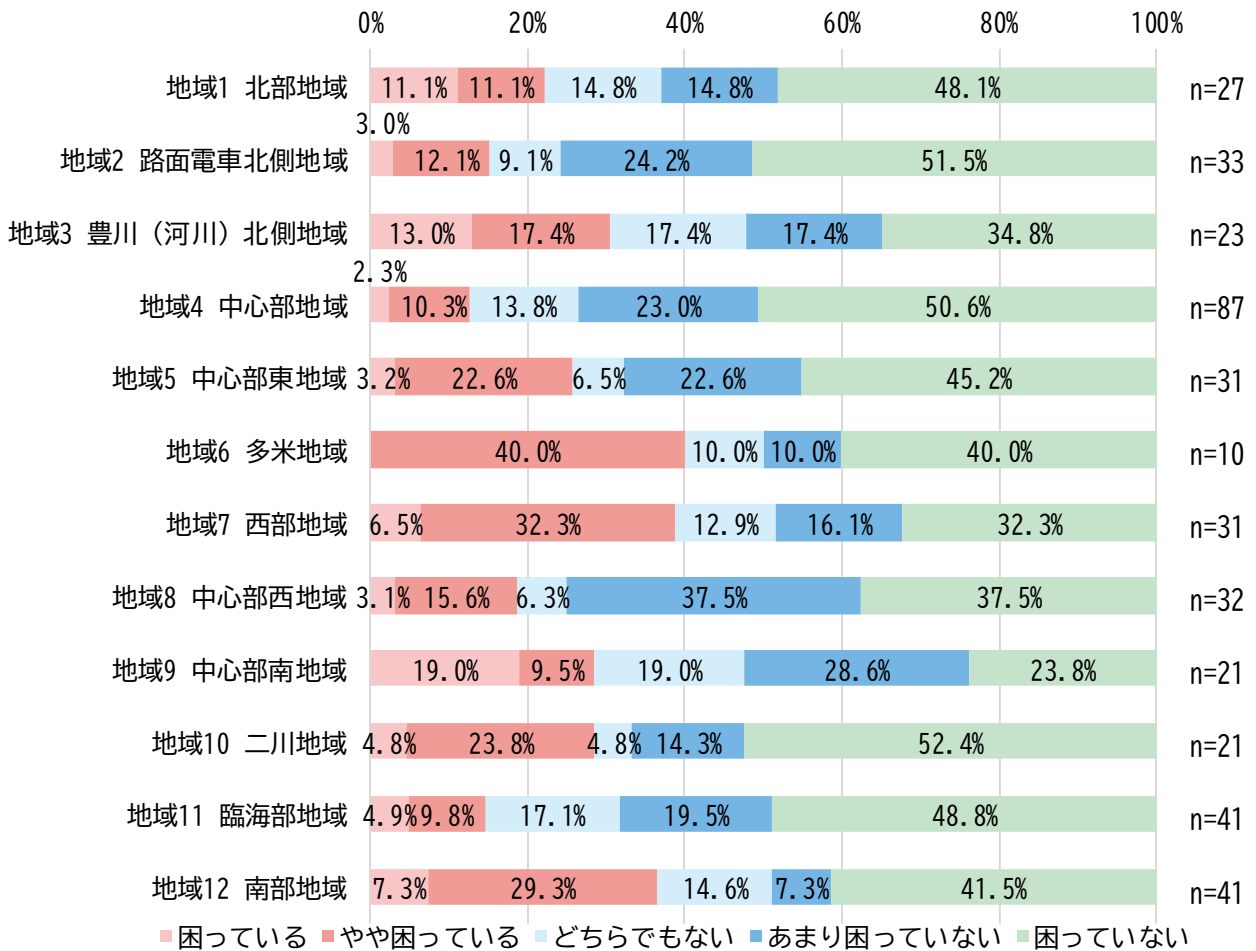


図 1-44 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけの地域別困りごとの度合い

- 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅目的をみると、サンプル数が10と少ないが、「地域6 多米地域」は、他の地域と比べて困っているとやや困っているの割合が高くなっている。その他、「地域3 豊川（河川）北側地域」「地域10 二川地域」「地域12 南部地域」でも3割以上となっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている度合いを選んでください>
【豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅】

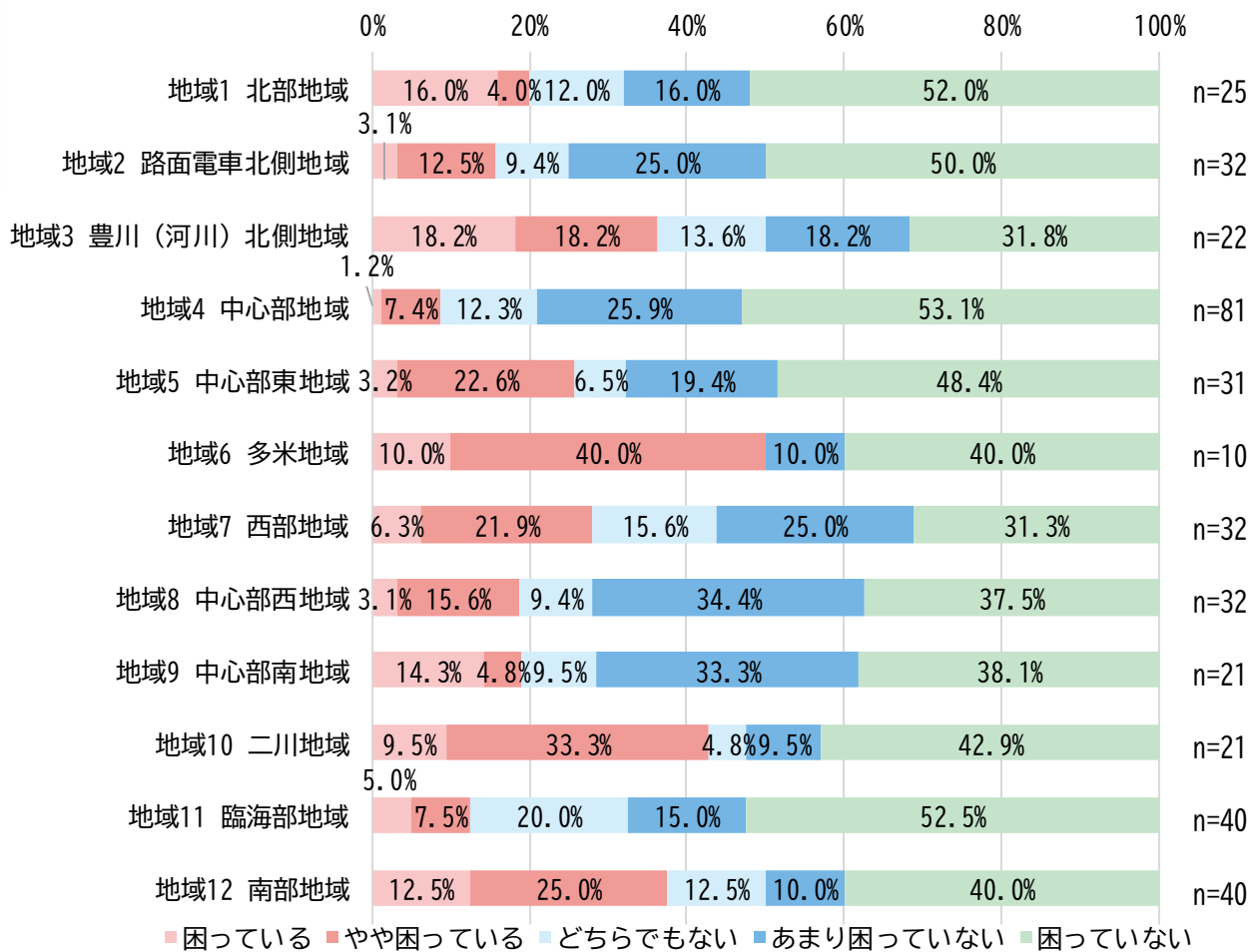
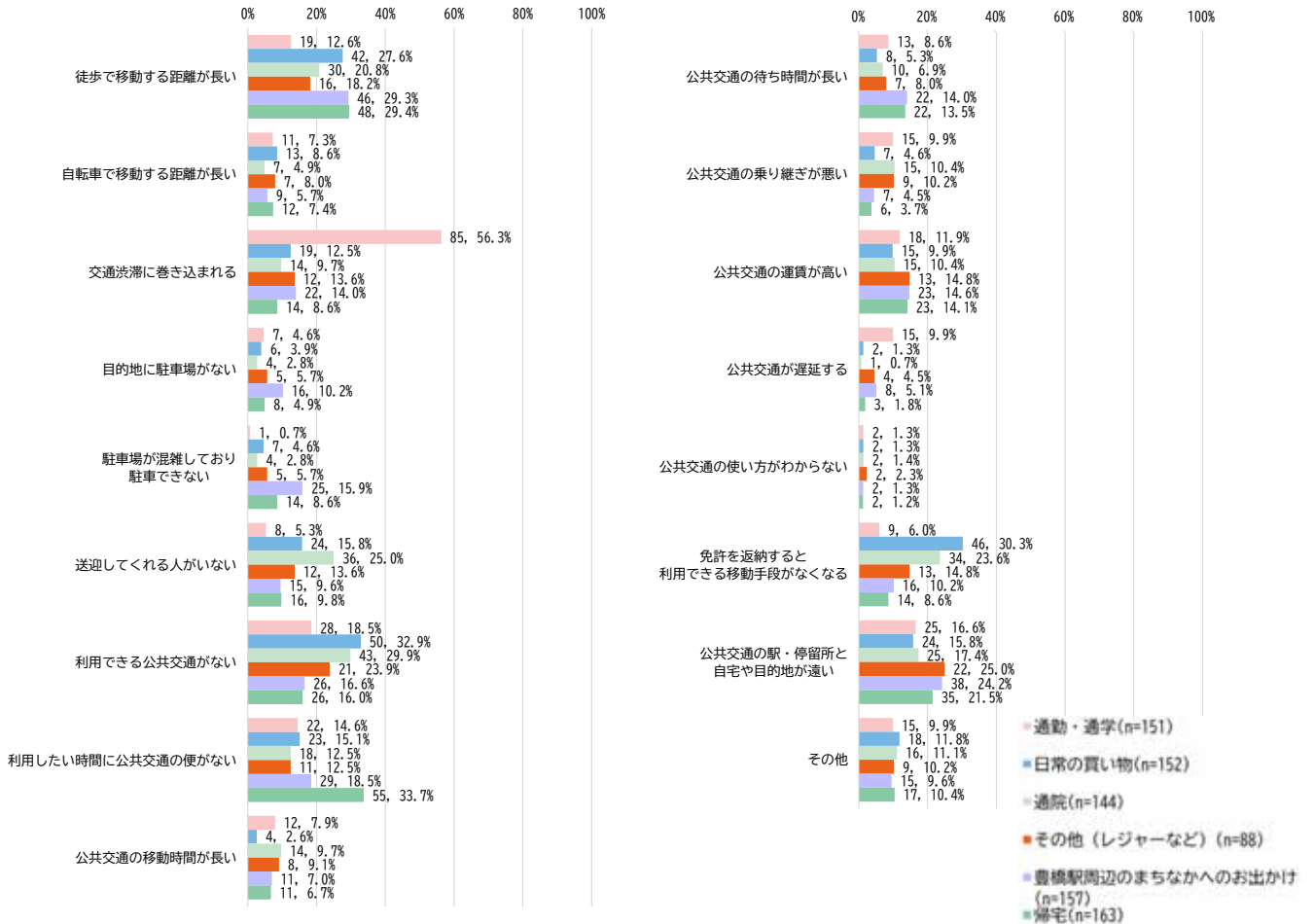


図 1-45 <市民> 豊橋駅周辺のまちなかへのお出かけからの帰宅の地域別困りごとの度合い

6) 移動に関する困りごと

- 移動に関する困りごとを目的別にみると、「交通渋滞に巻き込まれる」は、通勤・通学で困っている人のうち約6割が回答している。その他、3割を超える回答は、「利用できる公共交通がない」の日常の買い物、「利用したい時間に公共交通の便がない」の帰宅、「免許を返納すると利用できる移動手段がなくなる」の日常の買い物となっている。

<市民 2-2 問 2-1 でご回答いただいた移動を行うにあたって、困っている内容を選んでください>



※<市民>2-2「移動に関する困っている度合い」で「1.困っている」「2.やや困っている」を選択した回答の「移動に関する困りごと（無回答除く）」を集計

図 1-46 <市民>目的別の困りごと

(3)交通手段別の利用状況

1)交通手段の利用状況の変化

- 交通手段の利用状況の変化をみると、「自動車・バイク」で大きく増えたが増えたの割合が高く、合わせて約2割を占めている。
- 一方、鉄道では、大きく減ったとやや減ったの割合が高く、約2割を占めている。また、平成27年と比べても、大きく減ったとやや減った、以前からほとんど利用していないの割合が上昇しており、令和6年では合わせて過半数を超えている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

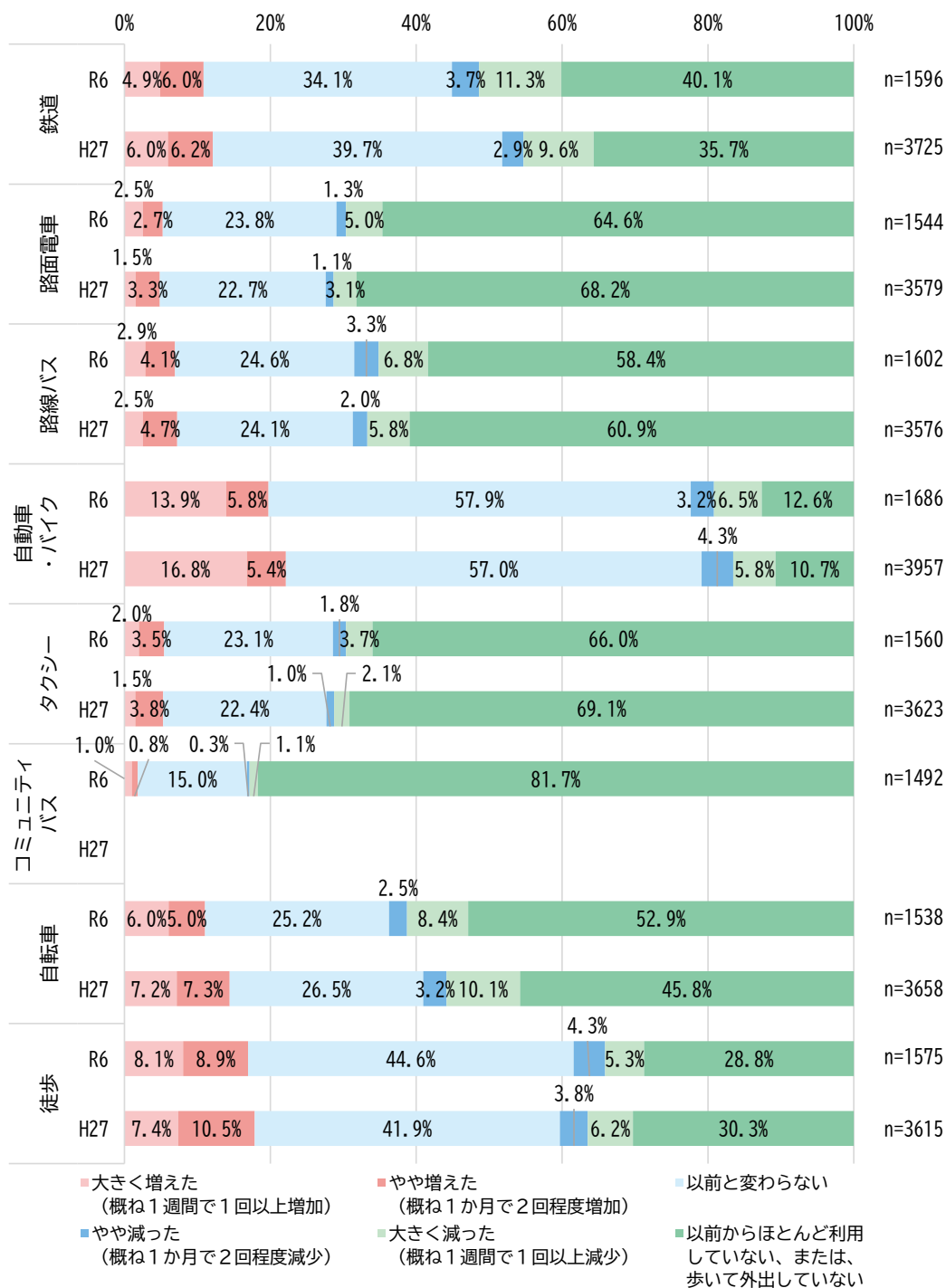


図 1-47 <市民> 交通手段の利用状況の変化

2) 地域別の手段別利用状況の変化

- 鉄道の利用について地域別にみると、「地域1 北部地域」「地域4 中心部地域」「地域8 中心部西地域」「地域11 臨海部地域」を除き、大きく増えたやや増えたより、大きく減ったやや減ったの割合が高くなっている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【鉄道】

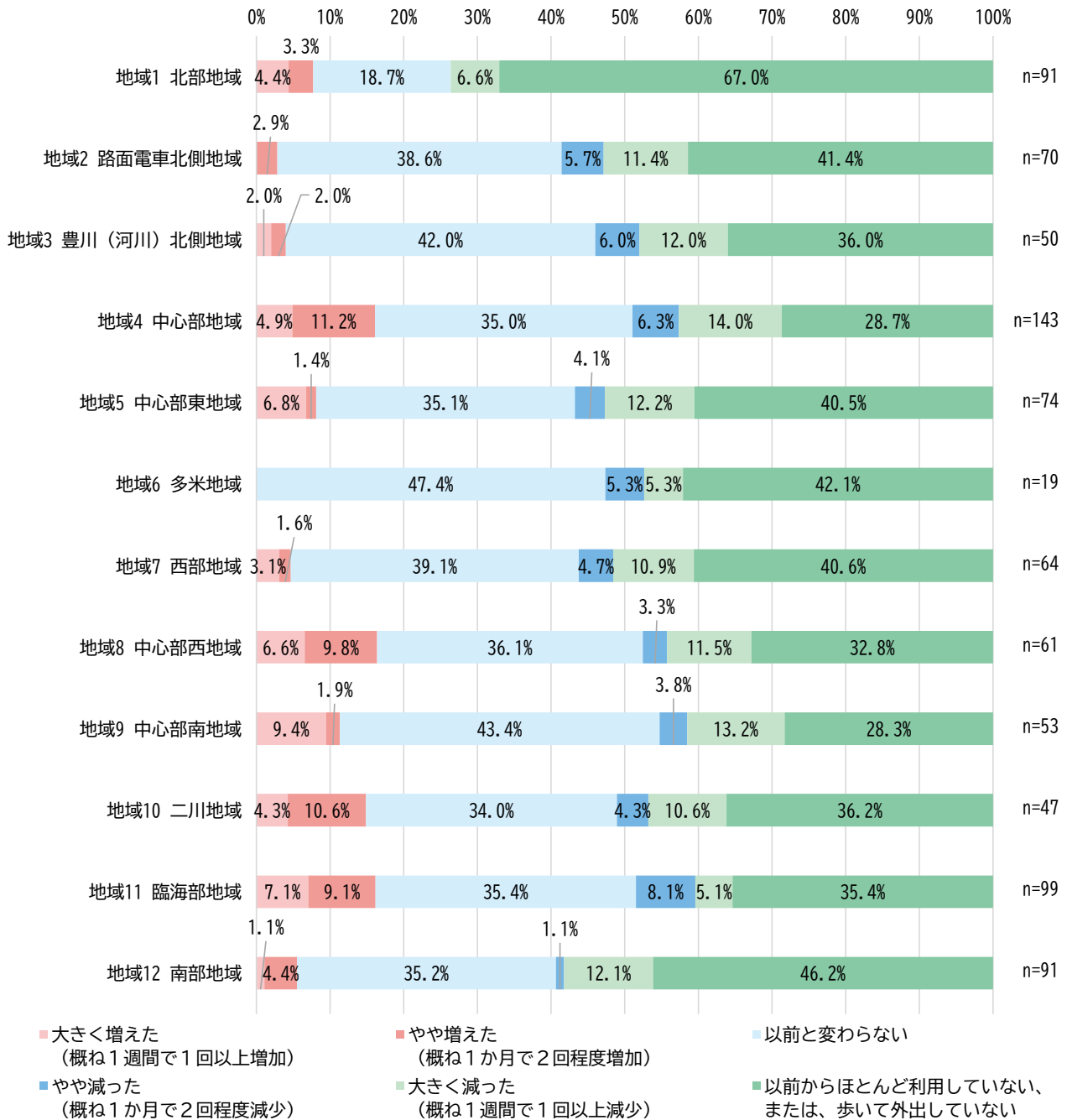


図 1-48 <市民>鉄道の地域別交通手段-利用状況の変化

- 路面電車についてみると、「地域1 北部地域」「地域4 中心部地域」「地域7 西部地域」を除き、大きく増えたやや増えたより、大きく減ったやや減ったの割合が高くなっている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【路面電車】

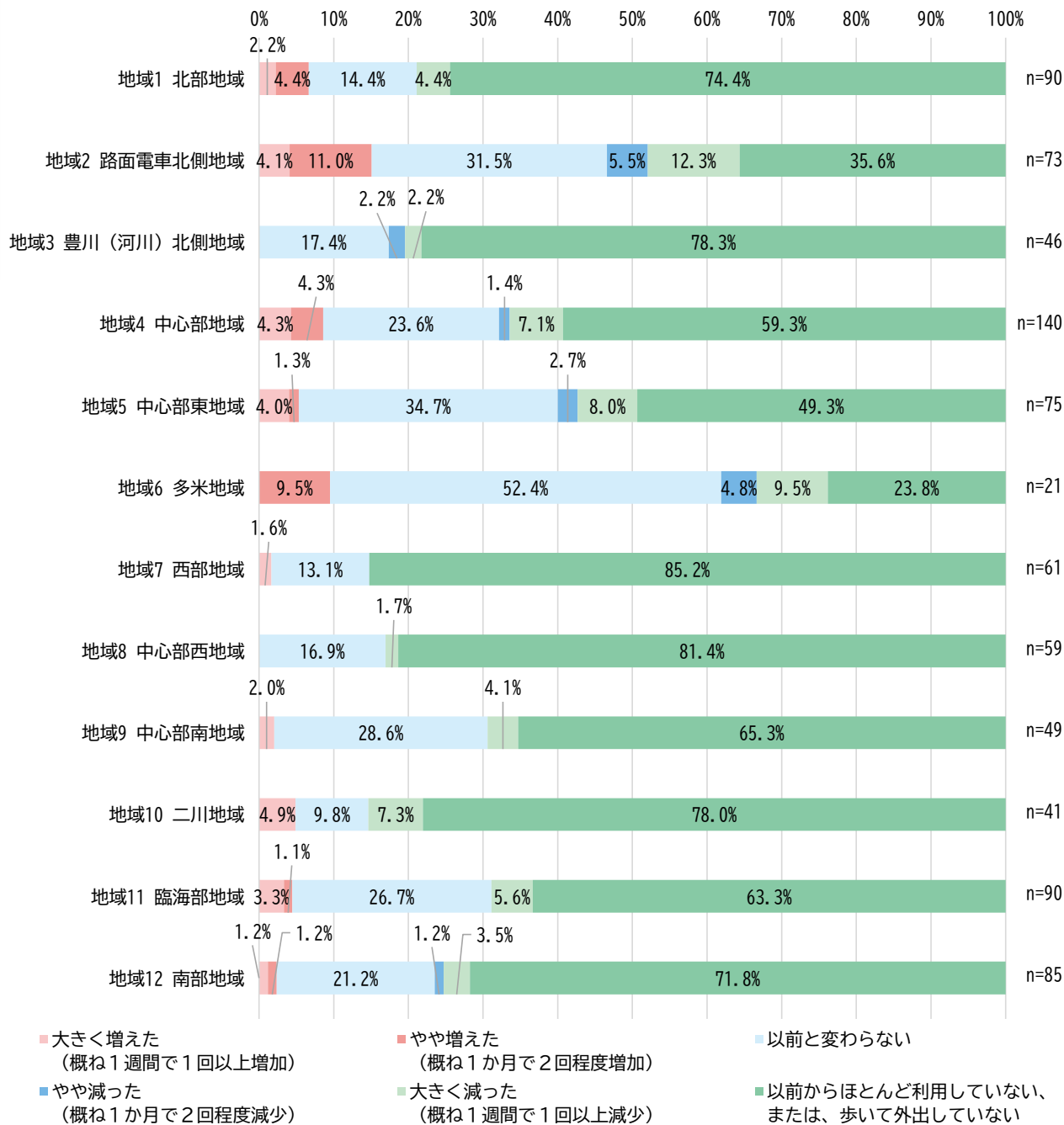


図 1-49 <市民> 路面電車の地域別交通手段利用状況の変化

- 路線バスについてみると、「地域1 北部地域」「地域4 中心部地域」「地域8 中心部西地域」を除き、大きく増えたやや増えたより、大きく減ったやや減ったの割合が高くなっている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>
【路線バス】

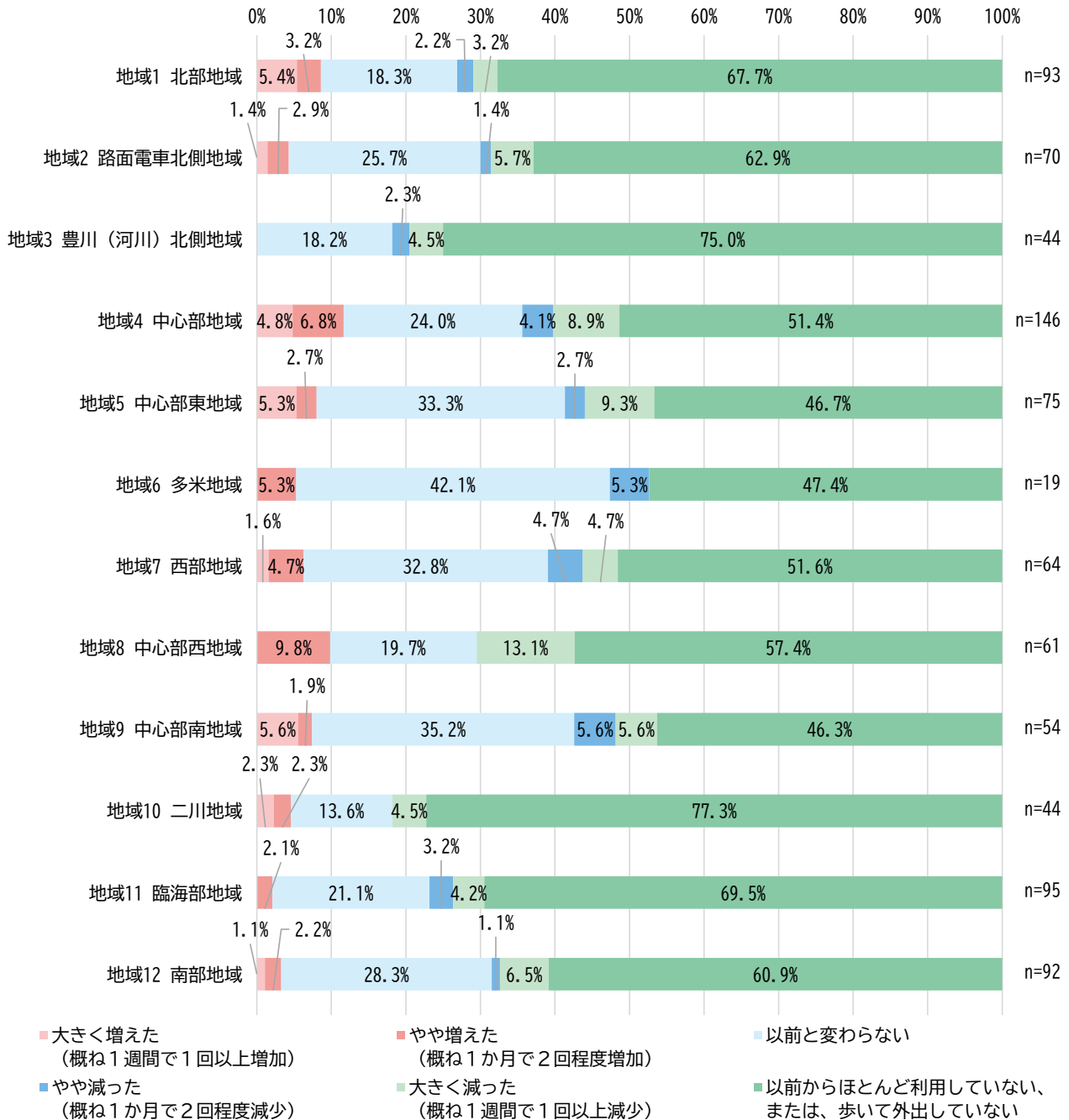


図 1-50 <市民> 路線バスの地域別交通手段利用状況の変化

- 自動車・バイクについてみると、「地域3 豊川（河川）北側地域」「地域10 二川地域」を除き、大きく減ったとやや減ったより、大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。

<市民3 5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【自動車・バイク】

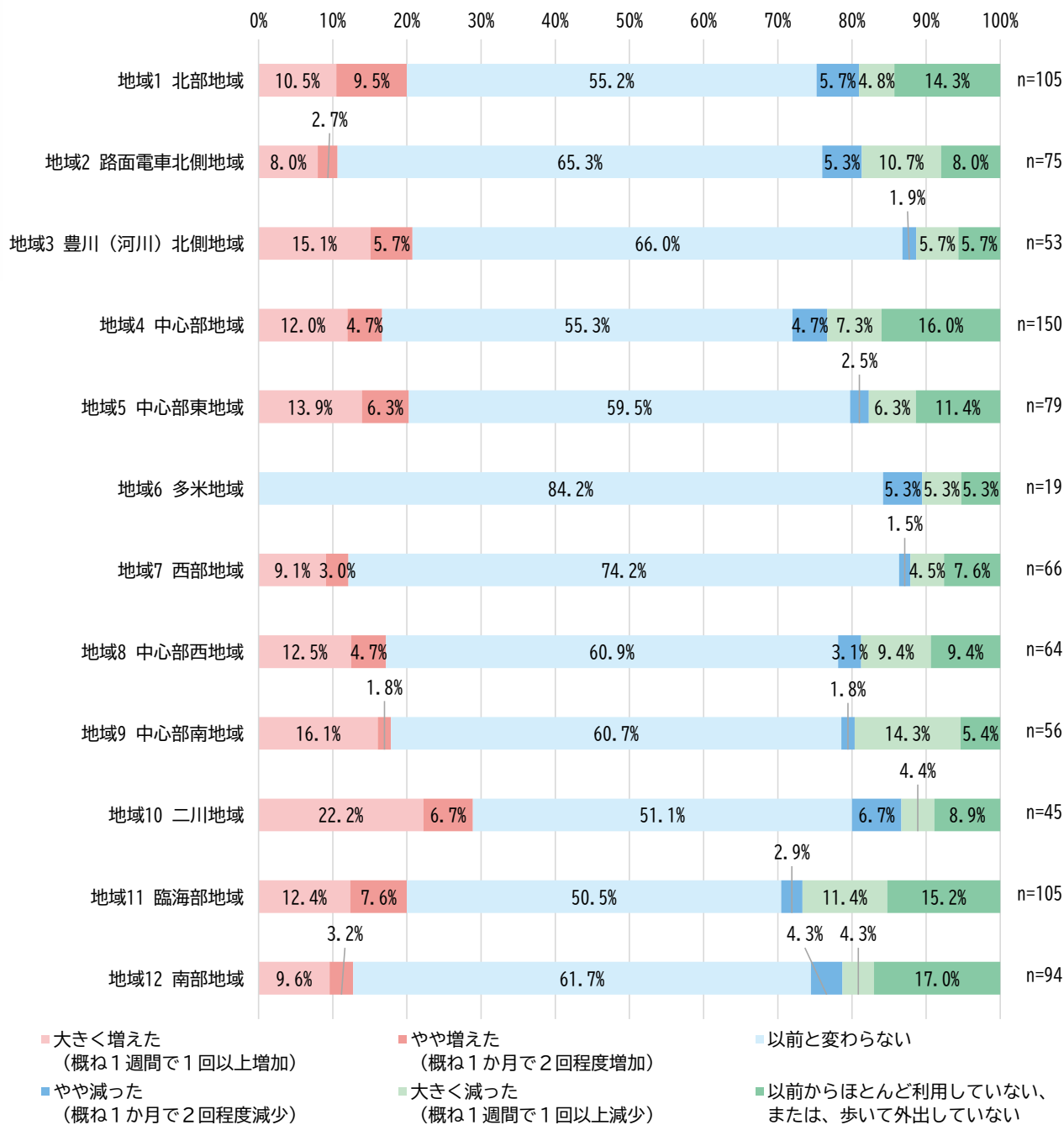


図 1-51 <市民>自動車・バイクの地域別交通手段利用状況の変化

- タクシーについてみると、「地域4 中心部地域」は、他の地域と比べて大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。一方、「地域5 中心部東地域」「地域11 臨海部地域」では、大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

＜市民3 5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化＞
【タクシー】

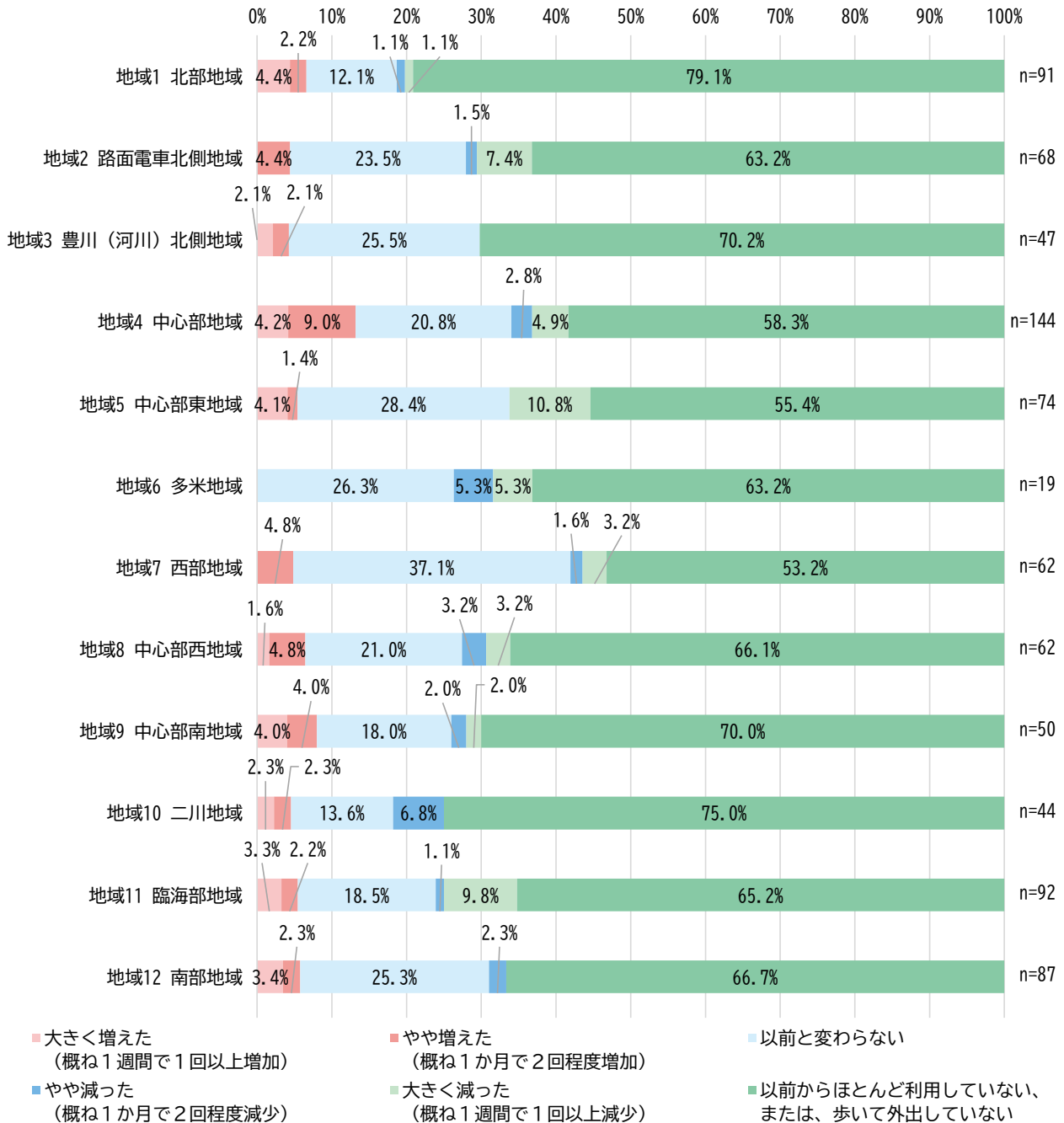


図1-52 <市民> タクシーの地域別交通手段利用状況の変化

- コミュニティバスについてみると、「地域1 北部地域」は、他の地域と比べて大きく増えたことや増えたの割合が高くなっている。

<市民3 5～10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【コミュニティバス】

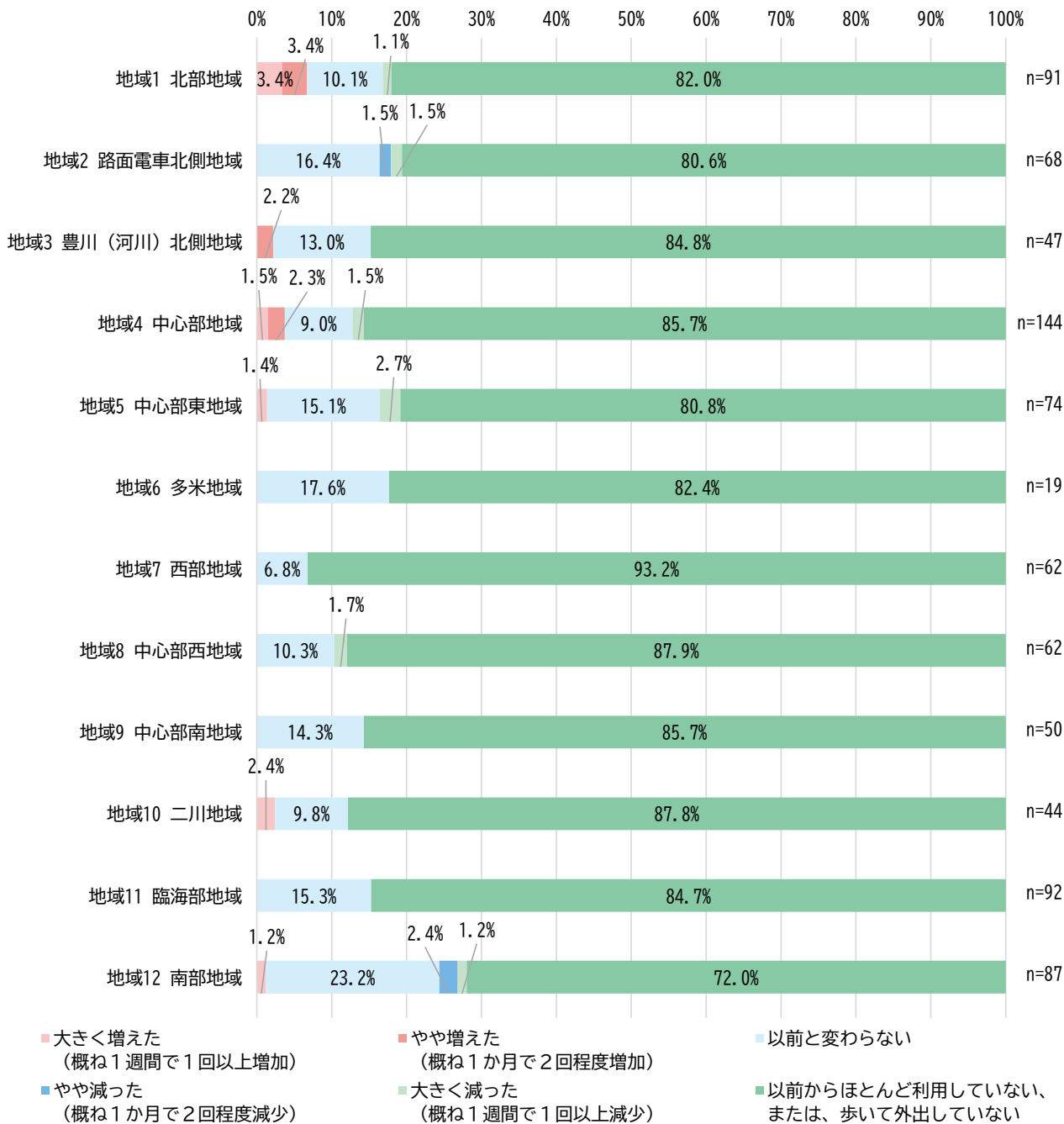


図 1-53 <市民>コミュニティバスの地域別交通手段利用状況の変化

- 自転車についてみると、「地域10 二川地域」は、他の地域と比べて大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。一方、「地域4 中心部地域」では大きく減ったとやや減ったの割合が高くなっている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【自転車】

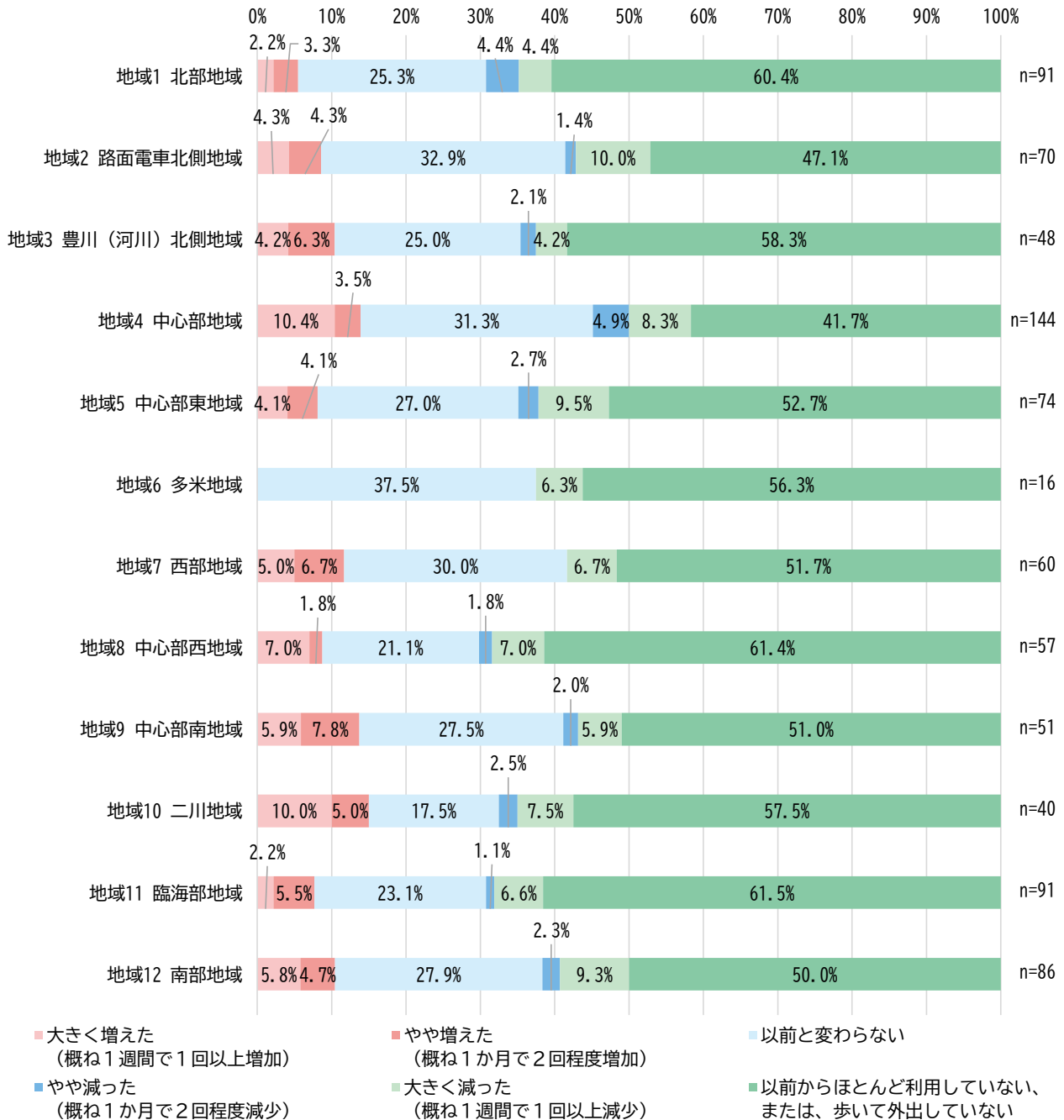


図1-54 <市民>自転車の地域別交通手段利用状況の変化

- 徒歩についてみると、「地域6 多米地域」を除き、大きく減ったとやや減ったより、大きく増えたとやや増えたの割合が高くなっている。

<市民3 5~10年くらい前と現在を比べた利用の変化>

【徒歩】

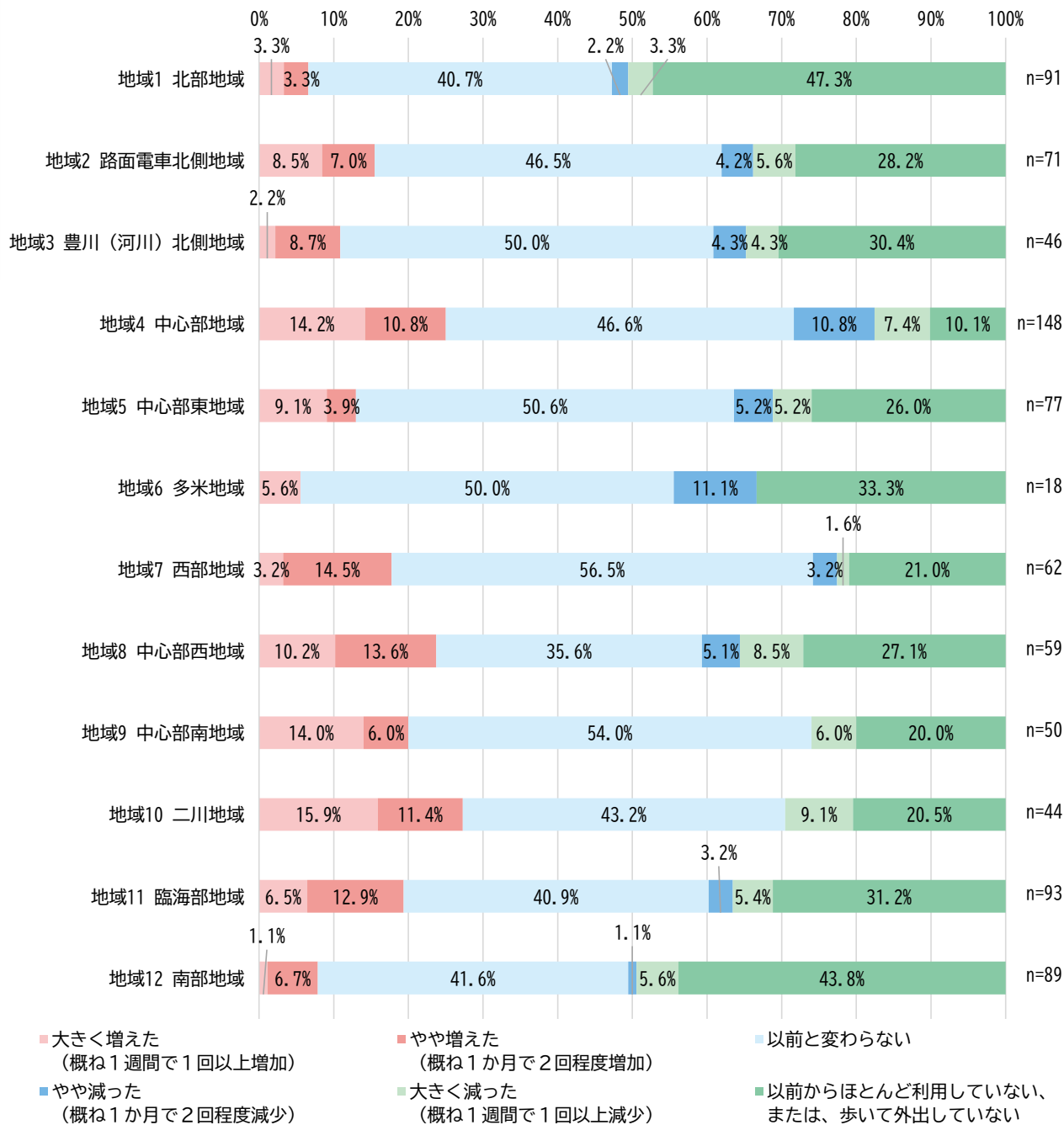


図 1-55 徒歩の地域別交通手段利用状況の変化

3) 交通手段が変化した理由

交通手段の利用が増えた理由

- 交通手段の利用が増えた理由をみると、「健康に良いから」では、自転車及び徒歩の回答者のうち4割以上が回答している。
- 「生活環境（就職・進学など）の変化」では、鉄道及び路面電車、路線バスの回答者のうちそれぞれ約4割が回答している。
- 「便利になったから」では、コミュニティバスの回答者の約2割が回答している。

<市民3 5～10年くらい前と現在を比べて利用が増えた理由>

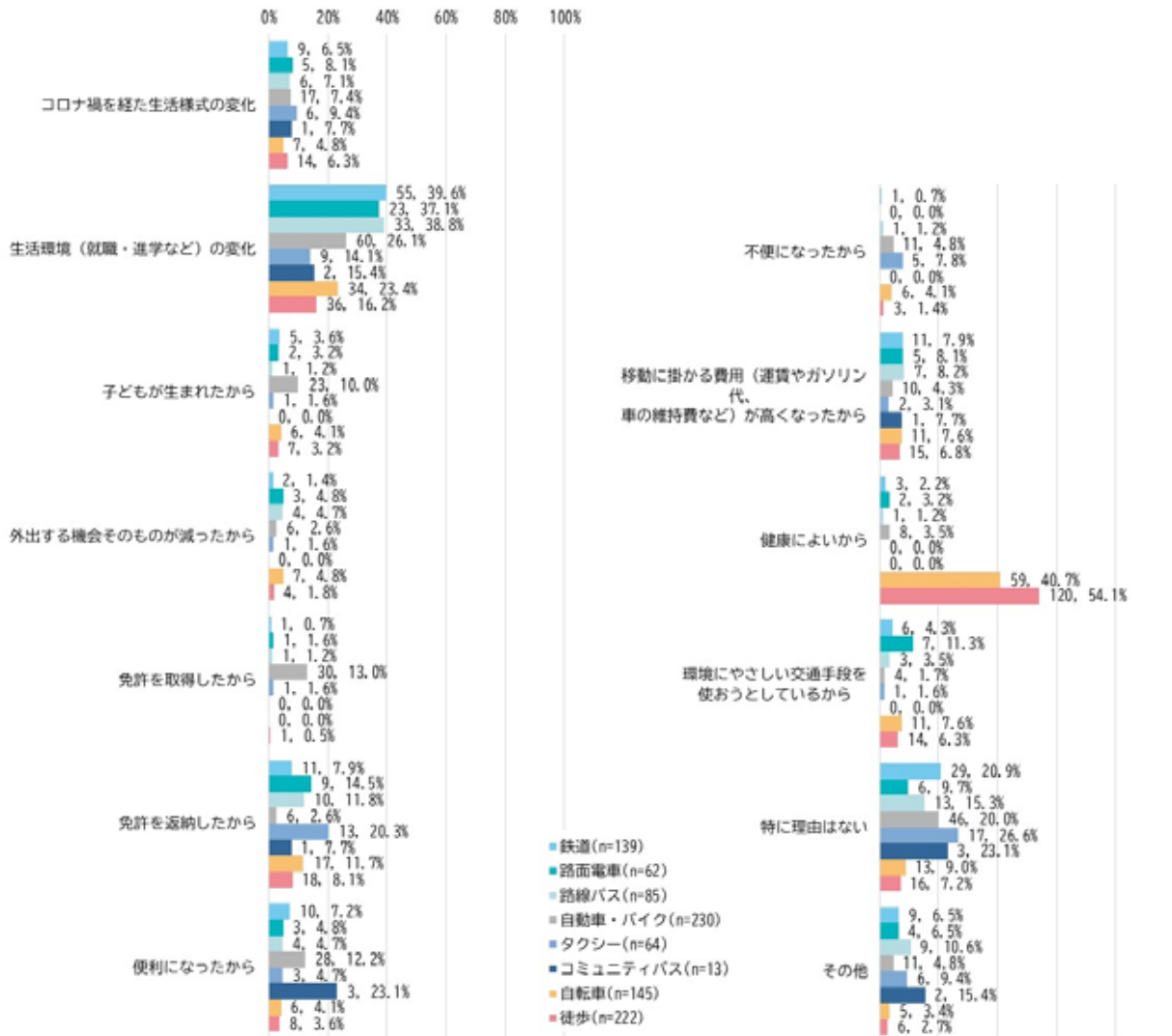


図 1-56 交通手段の利用が増えた理由

交通手段の利用が減った理由

- 交通手段の利用が減った理由は、「生活環境（就職・進学など）の変化」や「外出する機会そのものが減ったから」の割合が高くなっている。

<市民3 5～10年くらい前と現在を比べて利用が減った理由>

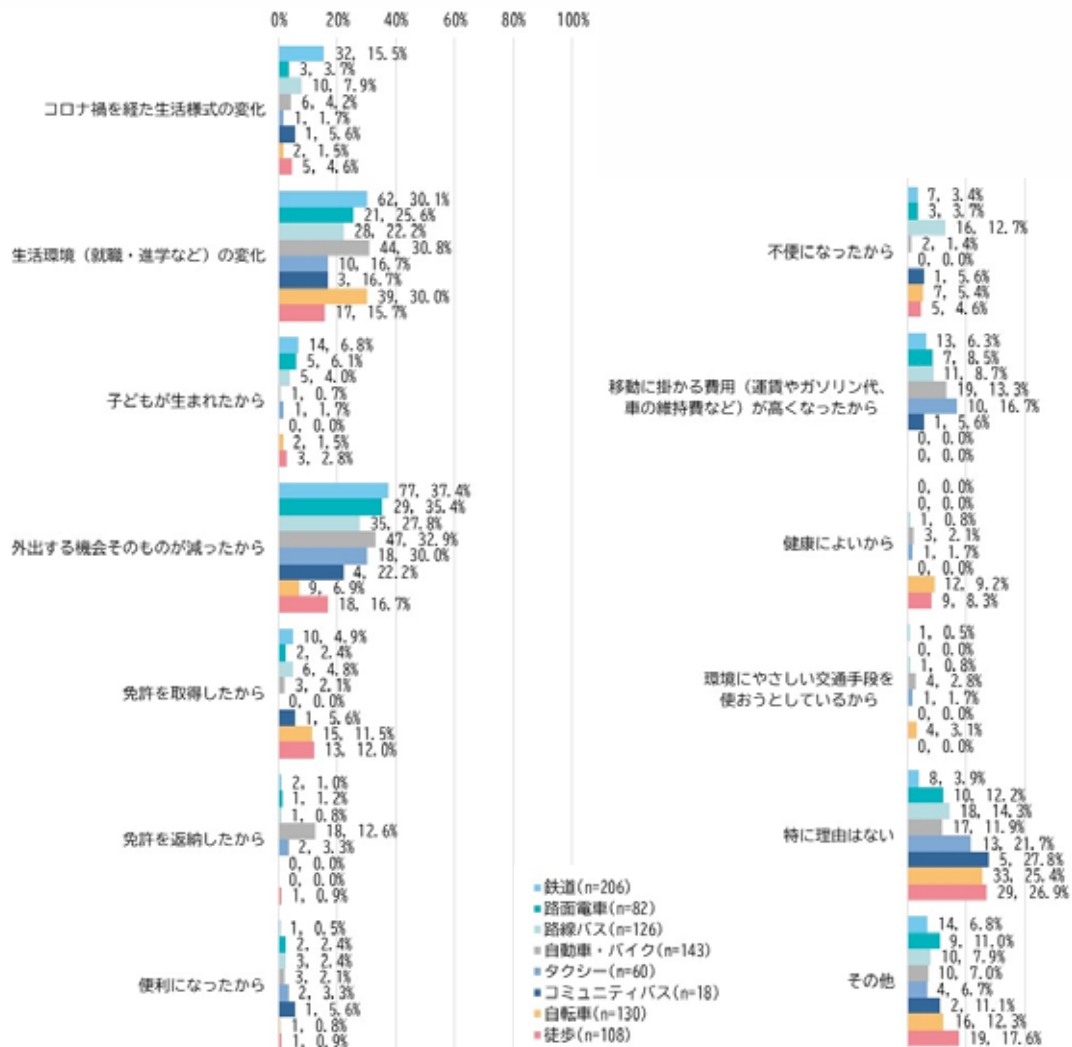


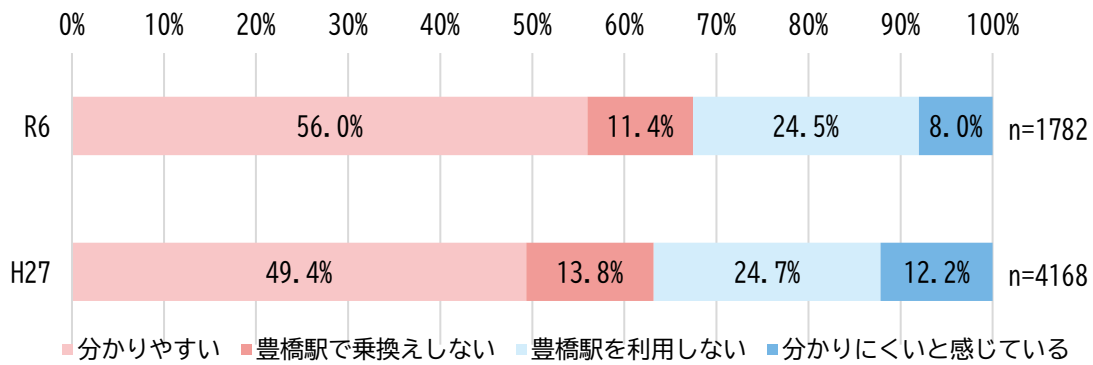
図 1-57 交通手段の利用が減った理由

(4)公共交通の利便性向上に関する取組のあり方

1)豊橋駅の乗換え利便性

- 豊橋駅の乗換え利便性は、分かりやすいの割合が最も高く、約6割を占めている。
- 平成27年度の計画策定時と比較すると、分かりやすいの割合が約7%上昇している。

<市民5-1 豊橋駅の鉄道（JR線、名鉄名古屋本線、豊鉄渥美線）、路面電車、バス、タクシーの各公共交通機関相互の乗換えの分かりやすさについて選んでください。>



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-58 <市民>豊橋駅の乗換え利便性

2)路線バスの料金

自宅最寄りバス停から豊橋駅までの料金について

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい料金は、200円程度の割合が最も高く、約3割を占めており、次いで300円程度が約2割を占めている。

<市民5-2 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？>

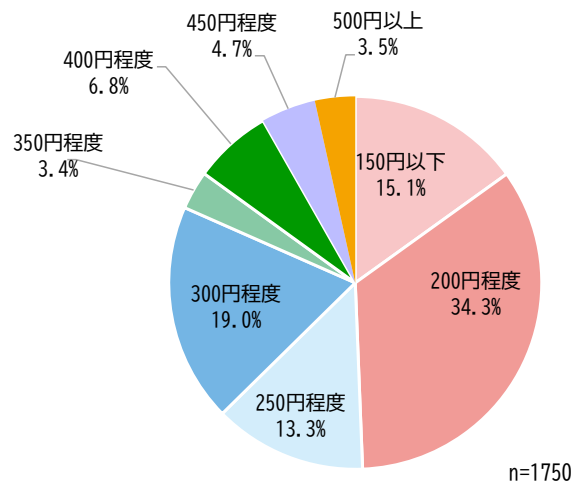


図1-59 <市民>路線バスの望ましい料金

地域別の路線バスの料金

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい料金を地域別にみると、「地域5 中心部東地域」は250円程度と300円程度の割合が高くなっている。
- 「地域1 北部地域」「地域11 臨海部地域」「地域12 南部地域」では300円程度の割合が高くなっている。
- その他の地域は200円程度の割合が高くなっている。

<市民 5-2 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、バスの運賃（片道）はどの程度が望ましいと思いますか？>

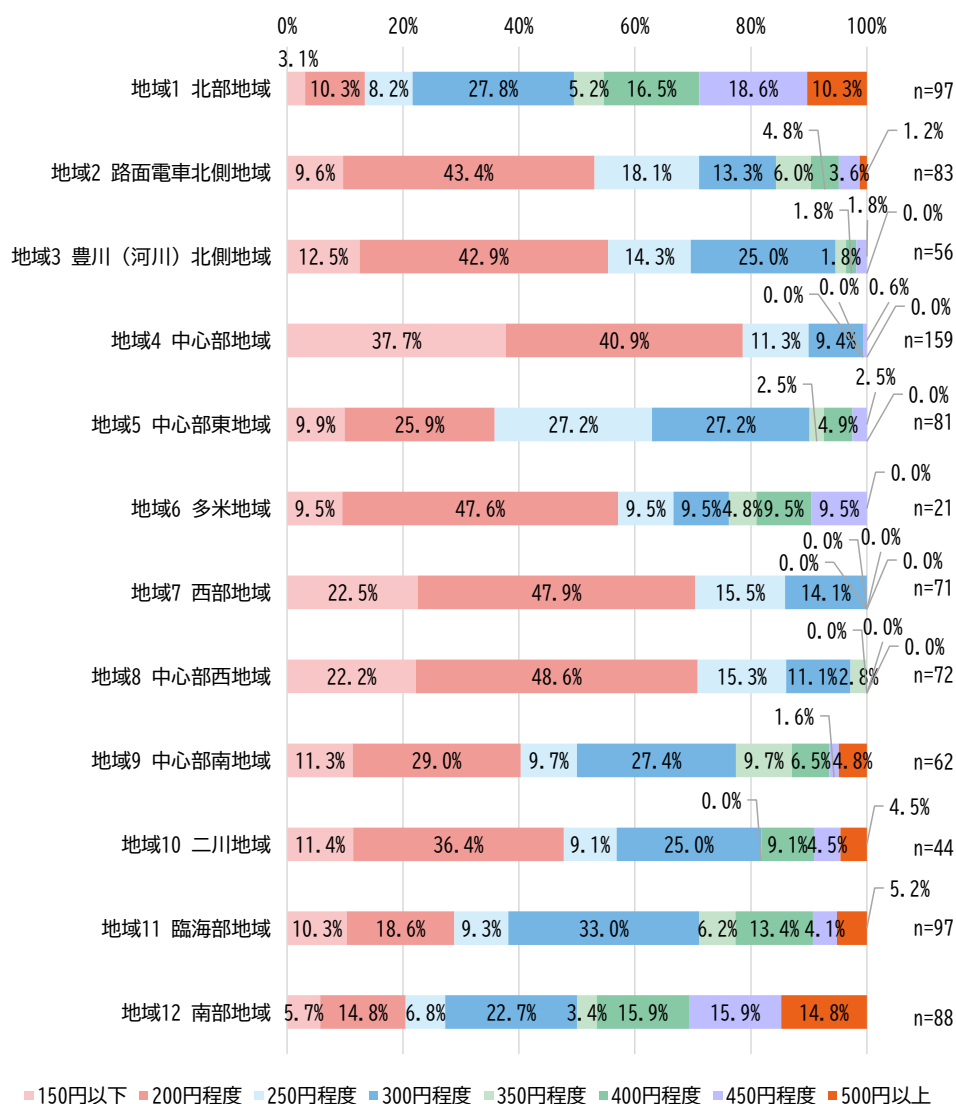


図 1-60 <市民> 地域別の路線バスの望ましい料金

3) 路線バスの所要時間

自宅最寄りバス停から豊橋駅までの所要時間

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい所要時間は、30分以内の割合が高く、約5割を占めており、次いで15分以内が約4割を占めている。

<市民 5-3 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、どのくらいの所要時間（乗換含む）が望ましいと思いますか？>

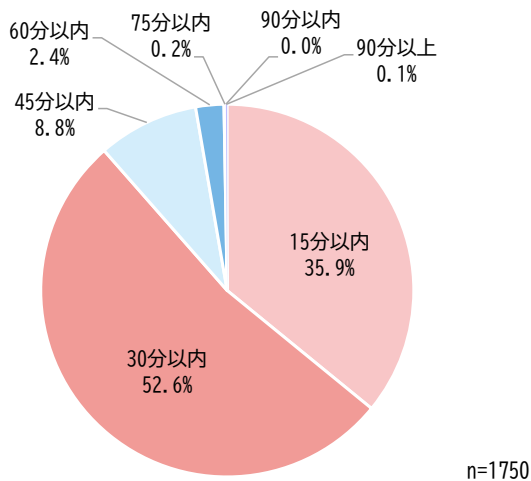


図 1-61 <市民> 路線バスの望ましい所要時間

地域別の路線バスの所要時間

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい所要時間を地域別にみると、「地域4 中心部地域」や「地域7 西部地域」「地域8 中心部西地域」では15分以内の割合が最も高くなっている。
- その他の地域では、15～30分以内の割合が最も高くなっている。

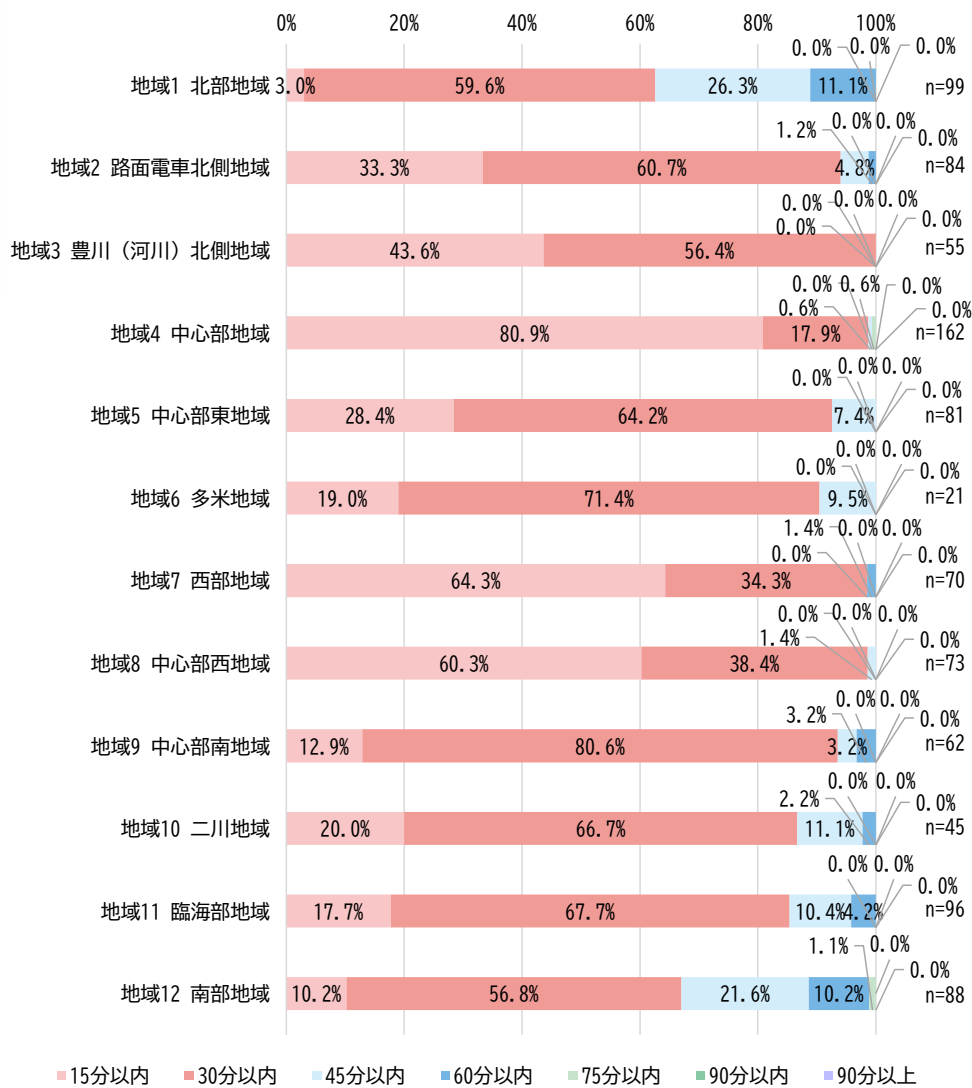


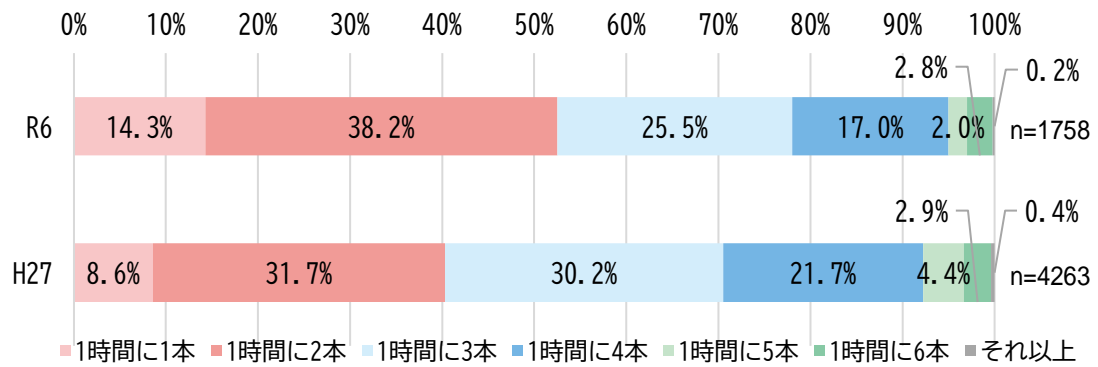
図 1-62 <市民> 地域別の路線バスの望ましい所要時間

4) 路線バスの運行本数

豊橋市の路線バスの運行本数

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい運行本数は、1時間に2本の割合が最も高く、約4割を占めており、次いで1時間に3本が約4分の1を占めている。
- 平成27年度の計画策定時と比較すると、1時間に2本以下の割合が上昇し、1時間に3本以上の割合が低下している。

<市民 5-4 自宅の最寄りバス停から豊橋駅までのバスを使いやすい路線とするためには、最低限どれくらいの運行本数（片道）が望ましいと思いますか？>



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図 1-63 <市民> 路線バスの望ましい運行本数

地域別の路線バスの運行本数

- 自宅最寄りバス停から豊橋駅までの望ましい運行本数を地域別にみると、「地域2 路面電車北側地域」「地域3 豊川（河川）北側地域」では1時間に3本の割合が最も高くなっている。
- その他の地域では、1時間に2本の割合が最も高くなっている。

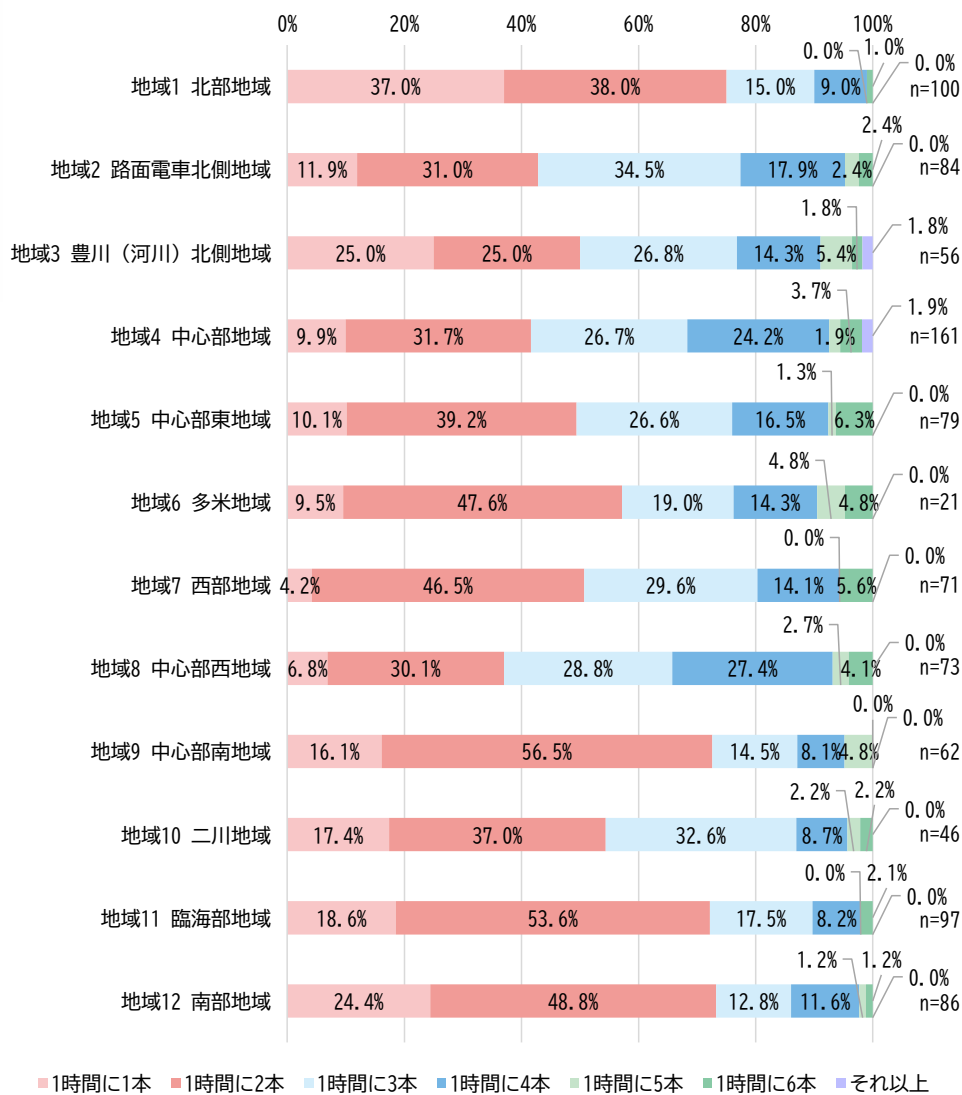


図 1-64 <市民> 地域別の路線バスの望ましい運行本数

5) 移動に関するアプリについて

- 移動に関するアプリについては、「導入されたことは知らなかったし、利用しようとは思わない」の割合が最も高く、約5割を占めている。次いで、「導入されていることは知らなかったが、今後利用したい」が約3割を占めている。

<市民 5-5 豊橋市では、公共交通の経路検索に加え、お得なフリー切符をキャッシュレスで購入可能なアプリがあります。これらのサービスについて、どのように感じていますか？>

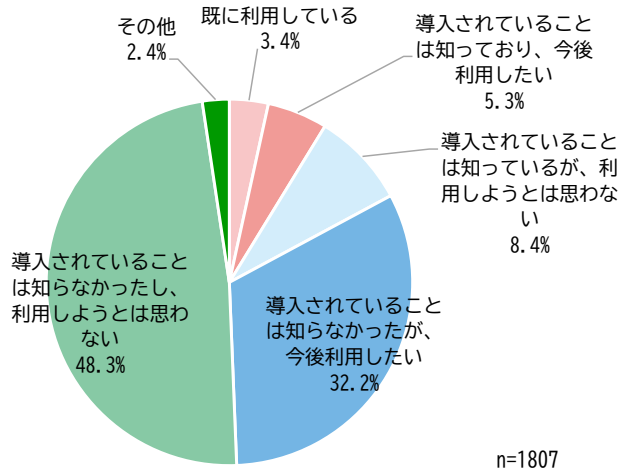


図 1-65 <市民> 移動に関するアプリについて

6) MaaSについて

- MaaSについては、「特に困っていないので、実現しなくともよい」の割合が最も高く、約4割、次いで「実現すれば便利だが、積極的には推進しなくともよい」が約2割を占めている。
- 一方、実現に向けて、「市が主体となって積極的に推進すべき」「民間企業の取組を市が積極的に支援すべき」の回答を合わせると約3割となっている。

<市民 5-6 現在、全国で「MaaS（マース）」と言われるサービスの導入が検討されています。「MaaS」が実現すると、1つのアプリで経路検索・様々な乗り物の予約や支払いを一括して行うことができます。このようなサービスが実現することについて、どのように考えますか？>

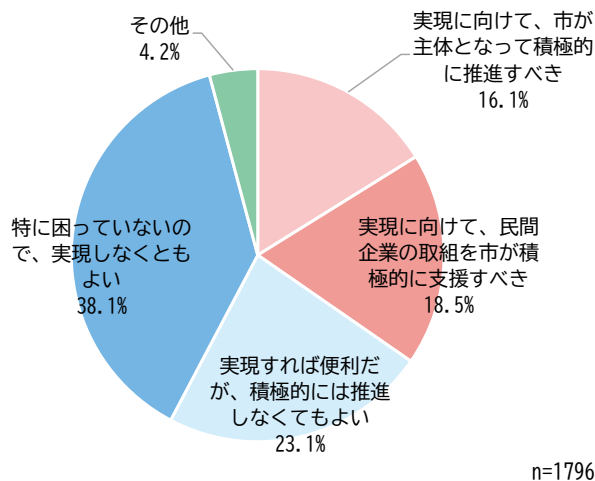


図 1-66 <市民> MaaSについて

7) 自動運転バスの実用化について

- 自動運転バスの実用化について期待することは、「過疎地など公共交通が不便な地域での移動支援」の割合が最も高く、4割以上が回答しており、次いで「公共交通のサービス水準向上（運行本数や運行ルートの増加）」が高くなっている。
- 一方、懸念することは、「事故の責任の不明確さ」の割合が最も高く、約5割が回答しており、次いで「車両の信頼性（不具合など）悪化」が高くなっている。

<市民 5-7 豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組を行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて期待することは何ですか？>

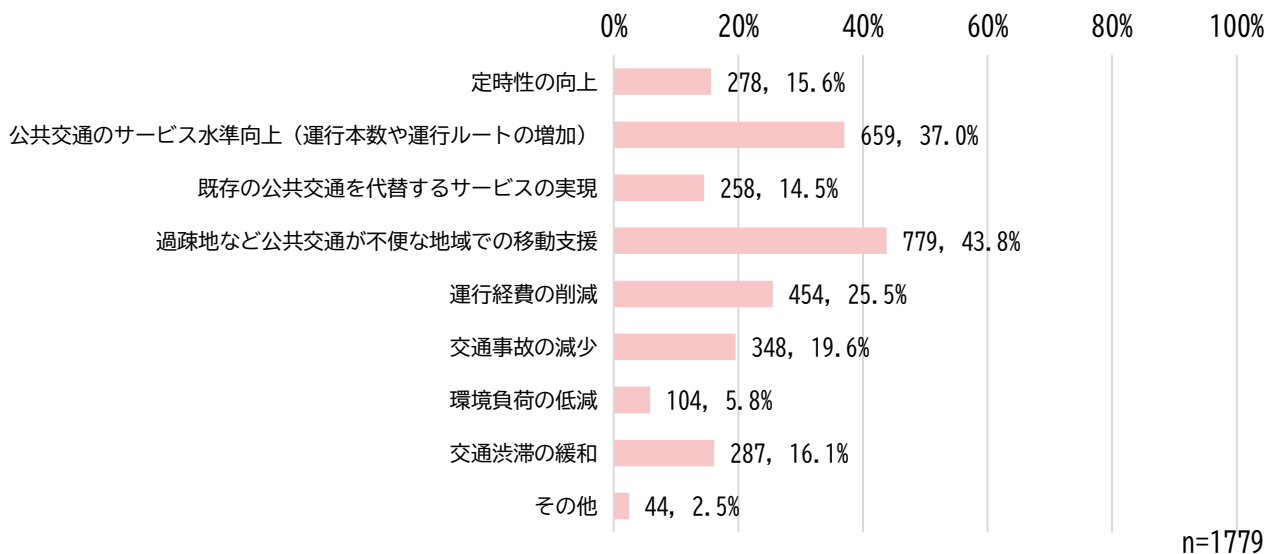


図 1-67 <市民> 自動運転バスの実用化について（期待すること）

<市民 5-7 豊橋市では、自動運転バスの導入に向けた取組を行っています。公共交通分野での自動運転バスの実用化に向けて懸念することは何ですか？>

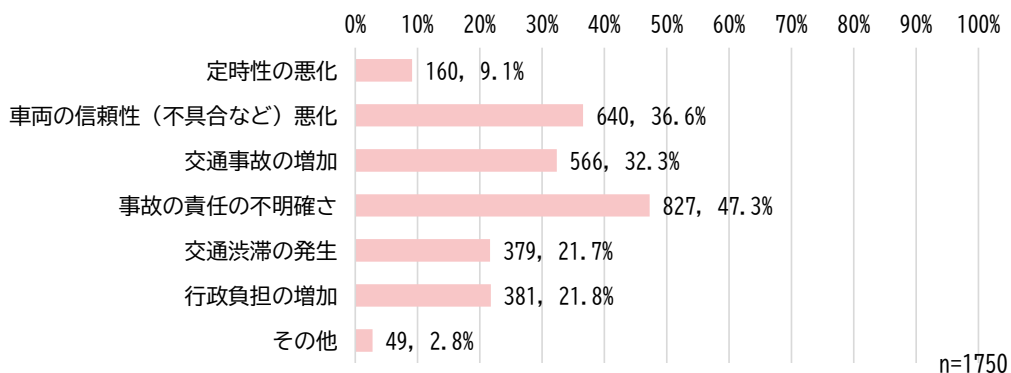


図 1-68 <市民> 自動運転バスの実用化について（懸念すること）

(5)交通関連施策の満足度・重要度

1)満足度

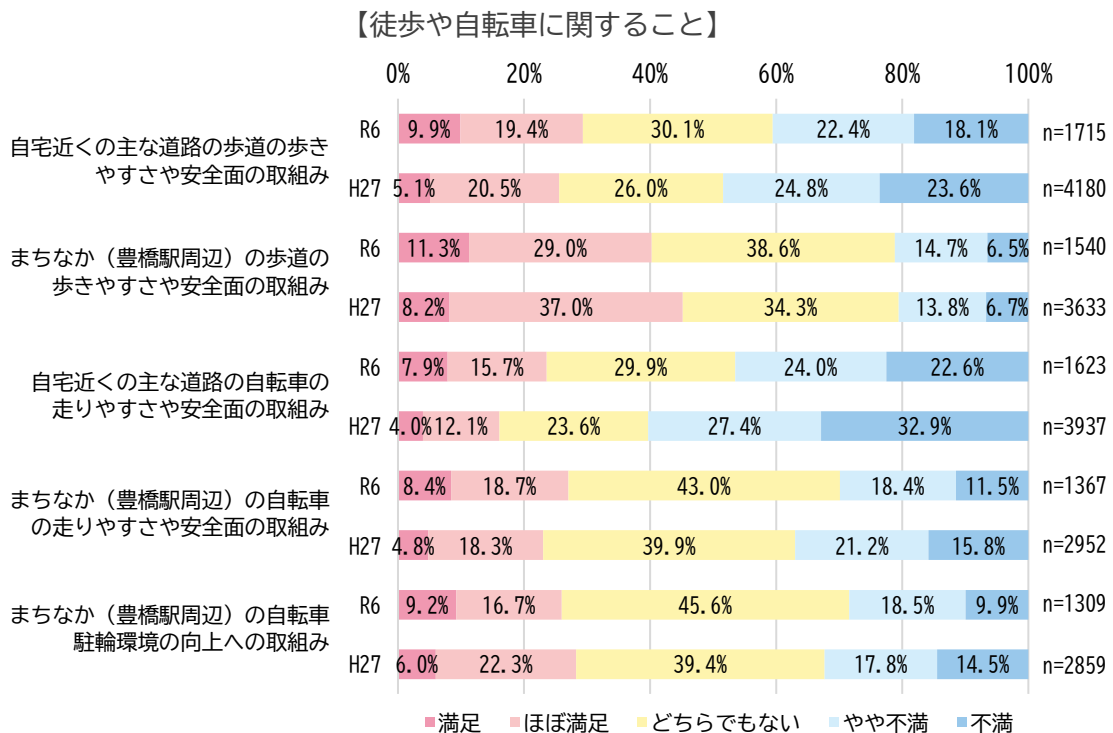
【今回調査の結果】

- 交通関連施策に対する満足度は、【徒歩や自転車に関すること】の「まちなか（豊橋駅周辺）の歩道の歩きやすさや安全面での取組」や【公共交通に関すること】の「バリアフリーな路面電車車両の導入」で満足とほぼ満足の占める割合が高くなっている。
- 一方、【徒歩や自転車に関すること】の「自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面での取組」や「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面での取組」、【道路や自動車交通に関すること】の「道路の交通安全対策」や「道路の混雑・渋滞対策」で不満とやや不満の占める割合が高くなっている。

【平成 27 年度の計画策定時との比較】

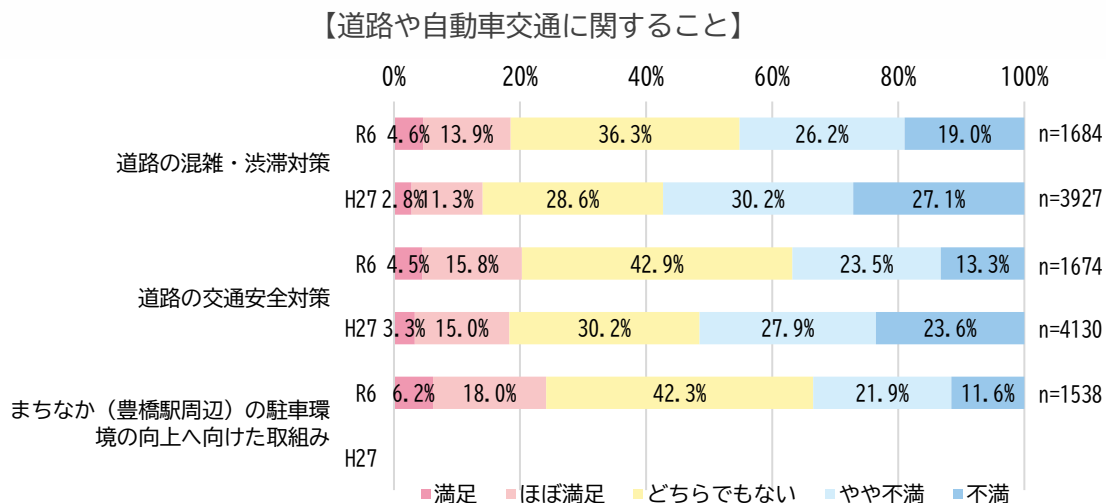
- 【徒歩や自転車に関すること】の「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組」で満足とほぼ満足の割合が5%以上上昇している。
- 【公共交通に関すること】の「路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組」で不満とやや不満の割合が約5%上昇しているが、その他の多くの項目では低下している。

<市民 7交通環境に対する現在の満足度について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください>



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

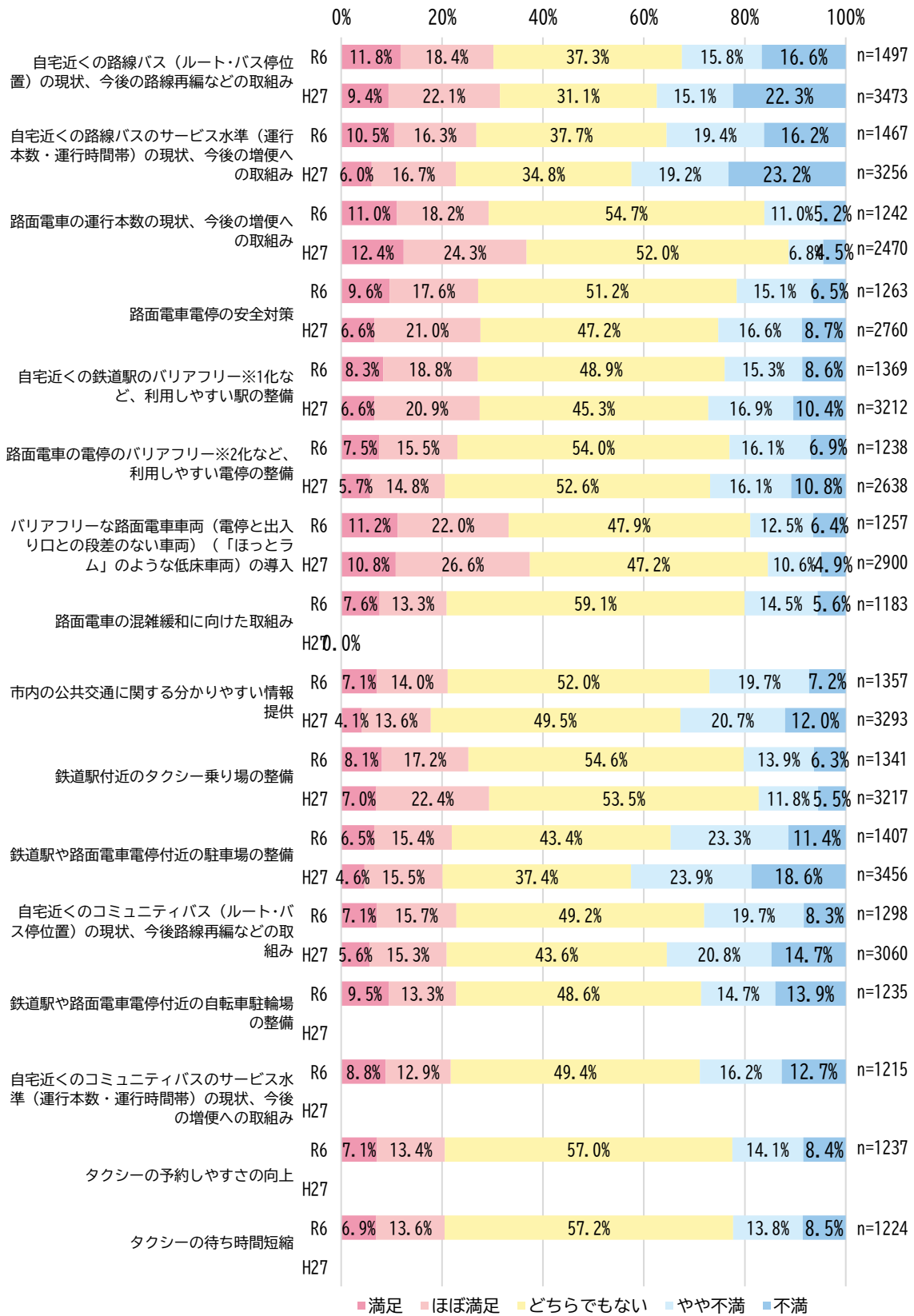
図 1-69 <市民> 徒歩や自転車に関することの取組の満足度



資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図 1-70 <市民>道路や自動車交通に関することの取組の満足度

【公共交通に関すること】

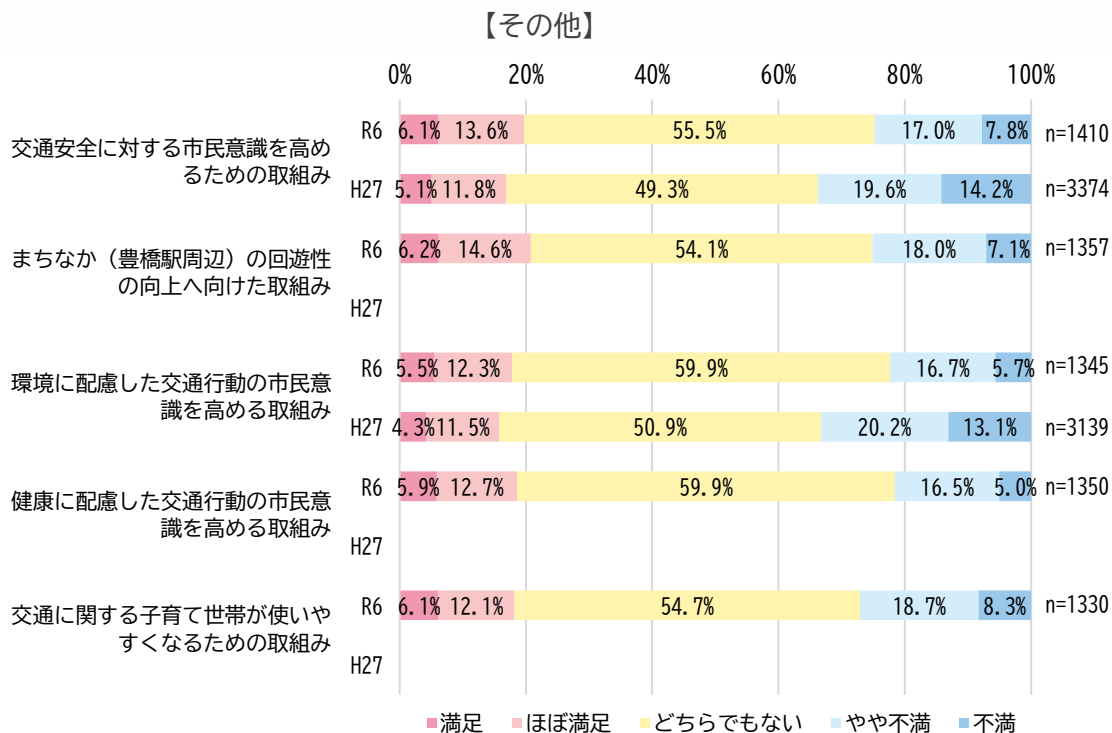


■満足 ■ほぼ満足 ■どちらでもない ■やや不満 ■不満

- 1 スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
- 2 スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図 1-71 <市民>公共交通に関することの取組の満足度

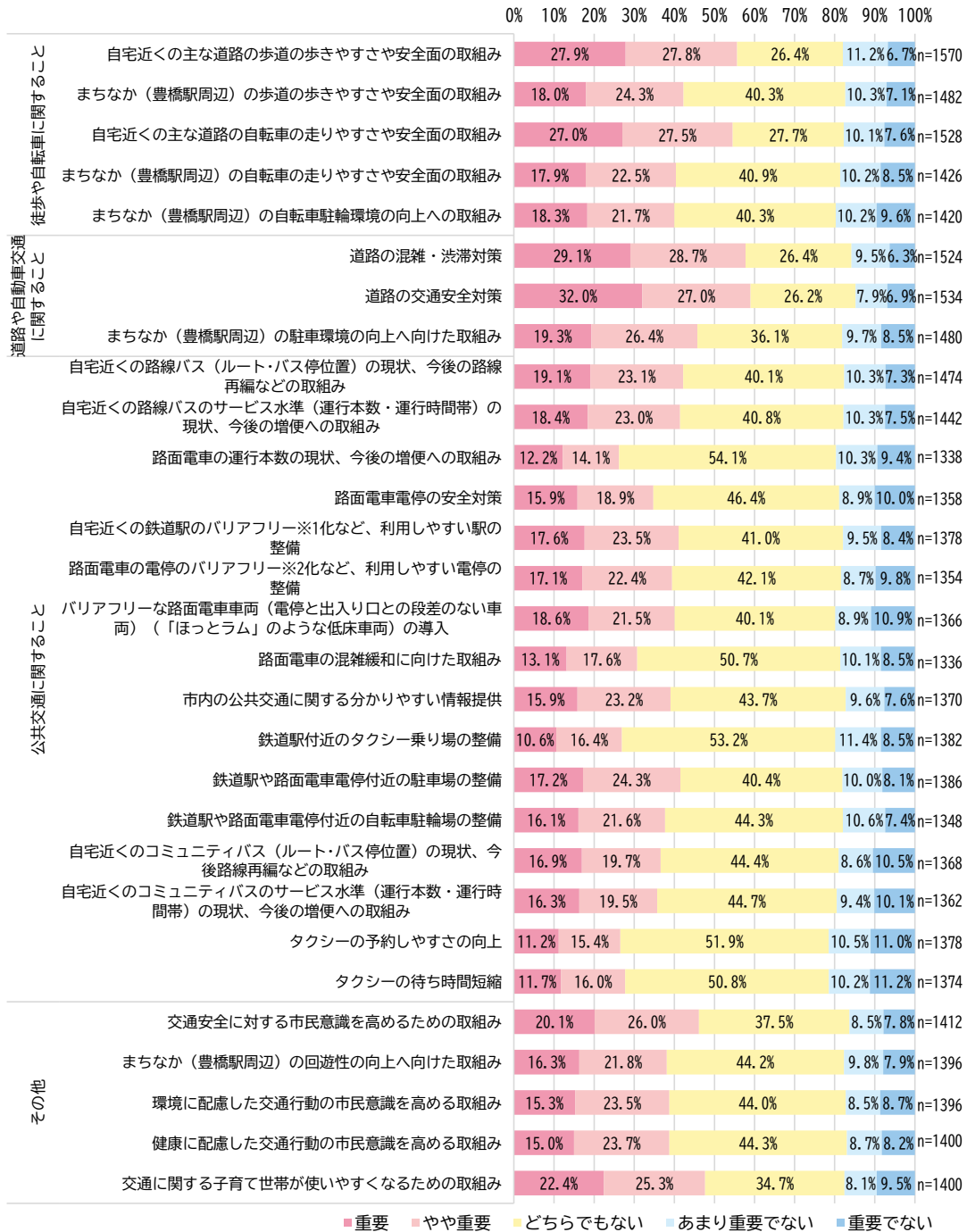


資料：【市民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-72 <市民> その他の取組の満足度

2) 重要度

- 交通関連施策に対する重要度は、「自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面での取組」「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面での取組」「道路の混雑・渋滞対策」「道路の交通安全対策」で重要とやや重要な割合が高くなっている。
 - 一方、タクシーに関連する項目（「鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備」「タクシーの予約しやすさの向上」「タクシーの待ち時間短縮」）は総じて重要とやや重要が低くなっている。
- <市民7限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください>



- 1 スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
- 2 スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

図 1-73 <市民> 取組の重要度

3) 満足度と重要度の関係

<参考> 満足度と重要度の関係性について

- 市の交通に関する主な取組について、満足度・重要度を得点化し、CS分析 (Customer Satisfaction) を行うことで、各施策の満足度と重要度の関係を明確する。
- 満足度と重要度について、それぞれ平均に対する高低を整理することで、取組を主に以下の4つに分類することができる。

◆重点改善分野・・・満足度が平均より低く、重要度が平均より高い取組

◆改善分野・・・満足度が平均より低く、重要度が平均より低い取組

◆重点維持分野・・・満足度が平均より高く、重要度が平均より高い取組

◆維持分野・・・満足度が平均より高く、重要度：平均より低い取組

※「満足度」と「重要度」の得点化の方法

選択肢の「満足（重要）」=10点、「やや満足（やや重要）」=5点、「やや不満（あまり重要でない）」=-5点、「不満（重要ではない）」=-10点として計算し、合計点を回答者数で割ることで、得点化します。



図 満足度と重要度の関係性の考え方

- 満足度と重要度の関係性をみると、重点改善分野のうち、特に「1 自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組」「3 自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組」「6 道路の混雑・渋滞対策」「7 道路の交通安全対策」で満足度が低く、重要度が高くなっている。

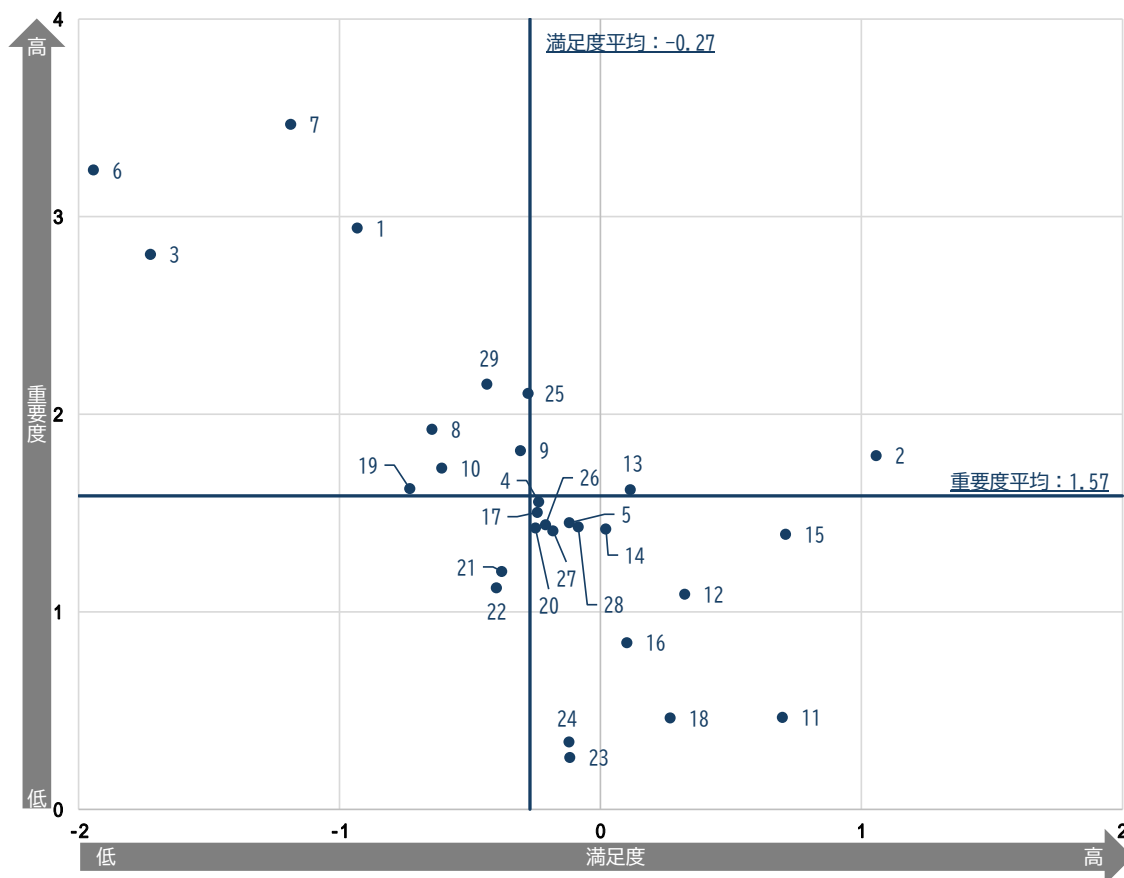


図 1-74 <市民>満足度と重要度の関係性

表 1-6 <市民>満足度と重要度の関係性

項目	満足度	重要度
1 自宅近くの主な道路の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	-0.93	2.94
2 まちなか（豊橋駅周辺）の歩道の歩きやすさや安全面の取組み	1.06	1.79
3 自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組み	-1.72	2.81
4 まちなか（豊橋駅周辺）の自転車の走りやすさや安全面の取組み	-0.24	1.56
5 まちなか（豊橋駅周辺）の自転車駐輪環境の向上への取組み	-0.12	1.45
6 道路の混雑・渋滞対策	-1.94	3.24
7 道路の交通安全対策	-1.19	3.47
8 まちなか（豊橋駅周辺）の駐車環境の向上へ向けた取組み	-0.65	1.92
9 自宅近くの路線バス（ルート・バス停位置）の現状、今後の路線再編などの取組み	-0.31	1.81
10 自宅近くの路線バスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	-0.61	1.73
11 路面電車の運行本数の現状、今後の増便への取組み	0.70	0.47
12 路面電車電停の安全対策	0.32	1.09
13 自宅近くの鉄道駅のバリアフリー※1化など、利用しやすい駅の整備	0.11	1.62
14 路面電車の電停のバリアフリー※2化など、利用しやすい電停の整備	0.02	1.42
15 バリアフリーな路面電車車両（電停と出入り口との段差のない車両）（「ほっとラム」のような低床車両）の導入	0.71	1.39
16 路面電車の混雑緩和に向けた取組み	0.10	0.84
17 市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供	-0.24	1.50
18 鉄道駅付近のタクシー乗り場の整備	0.27	0.46
19 鉄道駅や路面電車電停付近の駐車場の整備	-0.73	1.62
20 鉄道駅や路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	-0.25	1.42
21 自宅近くのコミュニティバス（ルート・バス停位置）の現状、今後路線再編などの取組み	-0.38	1.20
22 自宅近くのコミュニティバスのサービス水準（運行本数・運行時間帯）の現状、今後の増便への取組み	-0.40	1.12
23 タクシーの予約しやすさの向上	-0.12	0.26
24 タクシーの待ち時間短縮	-0.12	0.34
25 交通安全に対する市民意識を高めるための取組み	-0.28	2.10
26 まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性の向上へ向けた取組み	-0.21	1.44
27 環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	-0.18	1.41
28 健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	-0.08	1.43
29 交通に関する子育て世帯が使いやすくなるための取組み	-0.43	2.15

- 1 スロープやエレベーターを設置して段差をなくすことなど。
- 2 スロープを設置して段差をなくす、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。

(6)回答者の属性

1)性別・年齢

- 回答者の性別は、男性の割合が若干高くなっている。また、回答者の年齢は、約半数を65歳以上の高齢者が占めている。

<市民 8-1 あなたの性別を教えてください>

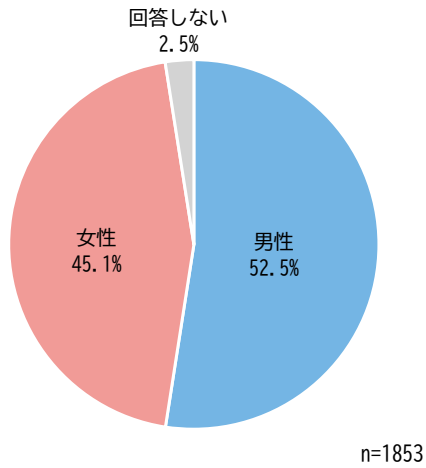


図 1-75 <市民>性別

<市民 8-1 あなたの年齢を教えてください>

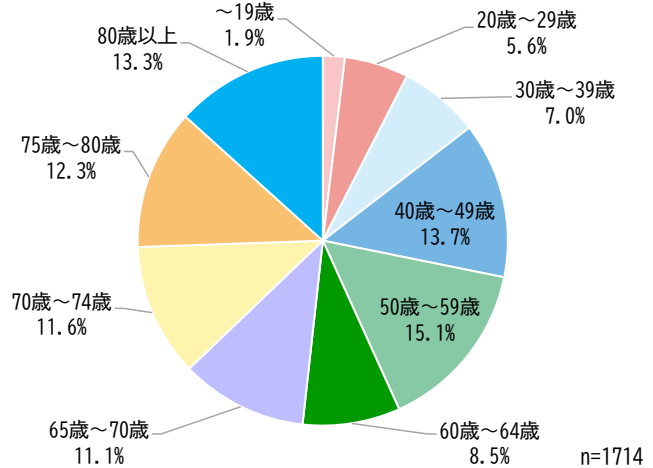


図 1-76 <市民>年齢

2)職業

- 回答者の職業は、会社員・公務員の割合が最も高く、約3割を占めている。次いで、無職も約3割を占めている。

<市民 8-2 あなたの職業を選んでください>

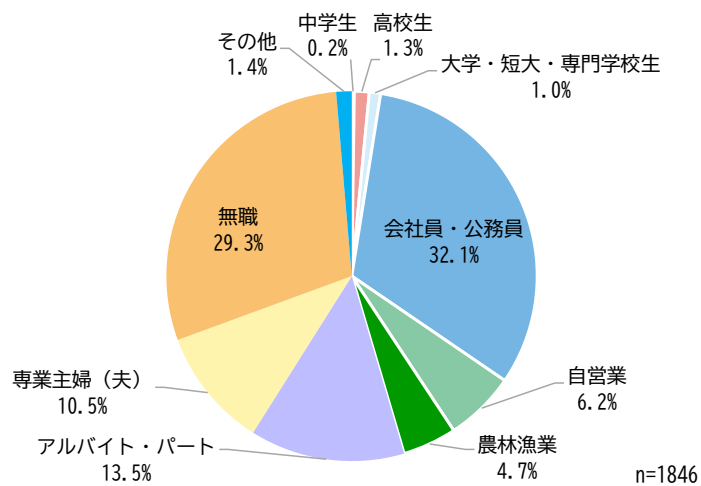


図 1-77 <市民>職業

3) 運転免許証及び自動車の保有状況

- 回答者の運転免許証の保有状況は、免許証あり（自由に使える自動車などがある）の割合が最も高く、約8割を占めている。

<市民 8-3 あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください>

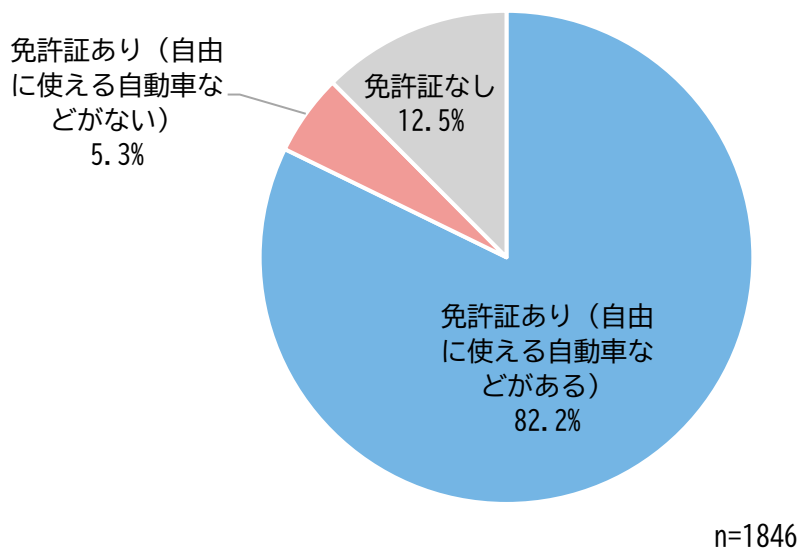


図 1-78 <市民> 運転免許証の保有状況

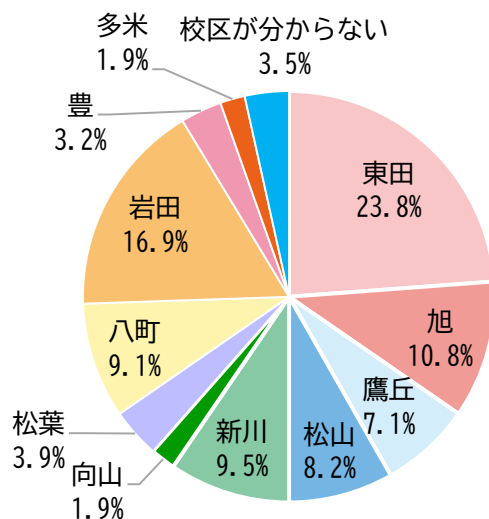
3.3 路面電車沿線地域アンケート調査

(1)世帯の属性

1)居住地

- 回答者の居住地は、東田の割合が最も高く約2割、次いで、岩田も約2割を占めている。

<沿線1-2 お住まいの小学校区を選んでください>



n=449

図 1-79 <沿線>小学校区別の居住地

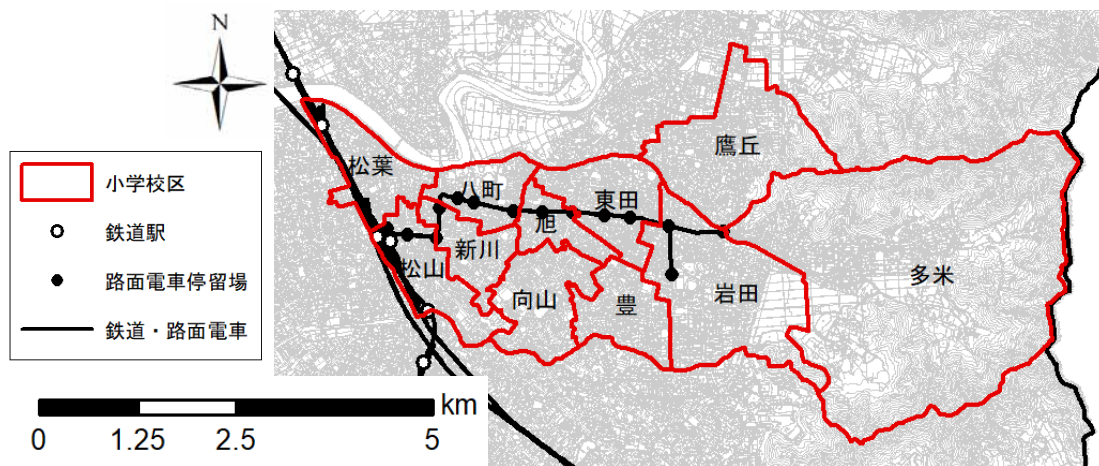


図 1-80 参考 調査対象の小学校区

2) 家族人数

- 回答者世帯の家族の人数は、2人の割合が最も高く約4割、次いで1人が約3割を占めている。
- 家族の年齢別内訳をみると、約6割の世帯が高齢者（65歳以上）と回答している。

<沿線 1-3 ご家族の人数を教えてください>

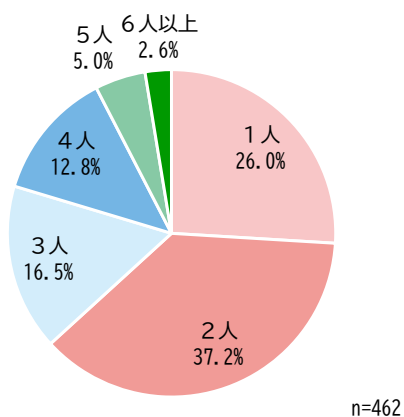


図 1-81 <沿線> 家族の人数

<市民 1-3 (ご家族の) 内訳を教えてください>

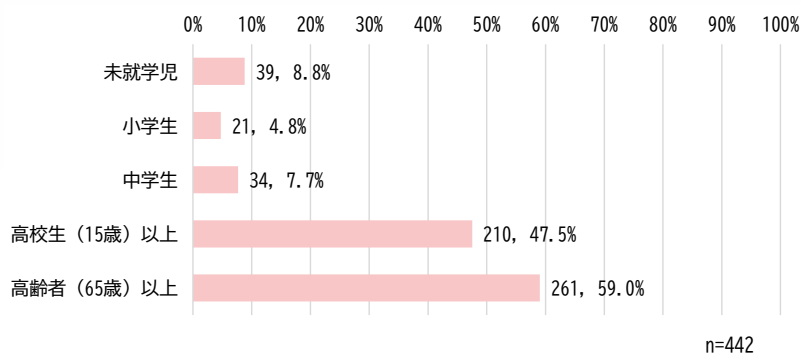


図 1-82 <沿線> 家族の年齢別内訳

3) 居住歴

- 回答者（世帯）の居住歴は、21年以上の割合が最も高く、約8割を占めている。
- <沿線 1-4 豊橋市に住み始めてから何年ぐらい経ちますか？>

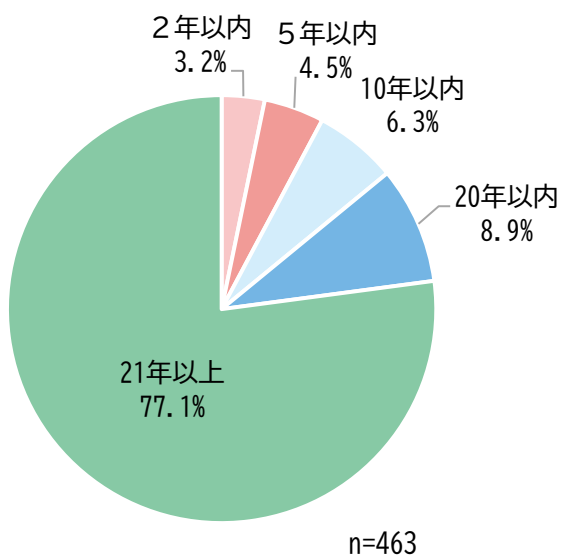


図 1-83 <沿線> 居住歴

4)自動車及び自転車の保有台数

- 回答者の世帯での自動車の保有台数は、1台の割合が最も高く約4割、次いで2台が約3割を占めている。
- 回答者の世帯での自転車の保有台数は、1台の割合が最も高く約4割、次いで持っていないが約3割を占めている。

<沿線1-5 世帯で所有されている「自動車」の保有台数を選んでください>

<沿線1-6 世帯で所有されている「自転車」の保有台数を選んでください。>

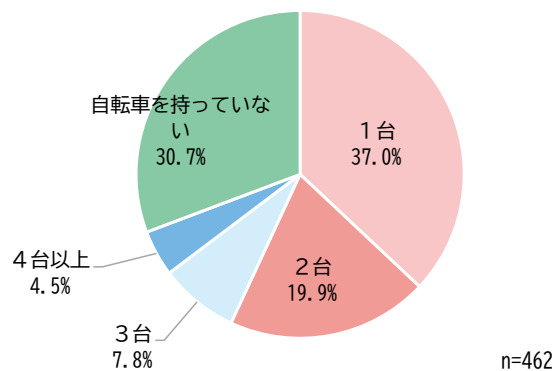
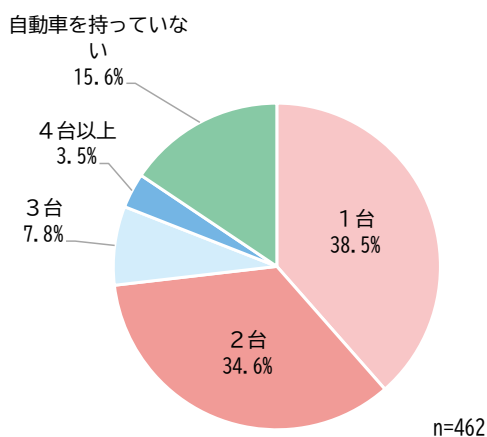


図 1-84 <沿線>自動車の保有台数

図 1-85 <沿線>自転車の保有台数

5) 最寄りの路面電車の電停

- 回答者の最寄り電停は、競馬場前の割合が最も高く約1割、次いで、井原と赤岩口も約1割を占めている。
- 最寄り電停までの所要時間は、5～10分以内の割合が最も高く約4割、次いで、3～5分以内が約3割を占めている。

<沿線 1-7 最寄りの路面電車の電停を選んでください>

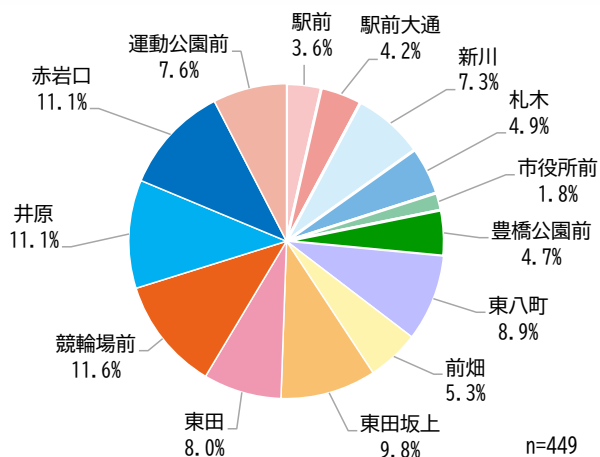


図 1-86 <沿線>最寄り電停

<沿線 1-8 問 1-7 で選んだ最寄の路面電車電停までの、徒歩での所要時間を選んでください>

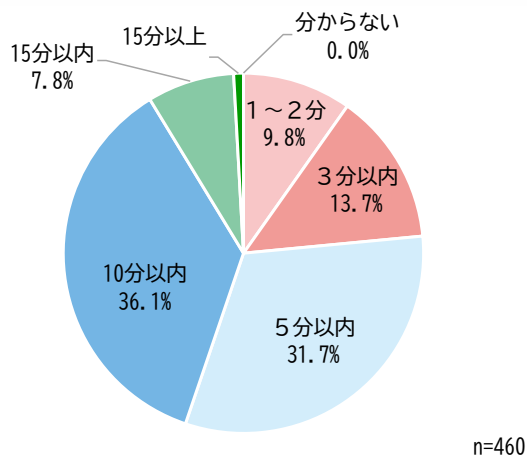


図 1-87 <沿線>最寄り電停までの所要時間



出典：豊橋市公共交通マップ 2025 年度版（10月1日現在）

図 1-88 参考 豊橋鉄道市内線の路線図

(2)回答者の属性

1)性別

- 回答者の性別は、男性の割合が若干高くなっている。また、回答者の年齢は、65歳以上の高齢者が約4割を占めている。

<沿線 2-1 あなたの性別を教えてください>

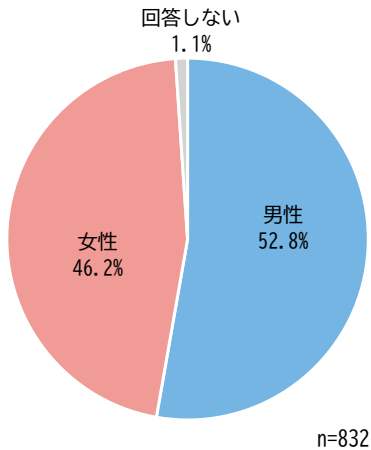


図 1-89 <沿線>性別

<沿線 2-1 あなたの年齢を教えてください>

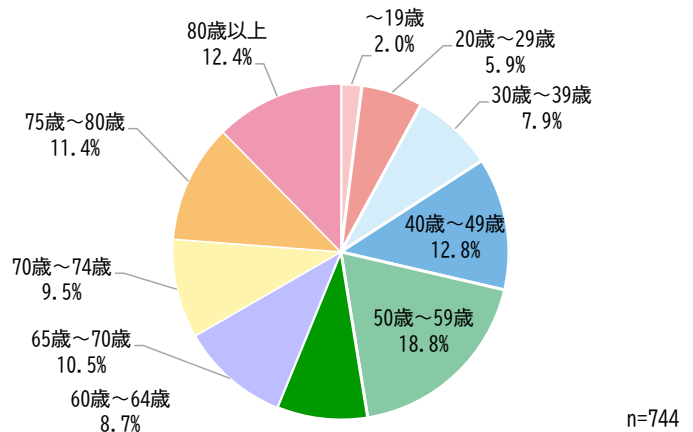


図 1-90 <沿線>年齢

2)職業

- 回答者の職業は、会社員・公務員の割合が最も高く、約4割、次いで、無職も約3割を占めている。

<沿線 2-2 あなたの職業を選んでください>

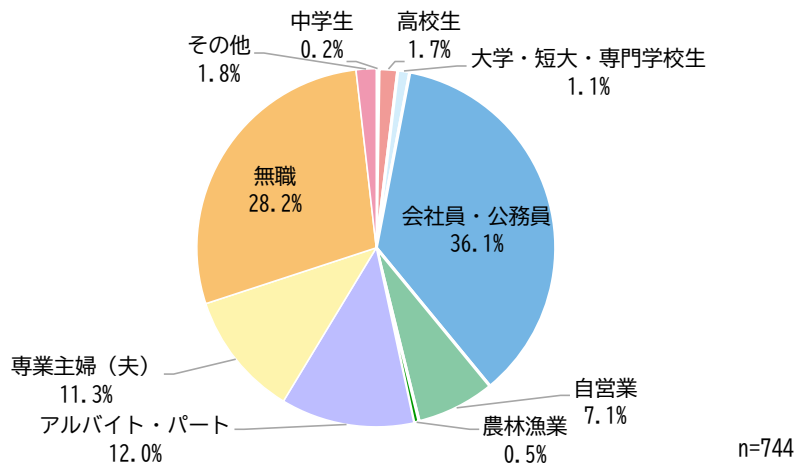


図 1-91 <沿線>職業

3) 運転免許証及び自動車の保有状況

- 回答者の運転免許証の保有状況は、免許証あり（自由に使える自動車などがある）の割合が最も高く、約8割を占めている。

<沿線 2-3 あなたの自動車の免許証の保有状況を選んでください>

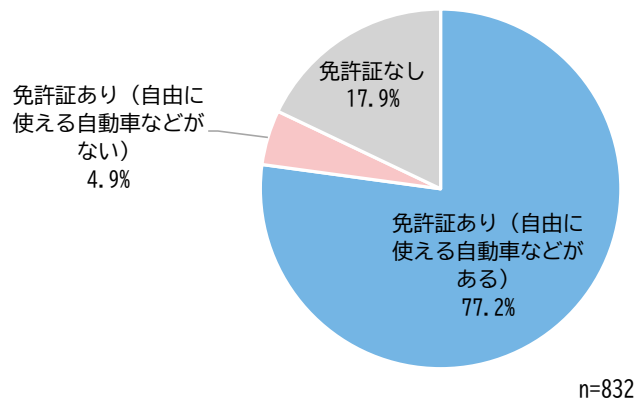


図 1-92 <沿線> 運転免許証の保有状況

(3)路面電車の利用

1)路面電車の利用頻度

- 路面電車の利用頻度は、年に数回の割合が最も高く、約4割を占めている。

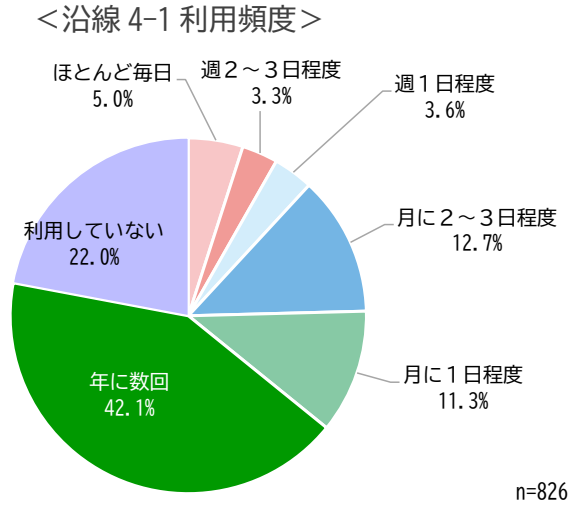


図 1-93 <沿線>路面電車の利用頻度

2)路面電車の利用目的

- 路面電車の利用目的は、レジャー・社交の割合が最も高く約6割、次いで、買い物を約3割が回答している。

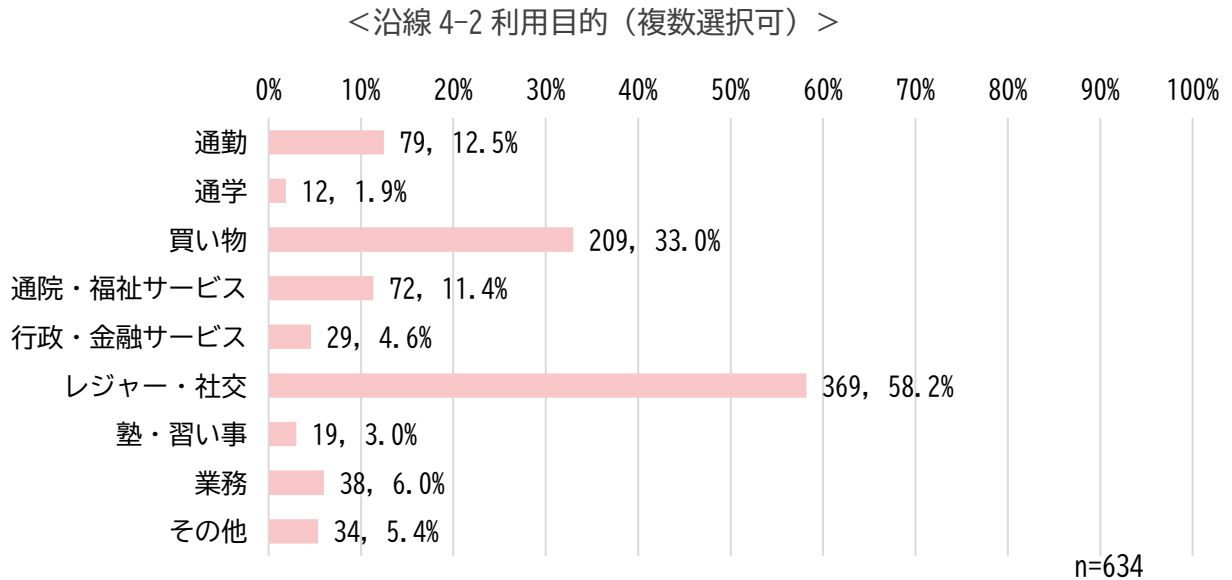


図 1-94 <沿線>路面電車の利用目的

3) 最寄り電停以外に利用する電停

- 最寄り電停以外に利用する電停は、駅前の割合が最も高く、約7割が回答している。

<沿線 4-3 最寄りの電停のほかに、よく利用する電停（複数選択可）>

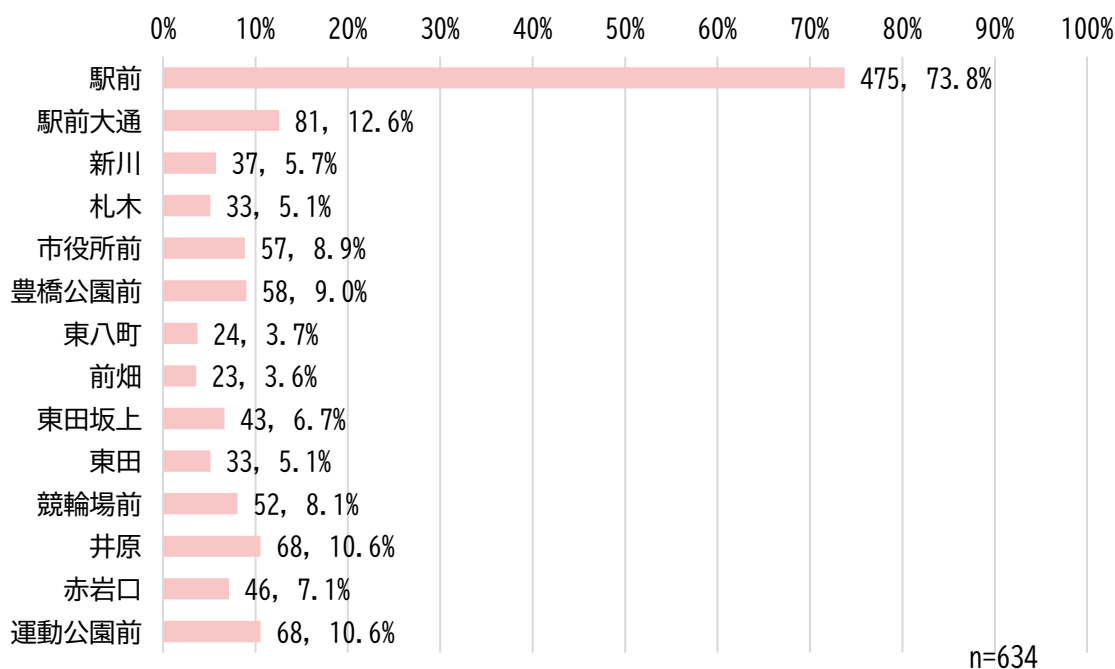


図 1-95 <沿線> 最寄り電停以外に利用する電停

4) 路面電車をを使う理由

- 路面電車をを使う理由は、「自宅と電停が近いから」の割合が最も高く約5割、次いで、「運行本数が多いから」を4割が回答している。

<沿線 4-5 路面電車をを使う理由（複数選択可）>

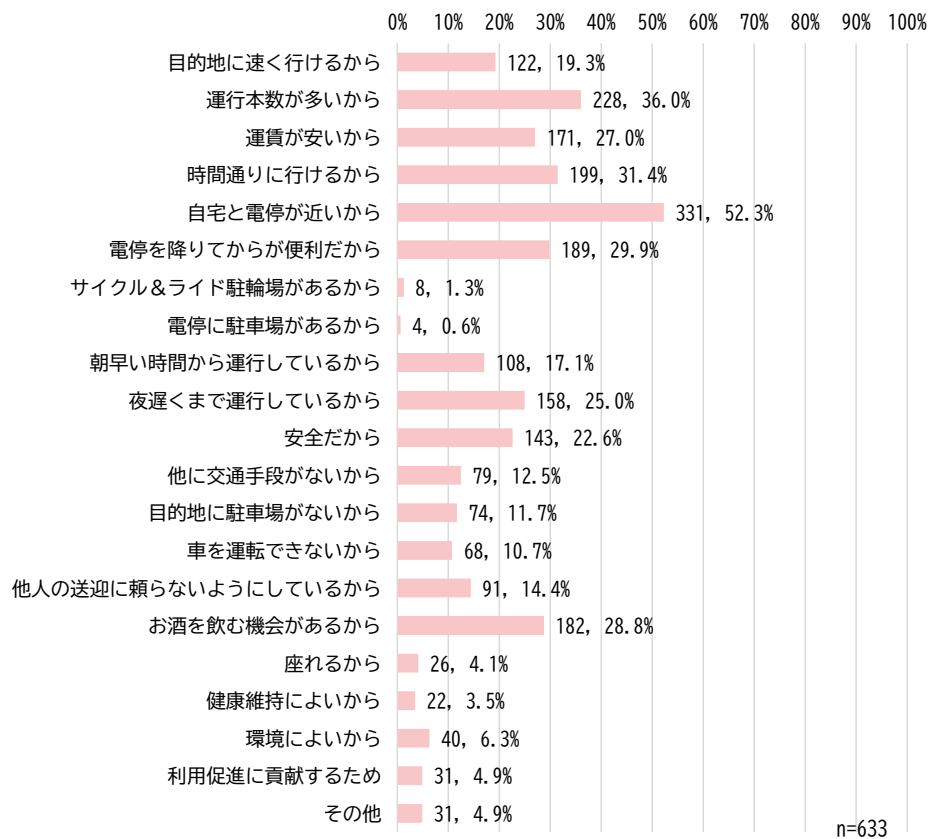


図 1-96 <沿線> 路面電車をを使う理由

5) 路面電車を使わない理由

- 路面電車を使わない理由は、「自由に利用できる車があるから」の割合が最も高く、約1割が回答している。

<沿線 4-6 路面電車を使わない理由（複数選択可）>



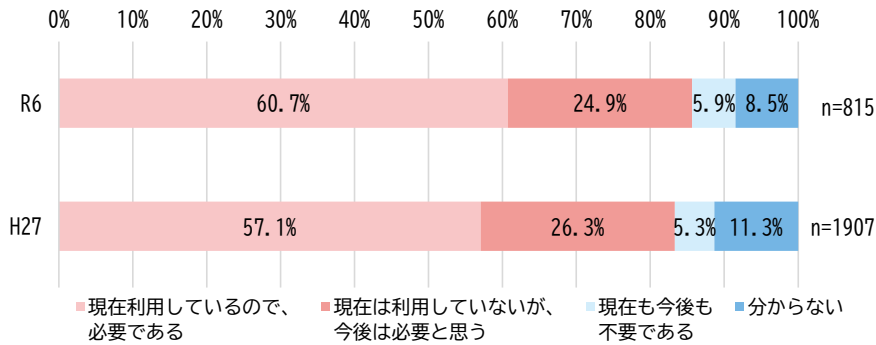
図 1-97 <沿線> 路面電車を使わない理由

(4)路面電車の必要性

1)回答者にとっての路面電車の必要性

- 回答者にとっての路面電車の必要性は、「現在利用しているのに、必要である」の割合が最も高く約6割を占めている。
- 平成27年度の計画策定時と比較しても、大きな変化はない。

<沿線5-1ご自身にとっての必要性>



資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-98 回答者にとっての路面電車の必要性

必要と思う理由

- 必要と思う理由は、「車が使えない時の外出を支えるもの」「将来、高齢になって車が運転できなくなった時の外出を支えるもの」の割合が高く、約5割が回答している。

<沿線5-1(1)ご自身に必要と思う理由（複数選択可）>

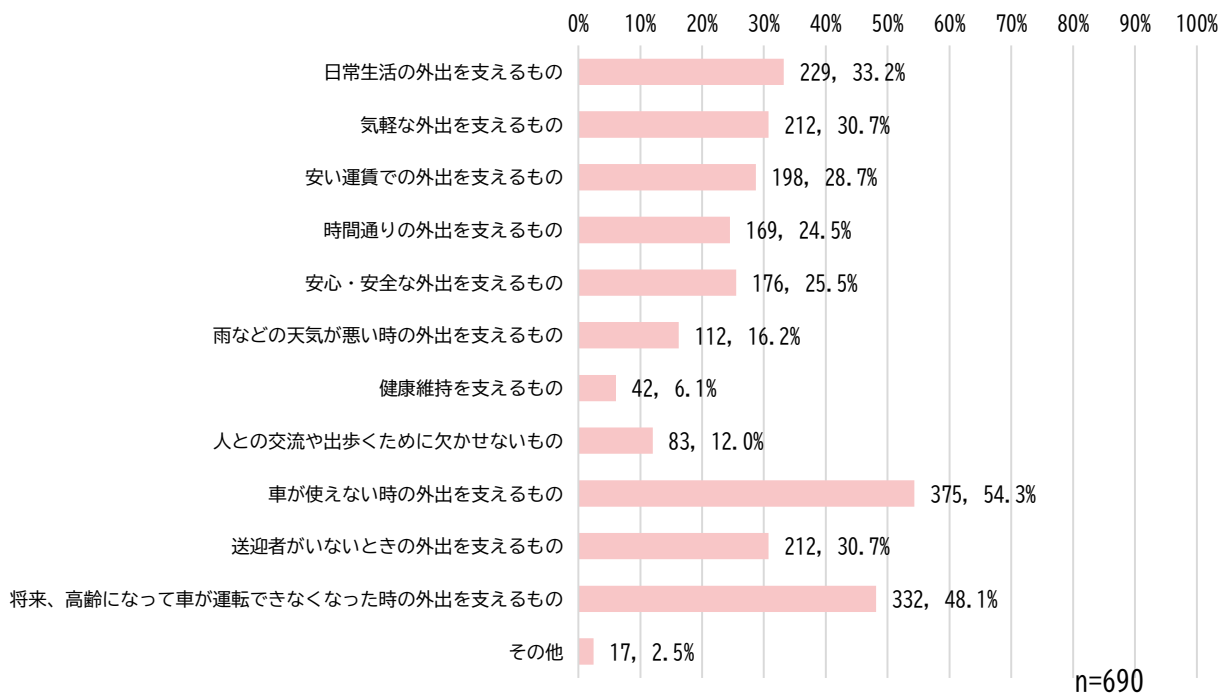


図1-99 <沿線>回答者にとって路面電車が必要と思う理由

不要と思う理由

- 不要と思う理由は、「他の交通手段の方が便利だから」の割合が最も高く、約6割が回答している。

<沿線 5-1(2)ご自身に不要と思う理由（複数選択可）>

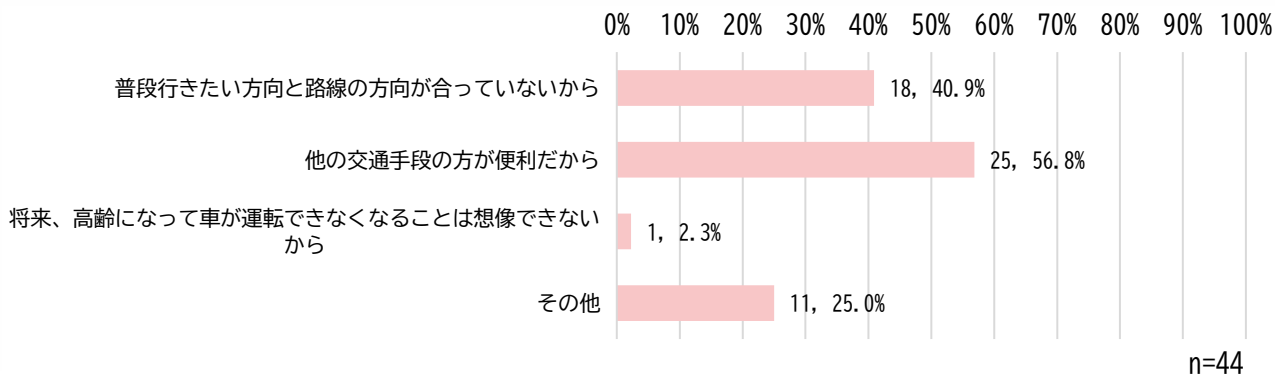
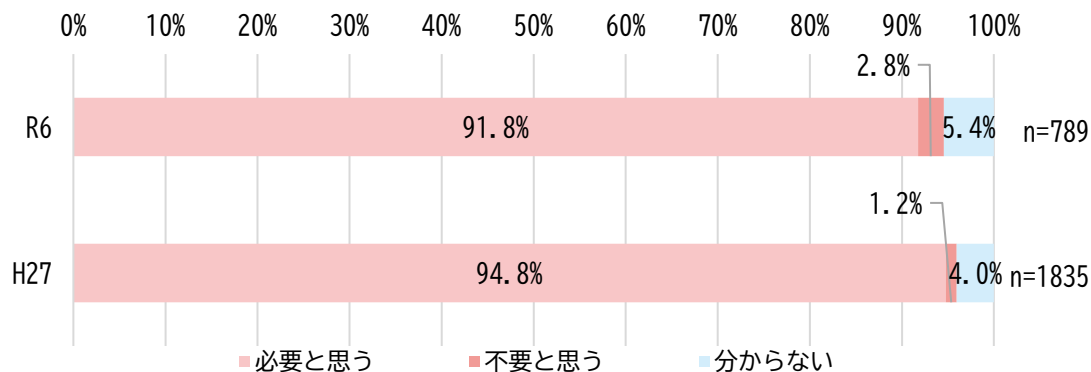


図 1-100 <沿線>回答者にとって路面電車が不要と思う理由

2) 地域にとっての路面電車の必要性

- 地域にとっての路面電車の必要性は、「必要と思う」が約9割を占めている。
- 平成 27 年度の計画策定時と比較しても、大きな変化はない。

<沿線 5-2 地域にとっての必要性>



資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-101 <沿線>地域にとっての路面電車の必要性

必要と思う理由

- 必要と思う理由は、「高齢者、車がない人、運転できない人などの移動の足を支えるものとして」の割合が最も高く、約9割が回答している。

<沿線 5-2(1)地域に必要と思う理由（複数選択可）>

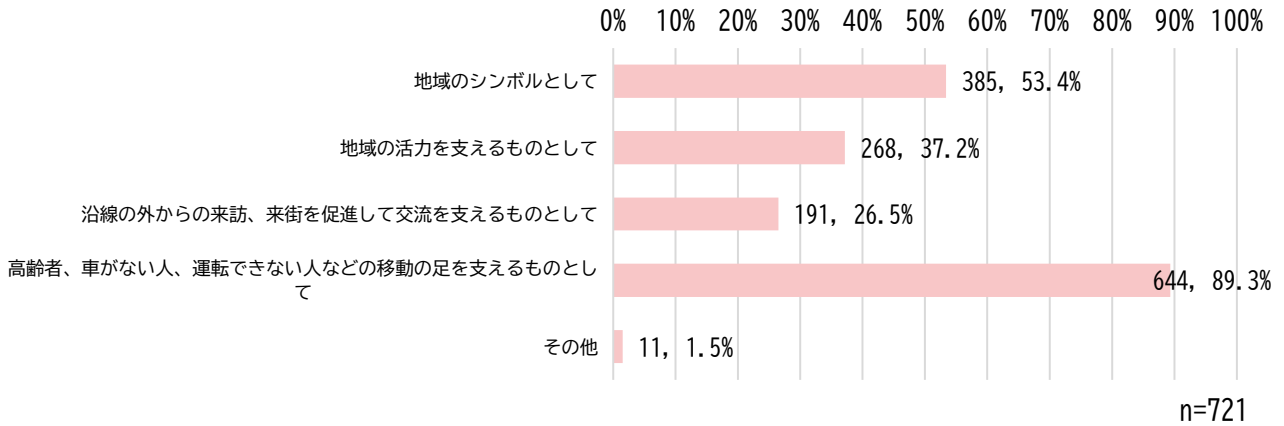


図 1-102 <沿線> 地域にとって路面電車が必要と思う理由

不要と思う理由

- 不要と思う理由は、「路面電車が走る道が狭く、徒歩や自転車で通行しにくいから」の割合が最も高く、約6割が回答している。

<沿線 5-2(2)地域に不要と思う理由（複数選択可）>

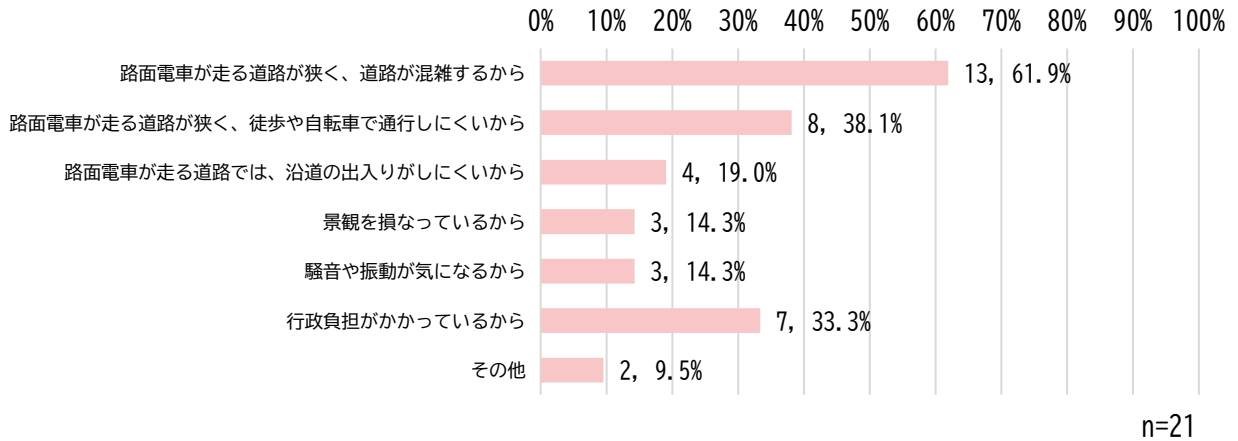


図 1-103 <沿線> 地域にとって路面電車が不要と思う理由

(5)路面電車の満足度・重要度

1)満足度

【今回調査の結果】

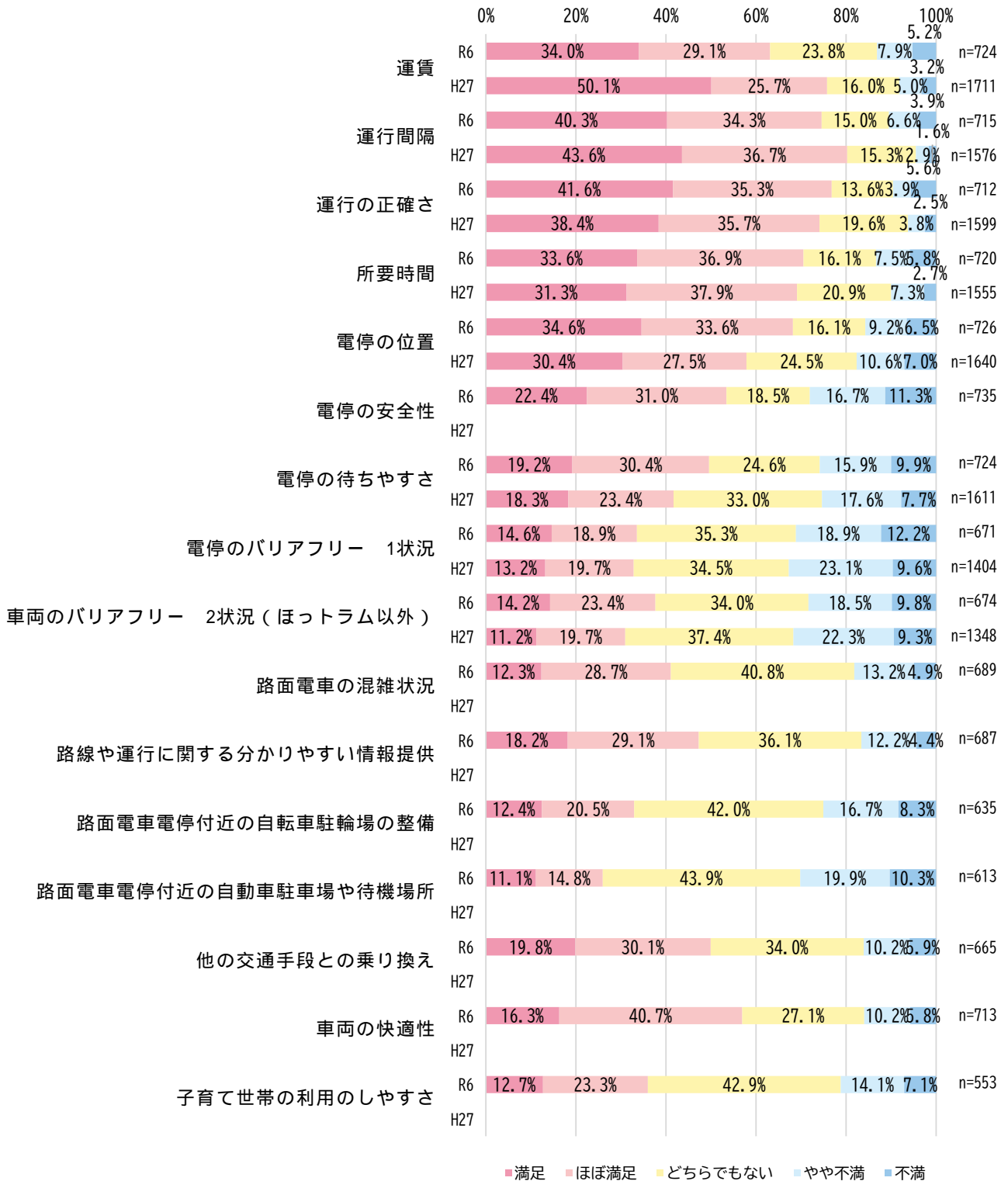
- 公共交通に対する満足度は、【路面電車の利便性】の「運行間隔」「運行の正確さ」「所要時間」で、満足とやや満足の割合が高く、7割以上となっている。
- 一方、【路面電車の利便性】の「電停のバリアフリー状況」や「路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所」【路面電車の魅力向上】の「車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅」「歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」「沿線のにぎわい」で不満とやや不満の割合が高く、3割以上となっている。

【平成27年度の計画策定時との比較】

- 【路面電車の利便性】の「電停の位置」で、満足とやや満足の割合が約1割上昇しており、「運賃」「運行間隔」で、不満とやや不満の割合が約5%上昇している。

<沿線7あなたの普段の移動などで、市内の交通施設の状況や利用のしやすさなどの現在の満足度について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。>

【路面電車の利便性】



1 スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
2 電停と出入り口の段差のない車両

資料：【沿線住民アンケート】豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-104 <沿線>路面電車の利便性の取組の満足度

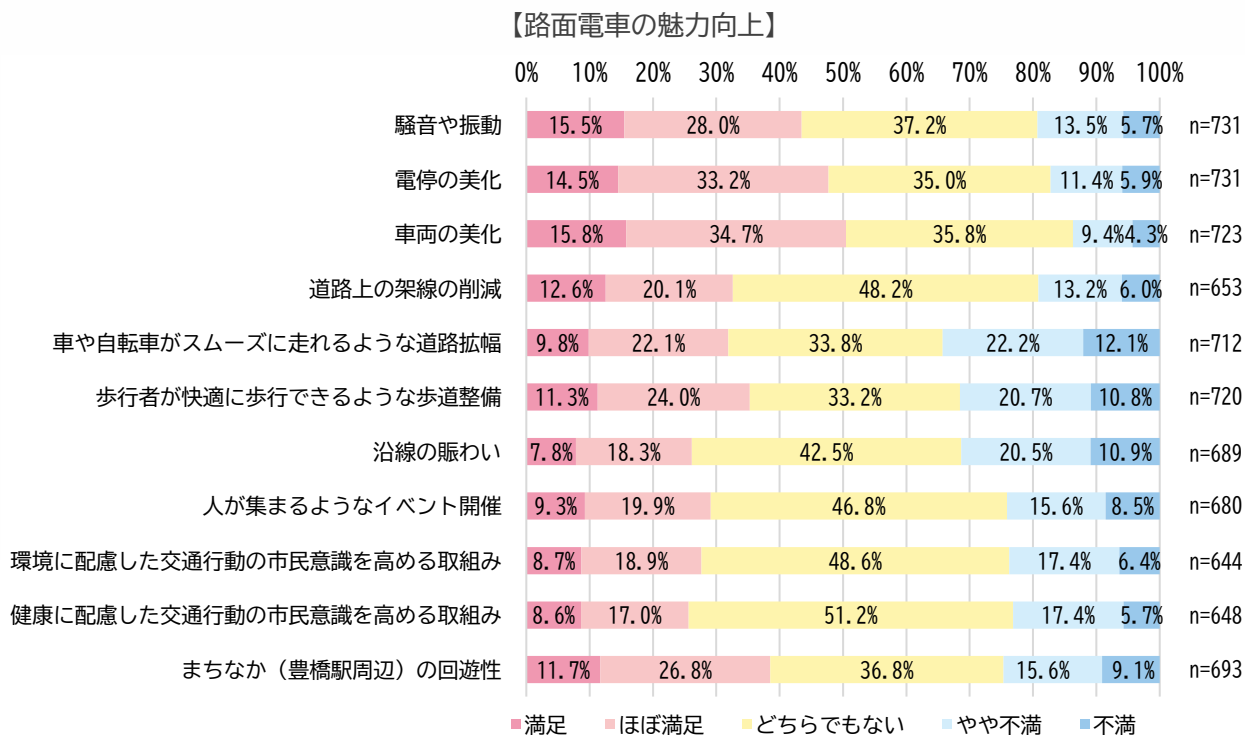
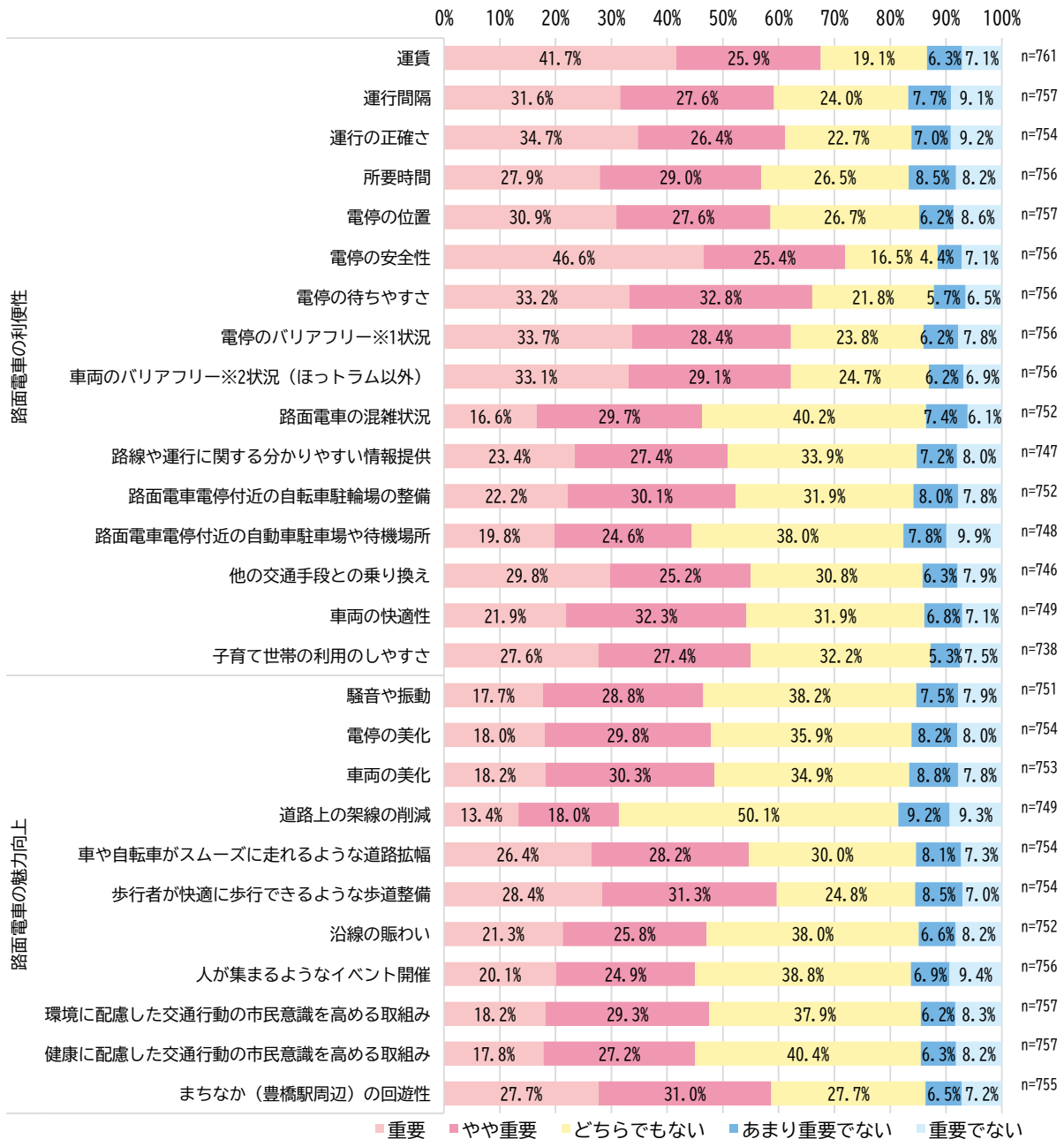


図 1-105 <沿線>路面電車の魅力向上の取組の満足度

2)重要度

- 公共交通に対する重要度は、路面電車の「運賃」「電停の安全性」「歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」で重要とやや重要な割合が高くなっている。一方、「路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所」「道路上の架線の削減」では重要とやや重要な割合が低くなっている。
- なお、平成27年度の計画策定時では、路面電車の利用者の増加や沿線の魅力を高めるために必要な取組として、「雨風がしのげる電停に改良」や「安全に待てるように電停を改良」の割合が高かった。

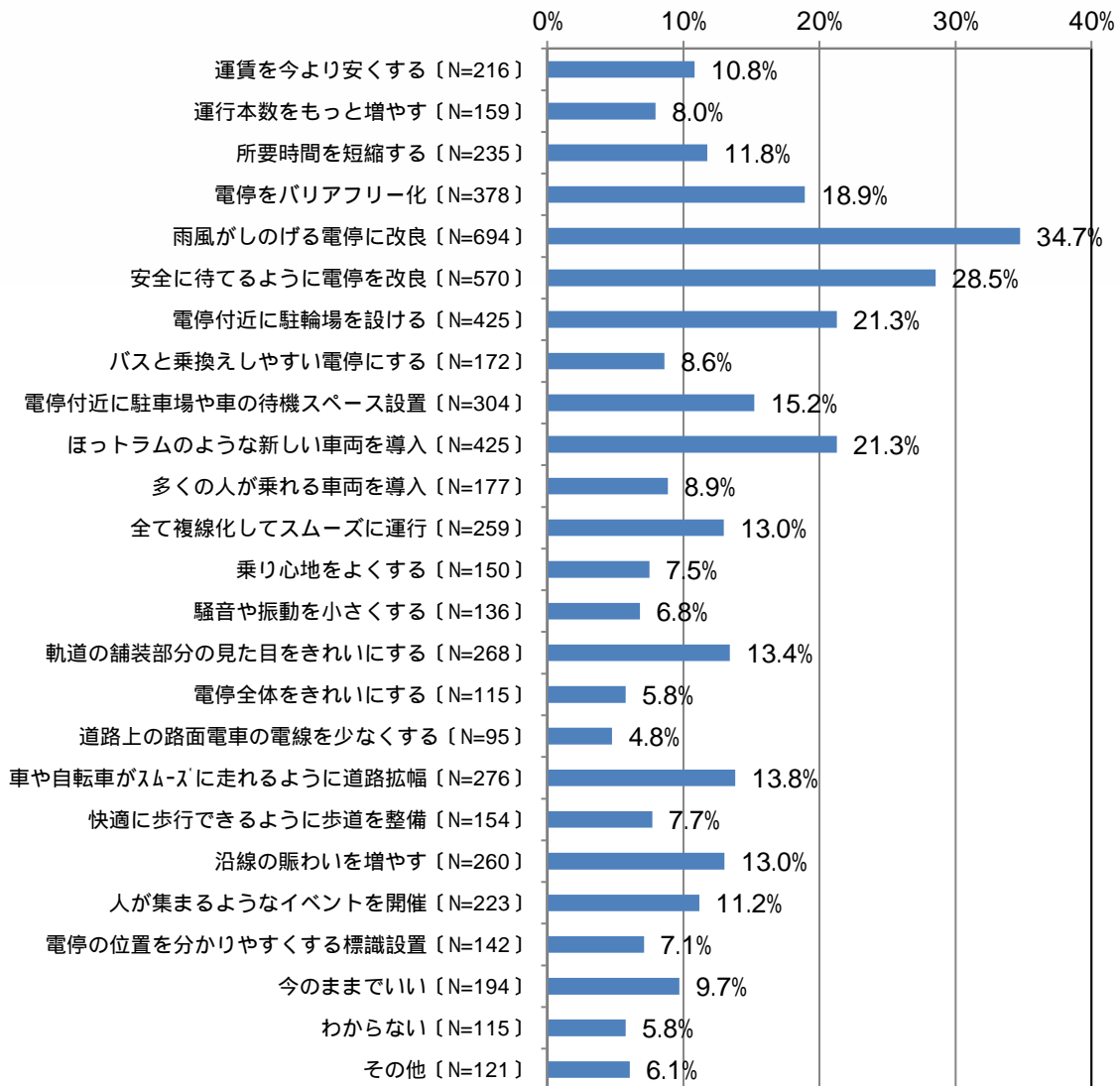
＜沿線7あなたの普段の移動などで、限られた財源の中で今後取り組むべき施策としての重要度について該当する番号を1つ選んで○をつけてください。＞



1 スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
 2 電停と出入り口の段差のない車両

図 1-106 <沿線>取組の重要度

<参考：H27 沿線住民 6-1 路面電車の魅力の向上について 路面電車の利用者の増加や沿線の魅力を高めるために必要な取組について、該当するものを最大5つまで選んでください。>



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-107 参考<H27 沿線住民>路面電車の魅力向上について

3) 満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係性の考え方については、3.2 (7) 3)を参照

- 満足度と重要度の関係性をみると、重点改善分野のうち、特に「8 電停のバリアフリー」「9 車両のバリアフリー」「22 歩行者が快適に歩行できるような歩道整備」で満足度が低く、重要度が高くなっている。

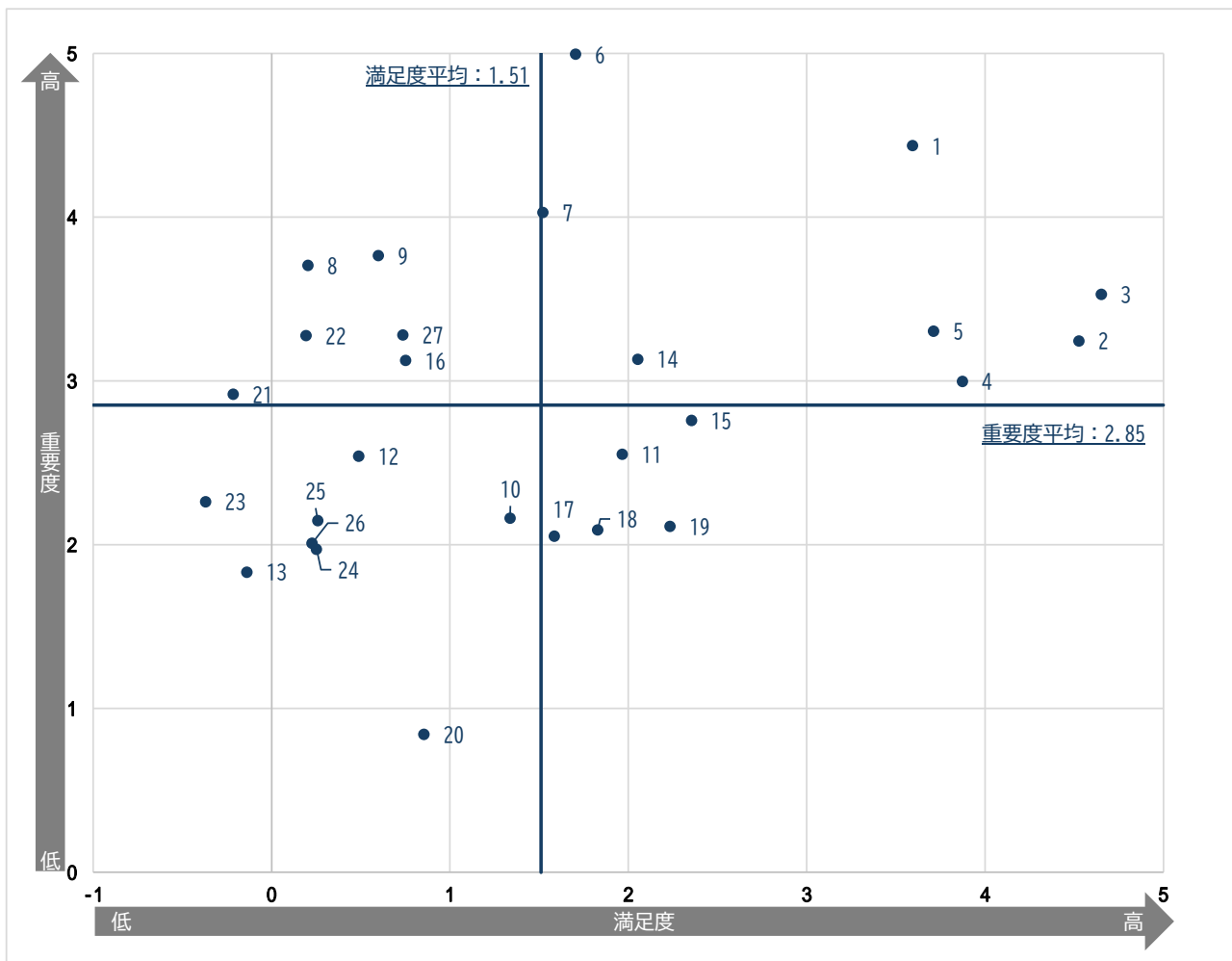


図 1-108 <沿線> 満足度と重要度の関係性

表 1-7 <沿線>満足度と重要度の関係性

	項目	満足度	重要度
1	運賃	3.59	4.43
2	運行間隔	4.53	3.24
3	運行の正確さ	4.65	3.53
4	所要時間	3.87	3.00
5	電停の位置	3.71	3.30
6	電停の安全性	1.70	4.99
7	電停の待ちやすさ	1.52	4.03
8	電停のバリアフリー※状況	0.20	3.70
9	車両のバリアフリー※状況（ほつトラム以外）	0.60	3.76
10	路面電車の混雑状況	1.34	2.16
11	路線や運行に関する分かりやすい情報提供	1.97	2.55
12	路面電車電停付近の自転車駐輪場の整備	0.49	2.54
13	路面電車電停付近の自動車駐車場や待機場所	-0.14	1.83
14	他の交通手段との乗り換え	2.05	3.13
15	車両の快適性	2.36	2.76
16	子育て世帯の利用のしやすさ	0.75	3.12
17	騒音や振動	1.59	2.05
18	電停の美化	1.83	2.09
19	車両の美化	2.23	2.11
20	道路上の架線の削減	0.86	0.84
21	車や自転車がスムーズに走れるような道路拡幅	-0.21	2.92
22	歩行者が快適に歩行できるような歩道整備	0.19	3.28
23	沿線の賑わい	-0.37	2.26
24	人が集まるようなイベント開催	0.25	1.97
25	環境に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	0.26	2.15
26	健康に配慮した交通行動の市民意識を高める取組み	0.23	2.01
27	まちなか（豊橋駅周辺）の回遊性	0.74	3.28

スロープを設置して段差をなくすことや、車いすがすれ違えるホーム幅員にするなど。
電停と出入り口の段差のない車両

3.4 公共交通に関する取組のあり方について

(1)豊橋市の公共交通を共に支え育む条例

豊橋市の公共交通を共に支え育む条例の認知度

- 公共交通を共に支え育む条例の認知度は、約1～2割の回答者を除き、「全く知らなかった」と回答している。

<市民4-1、沿線3-1 豊橋市では、市民1人ひとりが公共交通への理解と関心を深め、みんなで公共交通を維持・活性化させることを目的とした、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」(平成29年4月1日施行)に基づき、様々な交通施策に取り組んでいます。このことについて、あなたはご存知でしたか。該当する番号を選んでください。(1つ選択)>

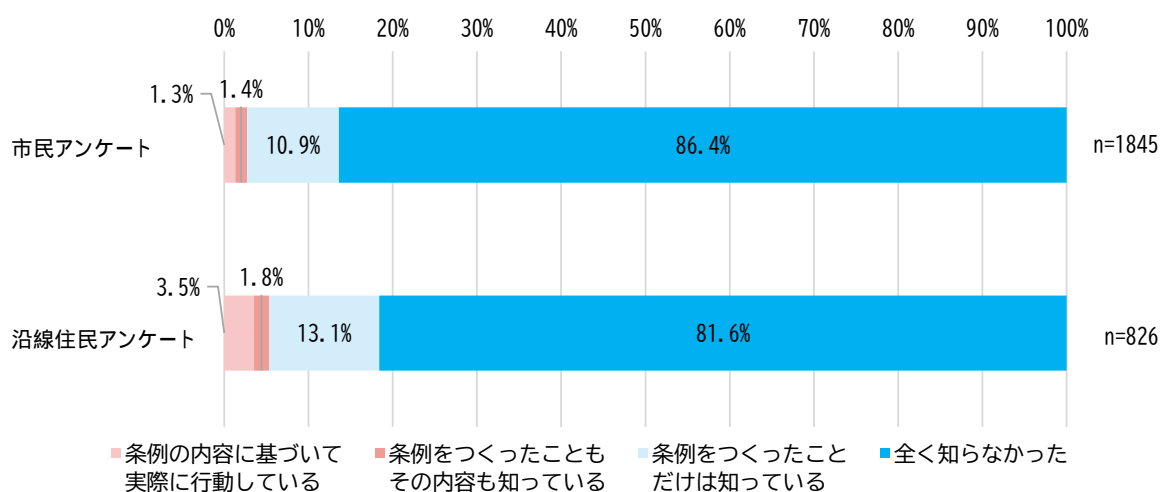


図 1-109 豊橋市の公共交通を共に支え育む条例の認知度

豊橋市の公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動

- 公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動について、市民アンケートでは「特に行動を変えようとは思わない」の割合が最も高く、約5割が回答している。沿線住民アンケートでは、「今後は公共交通への理解を深めようと思う」の割合が最も高く、約3割が回答している。

<市民 4-2、沿線 3-2 「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」では、市民の役割として「公共交通への理解と関心を深めるよう努める」とともに「過度に自家用車に頼ることなく、公共交通を積極的に利用するよう努める」ことが謳われています。今後、あなたはどのように行動したいか教えてください。（複数選択可）※同封の「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」パンフレットの参照を促したうえで回答>

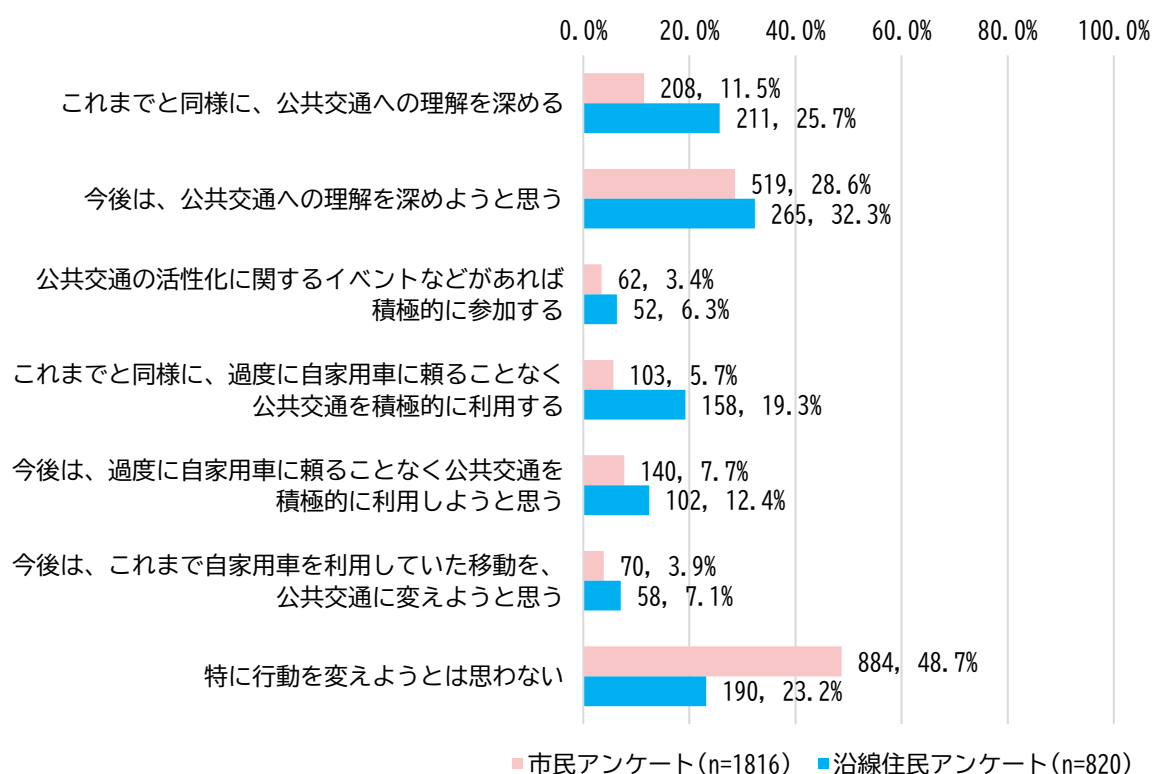


図 1-110 豊橋市の公共交通を共に支え育む条例に基づいた行動

公共交通を支える方策

- 公共交通を支える方策について、市民・沿線住民アンケートともに、「現在市が公共交通に対して行っている同水準の支援を続ける」の割合が最も高く、約4～5割が回答している。

<市民4-3、沿線3-3 市民とともに公共交通を支える方策について、
あなたのお考えを教えてください>

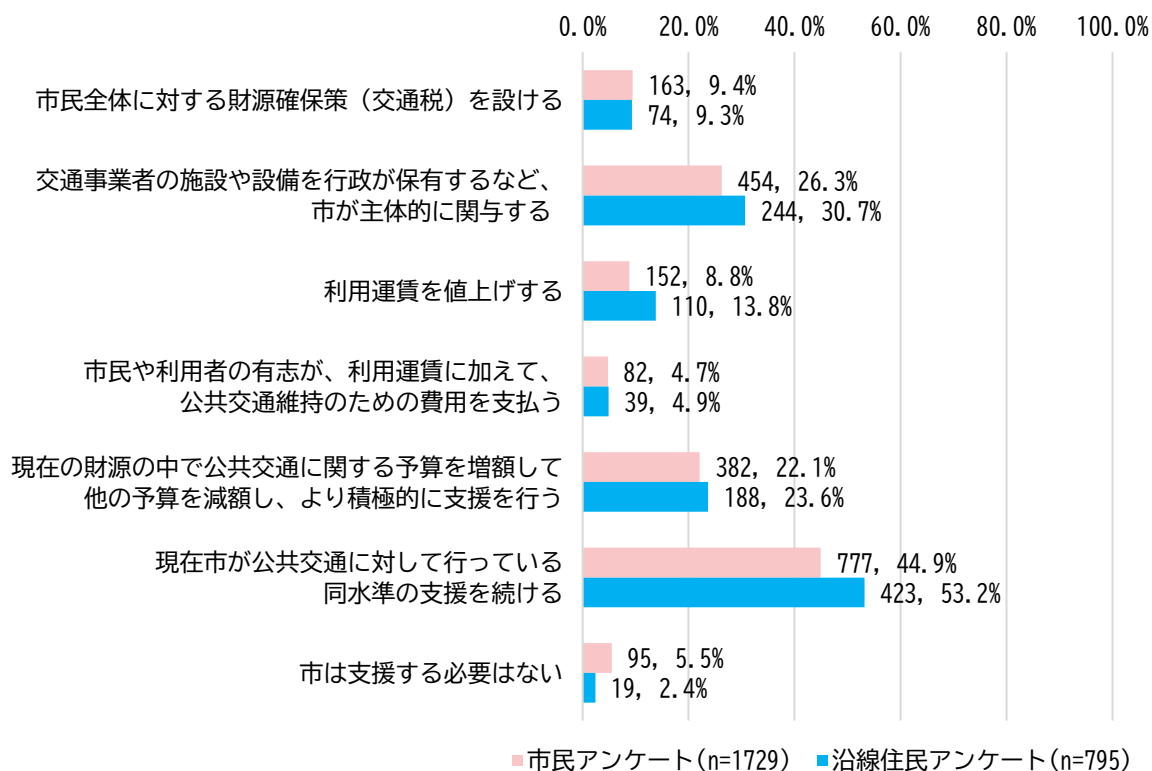


図 1-111 公共交通を支える方策について

自動車に過度に依存しないための方策

- 自動車に過度に依存しないための方策について、市民・沿線住民アンケートともに「公共交通のサービスなどを高め、利用しやすくすること」の割合が最も高く、約6割が回答している。

<市民 4-4、沿線 3-4 過度に自家用車に依存しないためには、次のうちどれが最も有効と
思いますか？（2つまで選択可）>

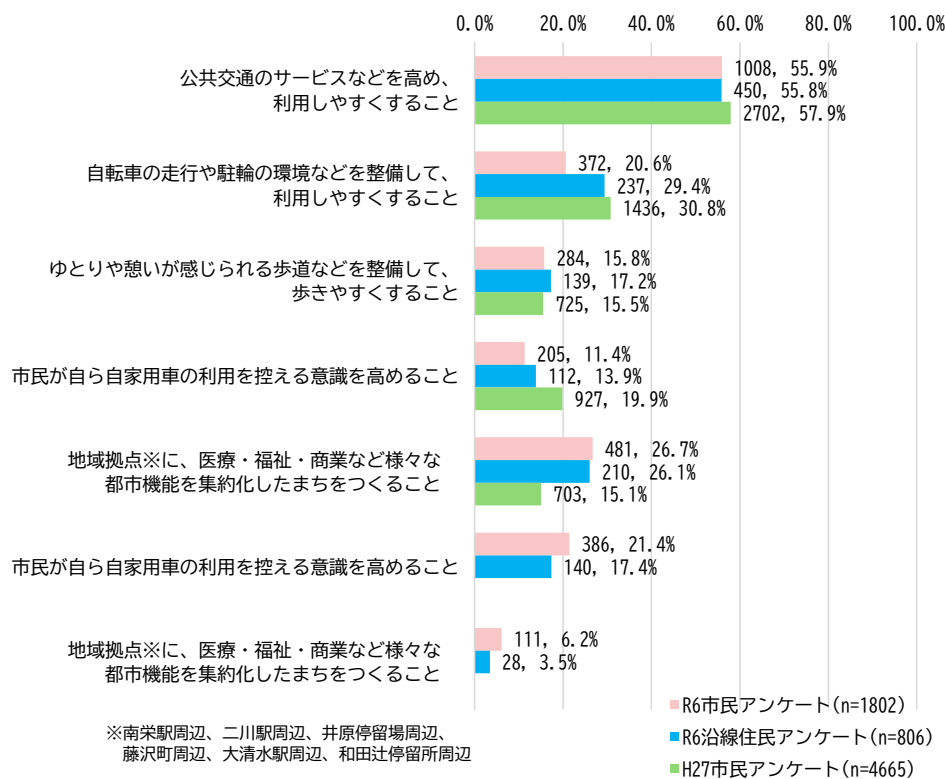


図 1-112 自動車に過度に依存しないための方策について

公共交通を維持していくための支援

- 公共交通を維持していくための支援は、いずれの公共交通（渥美線、路面電車、路線バス）に関しても、支援について前向きな回答が半数以上を占めている。特に、沿線住民アンケートにおける路面電車への支援については、「市がより積極的に支援してでも、利便性向上のための取組を行うべき」及び「市が積極的に支援してでも、現状のサービスを維持すべき」の割合が、それぞれ約4割を占めている。

<市民 4-5、沿線 6-1 公共交通を維持していくために、市が積極的に支援（行政負担など）を行うことについて、あなたの考えを選んでください>

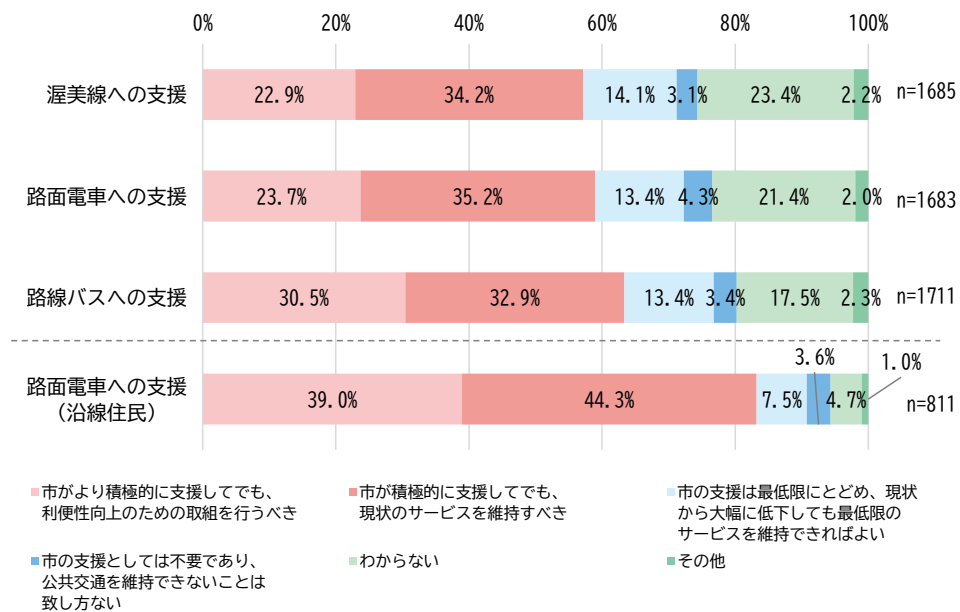
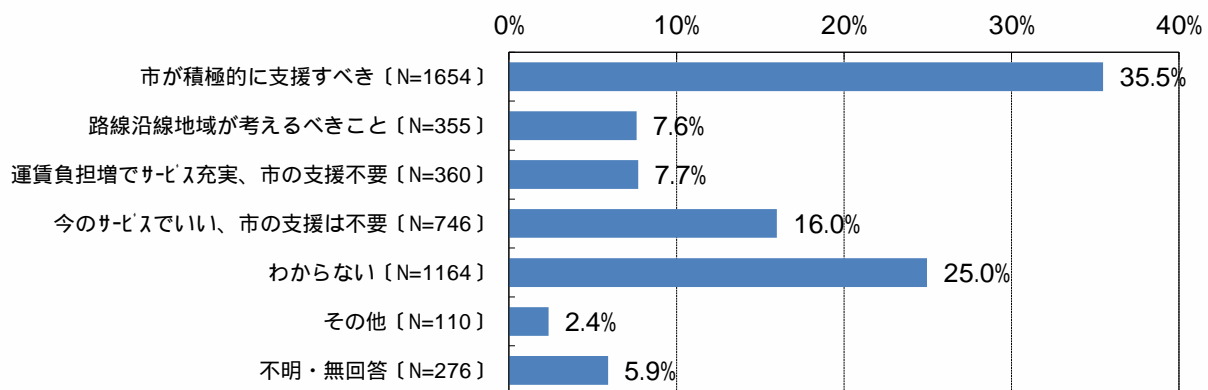


図 1-113 公共交通を維持していくための支援について

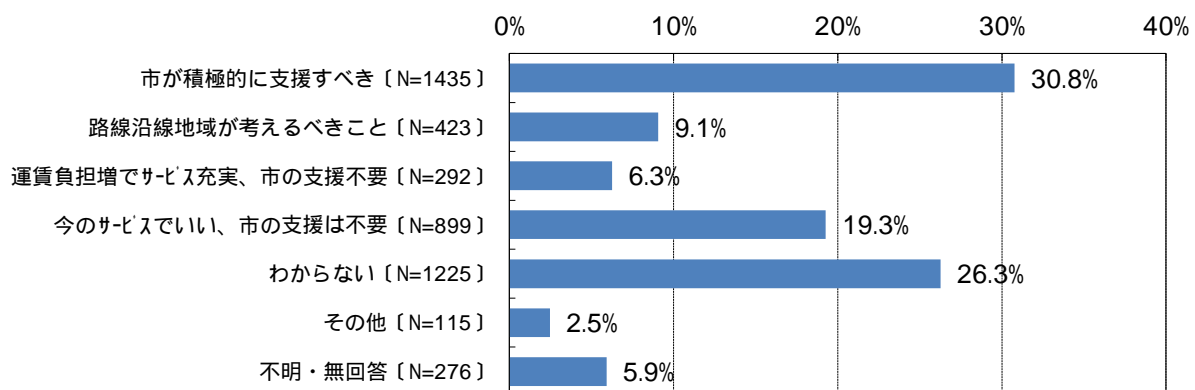
<参考：H27 市民 6-3 路面電車への支援 今の路面電車を維持し、サービスをより充実させるために、民間交通事業者が運営している路面電車に対し、市が積極的に支援（税金投入など）を行うことについて。>



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-114 参考<H27 市民>路面電車の維持について

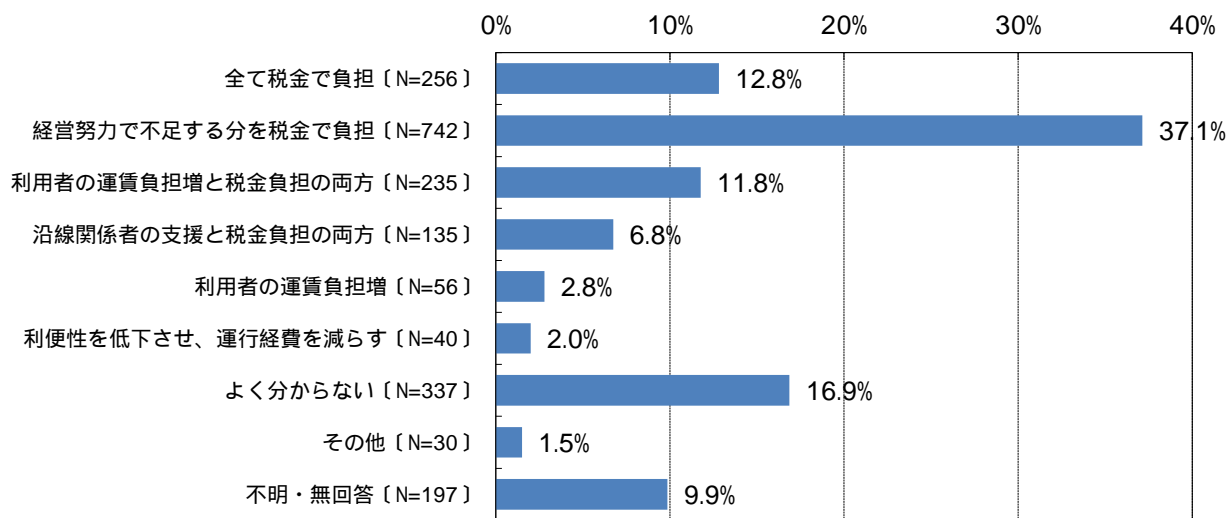
<参考：H27 市民 6-4 バス路線への支援 現在、豊橋市ではバス路線を維持するために補助を行っていますが、豊橋駅と市内の主要な地域を結ぶバス路線のサービスをより充実させるために、市がさらに支援（税金投入など）を行うことについて。>



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図1-115 参考<H27 市民>バス路線の維持について

<参考：H27 沿線住民 6-2 整備のための行政負担について 路面電車を維持するために、電停のバリアフリー化や損傷が進む軌道敷などの整備が必要となっています。整備の負担の考え方について、当てはまる番号を1つえらんでください。>



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成27年度）

図 1-116 参考<H27 沿線住民>路面電車の維持について

(2)路面電車の必要性やあり方、価値について

- 路面電車の必要性やあり方について、市民アンケートでは「日々の通勤通学などを支える移動手段」の割合が最も高く、約4割が回答している。沿線住民アンケートでは「駅までの大事な移動手段」の割合が最も高く、約7割が回答している。

<市民 6-1、沿線 6-2 豊橋市に路面電車があることについて、あなたが感じる意義を選んでください。>

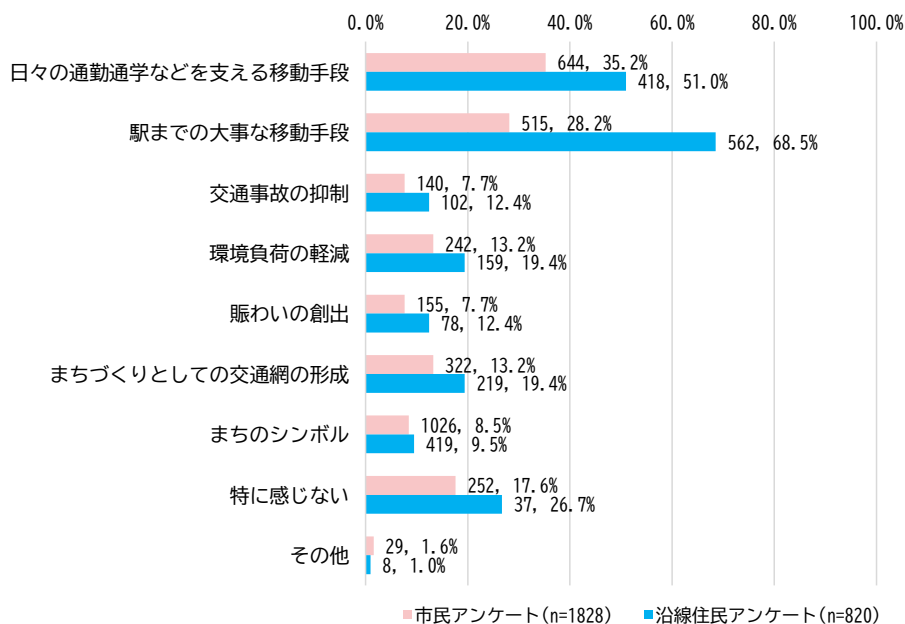
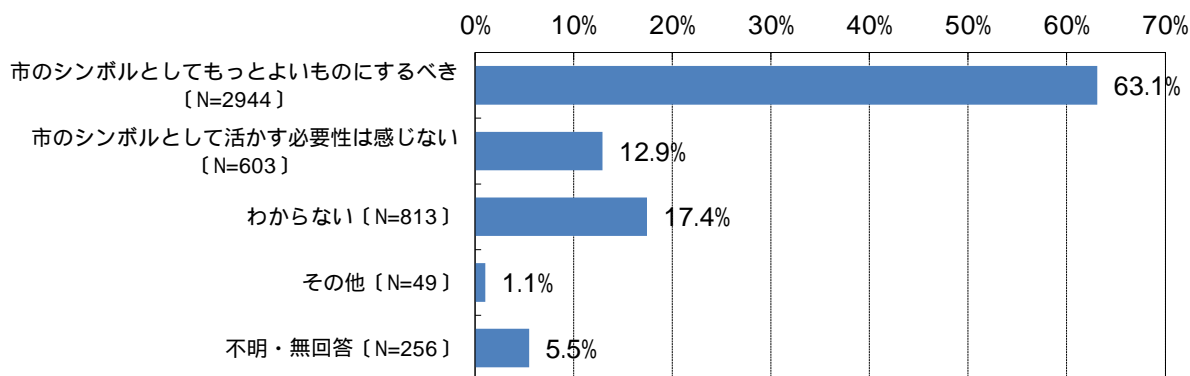


図 1-117 <市民・沿線>路面電車の必要性やあり方、価値

<参考：H27 市民 6-1 路面電車のシンボルとしてのあり方 今ある路面電車を市のシンボルとして活かすことについて。>



資料：豊橋市都市・地域総合交通戦略（仮称）策定委託業務報告書（平成 27 年度）

図 1-118 参考<H27 市民>路面電車のシンボルとしてのあり方

(3) 運賃値上げ

- 路面電車の運賃値上げについて、市民アンケートでは「20 円の値上げまでなら良い（約 10% 高）」の割合が最も高く、約 3 割を占めている。一方、沿線住民アンケートでは「今と同じ運賃が良い（値上げ分は行政負担で賄うべき）」の割合が最も高く、約 3 割を占めている。

<市民 6-2、沿線 6-3 物価上昇などの社会情勢の変化により仮に運賃の値上げが必要となった場合、将来にわたって路面電車が安全・安心な運行を続けていくために、どのくらいの運賃であれば利用し続けようと思いますか？ ※2024 年 10 月時点の乗車運賃は 200 円>

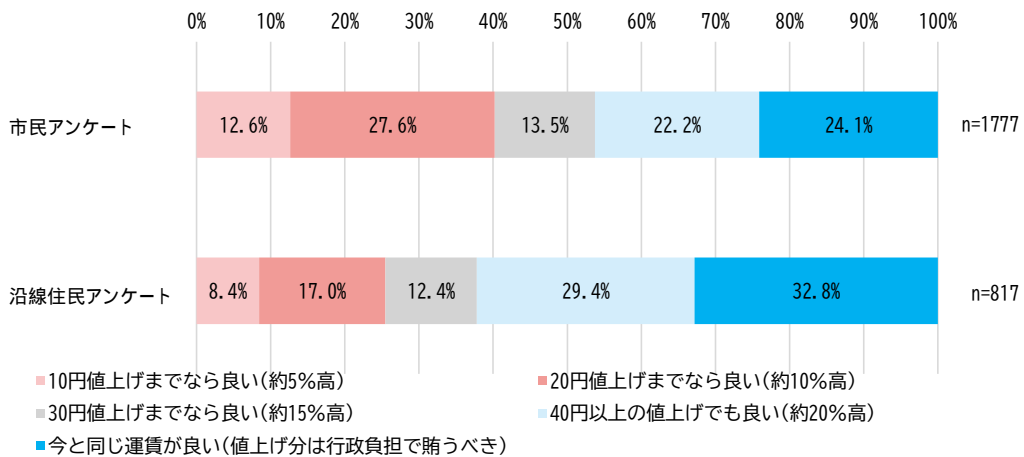


図 1-119 <市民・沿線>路面電車の運賃値上げについて

(4) 負担金

- 路面電車の負担金について、市民・沿線住民アンケートとともに、支払わないの割合が最も高く、約 3 割を占めている。

<市民 6-3、沿線 6-4 路面電車が運行し続けるために、運賃とは別で負担金（協賛金や支援金）を払うとしたら、毎月 1 人あたり、いくらなら支払うことができますか？>

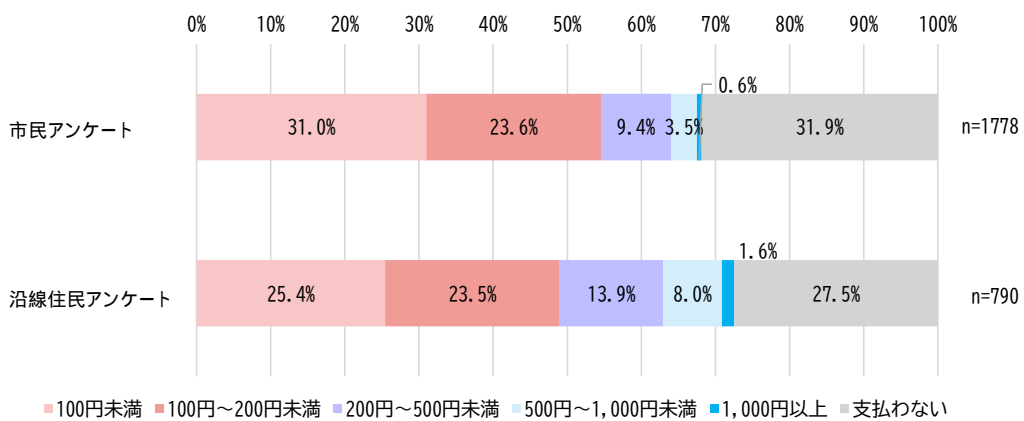


図 1-120 <市民・沿線>路面電車の負担金について

第2章 中京都市圏パーソントリップ調査の分析

1. 中京都市圏パーソントリップ調査の概要

パーソントリップ調査（パーソン=人、トリップ=動き）は、「どのような人が」「いつ」「何の目的で」「どこから」「どこへ」「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを捉えるものです。

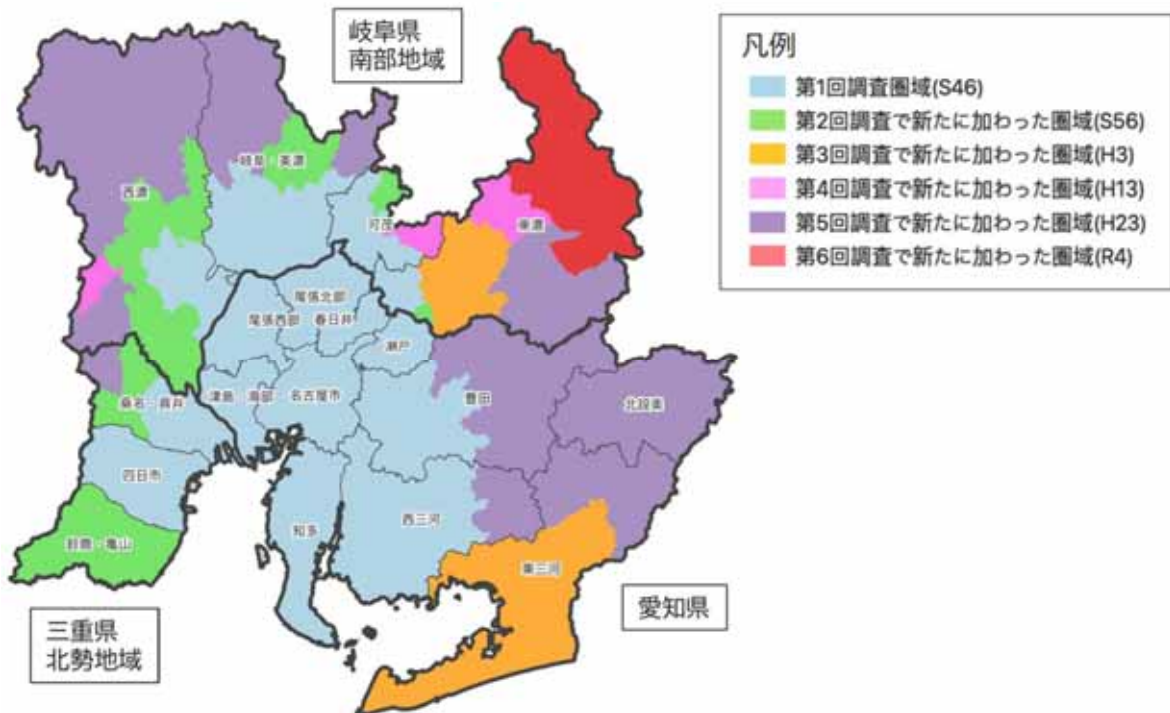
中京都市圏パーソントリップ調査は、これまでに昭和46年、昭和56年、平成3年、平成13年、平成23年、令和4年とおおよそ10年ごとに6回の調査が実施されており、豊橋市は平成3年の調査から加わっています。（平成3年は東三河都市圏パーソントリップ調査として実施）

調査対象は、中京都市圏の居住者の中から無作為に抽出した約39万世帯の方（5歳以上）を対象として、調査がなされています。

調査結果の留意事項として、中京都市圏内の居住者を対象とした調査であるため、中京都市圏外の居住者の中京都市圏内への移動は把握されていません。豊橋市の場合では、隣接する静岡県内居住者の移動はパーソントリップ調査では十分把握できない状況となっています。



資料：中京都市圏パーソントリップ調査



資料：中京都市圏パーソントリップ調査

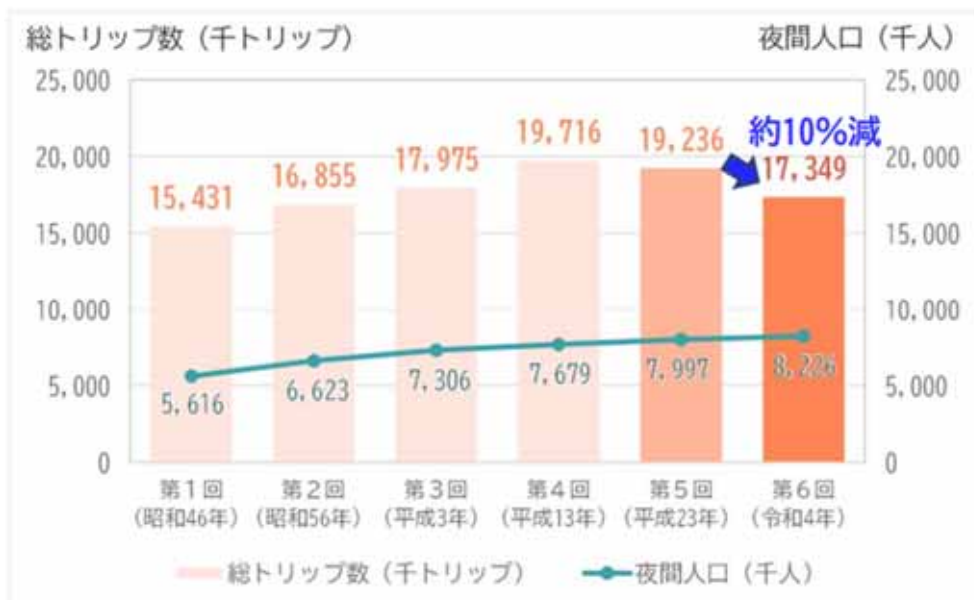
図2-1 中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域

2. 分析結果

2.1 都市圏全体の人の動きの傾向

(1) 流動量の推移

中京都市圏の夜間人口は増加傾向にある中、総トリップ数は、第5回調査（平成23年）と比べ約10%減少しています。



※第1回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域で集計、豊橋市は圏域外であることに留意

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果（令和7年3月）

図 2-2 総トリップ数の推移（都市圏全域、平日）

(2) 外出率の推移

中京都市圏の外出率は、初めて80%を下回り、過去最低となっています。



※第1回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域で集計、豊橋市は圏域外であることに留意

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果（令和7年3月）

図 2-3 外出率の推移（都市圏全域、平日）

2.2 周辺市からみた豊橋市の人の動き

(1) 外出率の変化

外出率をみると、周辺市及び豊橋市ではいずれも外出率は減少しています。また、豊橋市は、周辺市と比較すると外出率は高い数値を維持しています。

表 2-1 外出率の変化

	第5回 (平成23年度)	⇒	第6回 (令和4年度)
名古屋市	81.4%	⇒	75.0%
名古屋市除く愛知県	81.2%	⇒	73.9%
豊田市	81.7%	⇒	73.2%
岡崎市	82.2%		74.0%
一宮市	81.0%		72.8%
東三河地域	79.5%	⇒	74.1%
豊橋市	80.7%	⇒	75.1%
蒲郡市	79.3%	⇒	72.9%
豊川市	79.8%	⇒	74.2%
新城市	74.6%	⇒	69.0%
田原市	75.6%	⇒	72.7%

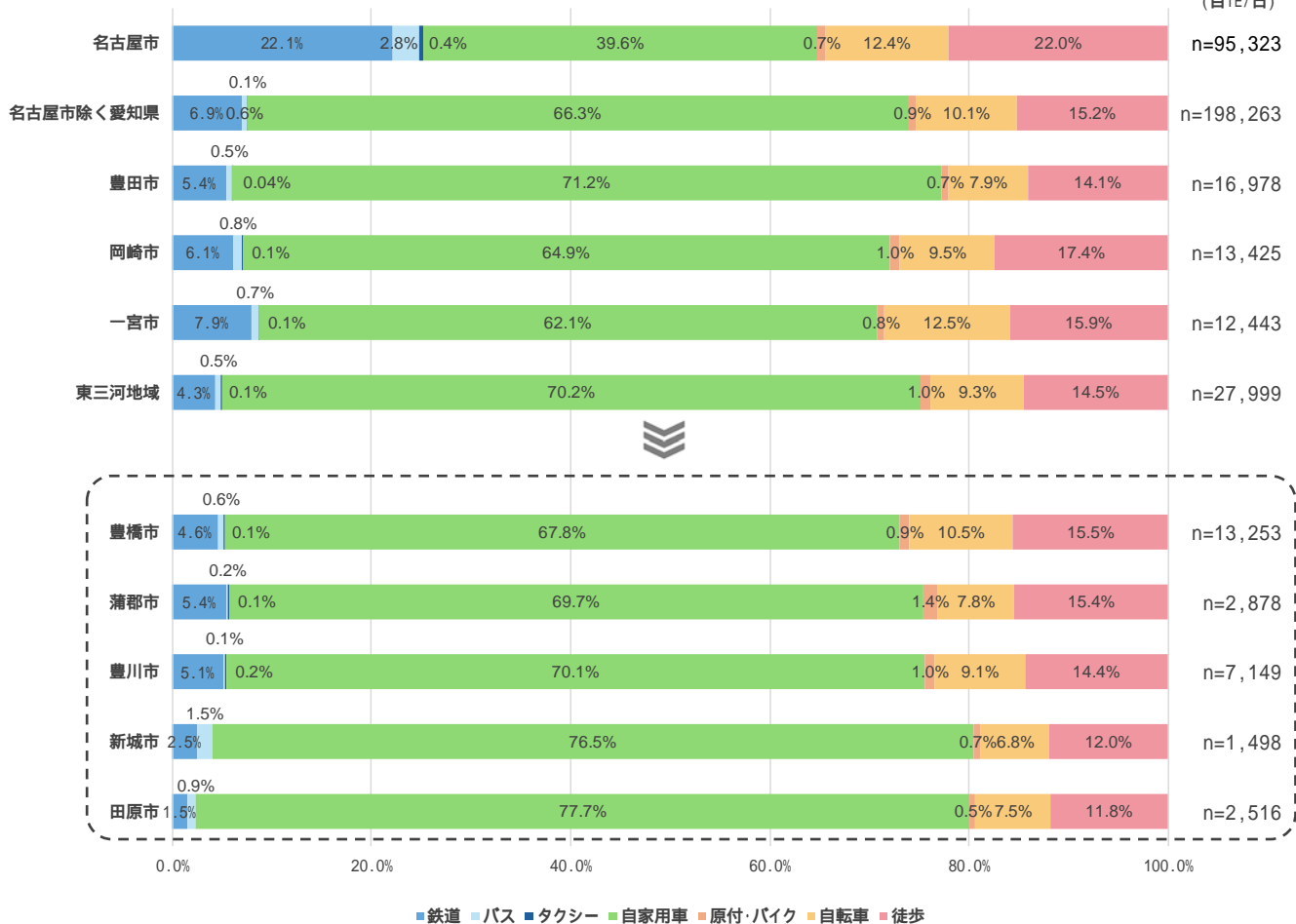
資料：第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

(2)代表交通手段分担率

代表交通手段が公共交通の分担率をみると、豊橋市で5.3%（鉄道：4.6%、バス：0.6%、タクシー0.1%）となっており、豊川市と同程度、豊田市より低い数値です。

また、自家用車の分担率をみると、豊橋市は、東三河地域の中で最も低くなっています。

(百TE/日)



※比率からは不明を除外

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-4 周辺市の代表交通手段分担率（発生集中ベース、平日）

2.3 豊橋市関連の流動の詳細分析

(1) 市域全体の傾向変化分析

発生集中量・代表交通手段分担率

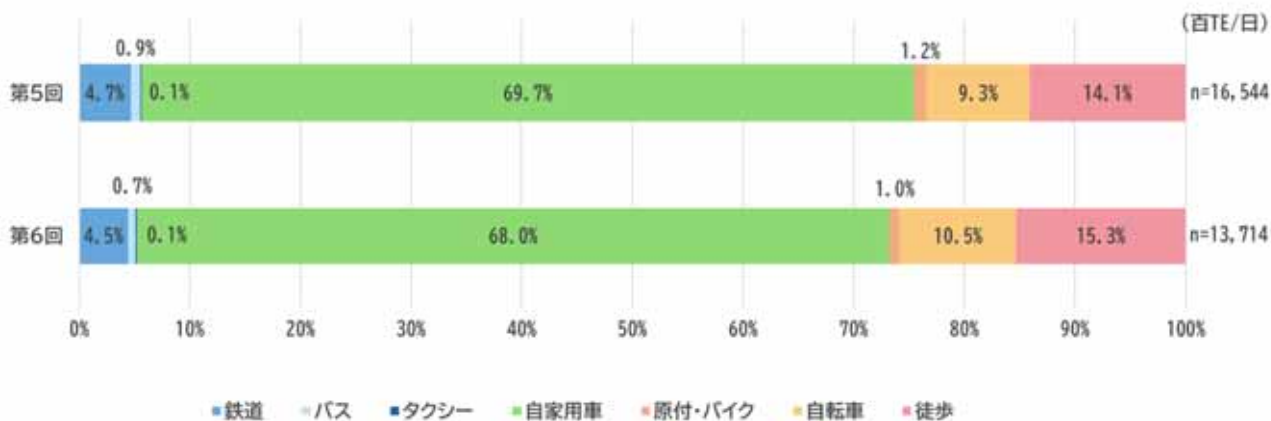
豊橋市の発生集中量をみると、第5回から第6回にかけて約17%減少しています。代表交通手段分担率では、自家用車の分担率が約2%減少しています。



資料：第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

図 2-5 豊橋市の発生集中量の変化（平日）



比率からは不明を除外

資料：第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-6 豊橋市の代表交通手段分担率の変化（平日）

目的別構成

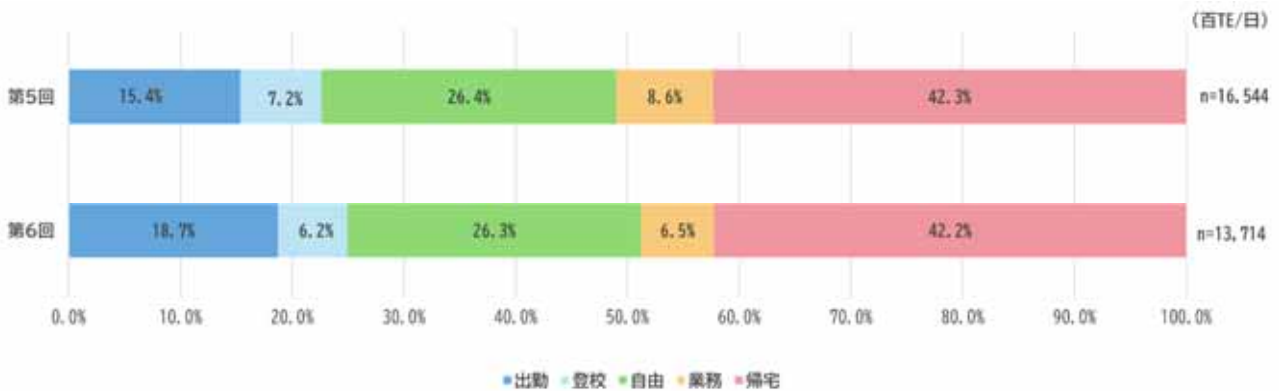
目的別に発生集中量・構成比をみると、出勤目的では発生集中量が微増しており、構成比も約3%増加しています。他の目的では発生集中量が減少しており、登校目的で約1%、業務目的で約2%の減少となっています。



資料：第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

図 2-7 豊橋市の目的別発生集中量の変化（平日）



※比率からは不明を除外

資料：第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

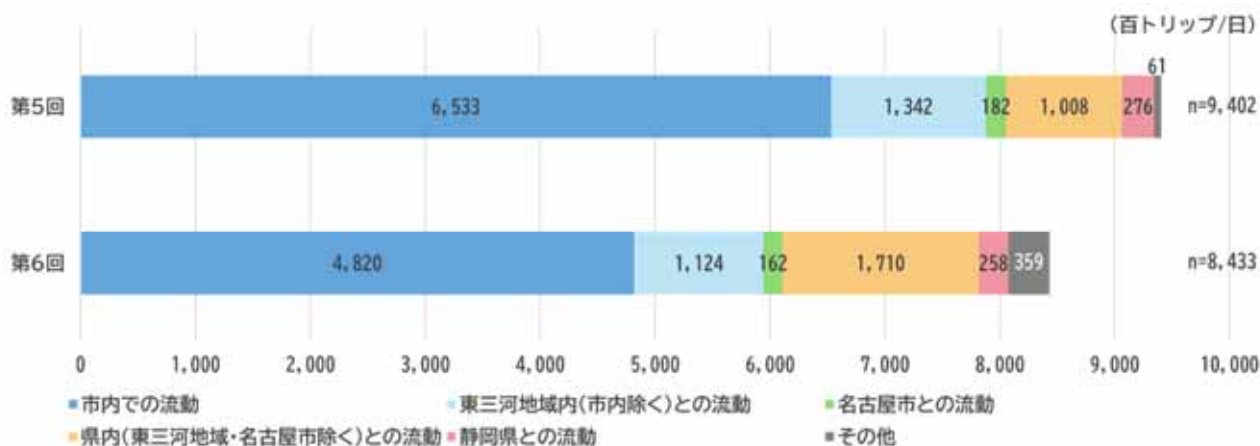
※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-8 豊橋市の目的別構成の変化（平日）

代表的な方面別の流動量の変化

流動量を方面別にみると、市内での流動は約1,700百トリップ/日減少している一方、県内(東三河地域・名古屋市除く)との流動は約700百トリップ/日増加しています。



資料: 第5回、第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域による集計

図 2-9 代表的な方面別の流動量の変化 (平日)

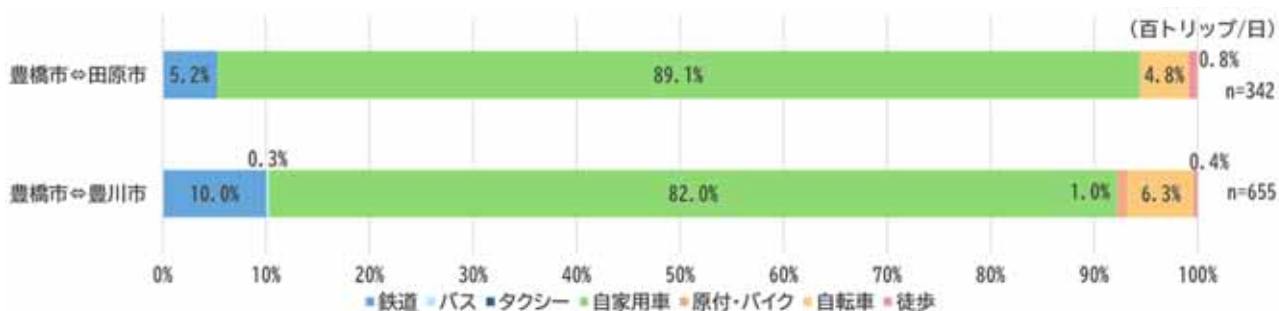
隣接市との流動と代表交通手段

隣接する豊川市及び田原市との流動における代表交通手段分担率は、公共交通が約10%であり、自家用車が80%以上を占めています。



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-10 隣接市との代表交通手段別流動量の比較 (平日)



※比率からは不明を除外

資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

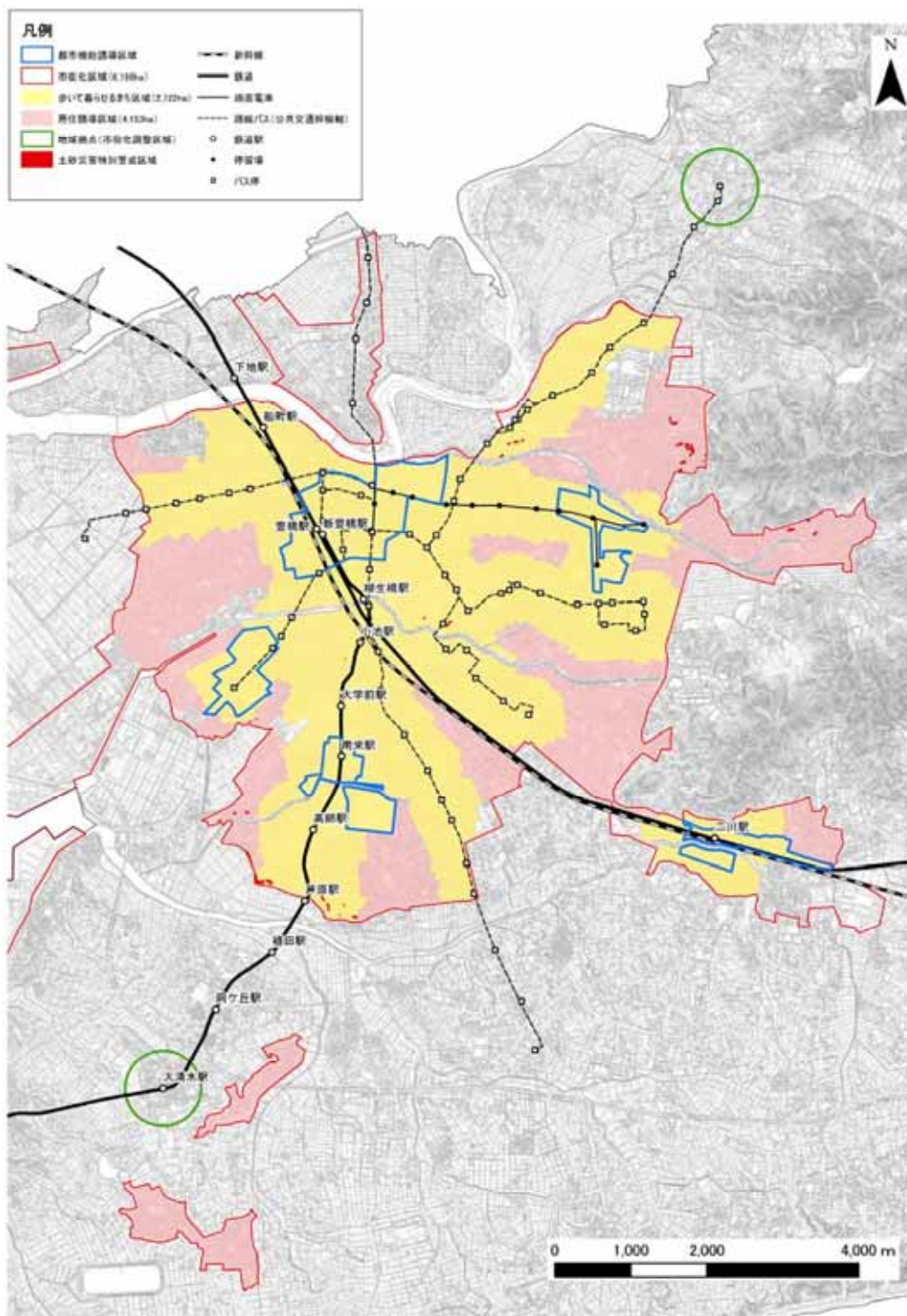
※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-11 隣接市との流動における代表交通手段分担率の比較 (平日)

(2)歩いて暮らせるまち区域の内外に着目した流動分析

区域の設定

豊橋市立地適正化計画では、居住を積極的に誘導すべき区域として歩いて暮らせるまち区域を下図の黄色範囲のように設定しています。



資料：豊橋市立地適正化計画

図 2-12 居住誘導区域及び歩いて暮らせるまち区域

パーソントリップ調査で定義されているゾーン区分と歩いて暮らせるまち区域の境界が一致していないため、第6回中京都市圏パーソントリップ調査のゾーン体系で、歩いて暮らせるまち区域の境界に近い形となるよう、以下のとおり範囲を設定し、当該範囲を区域内、範囲の外を区域外と設定して傾向の違いを分析しました。

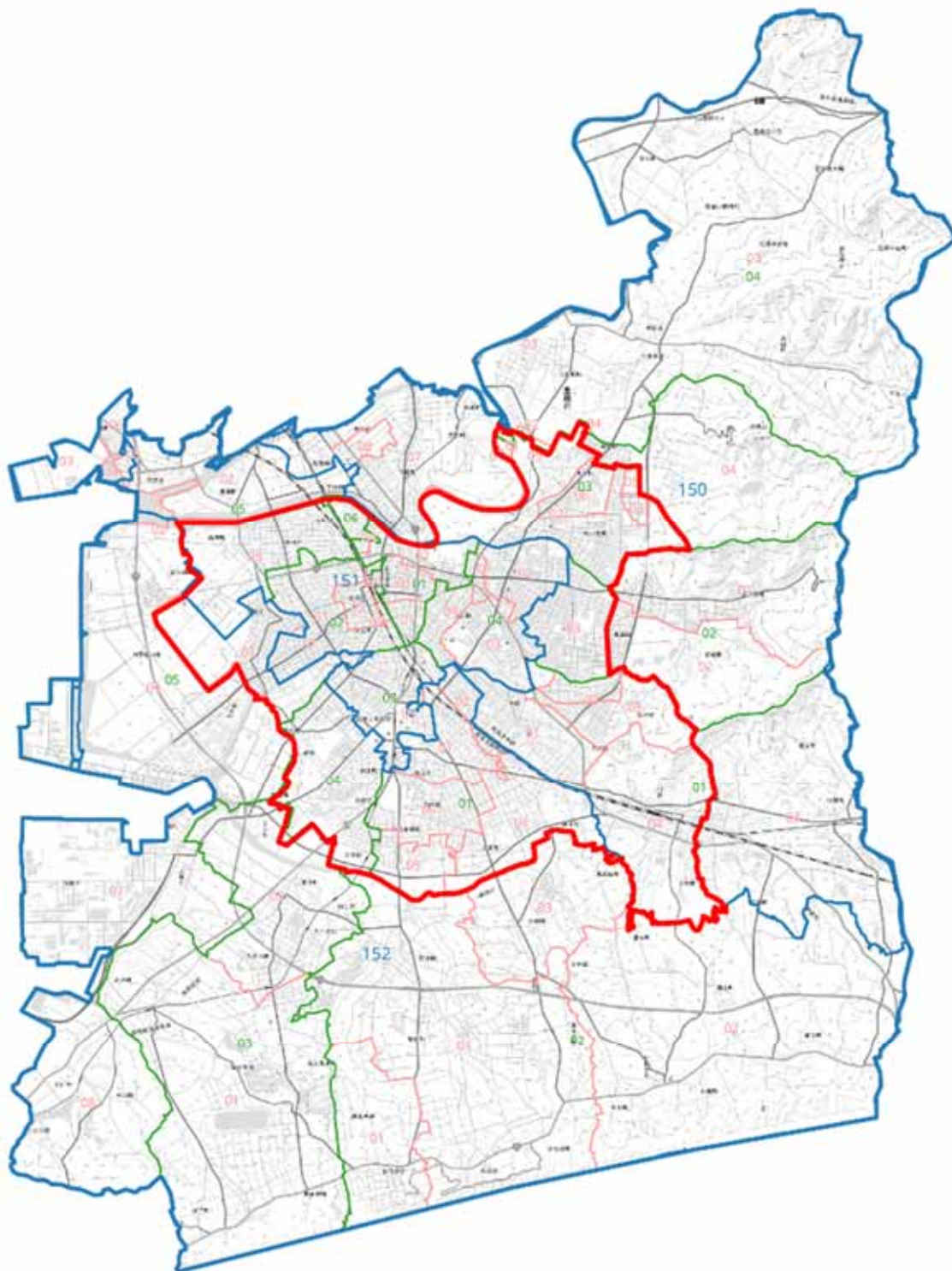
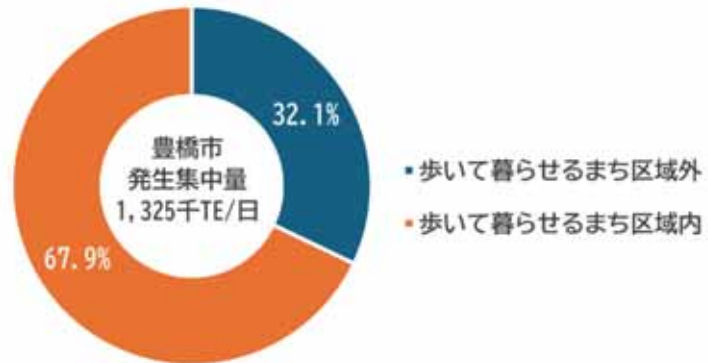


図 2-13 パーソントリップ調査における歩いて暮らせるまち区域の範囲の設定

歩いて暮らせるまち区域内外の発生集中量の内訳

歩いて暮らせるまち区域内外の発生集中量の内訳をみると、約70%が歩いて暮らせるまち区域内、約30%が歩いて暮らせるまち区域外の発着です。



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-14 歩いて暮らせるまち区域内外の発生集中量の内訳 (平日)

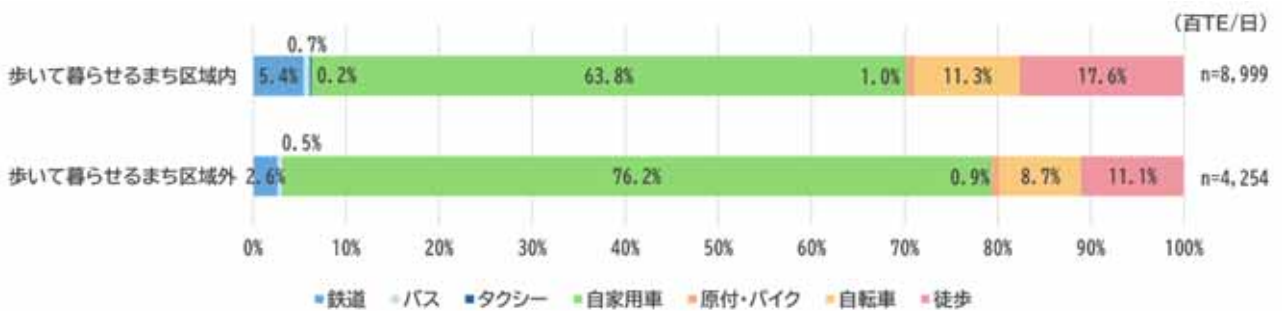
歩いて暮らせるまち区域内外の発生集中量・代表交通手段分担率

歩いて暮らせるまち区域内外の代表交通手段別の発生集中量をみると、自家用車の分担率の違いが顕著であり、区域外の発生集中の場合、区域内の発生集中の場合と比較して約12%高くなっています。公共交通では、区域内は6.3%であるのに対し、区域外では3.1%となっています。



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-15 歩いて暮らせるまち区域内外の代表交通手段別発生集中量の比較 (平日)

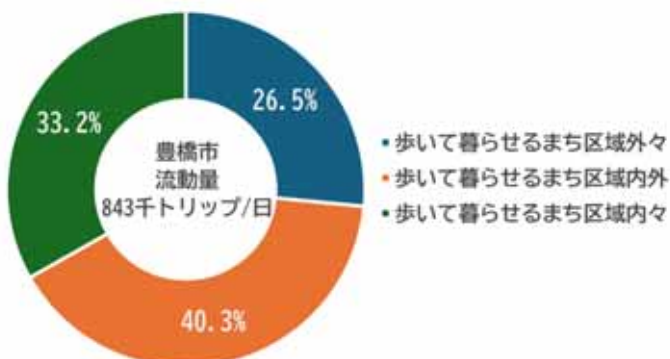


比率からは不明を除外

資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-16 歩いて暮らせるまち区域内外の代表交通手段分担率の比較 (平日)

歩いて暮らせるまち区域内外の流動パターンの内訳
 歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターンの違いをみると、内外の流動が約40%を占めています。



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 図2-17 歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターン内訳 (平日)

歩いて暮らせるまち区域内外の流動パターンにおける流動量・代表交通手段分担率
 豊橋市の流動の内、歩いて暮らせるまち区域内々の場合、市域全体と比較して自家用車の分担率が低く徒歩の分担率が高くなっています。

また、歩いて暮らせるまち区域の内外及び外々では自家用車の分担率が高く、特に歩いて暮らせるまち区域外々の移動では、約80%に達しています。



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図2-18 歩いて暮らせるまち区域内外における代表交通手段別流動量の比較 (平日)



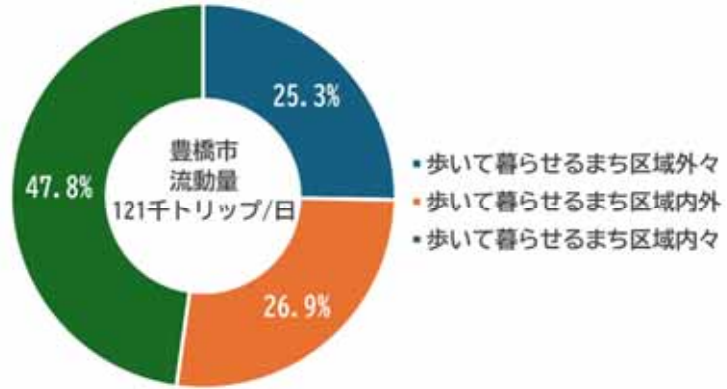
※比率からは不明を除外

資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

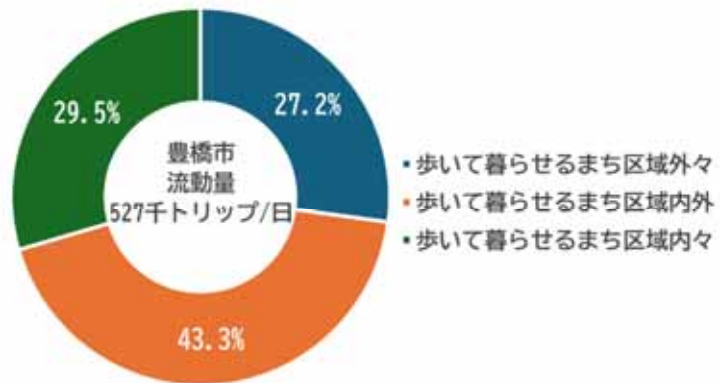
図2-19 歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターンによる代表交通手段分担率 (平日)

歩いて暮らせるまち区域内外の流動パターンにおける年齢階層別の流動量・代表交通手段分担率
 歩いて暮らせるまち区域外々の割合は年齢階層に依らず同程度であるが、20歳未満では、区域内々の割合が高くなっています。



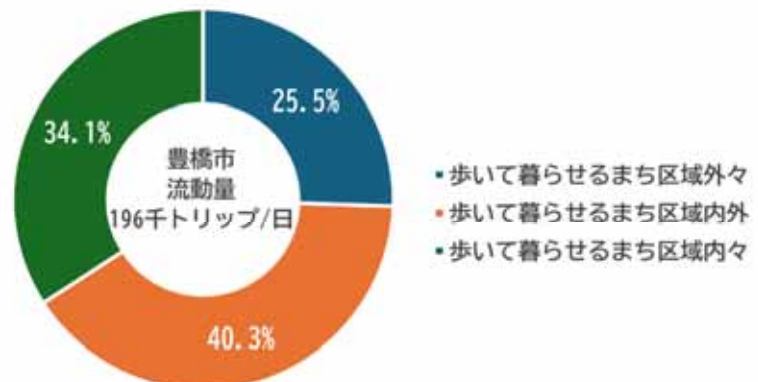
資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-20 歩いて暮らせるまち区域内外における 20 歳未満の流動パターン内訳 (平日)



資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-21 歩いて暮らせるまち区域内外における 20 歳以上 64 歳未満の流動パターン内訳 (平日)

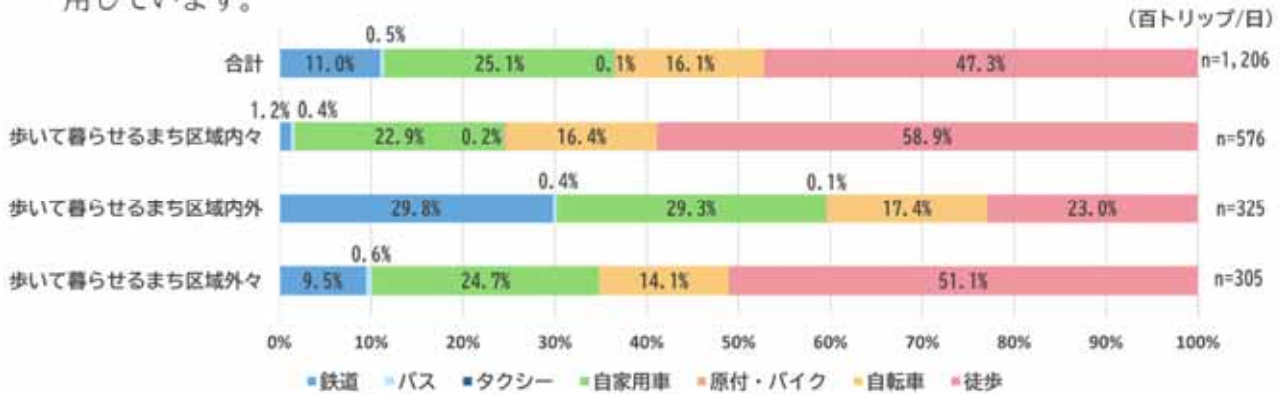


資料: 第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-22 歩いて暮らせるまち区域内外における 65 歳以上の流動パターン内訳 (平日)

20歳未満の区域内外は、鉄道の分担率が約30%あるのに対し、20歳から64歳では約10%、65歳以上では3%未満です。また、自家用車の分担率は20歳未満で約30%なのに対し、20歳以上では70%以上です。

また、歩いて暮らせるまち区域内々の移動においても、65歳以上の約60%が自家用車を利用しています。



※比率からは不明を除外

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図2-23 歩いて暮らせるまち区域内外における20歳未満の代表交通手段分担率（平日）

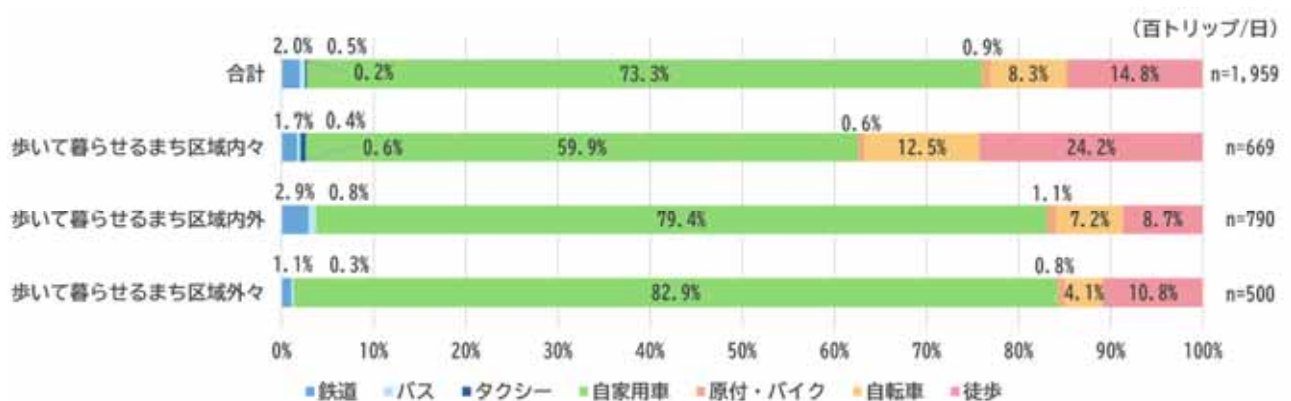


比率からは不明を除外

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図2-24 歩いて暮らせるまち区域内外における20歳以上64歳未満の代表交通手段分担率（平日）



※比率からは不明を除外

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図2-25 歩いて暮らせるまち区域内外における65歳以上の代表交通手段分担率（平日）

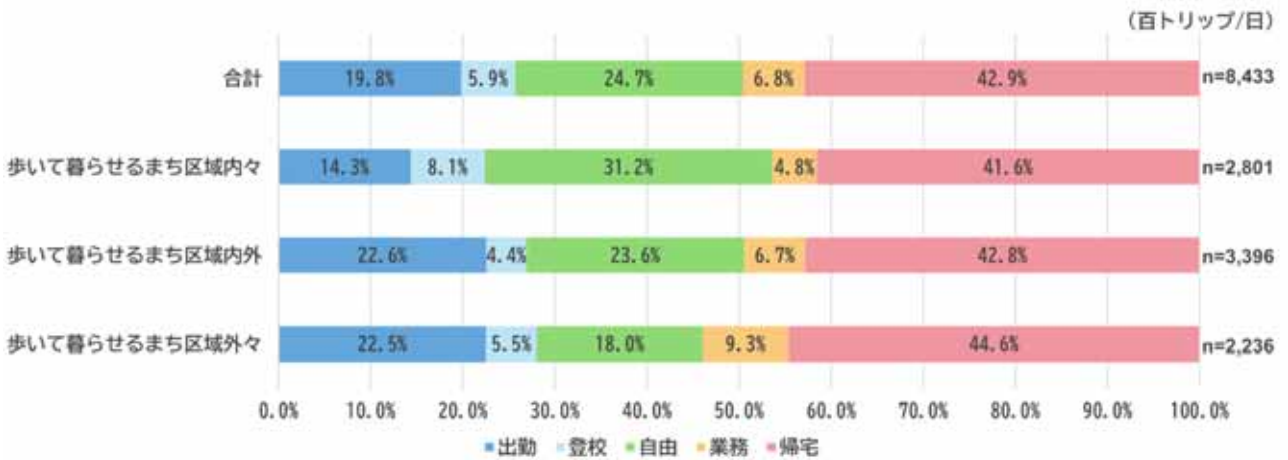
歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターンによる目的別構成

出勤目的・業務目的をみると、区域内々よりも区域内外、区域外々の割合が大きくなっています。また、自由目的をみると区域内々よりも区域内外、区域外々の割合が小さくなっています。



資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-26 歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターンによる目的別構成 (平日)



※比率からは不明を除外

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-27 歩いて暮らせるまち区域内外における流動パターンによる目的別構成の割合 (平日)

(3)ゾーンを区分した上での流動分析

ゾーンの概要

本節の分析では、パーソントリップ調査において定義されている中ゾーンを使用して分析しました。

なお、第5回中京都市圏パーソントリップ調査より、ゾーン⑬・⑮のゾーン境界が変わったことから、前回調査からの変化をみる場合には、当該ゾーンについては評価の対象外とします。

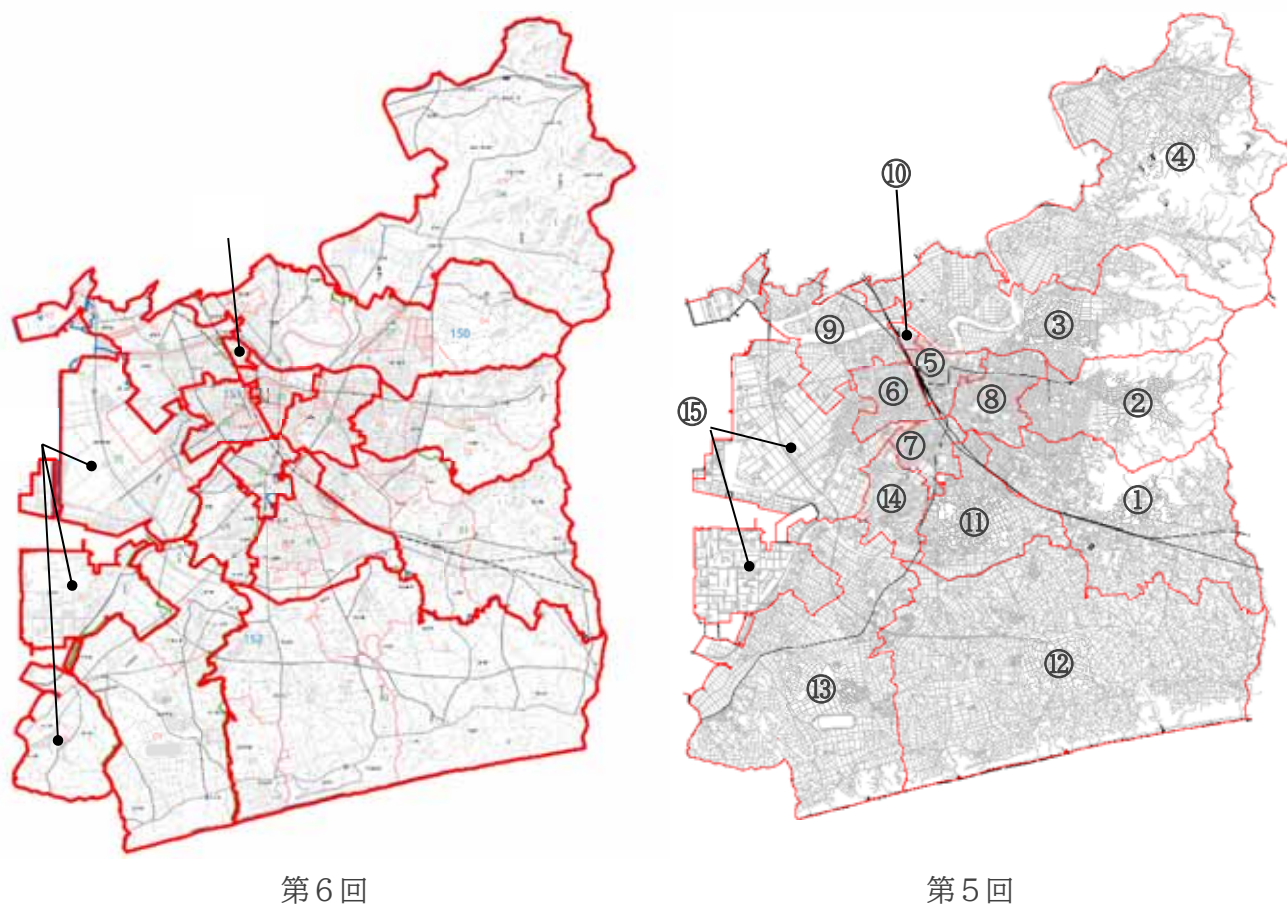
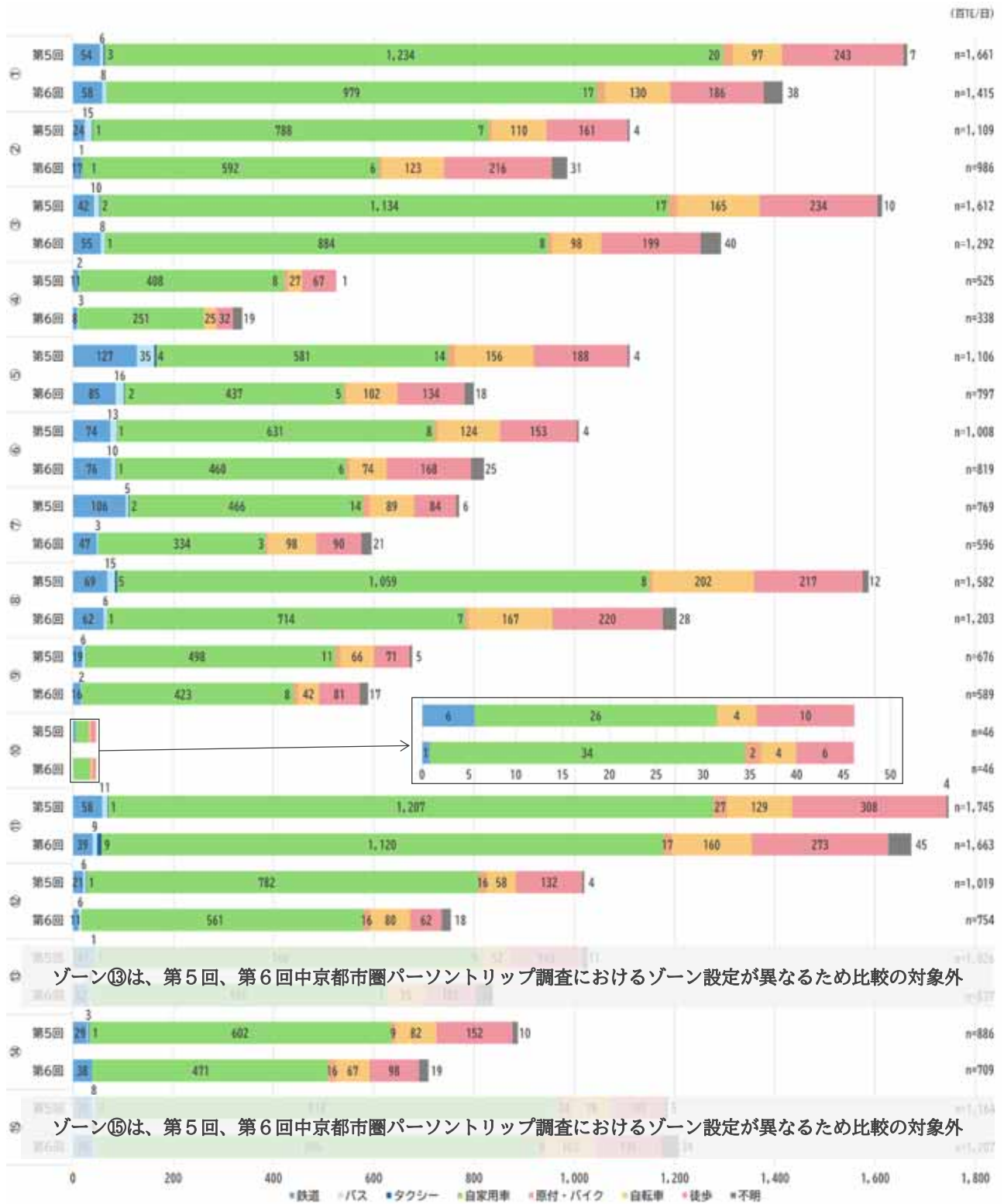


図 2-28 第6回中京都市圏パーソントリップ調査における中ゾーン区分(左)と
第5回中京都市圏パーソントリップ調査における中ゾーン区分(右)

発生集中量の変化

各ゾーンの発生集中量は、前回と比較し減少しており、特にゾーン④・⑤・⑦・⑧・⑫は、20%以上減少しています。



資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-29 各ゾーンの代表交通手段別発生集中量（平日）

代表交通手段別構成

パーソントリップ調査における中ゾーンを対象に、発生集中ベースで代表交通手段分担率をみると、豊橋駅の東西に位置するゾーン⑤・⑥では、公共交通の分担率が市内でも高く、それぞれ13.0%、10.7%となっています。

また、ゾーン⑩・②・⑫では、公共交通の分担率が市内でも低く、それぞれ1.6%、1.9%、2.3%となっています。（ゾーン⑩は範囲が狭くサンプルも少ないことに留意）

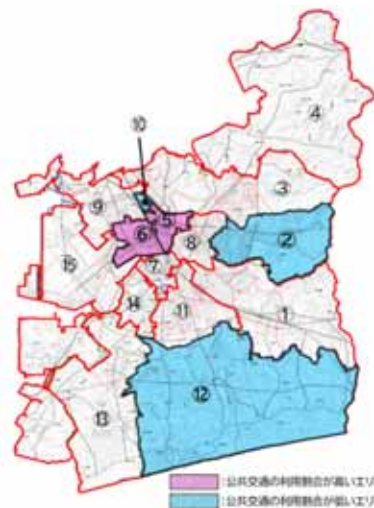
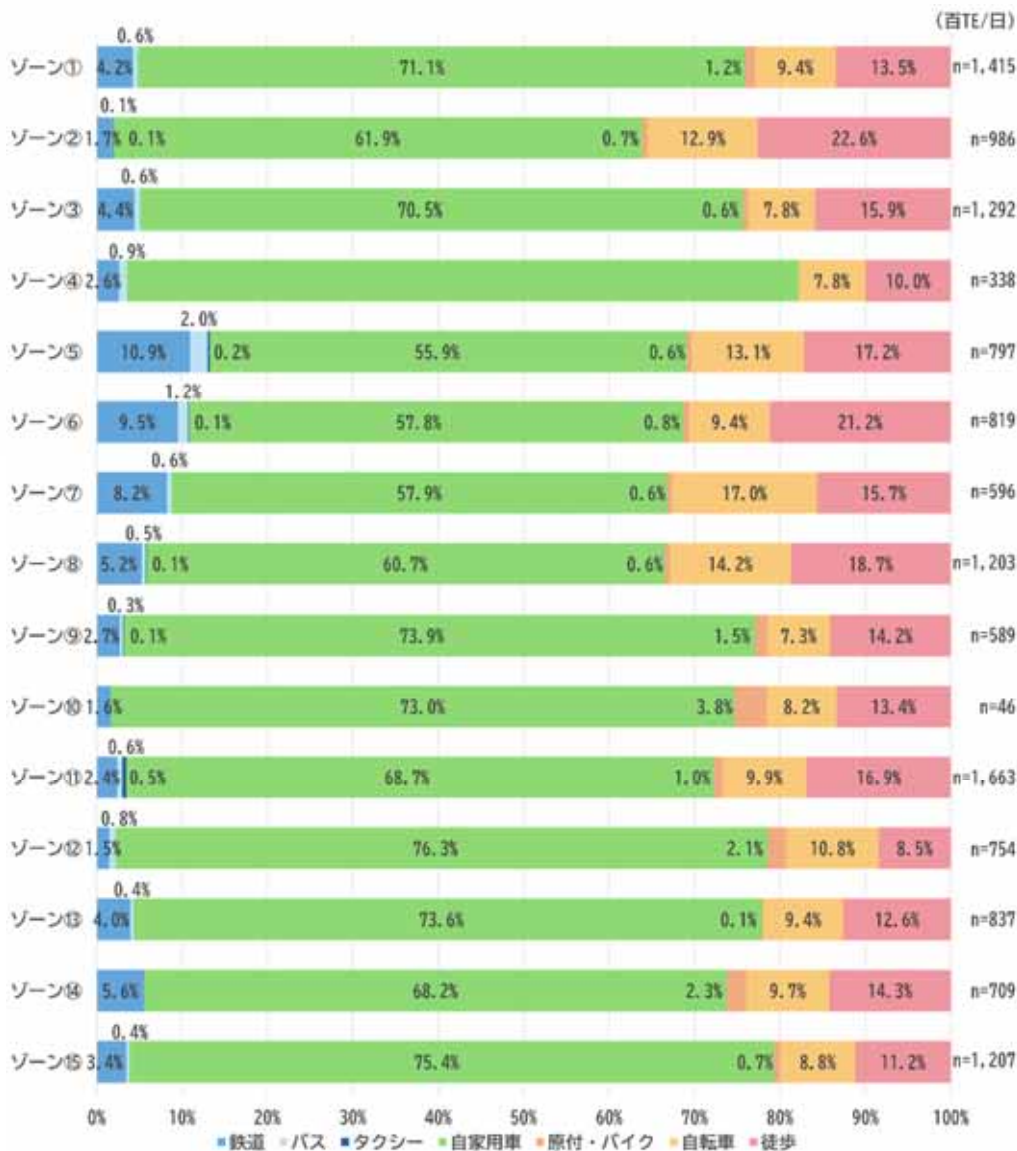


図 2-30 中ゾーン区分における公共交通の利用が高い低い区域



※比率からは不明を除外 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-31 各ゾーンの発生集中交通量の代表交通手段別構成（平日）

ゾーン間の流動状況

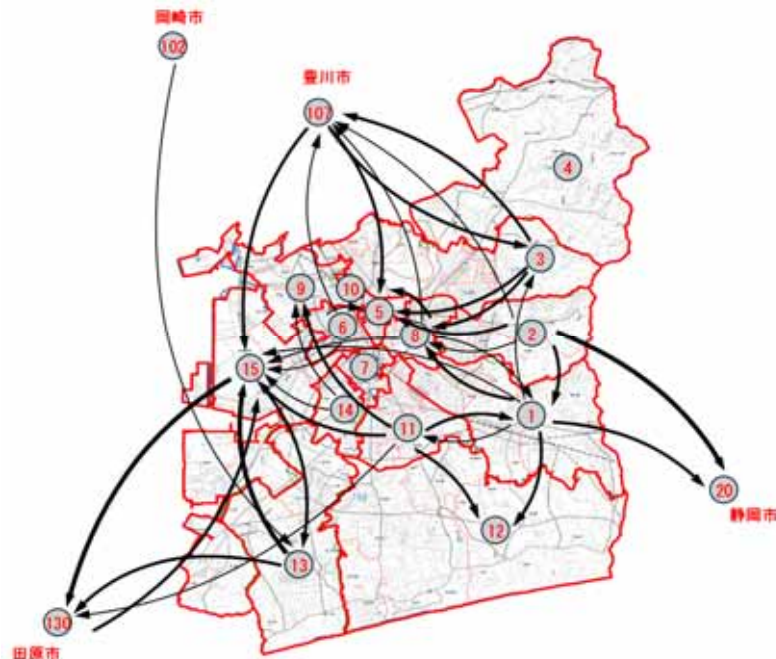
豊橋市の各ゾーンを発着する流動をみると、ゾーン⑧・③・⑮は特に市内多方面へ流動が分散しています。このうち、ゾーン③は市内だけでなく豊川市との流動が顕著となっており、ゾーン⑮は市内だけでなく田原市や豊川市との流動が顕著となっています。



※2,500 トリップ/日以上の流動を図化 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※本調査は中京圏居住者のみが対象となっているため、静岡県居住者は対象外

図 2-32 ゾーン間の流動量 (平日)

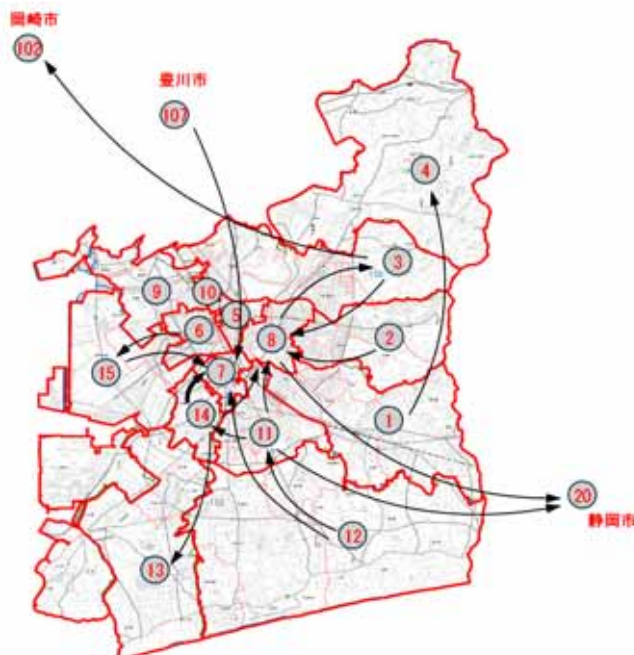
目的別にみると、通勤目的ではゾーン⑤・⑮で市内多方面からの到着が顕著となっています。また市外では、豊川市や田原市、静岡市との流動が顕著となっています。



※750 トリップ/日以上の流動を図化 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※本調査は中京圏居住者のみが対象となっているため、静岡県居住者は対象外

図 2-33 ゾーン間の通勤目的の流動量 (平日)

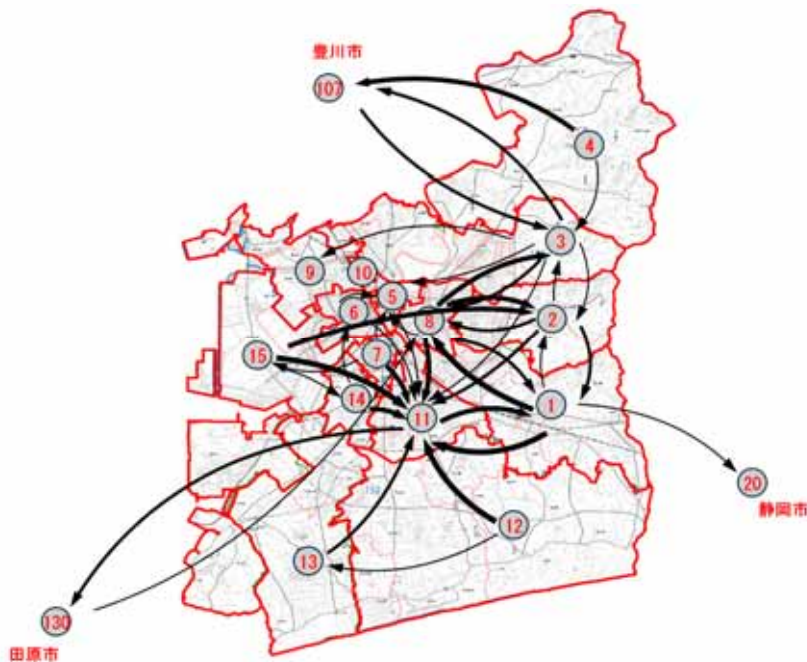
登校目的では、ゾーン⑦・⑧で市内多方面からの到着が顕著となっています。



※250 トリップ/日以上流動を図化 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※本調査は中京圏居住者のみが対象となっているため、静岡県居住者は対象外

図 2-34 ゾーン間の登校目的の流動量（平日）

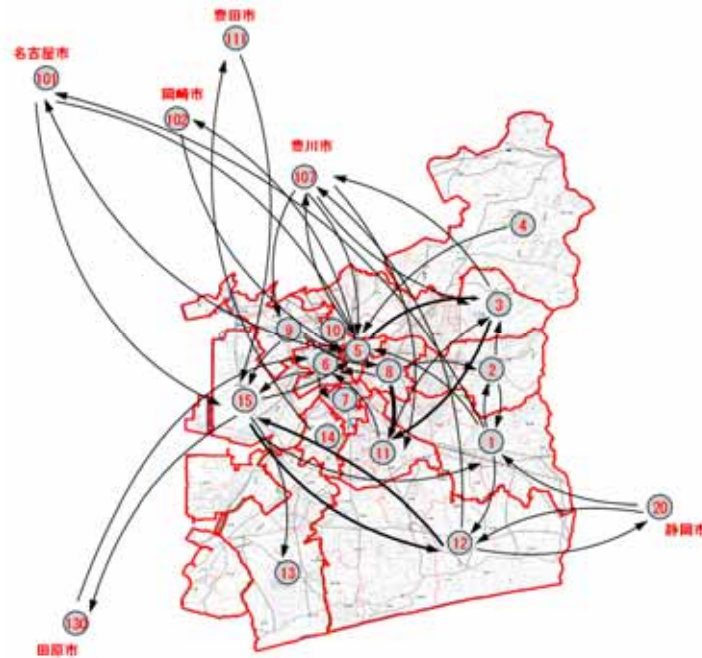
自由目的では、ゾーン⑪・⑧で市内多方面からの到着が顕著となっています。



※750 トリップ/日以上流動を図化 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果
 ※本調査は中京圏居住者のみが対象となっているため、静岡県居住者は対象外

図 2-35 ゾーン間の自由目的の流動量（平日）

業務目的では、ゾーン⑤で市内多方面との流動が顕著となっています。また、ゾーン⑪の到着やゾーン⑫と⑮の間の行き来も比較的流動が多くなっています。



※250 トリップ/日以上の流動を図化 資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

※本調査は中京圏居住者のみが対象となっているため、静岡県居住者は対象外

図 2-36 ゾーン間の業務目的の流動量（平日）

(4) 市内々流動の発着OD間距離における代表交通手段

市内々流動を距離帯別にみると、0.5 km未満の流動でも約40%、1 km未満の流動でも約半数が代表交通手段として自動車を利用しています。



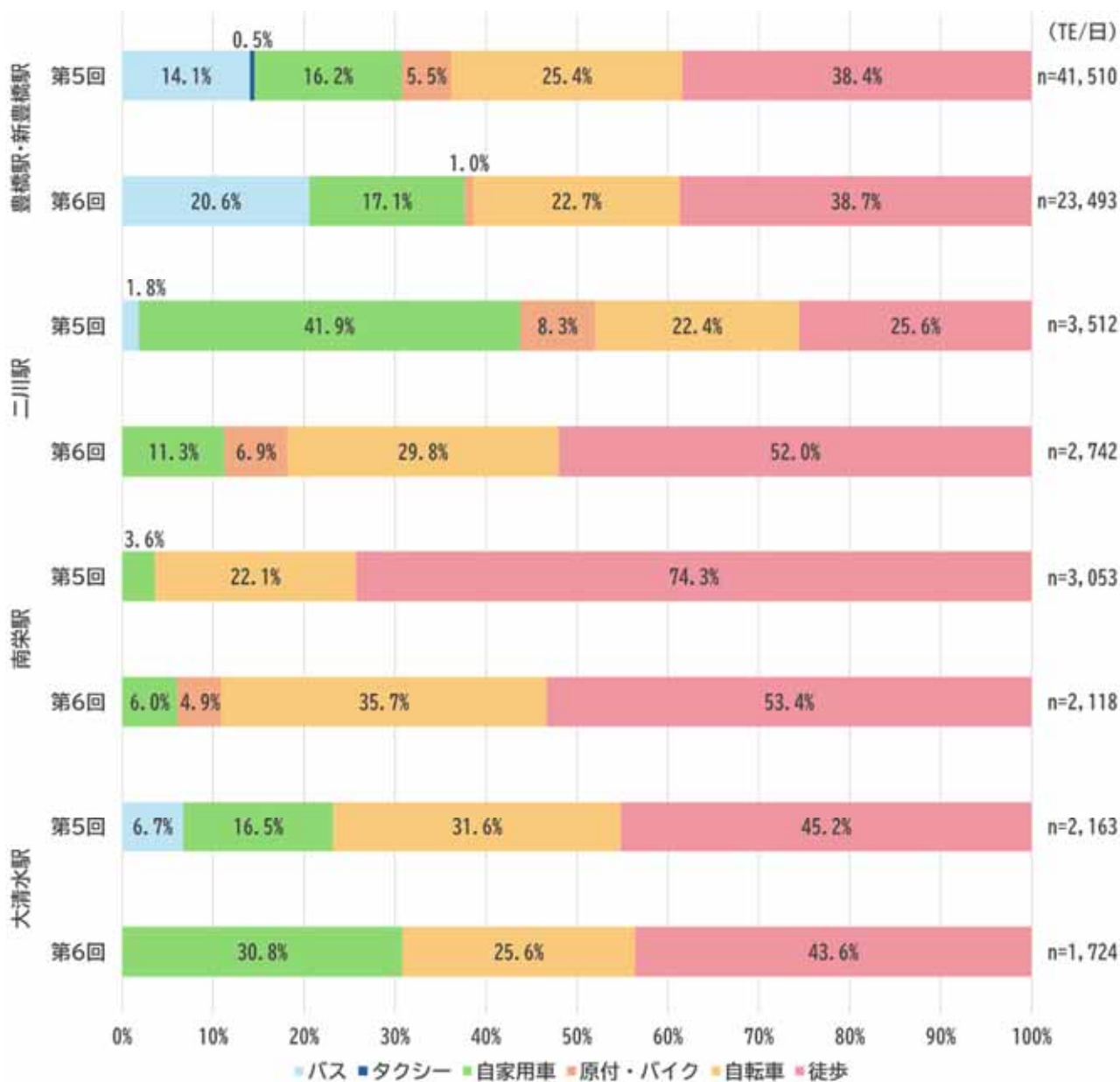
※比率からは不明を除く
 ※OD間距離は、重心点間の直線距離を使用
 ※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

資料：第6回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図 2-37 市内々流動の発着OD間距離における代表交通手段 (流動ベース、平日)

(5)市内代表駅の端末交通手段流動分析

市内を発着し、市内の代表駅（第5回時点で乗降各1千トリップ/日以上を対象）を利用する際の端末交通手段をみると、豊橋駅・新豊橋駅は第5回から第6回にかけてバスの比率が高くなっています。



※比率からは不明を除外
 ※第5回中京都市圏パーソントリップ調査の調査圏域における集計
 ※少数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合があります。

図 2-38 市内代表駅の端末交通手段別構成（平日）

豊橋市都市交通計画 2026-2035（別冊）

2026(令和8)年3月策定

発行 豊橋市

編集 豊橋市都市計画部都市交通課

〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地

電話

0532-51-2620

